

令和6年度

予算執行実績報告書

（主要施策の成果及び基金の運用状況について）

豊 田 市

令和6年度における主要施策の成果及び基金の運用状況について

令和6年度豊田市一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第233条第5項の規定により、主要な施策の成果を提出します。あわせて、同法第241条第5項の規定により、基金の運用状況について提出します。

令和7年8月29日提出

豊田市長 太田 稔彦

目 次

I 総 括

1	令和6年度の財政運営・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	第1表 財政指数年次別比較表・・・・・・・・	2
2	一般会計・特別会計の決算状況・・・・・・・・	4
	第2表 一般会計・特別会計歳入歳出決算額一覧表・・・・・・・・	4

II 一般会計

1	一般会計の収支状況・・・・・・・・	7
2	一般会計予算の編成状況・・・・・・・・	14
	第3表 一般会計予算の編成状況等・・・・・・・・	14
3	一般会計歳入決算額の概要・・・・・・・・	18
	第4表 一般会計歳入決算額年次別比較表・・・・・・・・	28
	第5表 一般会計年次別財源内訳表・・・・・・・・	28
	第6表 市税決算額前年度比較表・・・・・・・・	30
	第7表 市税徴収実績表・・・・・・・・	32
	第8表 市債の状況・・・・・・・・	34
4	一般会計歳出決算額の概要・・・・・・・・	36
	第9表 一般会計歳出決算額年次別比較表・・・・・・・・	42
	第10表 一般会計性質別決算額年次別比較表・・・・・・・・	44
	第11表 一般会計歳出決算額節別集計表・・・・・・・・	46
	第12表 一般会計普通建設事業費の状況・・・・・・・・	48
	第13表 一般会計目別歳出決算額の概要・・・・・・・・	50
	第14表 主要工事实績表・・・・・・・・	331
	第15表 土地取得実績表（補償費を除く。）・・・・・・・・	345

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計	347
都市計画事業土地区画整理特別会計	350
分譲住宅建設事業特別会計	354
卸売市場特別会計	355
水道水源保全事業特別会計	357
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	358
介護保険事業特別会計	360
財産区特別会計	362
後期高齢者医療特別会計	364
産業用地造成事業特別会計	366

Ⅳ 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書	367
豊田市都心整備基金運用状況に関する調書	374
豊田市産業振興基金運用状況に関する調書	377

Ⅴ 資 料

令和6年度当初予算編成方針	379
地方債現在高の状況	382
基金残高の状況	384

(注) 各表の金額等の数値については、表内の整合性を保つため、適宜調整してあります。

I 総括

1 令和6年度の財政運営

1 令和6年度の国の予算編成

(1) 予算編成についての考え方

令和5年度補正予算と一体として、足下の物価高に対応しつつ、持続的で構造的な賃上げや、デフレからの完全脱却と民需主導の持続的な成長の実現に向けた予算を編成します。

＜主なポイント＞

- ・「物価に負けない賃上げ」の実現
- ・「こども未来戦略」に基づく「加速化プラン」をスピード感を持って実施
- ・デジタル田園都市国家構想交付金により、デジタル行財政改革や観光・農林水産業振興等を支援
- ・2050カーボンニュートラルに向け、官民のGX投資を促進
- ・「骨太方針」に基づき歳出改革の取組を継続し、歳出構造の更なる平時化を進める

(2) 一般会計予算

ア 予算規模 112兆5,717億円（対前年度 1兆8,095億円の減）

イ 一般歳出（国債費及び地方交付税交付金等を除いたもの）
67兆7,764億円（対前年度 4兆9,554億円の減）

2 令和6年度の地方財政計画

(1) 歳入歳出規模 93兆6,388億円（対前年度 1兆6,038億円の増）

(2) 主な内訳

（歳入）

- ・ 地方税 42兆7,329億円（対前年度 1,422億円の減）
- ・ 地方交付税 18兆6,671億円（対前年度 3,060億円の増）
- ・ 国庫支出金 15兆8,042億円（対前年度 7,957億円の増）
- ・ 地方債 6兆3,103億円（対前年度 5,060億円の減）

（歳出）

- ・ 給与関係経費 20兆2,292億円（対前年度 3,239億円の増）
- ・ 投資的経費 11兆9,896億円（対前年度 165億円の増）
- ・ 公債費 10兆8,961億円（対前年度 3,653億円の減）

3 令和6年度の本市の財政運営

(1) 当初予算編成方針

社会環境の変化による課題への対応は確実に実施するとともに、総合計画に掲げるめざす姿の実現に向けて、全ての世代が明るい展望を持てるまちづくりを進めることを目指し、以下の4点を基本として予算編成します。

- ① 第8次総合計画の総仕上げとして、後期実践計画事業を推進
- ② 市民生活の「安全・安心」を確保する取組
- ③ 将来を見据えた人・まちへの投資
- ④ 歳入の積極的な確保及び歳出の適正化による「財務体質の強化」

(2) 重点的に取り組む施策

- ① 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業
- ② 次世代を担うこども・若者、子育て世帯を支援する施策
- ③ 将来を見据え戦略的に推進するデジタルトランスフォーメーション施策
- ④ カーボンニュートラルを推進するグリーントランスフォーメーション施策
- ⑤ 激甚化・頻発化する自然災害へ備えるための施策
- ⑥ 持続可能な都市経営に向けた公共施設等の効率的な管理・保全等を図る施策

(3) 当初予算

令和6年度は骨格予算として編成を行い、一般会計歳入歳出予算額を1,954億円(対前年度71億円の増)としました。

歳入面では、個人市民税は対前年度17億900万円の減、法人市民税は対前年度222億7,800万円の増、固定資産税は対前年度513万円の増と見込み、市税全体では、前年度に対し209億4,328万円増の1,255億1,619万円を見込みました。地方特例交付金は、政府経済対策における住民税の定額減税措置への補填などにより20億6,200万円増の25億6,300万円を見込みました。国庫支出金は、児童手当負担金の増などにより、前年度に対し19億8,027万円増の271億5,186万円を見込みました。繰入金は、前年度に対し71億9,966万円減の6億8,041万円とし、地域づくり振興基金などから繰り入れました。市債は、前年度に対し60億円減の10億円とし、投資的事業等の財源としました。

歳出面では、第8次総合計画の最終年度として、後期実践計画の推進を柱とした上で、子ども・若者支援、子育て世帯支援、安全・安心の確保、デジタル化、カーボンニュートラル、公共施設等の効率的な管理・保全を図るなどのための予算を確保しました。将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進するため、普通建設事業費を始めとする投資的経費の規模は、当初予算で369億6,941万円、一般会計予算全体に占める割合は18.9%(前年度19.3%)としました。

第1表 財 政 指 数

区分 年度	基準財政需要額	基準財政収入額	単年度 財政力指数	3年平均 財政力指数	標準財政規模
R2	66,889,629	96,550,359	1.44	1.39	126,223,605
R3	68,825,312	87,807,964	1.28	1.42	113,569,332
R4	67,825,446	81,951,553	1.21	1.31	105,453,981
R5	68,614,914	105,703,252	1.54	1.34	137,173,488
R6	70,567,807	105,227,352	1.49	1.41	136,620,567

注：各比率は令和7年7月31日現在のものです。

標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含みます。

経常収支比率は、普通会計ベースの数値です。

健全化判断比率各欄の「－」表記は、「比率なし」となったものであり、括弧内に参考

(4) 補正予算

当初予算を骨格予算として編成を行ったため、6月議会において肉付け予算などとして、74億5,713万円の歳入・歳出補正を行いました。また、国の施策による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関連し、42億1,800万円の歳入・歳出補正を行いました。そのほかに、歳入補正では法人市民税197億の増額補正を行いました。歳出補正では、小学校保全改修事業など国の補正予算（第1号）による国庫支出金を活用した補正予算を編成しました。最終の予算額は、令和7年度から始まる第9次総合計画への備えなどのため、脱炭素社会推進基金の積立てなどを行い、当初予算から408億3,347万円を増額した2,362億6,000万円としました。

(5) 決算

歳入決算額は2,466億208万円（対前年度295億7,218万円の増）となりました。このうち、市税は1,467億6,637万円（対前年度299億4,841万円の増）となりました。

主な増減の内訳は、法人市民税548億2,200万円（対前年度307億1,725万円の増）、国庫支出金324億9,983万円（対前年度26億4,752万円の増）、地方特例交付金26億3,283万円（対前年度20億8,703万円の増）、諸収入51億6,311万円（対前年度15億6,601万円の減）、繰入金48億3,455万円（対前年度29億4,358万円の減）、が挙げられます。

歳出決算額は、2,295億4,345万円（対前年度296億53万円の増）となりました。このうち、普通建設事業費を始めとする投資的経費は409億2,046万円（対前年度7億5,357万円の減）となりました。

主な増減の内訳は、積立金278億5,658万円（対前年度211億2,169万円の増）、扶助費436億717万円（対前年度45億7,007万円の増）、人件費334億2,465万円（対前年度31億7,588万円の増）、物件費389億4,581万円（対前年度29億9,336万円の増）、補助費等196億5,126万円（対前年度17億7,419万円の減）が挙げられます。

令和6年度の主な財政指数は第1表のとおりです。財政の健全性を示す指数は、経常収支比率65.0%、自主財源比率72.7%です。市債差額（償還－借入）は、49億7,581万円の黒字となりました。健全化判断比率の各比率は、健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。

年 次 別 比 較 表

（単位：千円、％）

経常収支 比率	自主財源 比率	市債差額 (償還－借入)	健全化判断比率			
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
77.1	58.6	△271,304	－ (△5.86)	－ (△21.41)	2.3	－ (△61.3)
83.5	65.0	592,357	－ (△7.85)	－ (△25.35)	1.6	－ (△62.3)
71.1	68.8	3,235,934	－ (△5.75)	－ (△20.41)	1.3	－ (△81.7)
75.1	71.0	3,708,715	－ (△7.08)	－ (△18.41)	1.2	－ (△62.1)
65.0	72.7	4,975,806	－ (△5.99)	－ (△17.40)	1.6	－ (△75.1)

値としてその値を併記しています。

2 一般会計・特別会計の決算状況

第2表 一般会計・特別会計

会 計 名			歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計			246,602,085	229,543,452	17,058,633
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		35,902,504	35,192,433	710,071
	都 市 計 画 事 業 土 地 区 画 整 理	土 橋	678,540	389,165	289,375
		花 園	1,786,618	1,429,047	357,571
	分 譲 住 宅 建 設 事 業		19,984	5,582	14,402
	卸 売 市 場		238,561	205,259	33,302
	水 道 水 源 保 全 事 業		95,916	93,366	2,550
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業		32,945	20,876	12,069
	介 護 保 険 事 業		27,869,056	27,500,409	368,647
	財 産 区	盛 岡	4,175	3,921	254
		賀 茂	11,394	11,150	244
	後 期 高 齢 者 医 療		8,171,320	7,734,225	437,095
	産 業 用 地 造 成 事 業		7,175	7,004	171
	小 計		74,818,188	72,592,437	2,225,751
合 計			321,420,273	302,135,889	19,284,384

歳入歳出決算額一覧表

(単位：千円)

翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支 (A)	単年度収支 (A)－(B)	5年度 実質収支 (B)
継続費繰越し	明許費繰越し	事故繰越し			
4,183,214	4,682,429		8,192,990	△ 1,519,654	9,712,644
			710,071	122,635	587,436
226,273			63,102	61,238	1,864
326,932			30,639	25,995	4,644
			14,402	13,074	1,328
			33,302	1,189	32,113
			2,550	1,082	1,468
			12,069	1,554	10,515
			368,647	△ 29,422	398,069
			254	△ 21	275
			244	△ 6,407	6,651
			437,095	363,528	73,567
			171	6	165
553,205	0	0	1,672,546	554,451	1,118,095
4,736,419	4,682,429	0	9,865,536	△ 965,203	10,830,739

Ⅱ 一般会計

1 一般会計の収支状況

令和6年度の本市の一般会計決算における歳入総額は、2,466億208万円（対前年度295億7,218万円の増）で、歳出総額は、2,295億4,345万円（対前年度296億53万円の増）となりました。

歳入歳出差引額は、170億5,863万円（対前年度2,835万円の減）となりました。
この歳入歳出差引額のうち、翌年度へ繰り越すべき財源は、88億6,564万円（対前年度14億9,130万円の増）で、その内訳は、継続費通次繰越額41億8,321万円、繰越明許費繰越額46億8,243万円です。

この結果、実質収支は、81億9,299万円（対前年度15億1,965万円の減）となりました。

（単位：千円、％）

区 分	6年度決算額	5年度決算額	増 減 額	伸 率
歳 入 総 額 (A)	246,602,085	217,029,909	29,572,176	13.6
歳 出 総 額 (B)	229,543,452	199,942,922	29,600,530	14.8
歳入歳出差引額 (C) = (A) - (B)	17,058,633	17,086,987	△28,354	△0.2
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	8,865,643	7,374,343	1,491,300	20.2
実 質 収 支 額 (E) = (C) - (D)	8,192,990	9,712,644	△1,519,654	△15.6
基 金 繰 入 額 (F)	0	0	0	-
翌 年 度 繰 越 額 (G) = (E) - (F)	8,192,990	9,712,644	△1,519,654	△15.6

※ 基金繰入額は、地方自治法第233条の2の規定による実質収支額からの繰入額をいう。

○継続費通次繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 通次繰越額	左 の 財 源 内 訳			
		繰越金	特 定 財 源		
			国県支出金	地方債	その他
長 寿 命 化 改 修 事 業 (西 庁 舎 外 1 施 設)	196,018	196,018			
長 寿 命 化 改 修 事 業 (南 庁 舎 外 1 施 設)	320,806	320,806			
長 寿 命 化 改 修 事 業 (老 人 福 祉 セ ン タ ー 豊 寿 園)	26,555	26,555			
私 立 認 定 こ ど も 園 施 設 整 備 費 補 助 事 業	0	0			
渡 刈 ク リ ー ン セ ン タ ー 設 備 改 修 事 業	254,759	254,759			
足 助 商 工 会 館 修 繕 事 業	22,202	7,794	14,408		
豊 田 参 合 館 長 寿 命 化 等 改 修 負 担 事 業 (共 用 部)	18,647	18,647			
市 道 新 設 事 業 (市 道 豊 田 西 部 2 号 線)	91,004	91,004			
市 道 改 良 事 業 (市 道 土 橋 竜 神 1 号 線)	73,550	73,550			
河 川 改 良 事 業 (準 用 河 川 長 田 川)	454,116	454,116			
内 環 状 線 建 設 事 業 (高 橋 細 谷 線 長 興 寺 第 1 工 区)	1,479,191	1,314,191	165,000		
中 央 公 園 第 二 期 整 備 基 盤 造 成 事 業	195,098	195,098			
豊 田 市 駅 西 口 ペ デ ス ト リ ア ン デ ッ キ 一 部 改 築 事 業	221,280	221,280			
豊 田 市 駅 西 口 施 設 整 備 事 業	653,026	434,026	219,000		
中 山 小 学 校 増 築 等 事 業	317,848	224,962	92,886		

(単位：千円)

事業名	翌年度 遞次繰越額	左 の 財 源 内 訳			
		繰越金	特 定 財 源		
			国県支出金	地方債	その他
旧鈴木家住宅保存整備事業 (そ の 4)	77,380	77,380			
豊田参合館長寿命化等 改修負担事業 (中央図書館・共用部)	52,067	52,067			
豊田参合館長寿命化等 改修負担事業 (コンサートホール・ 能楽堂・共用部)	40,447	40,447			
豊田スタジアム長寿命化 改修事業 (そ の 3)	491,094	180,515	310,579		
合 計 (19 事業)	4,985,087	4,183,214	801,873	0	0

○繰越明許費繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
西庁舎エレベーター更新事業	148,500			148,500
公用車取得事業	3,049			3,049
長寿命化改修設計事業 (猿投北交流館外2館)	5,940			5,940
長寿命化改修設計事業 (稲武地域交流館)	1,980			1,980
小原和紙のふるさと改修事業	40,128			40,128
雑敷里山林遊歩道整備事業	42,000			42,000
あゆみ橋修繕事業	22,550			22,550
住所関連等実態調査事業 (豊田浄水特定土地 区画整理事業関連)	54,417			54,417
長寿命化改修設計事業 (稲武福祉センター)	1,980			1,980
物価高騰対応重点支援 給付金給付事業	295,342		295,342	
けやきワークス長寿命化改修事業	32,300	30,000		2,300
長寿命化改修設計事業 (福祉就業センターふれあいの家)	1,980			1,980
逢妻ふれあい子ども館 解体・駐車場整備事業	67,344			67,344
長寿命化改修事業 (飯野こども園外1園)	64,460			64,460
トイレ改修事業 (伊保こども園外5園)	69,723			69,723
長寿命化改修設計事業 (堤ヶ丘こども園)	1,980			1,980
長寿命化改修等事業 (大草こども園)	103,447			103,447
廃止簡易水道施設撤去事業	25,000			25,000
長寿命化改修設計事業 (環境学習施設e c o - T)	3,902			3,902

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
長寿命化改修設計事業 (渡刈クリーンセンター)	9,006			9,006
新規就農者育成総合対策事業	7,500			7,500
地籍調査事業	54,708		21,591	33,117
カーボンニュートラル創エネ 促進補助事業	250,000			250,000
カーボンニュートラル省エネ 生産設備導入促進補助事業	150,000			150,000
盛土規制法基礎調査委託事業	27,500		13,640	13,860
橋りょう長寿命化修繕事業 (新関羅瀬橋外4橋)	143,545		45,921	97,624
路面舗装事業 (市道原山線外4路線)	102,006		51,003	51,003
橋りょう長寿命化修繕事業 (竹見橋外20橋)	88,000		4,746	83,254
橋りょう耐震補強事業 (さかうえ跨道橋外4橋)	117,428			117,428
市道改良事業 (市道四郷25号線外1路線)	11,391			11,391
市道改良事業 (市道林添九久平1号線)	179,046		7,371	171,675
市道改良事業 (市道上野大見線外3路線)	55,000		13,871	41,129
市道改良事業 (市道松平足助線)	80,000		16,652	63,348
市道改良事業 (市道小原大草足助線外2路線)	40,000		11,559	28,441
昭和町駐輪場整備事業	10,000			10,000
歩行者・自転車通行環境整備事業	37,000		4,625	32,375
河川改良事業 (普通河川桑原川)	20,746			20,746
河川改良事業 (準用河川大見川)	53,856			53,856

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
河川改良事業 (普通河川喜光寺川)	16,841			16,841
河川修繕事業 (準用河川逢妻男川)	2,157			2,157
総合都市交通体系調査事業	8,778		2,300	6,478
上豊田駅周辺土地区画整理 測量設計業務委託事業	38,674			38,674
住所関連等実態調査事業 (豊田浄水特定土地 区画整理事業関連)	3,219			3,219
若林駅周辺土地区画整理 推進業務委託事業	28,375			28,375
公共施設管理者負担事業 (土橋土地区画整理事業)	27,000		13,500	13,500
名鉄三河線若林駅付近 連続立体交差事業	570,000		220,110	349,890
街路建設事業 (都市計画道路西岡吉原線)	462,837		210,841	251,996
内環状線建設事業 (都市計画道路高橋細谷線)	32,000		4,247	27,753
特定道路建設事業 (都市計画道路豊田刈谷線)	85,908		15,000	70,908
特定道路改良促進事業 (豊田北バイパス関連市道 上原11号線)	46,000		4,550	41,450
特定道路改良促進事業 (豊田北バイパス関連市道 上原14号線)	52,000		15,179	36,821
高岡公園整備事業	23,826		5,000	18,826
矢作緑地勘八公園整備 検討業務委託事業	8,920			8,920
歩車共存道路整備事業 (市道西町若宮線)	40,000			40,000
豊田市駅東口施設整備事業	23,342			23,342
豊田市駅東口 ペDESTリアンデッキ 橋りょう耐震補強事業	145,200		6,420	138,780

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
豊田市駅西口駅前広場等整備事業	32,775			32,775
豊田市駅駅舎改修負担事業	90,000		33,000	57,000
市営住宅管理システム 導入等委託事業	2,200			2,200
消防署所女性専用施設等改修事業 (北消防署藤岡小原分署外3施設)	82,703			82,703
南消防署改修工事仮設施設借上	3,000			3,000
旧若林・藤岡飯野詰所格納庫及び 火の見櫓解体事業	12,795			12,795
防災行政無線通信機器 更新事業(同報系)	395,934			395,934
通学バス取得事業	11,989		3,900	8,089
トイレ再整備設計事業 (小清水小学校外5校)	21,763			21,763
トイレ再整備・屋根外壁改修事業 (青木小学校外6校)	370,227		97,845	272,382
屋外遊具整備事業 (小原中部小学校外11校)	162,000		54,540	107,460
トイレ再整備設計事業 (朝日丘中学校外4校)	18,389			18,389
トイレ再整備・屋根外壁改修事業 (逢妻中学校外5校)	323,466		80,417	243,049
教職員会館長寿命化改修事業	143,185	140,000		3,185
旧北部給食センター解体事業	108,178	70,000		38,178
青少年相談センター 長寿命化改修事業	67,000	60,000		7,000
公共下水道接続設計事業 (梅坪浄水運動広場外1施設)	4,158			4,158
長寿命化改修設計事業 (猿投棒の手ふれあい広場)	24,669			24,669
長寿命化改修等設計事業 (高岡公園体育館外1施設)	23,338			23,338
合計(75事業)	5,935,599	300,000	1,253,170	4,382,429

2 一般会計予算の編成状況

第 3 表 一 般 会 計 予 算

(歳 入)

款	当 初	5月専決	6月補正	9月補正	11月専決
1 市 税	125,516,194				
2 地方譲与税	1,459,100				
3 利子割交付金	35,000				
4 配当割交付金	628,000				
5 株式等譲渡所得割交付金	504,000				
6 法人事業税金交付金	1,797,000				
7 地方消費税交付金	10,406,000				
8 ゴルフ場利用税交付金	360,000				
9 自動車取得税交付金	1				
10 環境性能割交付金	468,000				
11 地方特例金交付金	2,563,001				
12 地方交付税	150,000				
13 交通安全対策特別交付金	49,000				
14 分担金及び負担金	97,929		710		
15 使用料及び手数料	2,947,990				
16 国庫支出金	27,151,864	3,175,000	289,716	508,550	4,781
17 県支出金	12,032,838		109,623		
18 財産収入	734,032		1,199,756		
19 寄附金	450,897				
20 繰入金	680,405		5,428,413		
21 繰越金	1,826,534			2,247,078	
22 諸収入	4,568,749		428,909	37,425	
23 市債	1,000,000				
歳入合計	195,426,534	3,175,000	7,457,127	2,793,053	4,781

の 編 成 状 況 等

(単位：千円、%)

12月補正	1月専決	3月補正	計	継続費及び 繰越事業費 繰越額	合 計 (A)	決 算 額		差 引 (B) - (A)
						(B)	構成比	
18,000,000		2,803,100	146,319,294		146,319,294	146,766,366	59.5	447,072
		△ 53,244	1,405,856		1,405,856	1,417,915	0.6	12,059
		18,000	53,000		53,000	46,912	0.0	△ 6,088
		176,000	804,000		804,000	960,638	0.4	156,638
		448,000	952,000		952,000	1,273,905	0.5	321,905
		222,591	2,019,591		2,019,591	2,384,628	1.0	365,037
		1,106,000	11,512,000		11,512,000	11,616,181	4.7	104,181
		△ 12,000	348,000		348,000	356,112	0.1	8,112
		20,087	20,088		20,088	18,208	0.0	△ 1,880
		△ 75,000	393,000		393,000	354,993	0.1	△ 38,007
		47,024	2,610,025		2,610,025	2,632,826	1.1	22,801
			150,000		150,000	138,078	0.1	△ 11,922
		△ 4,000	45,000		45,000	41,636	0.0	△ 3,364
		△ 1,512	97,127		97,127	102,333	0.0	5,206
		△ 86,512	2,861,478		2,861,478	2,989,829	1.2	128,351
3,900	1,043,000	△ 416,337	31,760,474	2,967,762	34,728,236	32,499,831	13.2	△ 2,228,405
14,004		△ 140,789	12,015,676	28,842	12,044,518	11,693,920	4.7	△ 350,598
		△ 17,718	1,916,070		1,916,070	1,957,617	0.8	41,547
7,000		△ 73,027	384,870		384,870	349,409	0.1	△ 35,461
△ 1,200,000		△ 33,930	4,874,888		4,874,888	4,834,554	2.0	△ 40,334
666,714		4,972,318	9,712,644	7,374,342	17,086,986	17,086,987	6.9	1
63,587		△ 93,751	5,004,919		5,004,919	5,163,107	2.1	158,188
			1,000,000	991,700	1,991,700	1,916,100	0.8	△ 75,600
17,555,205	1,043,000	8,805,300	236,260,000	11,362,646	247,622,646	246,602,085	100.0	△ 1,020,561

(歳 出)

款	当 初	5月専決	6月補正	9月補正	11月専決	12月補正
1 議 会 費	891,082					5,423
2 総 務 費	20,845,780		2,044,701	386,641		16,929,798
3 民 生 費	70,147,962	3,175,000	374,012	44,465	2,980	1,100,132
4 衛 生 費	17,045,253		886,736	12,908	1,801	384,343
5 労 働 費	171,001					8,435
6 農林水産業費	3,110,483		48,008			18,440
7 商 工 費	3,958,160		1,416,620			△ 82,289
8 土 木 費	30,954,766		1,664,788	2,036,874		105,647
9 消 防 費	8,646,641		177,127			250,690
10 教 育 費	31,720,372		845,135	312,165		△ 1,165,414
11 災 害 復 旧 費	350,160					
12 公 債 費	7,084,873					
13 諸 支 出 金	1					
14 予 備 費	500,000					
歳 出 合 計	195,426,534	3,175,000	7,457,127	2,793,053	4,781	17,555,205

(単位：千円、%)

1月専決	3月補正	計	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費充用	合 計 (A)	決 算 額		翌 年 度 繰 越 額 (C)	不 用 額 (A) - (B) - (C)
						(B)	構成比		
	△ 2, 779	893, 726			893, 726	875, 850	0. 4		17, 876
	△ 821, 730	39, 385, 190	446, 697	252, 697	40, 084, 584	38, 271, 074	16. 7	(835, 388) 835, 388	978, 122
1, 043, 000	675, 549	76, 563, 100	1, 336, 358		77, 899, 458	75, 298, 033	32. 8	(369, 769) 665, 111	1, 936, 314
	4, 473, 212	22, 804, 253	235, 895		23, 040, 148	21, 870, 928	9. 5	(292, 667) 292, 667	876, 553
	△ 5, 533	173, 903			173, 903	166, 387	0. 1		7, 516
	△ 40, 155	3, 136, 776	105, 386		3, 242, 162	3, 050, 900	1. 3	(40, 617) 62, 208	129, 054
	△ 924, 224	4, 368, 267	952, 800		5, 321, 067	4, 059, 217	1. 8	(426, 441) 440, 849	821, 001
	5, 688, 949	40, 451, 024	5, 493, 020	34, 125	45, 978, 169	39, 463, 305	17. 2	(4, 789, 298) 5, 872, 833	642, 031
	△ 461, 362	8, 613, 096	12, 900		8, 625, 996	7, 904, 674	3. 4	(494, 432) 494, 432	226, 890
	231, 463	31, 943, 721	2, 726, 378		34, 670, 099	31, 067, 207	13. 5	(1, 617, 031) 2, 257, 198	1, 345, 694
	△ 405	349, 755	53, 212	161, 224	564, 191	508, 606	0. 2		55, 585
	△ 7, 684	7, 077, 189			7, 077, 189	7, 007, 271	3. 1		69, 918
	△ 1				0		-		0
		500, 000		△ 448, 046	51, 954		-		51, 954
1, 043, 000	8, 805, 300	236, 260, 000	11, 362, 646	0	247, 622, 646	229, 543, 452	100. 0	(8, 865, 643) 10, 920, 686	7, 158, 508

※ () 内の数値は、「翌年度繰越額－未収入特定財源」

3 一般会計歳入決算額の概要

1 款 市 税 （第6表・第7表参照）

法人市民税などの増加により、前年度と比較して、市税総額は増加しています。

1 市 民 税

市民税には、個人市民税と法人市民税があり、それぞれの課税の基準によって均等割と所得割（法人は法人税割）に区分されています。

決算額は、853 億 2,005 万円（対前年度 291 億 7,938 万円の増）でした。

（1）個 人

個人市民税は、市内に住所がある人は均等割と所得割（納税者の所得金額に応じて負担していただくもの）を、市内に事務所・事業所又は家屋敷がある人で市内に住所のない人は均等割のみを納める仕組みになっています。

決算額は、304 億 9,805 万円（対前年度 15 億 3,787 万円の減）でした。主な減少の要因は、政府経済対策に係る定額減税によるものです。

（2）法 人

法人市民税は、市内に事務所や事業所などがある法人（会社など）のほか人格のない社団等にかかる税金で、均等割と国税である法人税額に応じて負担していただく法人税割があります。

決算額は、548 億 2,200 万円（対前年度 307 億 1,725 万円の増）でした。主な増加の要因は、企業業績の変動によるものです。

2 固定資産税

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人（又は法人）が納める税金です。なお、国・地方公共団体が所有する資産については、国有資産等所在市町村交付金が交付されます。

決算額は、449 億 5,754 万円（対前年度 4 億 9,279 万円の増）でした。

（1）土 地

土地の決算額は、152 億 7,965 万円（対前年度 5 億 4,442 万円の増）でした。

主な増加の要因は、評価替えに伴う負担調整や開発等に伴う地目変更によるものです。

（2）家 屋

家屋の決算額は、168 億 7,357 万円（対前年度 7,401 万円の増）でした。

主な増加の要因は、新增築家屋と滅失家屋との差額によるものです。

（3）償却資産

償却資産の決算額は、125 億 7,422 万円（対前年度 1 億 1,537 万円の減）でした。

主な減少の要因は、自動車関連企業を中心とした設備投資の減少によるものです。

(4) 交付金

決算額は、2 億 3,010 万円（対前年度 1,027 万円の減）でした。

3 軽自動車税

軽自動車税は、原動機付自転車、小型特殊自動車、軽自動車及び二輪の小型自動車を所有している人にかかる税金で、軽自動車の取得に対して負担していただく環境性能割と、軽自動車等の所有に対して負担していただく種別割があります。

決算額は、11 億 5,624 万円（対前年度 4,884 万円の増）でした。主な増加の要因は、新税率が適用される軽乗用自家用車の課税台数が増加したことによるものです。

4 市たばこ税

市たばこ税は、製造たばこ製造者、特定販売業者又は卸売販売業者が、市内の小売販売業者に売り渡した製造たばこに対してかかる税金です。

決算額は、29 億 2,011 万円（対前年度 5,876 万円の減）でした。主な減少の要因は、売り渡し本数の減少によるものです。

5 鉱 産 税

鉱産税は、市内の鉱区で鉱物の掘採事業を行う鉱業者に対してかかる税金です。

決算額は、45 万円（対前年度 11 万円の減）でした。

6 入 湯 税

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他の消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるための目的税であり、鉱泉浴場における入湯客に対してかかる税金です。

決算額は、129 万円（対前年度 35 万円の増）でした。

7 事 業 所 税

事業所税は、より快適な都市づくりに必要な費用に充てるための目的税であり、市内に所在する事業所等に対してかかる税金で、事業年度末時点の床面積に応じて負担していただく資産割と、事業年度中に従業者へ支払った給与総額に応じて負担していただく従業者割があります。

決算額は、77 億 7,964 万円（対前年度 1 億 8,003 万円の増）でした。主な増加の要因は、従業者給与総額の増加によるものです。

8 都市計画税

都市計画税は、土地区画整理事業などの都市計画事業に要する費用に充てるための目的税であり、課税対象となる資産は、市内の市街化区域内にある土地及び家屋です。

決算額は、46 億 3,105 万円（対前年度 1 億 590 万円の増）でした。

2 款 地方譲与税

地方譲与税は、自動車重量税法などの法律に基づき、徴収財源を各々の定める基準により地方公共団体に譲与されるものです。

決算額は、14 億 1,792 万円（対前年度 4,562 万円の増）でした。

内訳は、自動車重量譲与税 9 億 833 万円（対前年度 95 万円の増）、地方揮発油譲与税 2 億 9,682 万円（対前年度 417 万円の減）、森林環境譲与税 2 億 1,277 万円（対前年度 4,884 万円の増）です。

森林環境譲与税は、以下の事業に充当しました。

（単位：千円）

区 分		事 業	事 業 費	森林環境譲与税充当額
農 林 水 産 業 費	林 業 費	新規就業者育成推進費補助金	19,234	18,634
		間伐材搬出路網開設費補助金	49,026	47,404
		間伐促進費補助金	75,239	75,239
		高性能林業機械導入費補助金	4,300	4,300
		森づくり推進組織育成交付金	41,921	41,921
		モニタリング調査費	4,070	4,070
		森づくり人材育成費	2,500	2,500
		テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	1,785	1,785
		森林環境教育・啓発費	14,727	8,913
教 育 費	小 学 校 費	管理備品整備費	13,711	3,850
	中 学 校 費	管理備品整備費	15,572	4,150
合 計			242,085	212,766

3 款 利子割交付金

利子割交付金は、利子等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、4,691 万円（対前年度 1,210 万円の増）でした。

4 款 配当割交付金

配当割交付金は、一定の上場株式等の配当等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、9 億 6,064 万円（対前年度 2 億 3,871 万円の増）でした。

5 款 株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金は、一定の特定口座における上場株式等の譲渡による所得の 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるも

のです。

決算額は、12 億 7,391 万円（対前年度 5 億 3,190 万円の増）でした。

6 款 法人事業税交付金

法人事業税交付金は、県税である法人事業税のうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、23 億 8,463 万円（対前年度 5 億 8,710 万円の増）でした。

7 款 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、人口割、従業者数割により地方消費税の 2 分の 1 相当額が県から市町村に交付されるものです。

決算額は、116 億 1,618 万円（対前年度 5 億 3,494 万円の増）でした。社会保障財源分は 61 億 5,826 万円で、以下のとおり充当しました。

（単位：千円）

区 分		事業費	特定財源		一般財源	引き上げ分の 地方消費税交付金	主な事業
			国県支出金	その他			
社会福祉	障がい者福祉事業	4, 222, 001	2, 260, 356		1, 961, 645	662, 200	心身障がい者 扶助料給付費
	高齢者福祉事業	129, 539		24, 662	104, 877	35, 404	老人福祉施設 措置費
	児童福祉事業	15, 372, 625	10, 810, 999	65, 694	4, 495, 932	1, 517, 709	子ども医療助 成費
	母子福祉事業	989, 328	329, 776		659, 552	222, 647	児童扶養手当 給付費
	生活保護 扶助事業	3, 963, 164	2, 973, 050		990, 114	334, 236	生活保護扶助費
社会保 険	介護保 険事業	3, 135, 652			3, 135, 652	1, 058, 514	介護保険事業 特別会計繰出金
	国民健 康保 険事業	1, 544, 730	1, 066, 026		478, 704	161, 599	国民健康保険 特別会計繰出金
	そ の 他	3, 787, 836			3, 787, 836	1, 278, 674	療養給付費負 担金
保健衛 生	疾病予 防策事 業	2, 561, 404	32, 792	13	2, 528, 599	853, 587	定期予防接種費
	医療提 供体制 確保事 業	114, 450		14, 650	99, 800	33, 690	公的病院救命救 急センター機能 運営費補助金
合 計		35, 820, 729	17, 472, 999	105, 019	18, 242, 711	6, 158, 260	

8 款 ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金は、県税であるゴルフ場利用税の 7 割相当額が市町村に交付されるもので、市内には交付対象ゴルフ場は 20 か所あります。

決算額は、3 億 5,611 万円（対前年度 139 万円の増）でした。

9 款 自動車取得税交付金

自動車取得税交付金は、県税である自動車取得税の 95%の額の 7 割相当額が市町村

に交付されるものです。自動車関連税制の見直しにより、令和元年10月1日以降、自動車取得税は廃止となりました。ただし、滞納分の収入があった場合等に交付されることがあります。

決算額は、1,821万円（対前年度1,577万円の増）でした。

10 款 環境性能割交付金

環境性能割交付金は、県税である自動車税環境性能割の95%の額の43%相当額が市町村に交付されるものです。

決算額は、3億5,499万円（対前年度4,925万円の増）でした。

11 款 地方特例交付金

地方特例交付金には、住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金、定額減税減収補填特例交付金及び新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金があります。

定額減税減収補填特例交付金は、政府経済対策に係る個人住民税の減収分が補填されました。

決算額は、26億3,283万円（対前年度20億8,703万円の増）でした。

12 款 地方交付税

地方交付税には、普通交付税と特別交付税の2種類があります。

決算額は、1億3,808万円（対前年度1億2,468万円の減）でした。

1 普通交付税

各市町村が一定水準のサービスを供給できるように、財源不足額に応じて交付されるものです。本市の場合、通常の算定では交付対象となりませんが、合併による特例措置（合併算定替）として、合併年度とそれに続く15か年度、普通交付税が交付されていました。

特例措置が終了しているため、決算額は0円（対前年度同額）でした。

2 特別交付税

普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対して交付されるものです。

決算額は、1億3,808万円（対前年度1億2,468万円の減）でした。

13 款 交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、道路交通法に定める反則金が交通事故発生件数、人口集中地区人口及び改良済道路延長に応じて、算定交付されるものです。

決算額は、4,164万円（対前年度273万円の減）でした。

14 款 分担金及び負担金

分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度と

して徴収するものです。

決算額は、1 億 233 万円（対前年度 2,261 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	6 年度決算額	5 年度決算額	増 減 額	伸 率
児童福祉費負担金	65,694	81,990	△ 16,296	△ 19.9
老人福祉費負担金	24,662	24,242	420	1.7

15 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は、市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものです。

決算額は、29 億 8,983 万円（対前年度 1 億 657 万円の増）でした。

内訳は、使用料 19 億 6,080 万円（対前年度 1 億 4,944 万円の増）、手数料 10 億 2,903 万円（対前年度 4,287 万円の減）です。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分		6 年 度 決 算 額	5 年 度 決 算 額	増 減 額	伸 率
使 用 料		1,960,797	1,811,360	149,437	8.2
主なもの	住 宅 使 用 料	449,720	461,950	△ 12,230	△ 2.6
	児 童 福 祉 使 用 料	386,681	365,149	21,532	5.9
	文 化 体 育 使 用 料	323,182	240,974	82,208	34.1
	都 市 計 画 使 用 料	267,694	227,415	40,279	17.7
手 数 料		1,029,032	1,071,902	△ 42,870	△ 4.0
主なもの	清 掃 手 数 料	766,141	820,619	△ 54,478	△ 6.6
	戸 籍 住 民 手 数 料	101,662	97,975	3,687	3.8
	保 健 衛 生 手 数 料	66,875	71,298	△ 4,423	△ 6.2

16 款 国庫支出金

決算額は、324 億 9,983 万円（対前年度 26 億 4,752 万円の増）でした。

内訳は、国庫負担金 153 億 7,931 万円（対前年度 13 億 7,558 万円の増）、国庫補助金 170 億 2,151 万円（対前年度 12 億 5,700 万円の増）、国庫委託金 9,901 万円（対前年度 1,494 万円の増）です。

なお、主な増加の要因は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増によるものです。

(単位：千円、％)

区 分		6 年度決算額	5 年度決算額	増 減 額	伸 率
国 庫 負 担 金		15,379,307	14,003,724	1,375,583	9.8
主 な も の	障がい者福祉費負担金	5,940,974	5,179,130	761,844	14.7
	児童福祉費負担金	5,926,387	4,738,066	1,188,321	25.1
	生活保護費負担金	3,111,290	3,078,435	32,855	1.1
	社会福祉費負担金	136,036	167,076	△ 31,040	△ 18.6
国 庫 補 助 金		17,021,514	15,764,517	1,256,997	8.0
主 な も の	都市計画費補助金	4,862,666	2,578,391	2,284,275	88.6
	総務費補助金	4,809,229	4,383,844	425,385	9.7
	児童福祉費補助金	3,472,912	3,503,554	△ 30,642	△ 0.9
	小学校費補助金	1,282,046	400,324	881,722	220.3
	文化体育費補助金	478,206	711,061	△ 232,855	△ 32.7
	道路橋りょう費補助金	397,283	893,809	△ 496,526	△ 55.6
国 庫 委 託 金		99,009	84,070	14,939	17.8
主 な も の	社会福祉費委託金	75,981	63,172	12,809	20.3
	保健衛生費委託金	7,829	7,966	△ 137	△ 1.7

17 款 県支出金

決算額は、116 億 9,392 万円（対前年度 3 億 9,324 万円の減）でした。

内訳は、県負担金 68 億 6,135 万円（対前年度 5 億 3,156 万円の増）、県補助金 36 億 8,943 万円（対前年度 11 億 2,403 万円の減）、県委託金 11 億 2,956 万円（対前年度 1 億 9,446 万円の増）、県交付金 1,358 万円（対前年度 477 万円の増）です。

なお、主な減少の要因は、介護施設等整備事業費補助金の減によるものです。

(単位：千円、％)

区 分		6 年度決算額	5 年度決算額	増 減 額	伸 率
県 負 担 金		6,861,349	6,329,791	531,558	8.4
主 な も の	障がい者福祉費負担金	2,899,379	2,520,199	379,180	15.0
	児童福祉費負担金	2,091,222	2,098,225	△ 7,003	△ 0.3
	国民健康保険負担金	1,079,104	1,040,688	38,416	3.7
	老人福祉費負担金	634,877	559,552	75,325	13.5
県 補 助 金		3,689,433	4,813,458	△ 1,124,025	△ 23.4
主 な も の	社会福祉費補助金	1,346,978	1,471,175	△ 124,197	△ 8.4
	児童福祉費補助金	578,304	514,598	63,706	12.4
	老人福祉費補助金	412,161	1,210,611	△ 798,450	△ 66.0
県 委 託 金		1,129,560	935,101	194,459	20.8
主 な も の	徴 税 費 委 託 金	741,307	739,538	1,769	0.2
	選 挙 費 委 託 金	150,773	11,938	138,835	1,163.0
県 交 付 金		13,578	8,805	4,773	54.2
市町村事務移譲交付金		13,332	8,562	4,770	55.7
戸籍住民基本台帳費交付金		246	243	3	1.2

18 款 財 産 収 入

財産収入は、市有財産の貸付け、売払い等により得た収入のことです。普通財産の売払収入や、基金の利子等が該当します。

決算額は、19 億 5,762 万円（対前年度 6 億 3,359 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	6 年 度 決 算 額	5 年 度 決 算 額	増 減 額	伸 率
土 地 売 払 収 入	1,290,138	1,147,151	142,987	12.5
出 資 金 償 還 金	216,377	1,107,722	△ 891,345	△ 80.5
利 子 及 び 配 当 金	213,118	89,642	123,476	137.7

19 款 寄 附 金

寄附金は、民法上の譲与で金銭に限られるものです。

決算額は、3 億 4,941 万円（対前年度 4,481 万円の増）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	6 年 度 決 算 額	5 年 度 決 算 額	増 減 額	伸 率
一 般 寄 附 金	214,580	209,759	4,821	2.3
教 育 費 寄 附 金	71,398	38,880	32,518	83.6
衛 生 費 寄 附 金	28,600	8,653	19,947	230.5
民 生 費 寄 附 金	16,429	28,204	△ 11,775	△ 41.7

20 款 繰 入 金

決算額は、48 億 3,455 万円（対前年度 29 億 4,358 万円の減）でした。

主な内訳は、財政調整基金繰入金 34 億 2,841 万円、公共施設安全安心基金繰入金 8 億、地域づくり振興基金繰入金 2 億円、介護保険事業特別会計繰入金 1 億 4,328 万円などです。

21 款 繰 越 金

繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。

令和 5 年度からの繰越金の決算額は、170 億 8,699 万円（対前年度 3 億 2,549 万円の増）でした。

主な内容は、継続費通次繰越額 23 億 8,210 万円、繰越明許費繰越額 49 億 9,224 万円、純繰越金（実質収支額）97 億 1,264 万円です。

22 款 諸 収 入

決算額は、51 億 6,311 万円（対前年度 15 億 6,601 万円の減）でした。

内訳は、雑入 43 億 7,044 万円（対前年度 17 億 773 万円の減）、受託事業収入 3 億 8,853 万円（対前年度 2,736 万円の増）、貸付金元利収入 3 億 523 万円（対前年度 5,930 万円の増）、延滞金、加算金及び過料 6,531 万円（対前年度 3,084 万円の増）、市預金利子 3,360 万円（対前年度 2,422 万円の増）です。

なお、主な減少の要因は、給食費収入の減によるものです。

(単位：千円、%)

区 分		6 年 度 決 算 額	5 年 度 決 算 額	増 減 額	伸 率
雑 入		4,370,435	6,078,159	△ 1,707,724	△ 28.1
主 な も の	雑 入	3,078,965	2,905,643	173,322	6.0
	医 療 助 成 費 返 納 金	493,854	364,890	128,964	35.3
	給 食 費 収 入	328,374	2,285,169	△ 1,956,795	△ 85.6
	児 童 健 全 育 成 費 負 担 金	278,110	264,659	13,451	5.1
受 託 事 業 収 入		388,525	361,170	27,355	7.6
貸 付 金 元 利 収 入		305,233	245,934	59,299	24.1
延滞金、加算金及び過料		65,313	34,475	30,838	89.5
市 預 金 利 子		33,601	9,383	24,218	258.1

23 款 市 債

決算額は、19 億 1,610 万円（対前年度 19 億 1,800 万円の減）でした。

※資料編 地方債現在高の状況を参照

第4表 一般会計歳入

款	年 度	令和2年度			令和3年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
1	市 税	106,952,270	42.2	△ 11.5	96,142,850	46.0	△ 10.1
2	地 方 譲 与 税	1,311,284	0.5	5.1	1,331,260	0.6	1.5
3	利 子 割 交 付 金	82,506	0.0	10.3	53,390	0.0	△ 35.3
4	配 当 割 交 付 金	483,259	0.2	△ 7.1	654,438	0.3	35.4
5	株式等譲渡所得割交付金	456,610	0.2	70.1	746,869	0.4	63.6
6	法 人 事 業 税 交 付 金	2,926,303	1.2	皆増	3,731,167	1.8	27.5
7	地 方 消 費 税 交 付 金	9,885,713	3.9	20.8	10,752,166	5.1	8.8
8	ゴルフ場利用税交付金	323,435	0.1	△ 9.9	369,523	0.2	14.2
9	自動車取得税交付金	0	-	皆減	19	0.0	皆増
10	環 境 性 能 割 交 付 金	239,927	0.1	118.0	231,175	0.1	△ 3.6
11	地 方 特 例 交 付 金	548,433	0.2	△ 63.2	1,770,248	0.8	222.8
12	地 方 交 付 税	1,010,842	0.4	△ 54.8	245,696	0.1	△ 75.7
13	交通安全対策特別交付金	60,653	0.0	7.4	57,539	0.0	△ 5.1
14	分 担 金 及 び 負 担 金	176,535	0.1	△ 37.8	104,588	0.1	△ 40.8
15	使 用 料 及 び 手 数 料	2,541,960	1.0	△ 14.9	2,552,922	1.2	0.4
16	国 庫 支 出 金	69,372,993	27.4	230.8	35,963,368	17.2	△ 48.2
17	県 支 出 金	10,317,660	4.1	10.4	10,846,168	5.2	5.1
18	財 産 収 入	628,463	0.2	8.0	1,067,836	0.5	69.9
19	寄 附 金	662,059	0.3	673.3	177,707	0.1	△ 73.2
20	繰 入 金	17,484,414	6.9	505.1	16,195,012	7.7	△ 7.4
21	繰 越 金	15,102,873	6.0	11.2	13,839,061	6.6	△ 8.4
22	諸 収 入	4,786,302	1.9	△ 20.8	5,740,036	2.7	19.9
23	市 債	7,944,200	3.1	△ 20.0	6,506,000	3.1	△ 18.1
歳 入 合 計 (A)		253,298,694	100.0	25.1	209,079,038	100.0	△ 17.5
予 算 現 額 (B)		260,332,604	-	-	218,355,273	-	-
差 引 (A) - (B)		△ 7,033,910	-	-	△ 9,276,235	-	-

※予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

第5表 一般会計年次

区 分	年 度	令和2年度			令和3年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
自 主 財 源		148,334,876	58.6	0.7	135,820,012	65.0	△ 8.4
依 存 財 源		104,963,818	41.4	90.3	73,259,026	35.0	△ 30.2
一 般 財 源		147,270,767	58.1	1.5	141,974,680	67.9	△ 3.6
特 定 財 源		106,027,927	41.9	84.8	67,104,358	32.1	△ 36.7

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和4年度			令和5年度			令和6年度				款
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額	
121,306,134	56.0	26.2	116,817,952	53.8	△ 3.7	146,766,366	59.5	25.6	29,948,414	1
1,355,693	0.6	1.8	1,372,294	0.6	1.2	1,417,915	0.6	3.3	45,621	2
35,994	0.0	△ 32.6	34,813	0.0	△ 3.3	46,912	0.0	34.8	12,099	3
630,995	0.3	△ 3.6	721,925	0.3	14.4	960,638	0.4	33.1	238,713	4
433,585	0.2	△ 41.9	742,009	0.3	71.1	1,273,905	0.5	71.7	531,896	5
3,090,777	1.4	△ 17.2	1,797,528	0.8	△ 41.8	2,384,628	1.0	32.7	587,100	6
11,229,638	5.2	4.4	11,081,241	5.1	△ 1.3	11,616,181	4.7	4.8	534,940	7
366,804	0.2	△ 0.7	354,721	0.2	△ 3.3	356,112	0.1	0.4	1,391	8
17	0.0	△ 10.5	2,442	0.0	14,264.7	18,208	0.0	645.6	15,766	9
281,120	0.1	21.6	305,744	0.1	8.8	354,993	0.1	16.1	49,249	10
563,678	0.3	△ 68.2	545,796	0.3	△ 3.2	2,632,826	1.1	382.4	2,087,030	11
273,862	0.1	11.5	262,759	0.1	△ 4.1	138,078	0.1	△ 47.5	△ 124,681	12
50,058	0.0	△ 13.0	44,362	0.0	△ 11.4	41,636	0.0	△ 6.1	△ 2,726	13
104,318	0.0	△ 0.3	124,945	0.1	19.8	102,333	0.0	△ 18.1	△ 22,612	14
2,634,773	1.2	3.2	2,883,262	1.3	9.4	2,989,829	1.2	3.7	106,567	15
30,068,092	13.9	△ 16.4	29,852,311	13.8	△ 0.7	32,499,831	13.2	8.9	2,647,520	16
14,722,398	6.8	35.7	12,087,156	5.6	△ 17.9	11,693,920	4.7	△ 3.3	△ 393,236	17
415,650	0.2	△ 61.1	2,591,206	1.2	523.4	1,957,617	0.8	△ 24.5	△ 633,589	18
513,731	0.2	189.1	304,595	0.1	△ 40.7	349,409	0.1	14.7	44,814	19
3,691,228	1.7	△ 77.2	7,778,129	3.6	110.7	4,834,554	2.0	△ 37.8	△ 2,943,575	20
14,225,520	6.6	2.8	16,761,498	7.7	17.8	17,086,987	6.9	1.9	325,489	21
6,312,734	2.9	10.0	6,729,121	3.1	6.6	5,163,107	2.1	△ 23.3	△ 1,566,014	22
4,422,800	2.0	△ 32.0	3,834,100	1.8	△ 13.3	1,916,100	0.8	△ 50.0	△ 1,918,000	23
216,729,599	100.0	3.7	217,029,909	100.0	0.1	246,602,085	100.0	13.6	29,572,176	-
226,348,460	-	-	220,122,644	-	-	247,622,646	-	-	-	-
△ 9,618,861	-	-	△ 3,092,735	-	-	△ 1,020,561	-	-	-	-

別財源内訳表

(単位：千円、%)

令和4年度			令和5年度			令和6年度			
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額
149,204,088	68.8	9.9	153,990,708	71.0	3.2	179,250,202	72.7	16.4	25,259,494
67,525,511	31.2	△ 7.8	63,039,201	29.0	△ 6.6	67,351,883	27.3	6.8	4,312,682
156,214,941	72.1	10.0	154,603,803	71.2	△ 1.0	192,362,320	78.0	24.4	37,758,517
60,514,658	27.9	△ 9.8	62,426,106	28.8	3.2	54,239,765	22.0	△ 13.1	△ 8,186,341

第6表 市税決算額前年度比較表

(単位：千円、％)

年 度 区 分		6年度 決算額	5年度 決算額	増 減 額	伸 率
市 民 税		85,320,051	56,140,672	29,179,379	52.0
内 訳	個 人	30,498,054	32,035,923	△ 1,537,869	△ 4.8
	法 人	54,821,997	24,104,749	30,717,248	127.4
固 定 資 産 税		44,957,537	44,464,746	492,791	1.1
内 訳	土 地	15,279,648	14,735,233	544,415	3.7
	家 屋	16,873,565	16,799,556	74,009	0.4
	償 却 資 産	12,574,224	12,689,591	△ 115,367	△ 0.9
	交 付 金	230,100	240,366	△ 10,266	△ 4.3
軽 自 動 車 税		1,156,238	1,107,397	48,841	4.4
市 た ば こ 税		2,920,115	2,978,877	△ 58,762	△ 2.0
鉱 産 税		449	561	△ 112	△ 20.0
入 湯 税		1,287	938	349	37.2
事 業 所 税		7,779,644	7,599,616	180,028	2.4
都 市 計 画 税		4,631,045	4,525,145	105,900	2.3
合 計		146,766,366	116,817,952	29,948,414	25.6

第 7 表 市 税

税 目 別 区 分	調 定 済 額		
	現年課税分	滞納繰越分	合 計 (A)
一 普 通 税	134,398,642	765,545	135,164,187
1 法 定 普 通 税	134,398,642	765,545	135,164,187
(1) 市 民 税	85,358,495	578,246	85,936,741
(ア) 個 人 均 等 割	697,818	12,590	710,408
(イ) 所 得 割	29,839,711	538,363	30,378,074
上記のうち退職所得分	215,073		215,073
(ウ) 法 人 均 等 割	1,051,094	523	1,051,617
(エ) 法 人 税 割	53,769,872	26,770	53,796,642
(2) 固 定 資 産 税	44,961,202	170,059	45,131,261
(ア) 純 固 定 資 産 税	44,731,102	170,059	44,901,161
(イ) 土 地	15,280,900	58,095	15,338,995
(ii) 家 屋	16,874,948	64,155	16,939,103
(iii) 償 却 資 産	12,575,254	47,809	12,623,063
(イ) 交 付 金	230,100		230,100
(3) 軽 自 動 車 税	1,158,381	17,240	1,175,621
(ア) 環 境 性 能 割	85,586		85,586
(イ) 種 別 割	1,072,795	17,240	1,090,035
(4) 市 た ば こ 税	2,920,115		2,920,115
(5) 鉱 産 税	449		449
2 法 定 外 普 通 税	-	-	-
二 目 的 税	12,411,011	29,047	12,440,058
1 入 湯 税	1,287		1,287
2 事 業 所 税	7,779,645	8,436	7,788,081
3 都 市 計 画 税	4,630,079	20,611	4,650,690
(1) 土 地	2,554,519	11,372	2,565,891
(2) 家 屋	2,075,560	9,239	2,084,799
合 計 (一～二)	146,809,653	794,592	147,604,245

徴 収 実 績 表

(単位：千円、%)

収 入 済 額			徴 収 率	
現年課税分	滞納繰越分	合 計 (B)	B / A	前年度
134, 093, 044	261, 346	134, 354, 390	99. 4	99. 2
134, 093, 044	261, 346	134, 354, 390	99. 4	99. 2
85, 139, 018	181, 033	85, 320, 051	99. 3	98. 9
692, 905	4, 011	696, 916	98. 1	98. 1
29, 629, 649	171, 489	29, 801, 138	98. 1	98. 1
215, 073		215, 073	100. 0	100. 0
1, 051, 008	106	1, 051, 114	100. 0	99. 9
53, 765, 456	5, 427	53, 770, 883	100. 0	99. 9
44, 881, 458	76, 079	44, 957, 537	99. 6	99. 6
44, 651, 358	76, 079	44, 727, 437	99. 6	99. 6
15, 253, 658	25, 990	15, 279, 648	99. 6	99. 6
16, 844, 864	28, 701	16, 873, 565	99. 6	99. 6
12, 552, 836	21, 388	12, 574, 224	99. 6	99. 6
230, 100		230, 100	100. 0	100. 0
1, 152, 004	4, 234	1, 156, 238	98. 4	98. 3
85, 586		85, 586	100. 0	100. 0
1, 066, 418	4, 234	1, 070, 652	98. 2	98. 2
2, 920, 115		2, 920, 115	100. 0	100. 0
449		449	100. 0	100. 0
-	-	-	-	-
12, 402, 755	9, 221	12, 411, 976	99. 8	99. 8
1, 287		1, 287	100. 0	100. 0
7, 779, 644		7, 779, 644	99. 9	99. 9
4, 621, 824	9, 221	4, 631, 045	99. 6	99. 6
2, 549, 965	4, 134	2, 554, 099	99. 5	99. 6
2, 071, 859	5, 087	2, 076, 946	99. 6	99. 6
146, 495, 799	270, 567	146, 766, 366	99. 4	99. 3

第8表 市 債 の 状 況

(単位：千円、%、年)

事 業 名	事 業 費	借 入 額	借 入 先	借 入 年月日	利 率	償還 (据置)
地域振興事業債	131,090	79,900	財務省 財政融資資金	7.5.27	0.800	5 (1)
清 掃 事 業 債	992,772	239,100	財務省 財政融資資金	7.5.27	1.100	10 (2)
		120,000	(公財)愛知県 市町村振興協会	7.5.30	0.800	10 (2)
道 路 橋 り ょ う 事 業 債	83,842	37,700	財務省 財政融資資金	7.3.25	1.200	10 (2)
	123,753	45,800	(公財)愛知県 市町村振興協会	7.3.28	0.900	10 (2)
河 川 事 業 債	232,332	135,700	財務省 財政融資資金	7.3.25	1.200	10 (2)
都 市 計 画 事 業 債	3,733,000	561,000	財務省 財政融資資金	7.5.27	1.100	10 (2)
	2,801,340	696,900	財務省 財政融資資金	7.3.25	1.200	10 (2)
合 計	8,098,129	1,916,100				

4 一般会計歳出決算額の概要

1 目的別一般会計歳出決算額（款項目別の詳細は第13表を参照）

1 款 議 会 費

議会費の決算額は、8億7,585万円（対前年度909万円の増）でした。

主な内訳は、議員人件費5億9,808万円です。

増加の主な項目は、議員人件費1,097万円の増です。

2 款 総 務 費

総務費の決算額は、382億7,107万円（対前年度152億4,990万円の増）でした。

主な内訳は、地域づくり振興基金積立金100億円、財政調整基金積立金81億円、職員退職手当14億8,013万円です。

増加の主な項目は、地域づくり振興基金積立金100億円の皆増、財政調整基金積立金20億円の増です。

減少の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金3億円の皆減です。

3 款 民 生 費

民生費の決算額は、752億9,803万円（対前年度59億1,899万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費71億3,469万円、教育・保育給付費58億4,977万円、障がい者介護給付費54億74万円です。

増加の主な項目は、物価高騰対応重点支援給付金給付費27億5,794万円、児童手当給付費9億4,076万円、障がい者介護給付費6億9,037万円の増です。

減少の主な項目は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付費8億4,020万円、特別養護老人ホーム費6億9,256万円の減です。

4 款 衛 生 費

衛生費の決算額は、218億7,093万円（対前年度46億9,611万円の増）でした。

主な内訳は、脱炭素社会推進基金積立金50億130万円、渡刈クリーンセンター費33億3,495万円、予防接種費16億584万円です。

増加の主な項目は、脱炭素社会推進基金積立金50億130万円の増、豊田地域医療センター運営費負担金7億円の皆増です。

減少の主な項目は、感染症対策費5億2,180万円、水道事業補助金4億9,400万円の減です。

5 款 労 働 費

労働費の決算額は、1億6,639万円（対前年度242万円の増）でした。

主な内訳は、就労支援費7,276万円です。

増加の主な項目は、中高年齢者就労支援費 51 万円の増です。

6 款 農林水産業費

農林水産業費の決算額は、30 億 5,090 万円（対前年度 1 億 2,841 万円の減）でした。

主な内訳は、用水保全費 3 億 2,107 万円、土地改良事業費補助金 2 億 506 万円、多面的機能支払費 1 億 8,193 万円です。

増加の主な項目は、森づくり推進費 4,244 万円の増です。

減少の主な項目は、土地改良施設適正化事業費 9,396 万円の減です。

7 款 商 工 費

商工費の決算額は、40 億 5,922 万円（対前年度 16 億 7,213 万円の減）でした。

主な内訳は、産業立地政策推進費 9 億 9,100 万円、カーボンニュートラル促進費 3 億 8,714 万円、商業活性化対策費 3 億 935 万円です。

増加の主な項目は、観光客等誘引宿泊促進費 1 億 5,768 万円の皆増です。

減少の主な項目は、キャッシュレスポイント還元事業費 10 億 765 万円、宿泊事業者等支援事業費 10 億 679 万円の皆減です。

8 款 土 木 費

土木費の決算額は、394 億 6,330 万円（対前年度 69 億 5,593 万円の増）でした。

主な内訳は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 84 億 5,182 万円、都心環境計画推進基金積立金 36 億円、下水道事業負担金 23 億 5,925 万円、道路修繕費 21 億 6,189 万円、都心環境計画推進費 20 億 5,047 万円、豊田刈谷線 13 億 3,745 万円、公園維持管理費 12 億 3,174 万円、内環状線建設費 11 億 3,339 万円、道路等管理費 10 億 5,926 万円、樹木資源保全基金積立金 10 億円です。

増加の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 42 億 5,844 万円の増、都心環境計画推進基金積立金 36 億円、樹木資源保全基金積立金 10 億円の皆増、都心環境計画推進費 8 億 1,881 万円の増です。

9 款 消 防 費

消防費の決算額は、79 億 467 万円（対前年度 7 億 6,876 万円の増）でした。

主な内訳は、防災設備費 8 億 4,469 万円、常備消防活動費 6 億 7,396 万円、消防車両整備費 1 億 9,623 万円です。

増加の主な項目は、防災設備費 5 億 9,258 万円の増です。

減少の主な項目は、消防車両整備費 7,680 万円の減です。

10 款 教 育 費

教育費の決算額は、310 億 6,721 万円（対前年度 10 億 4,205 万円の減）でした。

主な内訳は、体育館等暑さ対策費 39 億 504 万円、学校給食協会委託費 15 億 5,340 万円、文化振興財団運営費補助金 14 億 6,626 万円、中央公園費 12 億 5,508 万円です。

増加の主な項目は、体育館等暑さ対策費 38 億 8,194 万円、校舎建設費 5 億 3,213 万円、副読本・教師用教科書等購入費 3 億 3,432 万円、高橋節郎館改修費 3 億 868 万円の増です。

減少の主な項目は、博物館建設費 60 億 3,672 万円の皆減、中央公園費 7 億 8,049 万円、総合体育館費 4 億 4,600 万円の減です。

11 款 災害復旧費

災害復旧費の決算額は、5 億 861 万円（対前年度 5 億 1,200 万円の減）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費 3 億 2,287 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 5,766 万円です。

減少の主な項目は、土木施設災害復旧事業費 2 億 5,077 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 3,733 万円の減です。

12 款 公 債 費

公債費の決算額は、70 億 727 万円（対前年度 6 億 4,607 万円の減）でした。

内訳は、元金は 68 億 9,191 万円（対前年度 6 億 5,091 万円の減）、利子は 1 億 1,537 万円（対前年度 484 万円の増）です。

13 款 諸 支 出 金

諸支出金の決算額は、0 円（対前年度 同額）でした。

2 性質別一般会計歳出決算額（詳細は第10表を参照）

（1）人件費

人件費の決算額は、334億2,465万円（対前年度31億7,588万円の増）でした。

主な内訳は、一般職人件費242億9,677万円、非常勤一般職人件費63億682万円、職員退職手当14億8,013万円です。

増加の主な項目は、職員退職手当9億3,285万円の増です。

（2）物件費

物件費の決算額は、389億4,581万円（対前年度29億9,336万円の増）でした。

主な内訳は、予防接種費15億8,291万円、学校給食協会委託費15億5,340万円、渡刈クリーンセンター費13億2,150万円、放課後児童健全育成費13億1,204万円、公園維持管理費12億1,686万円、道路等管理費10億4,843万円、重層的支援体制整備事業費10億3,100万円です。

増加の主な項目は、自治体標準準拠システム対応費8億6,388万円、副読本・教師用教科書等購入費3億3,426万円の増です。

減少の主な項目は、感染症対策費3億4,566万円、情報システム基盤費1億5,517万円、市議会議員選挙事務費1億3,618万円の減です。

（3）維持補修費

維持補修費の決算額は、30億3,568万円（対前年度5億7,632万円の増）でした。

主な内訳は、道路修繕費8億2,151万円、河川修繕費4億2,628万円、市有建築物維持管理費2億256万円です。

増加の主な項目は、庁舎管理費1億6,416万円、道路修繕費1億781万円の増です。

（4）扶助費

扶助費の決算額は、436億717万円（対前年度45億7,007万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費71億3,469万円、教育・保育給付費58億4,977万円、障がい者介護給付費54億74万円、物価高騰対応重点支援給付金給付費44億1,380万円、生活保護扶助費39億6,316万円、障がい者訓練等給付費37億3,907万円です。

増加の主な項目は、物価高騰対応重点支援給付金給付費26億4,224万円、児童手当給付費9億4,076万円、障がい者介護給付費6億9,037万円の増です。

減少の主な項目は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付費8億1,450万円の減です。

（5）補助費等

補助費等の決算額は、196億5,126万円（対前年度17億7,419万円の減）でした。

主な内訳は、下水道事業負担金23億5,925万円、文化振興財団運営費補助金14億6,626万円、私立認定こども園振興費14億4,390万円、福祉事業団運営費補助

金 13 億 8,976 万円、産業立地政策推進費 9 億 8,542 万円、水道事業補助金 9 億円、バス運行推進費 7 億 9,030 万円です。

増加の主な項目は、豊田地域医療センター運営費負担金 5 億円、世界ラリー選手権開催推進費 2 億 4,620 万円の増です。

減少の主な項目は、キャッシュレスポイント還元事業費 10 億 765 万円、宿泊事業者等支援事業費 10 億 679 万円の皆減、水道事業補助金 4 億 9,400 万円の減です。

(6) 公 債 費

公債費の決算額は、70 億 727 万円（対前年度 6 億 4,607 万円の減）でした。

内訳は、元金は 68 億 9,191 万円（対前年度 6 億 5,091 万円の減）、利子は 1 億 1,537 万円（対前年度 484 万円の増）です。

(7) 積 立 金

積立金の決算額は、278 億 5,658 万円（対前年度 211 億 2,169 万円の増）でした。

主な内訳は、地域づくり振興基金積立金 100 億円、財政調整基金積立金 81 億円、脱炭素社会推進基金積立金 50 億 144 万円、都心環境計画推進基金積立金 36 億円です。

増加の主な項目は、地域づくり振興基金積立金 100 億円の皆増、脱炭素社会推進基金積立金 50 億 35 万円の増、都心環境計画推進基金積立金 36 億円の皆増です。

減少の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金 3 億円の皆減、高橋節郎館活動基金積立金 2 億 9,966 万円の減です。

(8) 投資及び出資金

投資及び出資金の決算額は、10 億 1,073 万円（対前年度 1,605 万円の増）でした。

内訳は、下水道事業出資金 4 億 3,000 万円（対前年度 2,000 万円の減）、世界ラリー選手権開催推進費 2 億 5,000 万円（対前年度 6,000 万円の減）、豊田地域医療センター運営費負担金 2 億円（皆増）、水道事業出資金 1 億 3,073 万円（対前年度 1 億 395 万円の減）です。

(9) 貸 付 金

貸付金の決算額は、2 億 5,000 万円（対前年度 6,000 万円の増）でした。

内訳は、小規模企業等振興資金預託金 1 億 8,500 万円（対前年度 4,400 万円の増）、商工業者事業資金預託金 6,500 万円（対前年度 1,600 万円の増）です。

(10) 繰 出 金

繰出金の決算額は、138 億 3,385 万円（対前年度 2 億 6,100 万円の増）でした。

主な内訳は、介護保険事業特別会計繰出金 40 億 7,769 万円、国民健康保険特別会計繰出金 39 億 8,343 万円、療養給付費負担金 37 億 8,784 万円です。

増加の主な項目は、療養給付費負担金 2 億 9,092 万円、介護保険事業特別会計繰

出金 1 億 6,725 万円の増です。

(11) 普通建設事業費

普通建設事業費の決算額は、403 億 3,945 万円（対前年度 1 億 5,828 万円の減）でした。

主な内訳は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 84 億 5,182 万円、体育館等暑さ対策費 39 億 504 万円、都心環境計画推進費 20 億 4,460 万円、渡刈クリーンセンター費 20 億 707 万円、道路修繕費 13 億 1,608 万円、内環状線建設費 11 億 3,339 万円です。

増加の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 42 億 5,844 万円、体育館等暑さ対策費 38 億 8,194 万円、都心環境計画推進費 8 億 1,812 万円、防災設備費 6 億 4,488 万円の増です。

減少の主な項目は、博物館建設費 60 億 3,672 万円の皆減、定住対策事業費 9 億 349 万円、中央公園費 7 億 7,380 万円、土地区画整理事業公共施設管理者負担金 6 億 1,018 万円の減です。

(12) 災害復旧事業費

災害復旧事業費の決算額は、5 億 8,101 万円（対前年度 5 億 9,529 万円の減）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費 3 億 2,287 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 5,766 万円です。

減少の主な項目は、土木施設災害復旧事業費 2 億 5,077 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 3,733 万円の減です。

第9表 一般会計歳出

年 度 款		令和2年度			令和3年度		
			構成比	伸率		構成比	伸率
1	議 会 費	829,913	0.3	△ 2.5	837,784	0.4	0.9
2	総 務 費	68,409,786	28.6	222.9	24,107,082	12.4	△ 64.8
3	民 生 費	59,715,540	24.9	5.1	71,569,108	36.7	19.9
4	衛 生 費	22,974,384	9.6	51.1	20,700,683	10.6	△ 9.9
5	労 働 費	421,934	0.2	199.5	327,253	0.2	△ 22.4
6	農 林 水 産 業 費	2,862,178	1.2	7.8	2,644,964	1.4	△ 7.6
7	商 工 費	5,471,473	2.3	18.4	4,738,439	2.4	△ 13.4
8	土 木 費	34,725,533	14.5	△ 0.1	25,505,861	13.1	△ 26.6
9	消 防 費	7,247,085	3.0	△ 4.4	7,017,764	3.6	△ 3.2
10	教 育 費	27,919,584	11.7	△ 17.0	29,668,047	15.2	6.3
11	災 害 復 旧 費	985,111	0.4	608.5	489,052	0.3	△ 50.4
12	公 債 費	7,897,112	3.3	△ 18.7	7,247,481	3.7	△ 8.2
13	諸 支 出 金		-	-		-	-
14	予 備 費		-	-		-	-
歳 出 合 計 (A)		239,459,633	100.0	27.8	194,853,518	100.0	△ 18.6
予 算 現 額 (B)		260,332,604	-	-	218,355,273	-	-
差 引 (B-A) (C)		20,872,971	-	-	23,501,755	-	-
(C)の 内訳	翌 年 度 繰 越 額	12,875,273	4.9	-	14,588,460	6.7	-
	不 用 額	7,997,698	3.1	-	8,913,295	4.1	-

※1 予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

2 「(C)の内訳」欄の構成比は、予算現額に対する比率である。

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和4年度			令和5年度			令和6年度				款
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年 増減額	
837,956	0.4	0.0	866,757	0.4	3.4	875,850	0.4	1.0	9,093	1
30,979,006	15.5	28.5	23,021,179	11.5	△ 25.7	38,271,074	16.7	66.2	15,249,895	2
66,916,662	33.5	△ 6.5	69,379,045	34.7	3.7	75,298,033	32.8	8.5	5,918,988	3
22,270,807	11.1	7.6	17,174,817	8.6	△ 22.9	21,870,928	9.5	27.3	4,696,111	4
158,123	0.1	△ 51.7	163,965	0.1	3.7	166,387	0.1	1.5	2,422	5
2,912,069	1.5	10.1	3,179,310	1.6	9.2	3,050,900	1.3	△ 4.0	△ 128,410	6
4,543,639	2.3	△ 4.1	5,731,350	2.9	26.1	4,059,217	1.8	△ 29.2	△ 1,672,133	7
24,601,871	12.3	△ 3.5	32,507,380	16.3	32.1	39,463,305	17.2	21.4	6,955,925	8
6,951,398	3.5	△ 0.9	7,135,911	3.6	2.7	7,904,674	3.4	10.8	768,763	9
31,716,009	15.9	6.9	32,109,259	16.1	1.2	31,067,207	13.5	△ 3.2	△ 1,042,052	10
318,371	0.2	△ 34.9	1,020,609	0.5	220.6	508,606	0.2	△ 50.2	△ 512,003	11
7,777,800	3.9	7.3	7,653,340	3.8	△ 1.6	7,007,271	3.1	△ 8.4	△ 646,069	12
	-	-		-	-		-	-	0	13
	-	-		-	-		-	-	0	14
199,983,711	100.0	2.6	199,942,922	100.0	0.0	229,543,452	100.0	14.8	29,600,530	-
226,348,460	-	-	220,122,644	-	-	247,622,646	-	-	-	-
26,364,749	-	-	20,179,722	-	-	18,079,194	-	-	-	-
15,416,644	6.8	-	11,362,646	5.2	-	10,920,686	4.4	-	-	-
10,948,105	4.8	-	8,817,076	4.0	-	7,158,508	2.9	-	-	-

第 10 表 一般会計性質別

区 分	令和 2 年度			令和 3 年度		
		構成比	伸率		構成比	伸率
人 件 費	30,069,224	12.6	3.6	30,926,324	15.9	2.9
物 件 費	34,513,492	14.4	8.6	35,916,607	18.4	4.1
維 持 補 修 費	1,906,384	0.8	12.4	2,689,708	1.4	41.1
扶 助 費	33,046,580	13.8	6.2	41,845,717	21.5	26.6
補 助 費 等	62,243,552	26.0	266.9	20,516,724	10.5	△ 67.0
公 債 費	7,897,112	3.3	△ 18.7	7,247,481	3.7	△ 8.2
積 立 金	8,263,969	3.4	105.9	5,308,069	2.7	△ 35.8
投 資 及 び 出 資 金	450,560	0.2	△ 51.0	410,000	0.2	△ 9.0
貸 付 金	531,000	0.2	8.4	512,000	0.3	△ 3.6
繰 出 金	13,376,600	5.6	△ 1.7	12,618,378	6.5	△ 5.7
普 通 建 設 事 業 費	46,079,565	19.2	△ 3.7	36,321,545	18.6	△ 21.2
うち人件費	1,206,430	0.5	△ 12.1	1,016,722	0.5	△ 15.7
災 害 復 旧 事 業 費	1,081,595	0.5	645.1	540,965	0.3	△ 50.0
うち人件費	96,484	0.0	467.6	51,913	0.0	△ 46.2
失 業 対 策 事 業 費		-	-		-	-
歳 出 合 計	239,459,633	100.0	27.8	194,853,518	100.0	△ 18.6

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年 増減額
31,077,430	15.5	0.5	30,248,770	15.1	△ 2.7	33,424,646	14.6	10.5	3,175,876
37,816,897	18.9	5.3	35,952,451	18.0	△ 4.9	38,945,807	17.0	8.3	2,993,356
2,278,843	1.1	△ 15.3	2,459,354	1.2	7.9	3,035,678	1.3	23.4	576,324
37,313,322	18.7	△ 10.8	39,037,104	19.5	4.6	43,607,171	19.0	11.7	4,570,067
22,838,466	11.4	11.3	21,425,455	10.7	△ 6.2	19,651,261	8.6	△ 8.3	△ 1,774,194
7,777,800	3.9	7.3	7,653,340	3.8	△ 1.6	7,007,271	3.1	△ 8.4	△ 646,069
16,306,589	8.2	207.2	6,734,899	3.4	△ 58.7	27,856,584	12.1	313.6	21,121,685
280,000	0.1	△ 31.7	994,672	0.5	255.2	1,010,725	0.4	1.6	16,053
512,000	0.3	0.0	190,000	0.1	△ 62.9	250,000	0.1	31.6	60,000
11,987,529	6.0	△ 5.0	13,572,848	6.8	13.2	13,833,849	6.0	1.9	261,001
31,442,230	15.7	△ 13.4	40,497,733	20.3	28.8	40,339,451	17.6	△ 0.4	△ 158,282
915,715	0.5	△ 9.9	971,885	0.5	6.1	1,067,120	0.5	9.8	95,235
352,605	0.2	△ 34.8	1,176,296	0.6	233.6	581,009	0.3	△ 50.6	△ 595,287
34,234	0.0	△ 34.1	155,687	0.1	354.8	72,403	0.0	△ 53.5	△ 83,284
	-	-		-	-		-	-	0
199,983,711	100.0	2.6	199,942,922	100.0	0.0	229,543,452	100.0	14.8	29,600,530

第 1 1 表 一 般 会 計 歳 出

節 \ 款	1 議会費	2 総務費	3 民生費	4 衛生費	5 労働費	6 農林水産業費	7 商工費	8 土木費
1 報酬	365,682	671,372	1,838,676	147,078	5,280	55,020	29,762	115,571
2 給料	75,494	2,502,664	3,034,584	1,280,878	19,847	264,765	163,121	1,175,938
3 職員手当等	219,963	4,041,830	3,000,980	1,082,736	18,940	232,701	165,526	1,056,329
4 共済費	128,793	1,090,803	1,328,057	473,383	7,515	98,395	59,165	438,409
5 災害補償費		2,644						
6 恩給及び退職年金								
7 報償費	1,502	80,577	130,369	52,527	2,021	4,157	1,323	28,365
8 旅費	10,190	53,008	55,684	11,886	238	3,040	3,052	10,948
9 交際費	1,455	3,002				43		
10 需用費	4,491	1,159,610	817,699	950,245	730	153,755	49,163	2,495,473
11 役務費	9,923	759,134	205,791	222,365	612	111,563	23,105	825,647
12 委託料	26,300	5,383,416	4,968,840	7,988,496	58,550	364,139	496,584	4,717,202
13 使用料及び賃借料	6,009	771,693	265,735	25,588	21,445	8,843	33,074	227,062
14 工事請負費		487,875	218,534	1,109,253		246,496	62,029	7,146,903
15 原材料費		780	264	4,081		1,993	195	22,114
16 公有財産購入費		664,878	77					2,910,837
17 備品購入費	2,041	455,633	98,780	147,818	442	6,332	2,453	18,815
18 負担金補助及び交付金	24,007	1,698,088	12,897,840	2,735,548	30,767	1,447,951	2,712,847	12,189,637
19 扶助費			36,706,409	6,776				
20 貸付金							250,000	
21 補償、補填及び賠償金		6				170		113,120
22 償還金利子及び割引料		212,862	661,824	295,946		507		14,864
23 投資及び出資金				330,725				430,000
24 積立金		18,230,065	16,310	5,001,304		114	818	4,600,751
25 寄附金								
26 公課費		1,134		4,295		41		16
27 繰出金			9,051,580			50,875	7,000	925,304
28 予備費								
合計	875,850	38,271,074	75,298,033	21,870,928	166,387	3,050,900	4,059,217	39,463,305

決 算 額 節 別 集 計 表

(単位：千円、%)

9 消防費	10 教育費	11 災害 復旧費	12 公債費	13 諸 支出金	14 予備費	計	構成比	前年度 構成比
121,841	1,922,093					5,272,375	2.3	2.5
2,160,009	913,281					11,590,581	5.0	5.5
2,058,857	1,067,085					12,944,947	5.6	5.4
833,719	480,219					4,938,458	2.2	2.3
4,975	1,645					9,264	0.0	0.0
						0	-	-
48,671	217,185					566,697	0.2	0.3
14,153	70,191					232,390	0.1	0.1
34	94					4,628	0.0	0.0
443,851	4,228,259	238,507				10,541,783	4.6	5.0
96,829	458,423	38,469				2,751,861	1.2	1.3
848,736	7,806,001	14,258				32,672,522	14.2	15.8
464,421	1,058,291					2,882,161	1.3	1.4
71,844	3,594,946	179,368				13,117,248	5.7	8.9
406	1,366	512				31,711	0.0	0.0
55,924	4,170,230					7,801,946	3.4	2.1
481,522	529,060					1,742,896	0.8	0.8
191,637	3,709,699	37,492				37,675,513	16.4	17.7
	580,119					37,293,304	16.2	17.1
						250,000	0.1	0.1
1,089	1,381					115,766	0.1	0.3
	418		7,007,271			8,193,692	3.6	4.4
	250,000					1,010,725	0.4	0.5
	7,221					27,856,583	12.1	3.4
						0	-	-
6,156						11,642	0.0	0.0
						10,034,759	4.4	5.0
						0	-	-
7,904,674	31,067,207	508,606	7,007,271	0	0	229,543,452	100.0	100.0

第12表 一般会計普通

区 分		補助事業費	単独事業費	計	構成比
1	議 会 費			0	-
2	総 務 費	28,432	1,735,566	1,763,998	4.4
	うち庁舎等		114,869	114,869	0.3
3	民 生 費	666,197	325,978	992,175	2.5
	うち保育所	19,357	171,754	191,111	0.5
4	衛 生 費	112,366	2,482,083	2,594,449	6.4
	うちごみ処理	19,290	2,228,505	2,247,795	5.6
	うちし尿処理			0	-
5	労 働 費			0	-
6	農 林 水 産 業 費	22,013	1,145,058	1,167,071	2.9
	うち林道		277,177	277,177	0.7
	うち農業農村整備		423,253	423,253	1.0
7	商 工 費	54,640	495,700	550,340	1.4
	うち観光		19,456	19,456	0.0

※県営事業負担金等は単独事業に含む。

建設事業費の状況

(単位：千円、%)

区 分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
8 土 木 費	10,401,905	12,072,990	22,474,895	55.7
うち 道路橋りょう	1,302,822	3,170,396	4,473,218	11.1
う ち 河 川	56,000	1,390,256	1,446,256	3.6
う ち 街 路	6,610,588	5,461,276	12,071,864	29.9
う ち 区 画 整 理	473,200	7,743	480,943	1.2
う ち 公 園	422,222	424,231	846,453	2.1
う ち 住 宅	76,400	348,546	424,946	1.1
9 消 防 費	176,695	1,187,666	1,364,361	3.4
10 教 育 費	3,768,959	5,663,203	9,432,162	23.4
う ち 小 学 校	1,896,266	2,288,220	4,184,486	10.4
う ち 中 学 校	1,067,822	1,381,808	2,449,630	6.1
う ち 幼 稚 園	14,400	238,178	252,578	0.6
う ち 社 会 教 育	265,963	652,825	918,788	2.3
11 そ の 他			0	-
合 計	15,231,207	25,108,244	40,339,451	100.0

第 1 3 表 一般会計目別歳出決算額の概要

1 款 議会費

1款 議会費			
		(前年度)	
当初予算額	891,082,000円	(	877,732,000円)
予算現額	893,726,000円	(	903,689,000円)
決算額	875,850,015円	(	866,756,426円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	17,875,985円	(	36,932,574円)
1- 1- 1目 議会費			
		(前年度)	
当初予算額	891,082,000円	(	877,732,000円)
予算現額	893,726,000円	(	903,689,000円)
決算額	875,850,015円	(	866,756,426円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	17,875,985円	(	36,932,574円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
※【課名】は、令和7年度の所管課を示しています。			
1	人件費(議員45人、一般職18人、非常勤一般職6人)		
	【 (議) 総務課・人事課 】	789,932,683円	
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	473,940円	
3	議会活動費【 (議) 総務課・議事調査課 】	76,591,712円	
(1)	議案審議等		
ア	本会議 定例会4回(会期日数96日、開議日数25日)		
	臨時会1回(会期日数 1日、開議日数 1日)		
イ	委員会		
	議会運営委員会	17回	
	企画総務委員会	6回	
	地域生活委員会	8回	
	教育社会委員会	6回	
	環境福祉委員会	8回	
	産業建設委員会	14回	
	予算決算委員会	31回	
	中心市街地活力向上特別委員会	16回	
	議会活性化推進特別委員会	19回	
	議会だより編集委員会	18回	
ウ	審議案件等		
	議案	171件 承認	4件 認定 13件

1款 議会費

	報告	10件	同意	9件	意見書	3件
	議員提出議案	3件	請願	1件	陳情	7件
(2)	各種加盟協議会等出席					
	全国市議会議長会、東海市議会議長会、中核市議会議長会、 愛知県市議会議長会、三河部市議会議長会、 愛知県中核市議会議長協議会、西三河市議会議長協議会	ほか				
(3)	調査研究					
	<政務活動費>	22,404,094円				
	-内訳-					
	豊田市議会自民クラブ議員団28名	14,029,679円				
	豊田市議会市民フォーラム	9名	5,400,000円			
	公明党豊田市議団	4名	1,478,964円			
	新しい風とよた	3名	1,241,738円			
	諸派(日本共産党豊田市議団)1名	253,713円				
	<委員会視察>					
	議会運営委員会(姫路市、八尾市)					
	企画総務委員会(会津若松市、郡山市、足立区)					
	地域生活委員会(福岡市、粕屋町、鹿児島市)					
	教育社会委員会(仙台市、福島市、さいたま市)					
	環境福祉委員会(堺市、北九州市、京都市)					
	産業建設委員会(成田市、浪江町、川越市)					
	中心市街地活力向上特別委員会					
	(藤沢市、狛江市、八戸市)					
	議会活性化推進特別委員会					
	(大分市、行橋市、呉市)					
	<議員研修会>					
	第1回「政治分野のハラスメントの防止に向けて					
	-ハラスメントの実態から考える-					
	第2回「働く世代の健康づくり イキイキと働き続けるための					
	体づくりをしましょう」					
	第3回「豊田加茂ウェルビーイングネットワーク					
	～いつまでも幸せ、生きがいを感じて					
	「自分らしく生きる」ことができる					
	地域になるために、私たちができること～」					
(4)	議会だより発行	12,170,748円				
	定例会号4回、臨時会号1回を発行し、市内全戸へ配布しまし た。また、デザインコンペを実施しました。					
4	事務局費【(議)総務課・議事調査課】	8,507,186円				

1款 議会費

- (1) 情報提供の推進
各種会議録の調製、執行部情報の提供
- (2) 行政視察の対応
他市議会等から92件784人の視察受入れ
うち オンライン委員会について 1件(沖縄県浦添市)
- (3) 議会に関するPR活動の充実
ケーブルテレビ、FMラジオ、インターネット放映
議会要覧、議会年報等の刊行

<本会議傍聴者数>

5月臨時会	1人
6月定例会	220人
9月定例会	289人
12月定例会	148人
3月定例会	303人
(計)	961人

5 議会活性化推進費【議事調査課】 344,494円

- (1) 市議会報告会兼意見交換会
企画総務委員会 10月29日(火)
団体名 愛知県行政書士会 豊田支部
テーマ「行政書士の活動と課題解決に向けて」
地域生活委員会 1月10日(金)
団体名 トヨタ記念病院、豊田厚生病院
テーマ「市内医療機関と本市消防本部・救急隊のさらなる連携に向けて」
環境福祉委員会 11月13日(水)
団体名 公益財団法人 豊田地域医療センター
テーマ「地域リハインベーションセンターの果たす役割」
産業建設委員会 11月11日(月)
団体名 公設卸売市場場内企業4社
テーマ「公設卸売市場の施設更新について」
- (2) 市民シンポジウム
2月1日(土) 豊田市民文化会館 参加者 156名
テーマ「こども・若者のミライを守る居場所のつくり方」
第1部 基調講演
講師：特定非営利活動法人サンカクシャ
早川 智大氏
第2部 パネルディスカッション
テーマ「こども・若者に対する支援の在り方」

1款 議会費

◆特記事項

地方議会議員年金制度廃止後の年金等の給付に要する経費として、負担金98,096,400円を執行しました。【（議）総務課】

2款 総務費

2款 総務費	
(前年度)	
当初予算額	20,845,780,000円 (17,950,602,000円)
予算現額	40,084,584,198円 (24,263,367,222円)
決算額	38,271,074,338円 (23,021,179,298円)
翌年度繰越額	835,388,000円 (446,697,000円)
不用額	978,121,860円 (795,490,924円)
2- 1- 1目 一般管理費	
(前年度)	
当初予算額	5,210,374,000円 (4,780,262,000円)
予算現額	5,196,134,239円 (4,707,961,594円)
決算額	5,029,757,819円 (4,604,963,662円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	166,376,420円 (102,997,932円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(不当要求行為等審査会委員5人、特別職3人、一般職504人、非常勤一般職317人)	
【法務課・人事課】	4,799,700,505円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	20,182,630円
3 庶務費【(総)庶務課】	1,078,073円
4 車両管理費【(総)庶務課】	145,891,684円
(1) 業務費	41,376,117円
ア 車検・点検	
(ア) 対象車両	214台
(イ) 定期点検整備 延べ	295台
(ウ) 車検前点検整備	74台
(エ) 車検等外注	238台
(オ) その他修理 延べ	231台
イ 公用車事故件数	
加害 双方 自損 小計 被害 総計	
5件 2件 15件 22件 3件 25件	
(2) 車両導入費	104,515,567円
総リース車両	173台(うち、更新リース車両15台)
大型バス購入	1台(更新)
5 安全運転推進費【(総)庶務課】	2,818,000円
<研修会等>	

2款 総務費

正副安全運転管理者講習会	15人
運転技能講習会（採用10年目職員、事故当事者等）	61人
安全運転講習会（新規採用職員）	82人
外部講師による運転業務添乗チェック研修	16人
運転に不慣れな職員に対する安全運転技能講習	11人
運転苦手克服研修	6人
バック運転研修	7人
安全運転所属長研修（3回）	延べ295人
各部局における安全運転講習会	130人
6 法務費【法務課】	15,104,928円
（1）事務費	6,986,716円
ア 内部弁護士職員による法律相談	281件
イ スクールロイヤー法律相談	32件
（2）電子例規システム費	1,067,212円
＜データ更新に係る例規の制定改廃別状況＞	
	制定 全部改正 一部改正 廃止
条 例	64件 2件 0件 61件 1件
規 則	96件 4件 0件 90件 2件
規程等	21件 1件 0件 20件 0件
（3）訴訟等事務費	7,051,000円
＜令和6年度中に終了した訴訟事件＞	
令和5年（ワ）第961号 損害賠償請求事件	
＜令和6年度末係属中の訴訟事件＞	
・令和5年（ワ）第147号 損害賠償請求事件※	
・令和5年（行ウ）第51号 処分取消等請求事件	
※は、代理人の委任に係る弁護士報酬について、令和6年度の支出がないもの	
＜令和6年度中に弁護士報酬の支出があった、その他の交渉事件＞ 3件	
7 政策法務推進費【法務課】	849,060円
（1）法務研修	
法治主義を貫く職員力の向上を図るため、弁護士職員や外部有識者による法務研修を実施しました。	
研修区分	開催回数 参加人数（累計）
弁護士職員による法務研修	2回 165人
外部有識者による法務研修	3回 188人
（2）派遣研修	
政策法務担当等の能力向上と機能強化を図るため、外部研修機	

2款 総務費

関主催の法務研修に13人の職員を派遣しました。

(3) 書籍の購入

法執行環境の向上に資するため、参考図書を購入しました。

(4) 自治体法務検定の団体受検

職員の実力育成効果を検証するため、自治体法務検定の団体受検を実施しました。

8 外部監査費【法務課】 9,457,700円

地方自治法に基づく包括外部監査契約を締結し、監査結果の報告を受けました。監査の実施状況は次のとおりです。

包括外部監査人 公認会計士 林 伸一（補助者7人）

監査テーマ 公有財産等に関する事務の執行及び管理について

9 個人情報流出事件対策事業費【法務課】 34,675,239円

市業務を受託していた株式会社イセトーにおいてランサムウェア被害が発生し、納税者等の個人情報が漏えいしたことを受け、対象者にその旨を通知するとともに、コールセンター等を設置し、市民からの問合せに対応しました。

通知対象人数 148,620人

相談件数 約1,800件

2- 1- 2目 秘書費

(前年度)

当初予算額	23,176,000円	(	25,737,000円)
予算現額	35,021,350円	(	56,269,594円)
決算額	30,096,584円	(	50,853,178円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	4,924,766円	(	5,416,416円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（表彰審査委員会委員4人）【秘書課】 32,000円

2 秘書事務費【秘書課】 26,629,814円

(1) 名義後援等申請 316件

(2) 名誉市民山内一生氏が令和6年10月18日に逝去されたことに伴い、偲ぶ会を令和7年1月14日に名鉄トヨタホテルにおいて開催しました（約550人出席）。

(3) 名誉市民・市政功労者懇談会 11月7日（26人出席）

(4) 新年あいさつ会 1月8日（約210人出席）

3 市制記念式典開催費【秘書課】 3,434,770円

2款 総務費

市制74周年記念式典 3月1日(約340人出席)

(1) 市政功労者に幸村の美様と樋口明様を推挙しました。

(2) 表彰条例に基づき182人、17団体を表彰しました。

2- 1- 3目 広報費

(前年度)

当初予算額 235,521,000円 (228,452,000円)

予算現額 227,841,000円 (215,802,000円)

決算額 219,580,447円 (207,298,505円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 8,260,553円 (8,503,495円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 広報事務費【広報課】 104,956,617円

(1) 広報とよた等発行

・広報とよた(月1回) 1回平均 172,955部

・広報とよた点字版(月1回) 1回平均 53部

・声の広報(月1回) 1回平均 43部

・広報モニター(アンケート実施 12回、モニター数 前後
期各25人)

(2) 市政記録映像

・「市政の歩み」の制作(主要な事業や出来事を映像で記録)

(3) Eモニター制度

・アンケート実施 16回

・モニター数 204人

(4) 広報活動推進

・本市の魅力を広く発信する電子雑誌「旅色」の制作・掲載

・子ども向けラリー紹介動画の制作・放映

・ホームページで歴史的な出来事や自然・風景など画像・動画をオープンデータとして公開 約2,900件

(5) ホームページ管理運営

・ページビュー数 約1,709万件

2 テレビ・ラジオ等広報費【広報課】 114,623,830円

(1) CATV放送

・市政情報提供番組「とよたNOW」(放送時間20分、1日9回)

(2) コミュニティFM放送

・市政情報提供番組「ホットニュースとよた」(平日放送時間

2款 総務費

10分、1日2回、土日放送時間20分、1日1回)

2- 1- 4目 人事管理費

(前年度)

当初予算額	2,064,871,000円	(1,094,403,000円)
予算現額	2,142,798,000円	(1,119,757,406円)
決算額	2,057,541,403円	(1,085,788,168円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	85,256,597円	(33,969,238円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費【人事課】	1,804,620,436円
(1) 職員退職手当	1,480,132,855円
	支給者数 平均支給額
定年退職者	45人 18,910千円
定年以外	80人 7,862千円
失業者の退職手当	1人 183千円
(2) 児童手当	216,255,000円
年4回支給(6月・10月・12月・2月)	延べ3,663人分
(3) 公務災害補償基金負担金	27,018,871円
職員	3,211人分
(4) 労働保険	78,531,889円
会計年度任用職員等	2,300人分
(5) 災害補償費	2,643,934円
非常勤職員の療養補償費等を15人に支払いました。	
(6) 恩給及び退職年金	37,887円
2 人事管理事務費【人事課】	216,787,293円
(1) 事務費	14,577,722円
(2) 職員採用試験費	5,788,872円
	採用者数
行政職	85人
消防職	19人
教育保育職	45人
技能労務職	10人
計	159人
(3) 職員人事考課費	2,337,399円
職員の能力・成果主義を徹底するため、目標管理を活用した人	

事考課制度を実施するとともに、必要に応じて能力開発プログラムを実施しました。

ア 対象者：全職種・職位（3,449人）

イ 特色：制度運用を通じた人材マネジメント

考課結果を得点化し、賞与・昇任・昇給へ反映

目標管理による組織パフォーマンスの向上

ウ 研修：年2回の研修を実施

（4）職員昇任試験費 934,972円

職員の資質向上や人材発掘を推進するため、能力・実績に基づく昇任試験を実施しました。

ア 対象：行政職課長級昇任試験

消防職司令長昇任試験

消防職司令補昇任試験

教育保育職上級保育師昇任試験

技能労務職主任昇任試験

イ 試験内容：筆記・論述（論文）・面接・人事考課のうちから
試験区分によって実施

ウ 試験結果：行政職課長級 受験者 65人 合格者27人

消防職司令長 受験者 28人 合格者 4人

消防職司令補 受験者 40人 合格者 7人

教育保育職上級保育師

受験者 32人 合格者10人

技能労務職主任 受験者 9人 合格者 6人

（5）人事管理システム費 5,547,960円

（6）安全衛生委員会費 5,724,424円

健康管理をテーマとした研修の実施、非常勤産業医による復職支援等、職員の心身のケアに力を入れて活動しました。

・非常勤産業医による相談 延べ150人

・安全衛生委員会研修受講者 31人

・衛生管理者免許の取得 免許取得者 6人

（7）職員厚生費 100,386,697円

ア 健康管理の充実

職員の健康把握と疾病予防のため、労働安全衛生法に基づく健康診断等を実施しました。

<令和6年度実施人数>

定期健康診断 1,125人

深夜勤務者健診 413人

VDT健診 27人

2款 総務費

業務別特殊健康診断 有機溶剤	32人
業務別特殊健康診断 特定化学物質	13人
人間ドック	2,400人
B型肝炎抗体確認検査	30人
B型肝炎予防接種	24人
破傷風予防接種	78人
雇用前健康診断	159人
ストレスチェック	3,870人

イ 福利の推進

(ア) 被服貸与規程に基づき、作業服を貸与しました。

(イ) 法令及び条例に基づき、愛知県都市職員共済組合と職員互助会に対して負担金を支出しました。

- | | |
|---|-------------|
| (8) 非常勤職員管理費 | 80,294,500円 |
| 労務管理や報酬支払業務等を民間委託により実施しました。 | |
| (9) 災害復興支援事務費 | 1,194,747円 |
| 3 職員研修費【人事課】 | 36,133,674円 |
| (1) 事務費 | 5,357,784円 |
| (2) 一般研修費 | 15,272,233円 |
| 能率的な行政経営を担う人材を育成するため、各階層に応じて研修を実施しました。 | |
| 29コース 延べ1,436人 | 53.5日 |
| (3) 特別研修費 | 4,139,501円 |
| 特定の職員の能力開発のため、テーマや課題を設定して研修を実施しました。 11コース 延べ1,302人 15.25日 | |
| (4) 部局研修費 | 1,571,007円 |
| 仕事を通して自己実現を図ることや活力ある職場づくりを推進するため、部局が自発的に実施する人材育成を支援しました。 | |
| 研修会、講演会、先進地視察 | 16回 |
| (5) 自己啓発研修費 | 1,101,995円 |
| 職員一人ひとりが、自らの適性や志向を生かした能力開発に励むため、自己啓発を奨励し支援を行いました。 | |
| 自主研究サークル | 7グループ |
| 自主学習援助 | 77人 |
| (6) 短期派遣研修費 | 4,360,455円 |
| 業務に必要な専門的な知識や技能を修得するため、専門団体や研修機関等へ短期的(1年未満)に職員を派遣しました。 | |
| 市町村アカデミー | 19人 |
| 国際アカデミー | 9人 |

2款 総務費

		愛知県市町村振興協会研修センター	27人
		国土交通大学校、全国建設研修センター	12人
		自治大学校	2人
(7)	長期派遣研修費	4,330,699円	
多角的な視野や専門的な知識を習得するため、組織風土の異なる国や民間企業等へ長期的(1年以上)に職員を派遣しました。			
		省庁派遣	4人
		民間企業派遣	2人
		政策研究大学院大学	1人
2- 1- 5目 検査費			
		(前年度)	
	当初予算額	14,683,000円	(29,901,000円)
	予算現額	13,523,000円	(29,901,000円)
	決算額	13,129,572円	(29,272,546円)
	翌年度繰越額	0円	(0円)
	不用額	393,428円	(628,454円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	検査事務費【技術管理課】	13,129,572円	
	検査実施件数	179件	
	完成検査	162件	
	中間・既済部分検査等	17件	
	査察実施件数	10件	
2- 1- 6目 事務管理費			
		(前年度)	
	当初予算額	20,790,000円	(48,555,000円)
	予算現額	40,722,243円	(76,215,340円)
	決算額	38,086,850円	(74,184,943円)
	翌年度繰越額	0円	(0円)
	不用額	2,635,393円	(2,030,397円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	人件費(市政顧問会議委員5人、地域経営懇話会委員10人)		
	【経営戦略課・行政改革推進課】	201,900円	
2	事務管理事務費【経営戦略課・行政改革推進課】		
		29,120,451円	

2款 総務費

(1) 事務改善費		5, 0 5 8, 2 8 1円
ア 公共施設予約システムの改修を実施しました。		
イ 地方分権改革に関する提案募集を活用して、3件の規制緩和の提案を行いました。		
ウ 汎用納付書のオンライン出力、コンビニ払い及びスマホ決済に対応しました。		
(2) 職員提案費		7 9 8, 2 0 8円
改善提案		1 3, 7 8 1件
(3) 経営戦略事務費		1 9, 6 7 8円
(4) 官民連携事業推進費		3 9, 4 0 0円
指定管理者の更新に際し、適正な事業者選定に努めました。		
(5) 行政改革推進費		2 3, 2 0 4, 8 8 4円
4 2か所の職場をフリーアドレス化するために必要な物品を購入しました。		
3 中核市市長会事務費【経営戦略課】		7 1 8, 4 2 8円
中核市市長会の会員市として各種会議等に参加し、国への提言活動等に取り組みました。		
4 東京事務所費【東京事務所】		8, 0 4 6, 0 7 1円
首都圏における情報の収集・発信や本庁業務の支援等を行いました。		
2- 1- 7目 文書管理費		
(前年度)		
当初予算額	274,917,000円 (	278,047,000円)
予算現額	272,064,000円 (	265,496,700円)
決算額	260,543,532円 (	235,906,438円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	11,520,468円 (	29,590,262円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(情報公開・個人情報保護審査会委員6人)【法務課】		6 1 0, 7 0 0円
2 文書管理業務費【(総)庶務課・法務課】		2 2 6, 2 2 2, 4 4 0円
(1) 文書管理運営費		5, 2 3 0, 7 2 3円
(2) 文書郵送集配費		2 2 0, 4 1 5, 3 1 7円
発送文書数		3, 9 1 8, 6 7 8通
(3) 文書マイクロフィルム化費		5 7 6, 4 0 0円
3 印刷業務費【(総)庶務課】		3 3, 5 5 5, 8 2 0円

2款 総務費

		電子印刷機（印刷室大型機）	2台	
		カラー印刷機	1台	
		簡易印刷機	2台	
		電子複写機（複合機）	147台	
4	歴史公文書管理業務費【法務課】			154,572円
	公開歴史公文書数（令和6年度末）			10,666文書
2- 1- 8目 公平委員会費				
		（前年度）		
	当初予算額	814,000円	（	759,000円）
	予算現額	780,000円	（	639,000円）
	決算額	722,154円	（	531,406円）
	翌年度繰越額	0円	（	0円）
	不用額	57,846円	（	107,594円）
●執行経費（決算額の内訳）及び概要				
1	人件費（公平委員会委員4人）【法務課】			297,000円
2	公平委員会事務費【法務課】			425,154円
2- 1- 9目 財政管理費				
		（前年度）		
	当初予算額	105,686,000円	（	104,233,000円）
	予算現額	8,106,680,000円	（	6,404,233,000円）
	決算額	8,106,127,309円	（	6,403,687,817円）
	翌年度繰越額	0円	（	0円）
	不用額	552,691円	（	545,183円）
●執行経費（決算額の内訳）及び概要				
1	財政事務費【財政課】			555,927円
<参考>				
●普通建設事業費				
	当初予算額	36,619,251千円		
	令和5年度からの繰越額	9,773,947千円		
	執行額	40,339,451千円		
●市債の発行により、将来のまちづくりに必要な投資額を確保しました。				
	新規借入額	1,916,100千円		
	元金償還額	6,891,906千円		

2款 総務費

- 基金に関しては、将来の財政需要に弾力的に対応する財源として一定規模の資金積立基金残高を確保することとしました。

令和6年度末資金積立基金残高 101,166,916千円

- 2 公会計改革推進費【財政課】 1,445,400円

発生主義や複式簿記の考え方を導入して、貸借対照表等の財務書類を作成しました。

- 3 財政調整基金積立金【財政課】 8,100,000,000円

将来にわたって財政の健全な運営を図るため、財政調整基金に積み立てました。

令和6年度末基金残高 41,471,587千円

- 4 減債基金積立金【財政課】 4,125,982円

減債基金の利子を同基金に積み立てました。

令和6年度末基金残高 2,166,163千円

2- 1-10目 財産管理費

(前年度)

当初予算額	1,480,091,000円	(1,465,087,000円)
予算現額	2,285,394,000円	(1,477,420,812円)
決算額	1,509,533,902円	(1,197,959,595円)
翌年度繰越額	665,324,000円	(198,897,000円)
不用額	110,536,098円	(80,564,217円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	516,824,000円
長寿命化改修事業（西庁舎外1施設）	196,018,000円
長寿命化改修事業（南庁舎外1施設）	320,806,000円
☆繰越明許費☆	148,500,000円
西庁舎エレベーター更新事業	148,500,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 財産管理費【財産管理課】 74,127,137円
- 2 庁舎管理費【財産管理課・建築保全・住宅課】
- 815,434,438円
- (1) 事務費 647,313,760円
- (2) 施設保全費 168,120,678円
- 南庁舎防災総合操作盤ほか取替修繕等を行いました。
- 3 庁舎等整備費【財産管理課】 193,568,070円
- 元城庁舎の解体や組織改編に伴うパーティション等の移設等を行いました。
- 4 有料駐車場管理費【財産管理課】 75,308,147円

委託業者 (一社) 豊田市身障協会

利用実績 年間経駐車台数(4か所) 625,509台

5 市有建築物維持管理費【建築保全・住宅課】

351,096,110円

法定点検等の実施及び点検結果の不具合対応や突発的修繕を行いました。

◆特記事項

西庁舎エレベーター更新事業において、工場内での機器製造に時間を要し、年度内に修繕を完了することができないため、6月議会で148,500千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【財産管理課】

2- 1-11目 情報システム費

(前年度)

当初予算額	948,706,000円	(1,077,701,000円)
予算現額	891,919,757円	(1,084,975,000円)
決算額	872,482,996円	(1,051,295,058円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	19,436,761円	(33,679,942円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 情報システム事務費【情報システム課】 142,282,210円
- 2 情報システム基盤費【情報システム課】 677,953,797円

(1) 基幹業務系システム及び行政情報ネットワークを活用した内部情報系システムの運用・開発・改修を実施しました。

基幹業務系システム数 住民記録システム始め36システム

内部情報系システム数 文書管理システム始め33システム

(2) 事務用パソコンやインターネットパソコン、ファイルサーバなど各種サーバを配備しました。

事務用パソコン 4,471台

インターネットパソコン 291台

サーバ 131台

(3) 本庁及び庁外施設のネットワークの管理を行いました。

ネットワーク接続対象施設数 163施設

(4) インターネットを利用した市民向け地図情報サービス「とよた i マップ」で情報提供を行いました。

提供情報数 15マップ、55種類の情報

- 3 情報セキュリティ推進費【情報システム課】

2款 総務費

52,246,989円

ＩＣカードを利用した庁舎入退や業務用コンピュータ及びネットワークへの接続権限の管理を行うとともに、ファイアウォールの設置、インターネット通信の監視に加え、ウイルス対策ソフト、情報漏えい対策ソフト、ファイル無害化システム等の利用による重層的な対策を講じました。

2- 1-12目 契約費

(前年度)

当初予算額	25,221,000円	(	27,471,000円)
予算現額	25,008,000円	(	23,464,000円)
決算額	18,902,120円	(	19,671,029円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	6,105,880円	(	3,792,971円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 契約事務費【契約課】 11,319,659円

<参 考>

種別	競争入札	随意契約	合計契約金額
工事	165件	1件	12,415,706千円
工事関係委託	155件	4件	1,768,111千円
その他委託	495件	353件	17,424,820千円
労働者派遣	3件	5件	85,568千円
物品購入	292件	21件	3,174,752千円
物品借入	34件	62件	1,741,733千円

工事契約全体に占める市内本店業者受注割合は、件数で95.2%と引き続き高い水準で推移しており、金額では97.0%と令和5年度の70.9%と比較して26.1ポイント増加しました。

また、入札不調・不成立の発生割合は、建設工事全体で12.8%となり、令和5年度の7.8%と比較して5.0ポイント増加しました。

2 物品管理費【契約課】 7,582,461円

庁用消耗品及び庁用備品の調達・管理を行いました。

2- 1-13目 企画費

(前年度)

当初予算額	437,680,000円	(386,415,000円)
予算現額	472,830,000円	(318,475,660円)
決算額	437,461,153円	(254,437,654円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	35,368,847円	(64,038,006円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（総合計画審議会委員23名）【企画課】 661,100円
- 2 企画事務費【企画課】 989,270円
- 3 資産経営事務費【資産経営課】 447,008円
- 4 ふるさと寄附金推進費【シティプロモーション戦略課】
117,895,726円

ふるさと寄附金の制度を活用して、豊田市ならではのサービスや産品を返礼品とする寄附を募るためのPRを実施し、豊田市の魅力を発信しました。

- 5 総合計画事業調整費【企画課】 170,000円
- 6 総合計画策定費【企画課】 22,278,866円

総合計画審議会（3回）を始め、中間報告会やパブリックコメントの実施を通し、第9次総合計画を策定しました。また、公表資料として図書等の作成を行いました。

- 7 経営戦略調査費【経営戦略課】 48,046円
- 自治体ランキングや都市の指標・統計データなどの情報収集・分析を行いました。

- 8 情報政策推進費【情報戦略課】 202,632,721円

(1) 4名のCDO補佐官（民間人材）と連携し、DX施策に関する各部局の施策推進の支援、第2次デジタル強靱化戦略の策定を行いました。

(2) DXの一環として民間企業の知見を取り入れた伴走型のBPR支援及び内部事務効率化のためのバックオフィス改革の構想策定を行いました。また、市民サービスの向上のため、市民ポータルの構築を行いました。

(3) 公式LINEを活用したオンライン申請や予約の実施、各種イベントでの活用を行いました。また、DX人材育成に関する取組や、DXにおける官民共創の推進として民間企業への行政課題の発信や職員向けの研修会等を実施しました。

- 9 公共施設等総合管理計画推進費【資産経営課】

42,608,463円

(1) 公共建築物個別施設計画を改定し、今後10年間の施設ごとの対策の方向性を示しました。

(2) 公有財産の有効活用の推進に向け、利活用に係る調査等を実施しました。

10 都市と山村の共生推進費【総合山村室】 46,909,576円

(1) 都市と山村の交流をコーディネートする中間支援組織「おいでん・さんそんセンター」を運営し、山村地域への移住・定住や交流に関する総合窓口、都市と山村の交流マッチング、集落活動を応援するとよたの山里応援隊の派遣等を行いました。

(2) 山村地域への関係人口の受入体制強化と集落活動の担い手となる人材の発掘・育成を行う「山里ひとなる塾」を実施するため、山里ひとなる塾実行委員会に対し負担金を支出しました。

(3) 山村地域の集落機能維持のために必要な取組や行政支援の在り方を検討するため、実態調査・分析業務を委託しました。

(4) 山村の価値を広く発信し、都市と山村の交流を促進するため、足助高校「高校生トラベル」に山村ツアーの企画・運営を委託しました。

11 大学等との包括連携協定推進費【経営戦略課】

1,359,137円

(1) 大学等連携協議会を2回開催しました。

(2) 大学・高専発研究提案を募集し、「豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進」と「ラリー車へのオリジナルラッピングデザインが可能なデジタルコンテンツの開発と『モーターフェスタ2024』での展示」を実施しました。

12 WE LOVE とよた推進費【経営戦略課】

1,461,240円

(1) WE LOVE とよたの啓発用パンフレットやグッズを作成しました。

(2) WE LOVE とよたスペシャルサポーターを2名、WE LOVE とよたサポーターズを1名任命しました。

2款 総務費

2- 1-14目

土地利用調整費

(前年度)

当初予算額

66,728,000円

(50,057,000円)

予算現額

59,818,000円

(48,910,000円)

決算額

56,538,714円

(43,911,847円)

翌年度繰越額

0円

(0円)

不用額

3,279,286円

(4,998,153円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 土地取得調整事務費【用地審査課】

20,722,143円

公有地取得処分審査会審査件数

3件

公有地価格査定委員会査定件数

93件

2 土地開発基金管理事務費【用地審査課】

9,096,758円

3 土地利用対策調整費【都市計画課】

4,697,000円

居住誘導拠点である御幸地区の市街地整備の実現に向け、都市計画道路及び調整池の整備方針を検討しました。

4 土地利用構想調査費【企画課】

9,997,867円

第9次総合計画における将来都市構造作成のため、土地利用に係るデータの整理等を行ったほか、産業誘導エリアの調査を行いました。

5 土地開発公社運営費補助金（10／10）【用地審査課】

12,024,946円

2- 1-15目

会計管理費

(前年度)

当初予算額

76,231,000円

(24,474,000円)

予算現額

76,231,000円

(21,974,000円)

決算額

63,993,198円

(21,313,411円)

翌年度繰越額

0円

(0円)

不用額

12,237,802円

(660,589円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 会計事務費【会計課】

63,993,198円

(1) 出納事務及び決算調製

ア 支出伝票数

120,034件

イ 支払件数

765,485件

ウ 納入件数

1,908,905件

(2) 公金の保管及び運用

2款 総務費

金融機関の経営状況に関する情報収集を行い、指定金融機関等の健全性を確認しつつ、決済用口座を使うことで公金を安全、確実に保管しました。

また、歳計・歳計外現金及び基金の金利入札による預金預け入れにより、効率的な運用に努めました。

令和6年度 公金の入札及び運用状況

〈区分〉	〈歳計・歳計外現金〉	〈基金〉
入札回数	7回	12回
運用件数	20件	79件
最高利率	0.680%	1.401%
最低利率	0.125%	0.025%
加重平均利率	0.466%	0.838%
平均運用額	3,450百万円	1,400百万円
平均運用期間	192日	315日
年間運用益	44,944千円	199,099千円
(普通預金利息 5,636千円含む。)		

(3) 指定金融機関への手数料

ア 歳入システム使用手数料	13,200,000円
イ 派出業務手数料	5,720,000円
ウ 口座振込手数料	38,312,175円
指定金融機関宛	76,323件
他金融機関宛	206,754件
エ 組戻訂正手数料	1,277,760円

2- 1-16目 国際交流費

		(前年度)
当初予算額	71,375,000円	(109,212,000円)
予算現額	65,750,000円	(94,985,000円)
決算額	61,649,139円	(90,297,939円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	4,100,861円	(4,687,061円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 国際まちづくり推進事務費【多様性社会共創課】

1,048,296円

多文化共生及び国際交流の情報収集等を実施しました。

2 豊田・デトロイト姉妹都市提携費【多様性社会共創課】

1,247,917円

第26回デトロイト市交換学生の受入事業を実施しました。受入期間中、デトロイト市からの学生は市内でのホームステイを通じて受入家庭との交流を深めるとともに、豊田市の産業に関わりのある施設見学や表敬訪問を始めとした公式行事に参加しました。

受入人数：9人（高校生7人、引率2人）

受入期間：7月16日～29日 14日間

3 豊田・ダービーシャー姉妹都市提携費【多様性社会共創課】

4,563,263円

(1) 交流推進費

664,646円

姉妹都市関係者とのネットワーク構築のため、ダービーシャーを訪問しました。

(2) 高校生派遣費

797,708円

市内の高等学校・高等専門学校に在学中の生徒をダービーシャーに派遣し、現地のカレッジにおけるスタディツアーへの参加及び現地の学生を含む英国在住者との交流を行いました。

派遣人数：13人（生徒12人、引率1人）

派遣期間：3月14日～25日 12日間

(3) 高校生派遣費補助金（10/10・1/2）

3,100,909円

高校生派遣団に対し、渡航費等の補助を行いました。

4 多文化共生推進費【多様性社会共創課】 36,936,496円

(1) 多文化共生まちづくり推進費

27,719,496円

ア 市内在住の外国人とともに、互いに尊重し合って暮らすことのできるふれあいのあるまちづくりを進めるため、豊田市多文化共生推進協議会を2回開催しました。また、多文化共生つながるワーキング部会を4回開催し、多文化共生分野における担い手の多様化推進のための施策を検討するとともに、関連団体等の活動事例や団体として求める人材像等をまとめた媒体（冊子及びWEBサイト等への掲載記事）を作成し、活動の現場とボランティアをマッチングする取組を行いました。

イ 豊田市環境基本計画及び多文化共生に関する施策の参考とするため、外国人の意見を聴く会を開催しました。

参加者数：5か国、14人

ウ 全国12都市で構成される外国人集住都市会議に参画し、「外国人集住都市会議オンラインシンポジウム2024」への参加をはじめ、自治体における多文化共生施策の推進のための検討を行いました。

エ 日本の学校に通う外国人児童生徒に対する放課後学習支援及び

外国人青少年に対する自立支援を行いました。

教室：225日 延べ参加者数：3,274人

オ 不就学の外国人の子どもに関する学校等との連絡調整及び社会
適応のための日本語学習支援を行いました。

教室：223日 延べ参加者数：636人

カ 外国人の幼児が就学前から日本語に触れる機会を創出すると
ともに、その保護者に対して子どもの言語習得等の啓発を行いま
した。

日本語教室

保見団地教室：40日 延べ参加者数：84人

伊保こども園：20日 延べ参加者数：138人

美和こども園：20日 延べ参加者数：155人

梅坪こども園：20日 延べ参加者数：112人

保護者向け啓発

保見団地教室：3日 延べ参加者数：10人

伊保こども園：1日 延べ参加者数：7人

美和こども園：2日 延べ参加者数：21人

梅坪こども園：2日 延べ参加者数：20人

キ 未就園児を持つ外国人の保護者等に、母語の重要性及び多言語
環境下で育つ子どもの特徴に関する理解促進のための啓発等を行
いました。

7回（対面：5回、オンライン：2回）

延べ参加者数：154人

ク （公財）豊田市国際交流協会と多文化共生及び国際交流事業等
の実施に関する年度協定事業を行いました。

外国人多言語相談事業

ポルトガル語、中国語、ベトナム語、英語

相談件数：428件

通訳派遣・翻訳事業

通訳派遣：4件 翻訳：50件

外国人教育支援員の派遣：1人、ポルトガル語

派遣先：2団体

派遣日数：196日

マイカントリーデー：1回 延べ参加者数：130人

国際理解推進事業

こども国際クラブ：全9回 参加者数：12人

国際理解教育：9回 延べ参加者数：632人

国際理解セミナー：3回 延べ参加者数：95人

ケ 外国人住民の市政への評価と今後のまちづくりに対するニーズや意識、生活実態等を把握するとともに、次期国際化推進計画の施策立案や施策目標の設定等の基礎資料として活用するため、外国人住民意識調査を実施しました。

(2) 日本語学習支援費 9,217,000円

外国人住民が地域で円滑な日常生活を営むために必要な最低限の日本語能力及び地域住民として必要な基本的知識を習得するため、「とよた日本語学習支援システム」を活用した日本語教室の運営を行いました。

教室数：7教室 延べ回数：194回

教室利用者数：702人 <内訳>外国人学習者：333人

日本人支援者：369人

5 国際交流協会運営費補助金(10/10)【多様性社会共創課】

17,853,167円

2- 1-17目 未来都市推進費

(前年度)

当初予算額	568,427,000円	(405,602,000円)
予算現額	511,670,000円	(426,605,000円)
決算額	477,839,283円	(393,954,729円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	33,830,717円	(32,650,271円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 未来都市推進事務費【未来都市推進課】 22,109,988円

(1) 未来都市推進事務費 8,357,308円

とよたSDGsパートナーの共働事業の支援を行いました。

とよたSDGsパートナー登録企業・団体数 286団体

共働事業 16件

インドネシアのジャカルタで開催された「2024国際首長フォーラム」に参加し、令和7年度開催を誘致しました。

(2) SDGs推進費 13,752,680円

ア 豊田市SDGs認証制度の第3回及び第4回の認証を行いました。2回の受付で累計35件の申請があり、27件を認証しました。

イ 豊田市SDGs研修カードゲーム「とよたSDGsマスター」の公認ファシリテーターを35人養成しました。

ウ とよたSDGsミライ大学を開催し、子ども向けSDGs講座

を16講座開催し、延べ269人が参加しました。

2 低炭素社会モデル地区推進費【未来都市推進課】

140,738,869円

とよたエコフルタウン及び国道153号沿いの看板の解体並びに残置物の撤去・処分を実施しました。

3 次世代エネルギーシステム推進費【未来都市推進課】

39,367,160円

(1) 水素社会の構築に向けて、その目指すべき方向性と道筋を示す戦略案を作成しました。

(2) 小水力発電事業の可能性調査を行い、事業性を評価しました。

4 次世代自動車普及促進事業費【未来都市推進課】

11,653,308円

(1) 燃料電池自動車及び電気自動車を活用し、移動の脱炭素化を推進しました。

(2) 足助支所に急速充電器1基を新たに設置しました。

5 先進技術等移動支援事業費【未来都市推進課】

13,484,874円

(1) 歩行領域BEV「C⁺walk」でまちなかを回遊できる事業「まち⁺モビ」を展開しました。

(2) 里モビLIFEプロジェクトの取組を推進しました。

6 次世代社会システム実証推進費【未来都市推進課】

124,635,273円

(1) 豊田市つながる社会実証推進協議会の取組として、社会参加型介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」を展開しました。

(2) メタバース空間を構築し、空間内でイベントを実施しました。

7 介護予防事業推進基金積立金【未来都市推進課】

125,718,402円

ソーシャルインパクトボンドを活用した社会参加型介護予防事業の規模拡大に向けて、基金に積み立てました。

8 脱炭素社会推進基金積立金【未来都市推進課・環境政策課】

131,409円

脱炭素社会実現に向けた取組に活用するため、2事業者からの寄附金を積み立てました。

2款 総務費

2- 1-18目 諸費		
		(前年度)
当初予算額	280,000円 (	280,000円)
予算現額	320,000円 (	280,000円)
決算額	320,000円 (	280,000円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	0円 (	0円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 総務事務費【（総）庶務課】	320,000円	
防衛省からの委託を受け、自衛官の募集事務を実施しました。		
愛知環状鉄道車内広告掲載	5月1日～ 3月31日	
CATV静止画像による募集告知	3月5日～ 3月10日	
啓発用うちわ作成	15,000個	
2- 2- 1目 地域振興費		
		(前年度)
当初予算額	569,674,000円 (	562,036,000円)
予算現額	10,556,202,865円 (	510,359,225円)
決算額	10,474,594,304円 (	443,570,123円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	81,608,561円 (	66,789,102円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費（市民活動促進委員11人）【地域交流課】	111,400円	
2 地域支援事務費【地域交流課】	12,529,787円	
3 市民活動事務費【地域交流課】	36,270円	
4 地域各種大会表彰費【地域交流課】	89,397円	
5 自治区活動推進費【地域交流課】	5,130,408円	
(1) 自治区活動デジタル化事業費	672,408円	
自治区活動の負担軽減等を目的に、デジタル実証実験を実施しました。		
(2) 区長会補助金（定額）	700,000円	
住民自治活動を推進するため、豊田市区長会へ「自治区運営の手引」の作成費用等を補助しました。		
(3) 自治区デジタル活用支援事業補助金（定額）		
デジタル技術を使った先進的な取組に対して補助し、自治区業務の効率化や、地域活動の効率化を図りました。		

22件 3,758,000円

6 犯罪のないまちづくり活動推進費【交通安全防犯課】

93,736,137円

- (1) 民間警備会社に地域安全巡回業務を委託し、登下校時における子どもの見守り活動、特殊詐欺被害防止のための車両広報及び夜間等の青色防犯パトロールを実施しました。

午前6時30分～午後0時30分 学校開校日の月、水、金

午後2時～午後8時 学校開校日

午後10時～午前4時 毎日

午前10時～午後4時 毎日 ※特殊詐欺被害防止啓発

- (2) 地域安全指導員（警察官OB）を配置し、青色防犯パトロール及び地域の自主防犯活動団体の活動支援、子どもの防犯教室を実施しました。

子どもの防犯教室 23校実施

- (3) 自主防犯活動に必要な物品の支給等により、地域の犯罪のないまちづくり活動を支援しました。

自主防犯活動団体 356団体（廃止6団体、新規2団体）

- (4) 「犯罪のないまちづくり推進強化地区」を指定し、地域安全巡回の強化等の取組を実施しました。

住宅対象侵入盗対策推進強化地区 1地区（山之手小学校区）

自転車盗対策推進強化地区 1地区（挙母小学校区）

- (5) 身の安全を確保するとともに防犯意識の向上を図るため、新入学児童や転入児童に対して、防犯ブザーを配付しました。

- (6) 豊田・みよし防犯協会連合会及び足防防犯協会との間で地域安全活動に関する協定を締結し、関係機関・団体との連携を密にして、安全で安心なまちづくりに努めました。

- (7) 市民の防犯意識を高めるとともに犯罪等に対する注意喚起を促すため、「緊急メールとよた」等により、不審者情報や詐欺情報等の迅速な提供に努めました。

「緊急メールとよた」登録件数 33,835件（犯罪情報）

- (8) 市民、事業者及び関係機関が連携して犯罪のないまちづくりを推進するため、豊田市防犯ネットワーク会議の適正な運営に努めました。

防犯ネットワーク会議 3回開催

- (9) 地域の防犯力の向上を図るため、自主防犯活動団体等を対象に地域防犯ボランティア・ステップアップ講座を開催しました。

地域防犯ボランティア・ステップアップ講座 3回 88人

- (10) 身近で起こる犯罪から身を守る対応策等を学ぶ機会として生涯

学習出前講座を実施しました。

出前講座実施 38回 受講者 1,284人

- (11) 年末年始に向けて市民の防犯意識の向上を図るため、年末の安全なまちづくり市民大会を開催しました。
- (12) 令和7年度から令和9年度までの防犯活動の基本方針を示す第8次豊田市防犯活動行動計画を策定しました。
- (13) 犯罪被害者等を支え、誰もが安全に安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的に、豊田市犯罪被害者等支援条例を制定しました。

7 防犯設備設置費【交通安全防犯課】 ※新規 8,376,830円
 市域全体の犯罪を抑止するため、主要交差点に防犯カメラを設置しました。

8 防犯設備設置支援費【交通安全防犯課】 18,281,000円

- (1) 防犯設備整備費補助金により自治区等の防犯カメラ等の設置を支援しました。(補助率4/5・1/2)

交付件数 28件 (新設39台、更新・移設14台)

- (2) 特殊詐欺被害等防止機器購入費補助金により迷惑防止機能付き電話機等の購入を支援しました。(補助率1/2)

交付件数 1,352件

9 自治区施設整備費【地域交流課】 119,112円
 地域集会所施設整備資金利子補給補助金 7件

10 共働推進費【地域交流課】 104,500円

市民との共働によるまちづくりを推進するために、「対話でつながるラボ」を開催しました。

参加人数 50人

11 市民活動センター費【地域交流課】 93,873,673円
 とよた市民活動センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (同)なんつな

利用者総数 69,968人

利用団体数 3,041団体

12 市民活動促進費【地域交流課・学び体験推進課】

15,281,202円

- (1) 市民活動団体の活動支援を実施しました。また、多様な人との出会いを通して、社会課題に気づききっかけづくりとなる場を開催しました。

スキルアップ講座 3回 53人

会計税務相談会 5回 5団体

運営相談会 4回 4団体

2款 総務費

- 広報紙（年6回発行） 2,500部／回
WE LOVE とよたフェスタ 127団体
名もなきトークイベント 3回
- （2）シニア世代の学びを通じた活躍を支援しました。
シニアアカデミー 通年コース 3学科 95人
はじめの一步講座・専門コース 158人
- 13 市民活動促進補助金（10／10・2／3・1／3）
【地域交流課】 1,346,000円
立上期：はじめの一步部門（設立5年未満）
＜1年目＞ 6団体（補助率10／10 限度額：10万円）
＜2年目＞ 8団体（補助率10／10 限度額：5万円）
継続期：活動ステップアップ部門（設立3年以上）
＜1年目＞ 1団体（補助率2／3 限度額：20万円）
発展期：新規事業チャレンジ部門（設立5年以上）
＜2年目＞ 1団体（補助率2／3 限度額：全体で60万円）
- 14 都市美化運動費【地域交流課】 52,374,025円
「まちと川を美しくする会」を中心とした地域住民の積極的な参加による環境美化活動を支援しました。
環境美化月間 6月、9月
参加人数 春 67,835人
秋 64,730人 計132,565人
- 15 コミュニティ推進費【地域交流課】 2,500,000円
（一財）自治総合センターの助成を受けて地区コミュニティ会議の備品を整備しました。
1地区コミュニティ会議（朝日丘）
- 16 地域課題解決事業費【猿投支所・松平支所・藤岡支所・小原支所】 14,840,527円
（1）広域課題解決事業費（藤岡支所・小原支所）
広域的な地域課題に対し、複数支所で課題解決を目指す広域課題解決事業を実施しました。
2支所（藤岡・小原）
次世代につなごう！「47災害体験者の記録」語り継ぎ事業 2,447,500円
（2）機動的対応費
通学路緊急安全対策事業（猿投支所） 462,000円
ゾーン30区域内における安全性向上事業（猿投支所） 1,037,327円
国指定史跡松平氏遺跡大給城跡活用事業（松平支所）

9,753,000円

犯罪に強い地域づくり事業（藤岡支所） 1,140,700円

17 わくわく事業補助金【地域交流課・各支所】

119,616,000円

地域の活動団体を支援し、地域の知恵や工夫を生かした地域課題の解決や個性豊かな地域づくりを推進しました。

<事業種別>

保健、医療又は福祉を通して地域づくりを推進する事業 13件

地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツを通して地域づくりを推進する事業 60件

安全・安心な地域づくりを推進するための事業 20件

地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全を図る事業 113件

子どもの健全育成を通して地域づくりを推進する事業 61件

地域の特性を生かした産業振興のための事業 9件

地域づくりに有効な助言や提言を受けるための事業 0件

その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業

36件

計 312件

<地区別>

旭 17件 7,428千円

足助 13件 8,504千円

稲武 11件 6,275千円

小原 23件 10,325千円

上郷 10件 3,346千円

末野原 6件 2,517千円

逢妻 10件 2,049千円

朝日丘 10件 4,279千円

梅坪台 7件 2,874千円

浄水 7件 2,355千円

崇化館 7件 1,416千円

豊南 17件 4,533千円

井郷 17件 5,613千円

石野 14件 5,635千円

猿投 11件 6,987千円

猿投台 10件 3,795千円

保見 10件 4,611千円

下山 13件 5,937千円

前林	12件	2,850千円
竜神	15件	2,807千円
若園	6件	1,385千円
若林	6件	3,168千円
高橋	7件	1,863千円
益富	11件	2,553千円
美里	15件	2,952千円
藤岡	13件	5,995千円
藤岡南	5件	3,011千円
松平	9件	4,553千円

18 住民自治推進費【地域交流課・総合山村室】

35,848,883円

- (1) 地域における外国人住民と日本人住民の共生をめざし、自治区に対し、翻訳支援を行いました。また、自治区運営の改善取組を共有するため、自治区改善取組発表会を開催しました。

128,340円

- (2) 空き家情報バンクへの登録物件掘り起しのため、空き家所有者等を対象とした講演会を実施しました。

603,300円

- (3) 山村地域等に新たな定住者を確保するため、空き家情報バンクで成約した物件の改修に係る費用を補助しました。

23件 25,434,000円

- (4) 空き家情報バンクへの登録を促進するため、空き家の家財処分等に係る費用を補助しました。

19件 3,551,000円

- (5) 山村地域等の地域活性化のため、当該地域の空き家を活用し、起業する者に対し、利子補給を実施しました。

2件 96,543円

- (6) 山村地域における低未利用地を活用した宅地供給の検討のため候補地調査を行いました。

6,035,700円

19 市民の誓い推進費【地域交流課】

299,153円

- 明るく住みよい地域社会づくりを推進するため、市民の誓いの啓発・普及に努めました。

市内全小中学校、特別支援学校へ市民の誓い啓発ポスター及びひまわりのたね賞シール配布を実施しました。

20 都市内分権推進費【地域交流課】

100,000円

- 地域会議の効果的な運営のために、ファシリテーション研修等を実施しました。

21 地域づくり振興基金積立金【地域交流課】

		10,000,000,000円
地域づくりの振興を図るため、基金を積み立てました。		
2- 2- 2目	安全対策費	
		(前年度)
当初予算額	464,972,000円	(452,199,000円)
予算現額	464,971,000円	(457,210,457円)
決算額	458,316,418円	(454,212,742円)
翌年度繰越額	3,049,000円	(0円)
不用額	3,605,582円	(2,997,715円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		3,049,000円
公用車取得事業		3,049,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	安全対策事務費【交通安全防犯課】	3,498,603円
	新入学児童に反射材付黄色帽子を配付したほか、国道153号上の電光掲示板の点検、補修を実施しました。	
2	交通指導員活動費【交通安全防犯課】	1,590,190円
	児童等の登下校時の交通指導及び交通安全の啓発活動のため、交通指導員30人を配置し、交通事故防止に努めました。	
3	高齢者交通安全費【交通安全防犯課】	13,472,870円
(1)	交通安全教育費	12,167,870円
	75歳以上の高齢者が住む世帯を訪問し、交通安全指導を行い高齢者の交通事故防止に努めました。	
	訪問地区	青木小学校校区始め24小学校区
	訪問世帯数	9,280世帯
(2)	後付け安全運転支援装置設置費補助金(9/10)	
		1,305,000円
	65歳以上の高齢ドライバーに対して、後付けのアクセルとブレーキの踏み間違い加速抑制装置の設置を促進しました。	
	交付台数	27台
4	若者交通安全費【交通安全防犯課】	300,000円
	若者に対する交通安全対策として、豊田地区安全運転管理協議会のヤングドライバーセーフティ推進委員会が実施する事業を支援しました。	
5	安全対策推進費【交通安全防犯課】	8,557,600円
(1)	安全教育費	1,498,200円

高齢ドライバーを対象に交通の状況に応じた実践的な安全運転技能の習得を図る講習を実施しました。

実施回数 8回

受講者数 166人

(2) 自転車安全教育費 2,002,000円

自転車の安全利用に関する知識や技能を習得するための実践的な講習を実施しました。

実施回数 19回

受講者数 134人

(3) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金(1/2)

5,057,400円

自転車利用者に対して、ヘルメットの着用を促進しました。

交付個数 2,615個

6 交通安全推進調査費【交通安全防犯課】 1,958,000円

交通事故発生状況を把握し交通安全対策の基礎資料とするため、小学校区別の交通事故マップを作成しました。

7 交通安全学習センター費【交通安全防犯課】

391,551,613円

(1) 管理運営費 218,086,175円

指定管理者 豊田交通教育(株)

一般来場者数 75,330人

団体講習受講者数 13,009人/330回

出張講習受講者数 6,647人/56回

イノシシ等の害獣侵入防止対策を実施しました。

(2) 施設整備費 173,465,438円

交通安全学習センターの施設整備費用を平成22年4月から令和7年3月まで年4回、計60回に分割して支払いました。

8 県派遣職員人件費負担金【交通安全防犯課】10,558,618円

派遣職員数 1人

9 交通安全市民会議負担金【交通安全防犯課】13,132,924円

(1) 警察、交通安全関係団体等との密接な連携の下、全市的な啓発活動や地域・職域を中心とした交通安全運動を積極的に展開しました。

(2) 歩行者側からドライバーに対し「とまってくれてありがとう」と感謝を伝える取組を全市的に展開しました。

(3) 交通安全の推進に尽力された個人・団体の表彰を行いました。

交通安全功労者 2名

交通安全グリーン功労章 18名・4団体

- (4) 交通事故死ゼロの日、交通安全市民運動期間中及び交通死亡事故多発非常事態宣言発令期間中などに広報活動を行い、啓発に努めました。また、運動期間中には関係機関・団体と協力して街頭活動を行い、交通安全意識を高めました。

10 豊田みよし・足助交通安全協会負担金【交通安全防犯課】

4,108,000円

豊田みよし交通安全協会及び足助交通安全協会が実施する交通安全事業を支援しました。

11 校区交通安全推進協議会補助金(10/10)【交通安全防犯課】

55校区

9,588,000円

◆特記事項

公用車取得事業において、購入予定車両の出荷停止の影響により年度内の購入が困難となったため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【交通安全防犯課】

2-2-3目 市民相談費

(前年度)

当初予算額	18,521,000円	(	22,007,000円)
予算現額	18,226,000円	(	19,130,000円)
決算額	15,353,007円	(	15,272,391円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	2,872,993円	(	3,857,609円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 市民相談事務費【市民相談課】 13,605,455円

(1) 職員による相談受付及び関係機関との連携 799件

(2) 専門家による相談 1,799件

主な内訳：法律相談 1,117件

家庭悩みごと相談 194件

税務相談 104件

登記相談(名義変更) 180件

その他 204件

(3) 通訳職員による外国語対応 8,763件

(ポルトガル語・スペイン語・英語)

通訳 8,503件、翻訳 260件

(4) 遠隔通訳サービス事業(映像・電話) 3,135件

(ポルトガル語始め22言語)

(5) 陳情・要望等 10件

2款 総務費

(6) おくやみコーナー	1, 6 5 7 件
2 人権推進費【市民相談課】	1, 4 0 3, 3 5 2 円
人権教室の実施	
(1) 講演会	開催回数 1 4 回
	参加人数 4, 7 5 2 人
(2) 講座、ワークショップ	開催回数 2 5 回
	参加人数 4, 1 8 8 人
3 豊田人権擁護委員協議会負担金【市民相談課】	3 4 4, 2 0 0 円
2- 2- 4目 交流館費	
	(前年度)
当初予算額	749,002,000円 (630,802,000円)
予算現額	967,163,135円 (832,894,000円)
決算額	915,916,000円 (607,571,328円)
翌年度繰越額	7,920,000円 (215,130,000円)
不用額	43,327,135円 (10,192,672円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	7,920,000円
長寿命化改修設計事業（猿投北交流館外 2 館）	5,940,000円
長寿命化改修設計事業（稲武地域交流館）	1,980,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 交流館事務費【地域交流課】	24,792,192円
2 交流館施設管理運営費【地域交流課】	555,088,710円
指定管理者（公財）豊田市文化振興財団	
施設利用者数（交流館全 28 館）	
ア 総利用者	延べ 2,482,927人
イ うち講座参加者	延べ 25,053人
ウ うち図書利用者	延べ 260,887人
3 地域交流館施設管理運営費【小原支所】	1,145,814円
小原地域交流館管理運営費	1,145,814円
4 交流館施設保全費【建築保全・住宅課】	100,277,430円
崇化館交流館空調機修繕等を行いました。	
5 地域交流館施設保全費【建築保全・住宅課】	22,030,432円
(1) 小原地域交流館施設保全費	10,040,432円
小原交流館駐車場の舗装修繕等を行いました。	
(2) 足助地域交流館施設保全費	11,990,000円
足助交流館非常用発電機修繕を行いました。	

6 交流館施設整備費【地域交流課】	209,151,422円
(1) 諸営繕工事	28,859,622円
ア 28交流館にWi-Fi整備を行いました。	
イ 稲武交流館ほか3館で電話機更新を行いました。	
(2) 駐車場整備費	1,800円
(3) 長寿命化推進費	180,290,000円
ア 末野原交流館で外壁・空調等改修工事を行いました。	
イ 梅坪台交流館ほか3館で受変電設備改修工事を行いました。	
7 交流館活動費【地域交流課】	3,430,000円
交流館ふれあいまつりに補助金を交付しました。	
参加市民	90,300人
開催地区	28地区

◆特記事項

- ・長寿命化改修設計事業（猿投北交流館外2館）において、事業の平準化を図るため、9月議会で5,940千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域交流課】
- ・長寿命化改修設計事業（稲武地域交流館）において、事業の平準化を図るため、9月議会で1,980千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【稲武支所】

2- 2- 5目 挙母地域振興費

		(前年度)
当初予算額	244,727,000円	(297,142,000円)
予算現額	235,250,700円	(460,361,324円)
決算額	228,953,638円	(436,188,668円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	6,297,062円	(24,172,656円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【地域交流課】	692,000円
地域の課題解決のための検討及び提言を行いました。	
逢妻地域会議（委員17人）9回開催	
住民の防災意識向上に向けた取組について検討しました。	
朝日丘地域会議（委員14人）10回開催	
住民の防災意識向上に向けた取組について検討しました。	
梅坪台地域会議（委員10人）8回開催	
地域と子どものつながりに向けた取組について検討しました。	
浄水地域会議（委員10人）9回開催	

団体や世代を超えた地域のつながりや地域における移動支援について市長へ提言を行いました。

崇化館地域会議（委員17人）10回開催

地域課題の掘り起こしを行い提言に向けた検討を行いました。

豊南地域会議（委員16人）10回開催

地域課題の掘り起こしを行い提言に向けた検討を行いました。

2 地域振興事業費【地域交流課】 175,206,150円

(1) 地域振興事務交付金

自治区が実施する環境美化、地域福祉等の活動の活性化を図り住みよい生活環境を築きました。

48自治区 140,879,150円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

地区コミュニティ会議が実施する青少年育成、地域福祉、環境保全等の取組を通して、コミュニティの健全な発展を図るとともに、ふれあい豊かで住みよい地域社会を築きました。

6地区コミュニティ会議 2,220,000円

逢妻、朝日丘、崇化館、豊南 各380千円

梅坪台 360千円

浄水 340千円

(3) 自治区活動備品整備費補助金（10/10・5/10）

自治区活動に使われる机、イス、AED等の備品の整備に対する補助を行い、自治区活動の推進を図りました。また、重点パソコン等の整備に対する補助を行い、自治区のデジタル化の推進を図りました。

58件（うち重点パソコン等21件）8,006,000円

(4) 防犯灯設置費補助金（定額）

自治区に対し、防犯灯の設置を助成し、安全で安心な地域づくりを推進しました。

省エネ型 新設44灯、更新240灯、移設15灯

撤去9灯

ポール 設置等10灯 9,615,000円

(5) 放送施設整備費補助金（5/10）

放送施設の整備に対する補助により、自治区活動の推進を図りました。

改修3件、移設2件 722,000円

(6) 地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）

集会施設の整備に対する補助により、ふれあい豊かな住民自治の推進を図りました。

改修24件、バリアフリー3件、増築1件	
10,970,000円	
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
自主防災会の育成及び活動を支援するため、防災マップの作成及び防災資機材の整備等に対し補助金を交付しました。	
資機材22件、防災マップ3件、防災士取得2件	
2,794,000円	
3 地域課題解決事業費【地域交流課】	3,239,407円
地域会議等で集約した地域意見を基に、地域の活性化などに取り組み、地域課題の解決を図りました。	
管理費	428,120円
逢妻地域	安全・安心・ゆとりの交通安全事業業
305,195円	
梅坪台地域	梅坪台地域健康づくり事業
40,642円	
浄水地域	多世代交流事業
1,921,250円	
崇化館地域	地域と一体となった水害対策事業
544,200円	
4 西部コミュニティセンター費【地域交流課】	49,816,081円
西部コミュニティセンターの適切な維持管理に努めました。	
また、備品等を更新しました。	
指定管理者 (株)豊田ほっとかん	
施設利用者数 70,013人	
2-2-6目 高橋地域振興費	
(前年度)	
当初予算額	184,741,000円 (199,105,000円)
予算現額	185,463,000円 (191,474,375円)
決算額	171,902,268円 (185,521,852円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	13,560,732円 (5,952,523円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 地域会議運営費【高橋支所】	591,780円
高橋地域会議(委員17人)12回開催	
新たな地域課題解決事業について協議し、「高齢者支援」と	
「担い手不足」の課題解決に向けた提言書をまとめました	
益富地域会議(委員17人)12回開催	
新たな地域課題解決事業について協議し、「高齢者の孤立化対	

策や移動手段の確保」の課題解決に向けた提言書をまとめました。

美里地域会議（委員18人）13回開催

新たな地域課題解決事業について協議し、高齢者の実態把握をするため、「高齢者福祉に関する調査」の実施について提言しました。

高橋代表者会議（委員6人）2回開催

各地域会議の委員構成及び新たな地域課題に関する提言について意見交換を実施しました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高橋支所・建築保全・住宅課】

73,476,145円

事務室パイプカーテン取替修繕、トイレ排風機修繕等を行いました。

指定管理者 ホームメックス（株）

施設利用者数 123,767人

3 地域振興事業費【高橋支所】 89,287,508円

（1）地域振興事務交付金

43自治区 62,092,508円

（2）地区コミュニティ推進交付金

3地区コミュニティ会議 1,120,000円

高橋・美里 各380千円

益富 360千円

（3）自治区活動備品整備費補助金（10/10・5/10）

31件（うち重点パソコン等9件） 3,976,000円

（4）防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型 新設40灯、移設15灯、更新138灯

ポール設置4本、撤去2本 6,730,000円

（5）放送施設整備費補助金（5/10）

移設・増設・修理 13件 2,380,000円

（6）地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）

改修・バリアフリー20件 10,690,000円

（7）自主防災事業補助金（1/2）

施設 1件

資機材21件 2,299,000円

4 地域課題解決事業費【高橋支所】 8,546,835円

管理費 102,850円

高橋地域 危険箇所みんなで共有 交通安全大作戦

708,290円

2款 総務費

益富地域	地域の防災力向上事業	240,000円
	将来を見据えた「益富地区まちづくり計画」策定	4,255,928円
美里地域	「みさと」の「みんな」で交流促進事業	3,128,092円
3地域合同	高橋・美里・益富地区 ラリーフォトコンテスト	111,675円

2- 2- 7目	上郷地域振興費
	(前年度)
当初予算額	93,935,000円 (115,776,000円)
予算現額	83,330,000円 (101,998,625円)
決算額	82,051,508円 (92,883,130円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	1,278,492円 (9,115,495円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1	地域会議運営費【上郷支所】	537,190円
	上郷地域会議（委員15人）12回開催	
	上郷地域における課題解決に向け、防災に関する解決策について協議を実施しました。	
	末野原地域会議（委員16人）12回開催	
	末野原地域における課題解決に向け、防災に関する解決策について協議を実施しました。	
2	支所・コミュニティセンター管理費【上郷支所・建築保全・住宅課】	12,814,853円
(1)	事務費	516,745円
(2)	施設管理費	7,119,000円
	指定管理者（公財）豊田市文化振興財団	
	上郷公園グラウンドの施設利用者数	12,704人
(3)	施設保全費	5,179,108円
	上郷コミュニティセンターふれあいホールの舞台機構修繕を行いました。	
3	地域振興事業費【上郷支所】	62,222,998円
(1)	地域振興事務交付金	
	28自治区	46,934,998円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	

2款 総務費

2地区コミュニティ会議	740,000円
上郷 360千円 末野原 380千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
29件(うち重点パソコン等10件)	
	4,952,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設19灯、更新7灯、移設7灯、撤去3灯、	
ポール設置等5本	
	1,212,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
増設1件、移設1件、改修1件	1,077,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
増築1件、改修19件、バリアフリー1件	
	5,945,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
資機材16件、防災マップ1件	1,362,000円
4 地域課題解決事業費【上郷支所】	3,012,611円
上郷地域 地域で取り組む交通安全対策事業	
	506,220円
地域防災対策支援事業	824,623円
末野原地域 みんな安全・安心!思いやりのまち	
末野原プロジェクト	
	1,612,578円
2地域 チョイソコにこにこバスをもっと便利にする事業	
	69,190円
5 地域交通推進費【上郷支所】	3,463,856円
上郷・末野原地域の生活交通手段の確保及び利用促進を図るため	
に上郷地域バス運営協議会を開催しました。また、デマンド運行への	
改編後3年の運行評価に係る基礎資料の作成を(公財)豊田都市	
交通研究所に委託しました。	
年間利用者数	4,279人

2- 2- 8目 高岡地域振興費

(前年度)

当初予算額	322,676,000円	(	314,230,000円)
予算現額	352,856,300円	(	302,812,825円)
決算額	347,021,740円	(	294,055,273円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	5,834,560円	(	8,757,552円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【高岡支所】 682,120円

前林地域会議(委員19人)9回開催

「商業機能を起点とした地域の活性化促進事業」について、実施内容の検討を行いました。

竜神地域会議(委員17人)11回開催

安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」について、実施内容の検討を行いました。

若園地域会議(委員16人)11回開催

「若園交流館等を拠点とした地域交流、地域活動の拡大事業」について、実施内容の検討を行いました。また、新たな地域課題解決事業について協議し、高齢者福祉の課題解決に向けた提言内容の検討を行いました。

若林地域会議(委員18人)10回開催

「地域住民がつながる防災対策事業」について、実施内容の検討を行いました。また、新たな地域課題解決事業について、提言内容の検討を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高岡支所】 66,363,317円

指定管理者 アクティオ(株)

施設利用者数 155,960人

高岡コミュニティセンター等の適切な維持管理に努めました。

3 地域振興事業費【高岡支所】 115,577,066円

(1) 地域振興事務交付金

26自治区 74,619,066円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

4地区コミュニティ会議 1,480,000円

前林、竜神 各380千円 若園、若林 各360千円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)

31件(うち重点パソコン10件) 5,278,000円

2款 総務費

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設71灯、更新304灯、移設6灯、撤去1灯	
従来型 撤去 1灯	
ポール 新設 2本	13,303,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
1件	500,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
増築1件、改修39件、バリアフリー5件	
	18,648,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
防災倉庫1件、資機材等21件	1,749,000円
4 地域課題解決事業費【高岡支所】	14,133,842円
管理費	1,257,549円
前林地域 安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」	
	268,749円
商業機能を起点とした地域の活性化促進事業	
	4,224,000円
災害に強いまちづくり事業	64,873円
竜神地域 安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」	
	2,128,463円
竜神防災力向上事業	65,563円
若園地域 若園交流館などを拠点とした地域交流、地域活動の拡大事業	1,265,000円
若林地域 地域住民がつながる防災対策事業	
	1,753,411円
高美町桜並木の保存	1,696,200円
安全・安心なまちづくり「通学路の交通安全対策」	
	129,763円
4 地域 高岡4地域防災力向上事業	255,110円
世界ラリー選手権を生かした交通安全啓発事業	
	761,566円
青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動	
	263,595円
5 地域交通推進費【高岡支所】	150,265,395円
前林地域の通勤者、通学者、高齢者等の生活交通手段の確保を図るため、ふれあいバスの運行を行いました。	
年間利用者数 2路線 148,631人	
また、ふれあいバスの老朽化に伴い、車両2台を更新しました。	

2- 2- 9目 猿投地域振興費

(前年度)

当初予算額	221,089,000円	(	259,169,000円)
予算現額	197,345,000円	(	214,552,300円)
決算額	188,817,135円	(	205,498,171円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	8,527,865円	(	9,054,129円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【猿投支所】 790,324円

地域の課題解決のための提言・検討を行いました。

井郷地域会議(委員16人)10回開催

「防犯対策・環境整備」の2分野について地域課題の深掘りを行い、提言に向けた検討を行いました。

石野地域会議(委員14人)9回開催

「自治振興・防災対策」の2分野について地域課題の深掘りを行い、提言に向けた検討を行いました。

猿投地域会議(委員17人)11回開催

「自治振興」の分野について地域課題の深掘りを行い、提言に向けた検討を行いました。

猿投台地域会議(委員19人)10回開催

「防災対策」の分野について地域課題の深掘りを行い、提言に向けた検討を行いました。

保見地域会議(委員14人)10回開催

「まちぐるみ 気づき つながる健康づくり」について市長に提言を行いました。

「自治振興」の分野について地域課題の深掘りを行い、提言に向けた検討を行いました。

猿投代表者会議(委員10人)1回開催

諮問答申、提言、地域課題解決事業及びわくわく事業等の意見交換を実施しました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【猿投支所・建築保全・住宅課】

32,780,245円

(1) 事務費 883,352円

(2) 施設管理費 14,746,397円

体育館・武道場の指定管理者(公財)豊田市文化振興財団

体育館・武道場の施設利用者数 36,120人

(3) 施設保全費 15,988,236円

2款 総務費

猿投コミュニティセンター屋上防水修繕等を行いました。

(4)	施設整備費	1,162,260円
	LED照明賃貸借	
3	出張所管理費【猿投支所】	425,870円
4	地域振興事業費【猿投支所】	116,995,649円
(1)	地域振興事務交付金	
	56自治区	63,413,367円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	5地区コミュニティ会議	1,674,282円
	井郷	314,282円
	猿投台	360,000円
	猿投・保見	各340,000円
	石野	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
	51件(うち重点パソコン等22件)	6,534,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設43灯、移設9灯、更新59灯	
	ポール 新設4本、撤去1灯	3,961,000円
(5)	放送施設整備費補助金(5/10)	
	移設4件、増設・修理6件	2,253,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	新築1件、改修22件、バリアフリー2件、増築1件	36,432,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材等33件	2,728,000円
5	地域課題解決事業費【猿投支所】	19,913,214円
	管理費	1,378,496円
	井郷地域	井郷まちづくりプラン推進事業
		2,585,363円
		安全で安心して歩けるまちづくり事業
		6,291,780円
	石野地域	人と人がつながる・石野地区つながる防災事業
		1,521,322円
	猿投台地域	矢作川河畔環境整備事業4,125,522円
	保見地域	すみよい保見地区「生活環境向上事業」
		4,010,731円
6	地域交通推進費【猿投支所】	14,319,901円
	保見・石野地域の生活交通手段を確保するため、地域バスの運行	

2款 総務費

を行いました。また、利用促進を図るため、地域バス運営協議会を開催しました。

保見地域バス年間利用者数 3路線 1,339人

石野地域バス年間利用者数 3路線 761人

7 地域活動推進費【猿投支所】 3,591,932円

地域が活用している三河線廃線敷の草刈りの実施と5地区スポーツ大会を開催しました。

2- 2-10目 松平地域振興費

(前年度)

当初予算額 59,489,000円 (62,670,000円)

予算現額 34,493,000円 (46,449,093円)

決算額 32,367,272円 (41,683,562円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 2,125,728円 (4,765,531円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【松平支所】 141,000円

松平地域会議(委員16人)10回・研修1回開催

「第2次松平地域まちづくり構想」に基づき、地域課題の掘り起こしを行い提言に向けた検討を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【松平支所】

1,579,731円

施設の適正な維持管理を行いました。

3 地域振興事業費【松平支所】 20,890,508円

(1) 地域振興事務交付金

22自治区 15,191,508円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

松平地区コミュニティ会議 340,000円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)

16件(うち重点パソコン等3件) 1,315,000円

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)

省エネ型 新設14灯、移設1灯、更新18灯

ポール 撤去3本 1,157,000円

(5) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)

改修 7件 1,985,000円

(6) 自主防災事業補助金(1/2)

資機材16件 902,000円

2款 総務費

4 地域課題解決事業費【松平支所】	9,756,033円
管理費	398,927円
地域ぐるみの子育て事業	35,860円
松平移住定住促進事業	343,863円
歴史・文化の継承事業	365,200円
松平地域防災事業	3,684,183円
支障木の伐採支援事業	4,928,000円
2- 2-11目 藤岡地域振興費	
(前年度)	
当初予算額	244,137,000円 (239,881,000円)
予算現額	226,021,000円 (238,776,575円)
決算額	214,307,900円 (234,932,085円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	11,713,100円 (3,844,490円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 地域会議運営費【藤岡支所】	336,683円
藤岡地域会議 (委員16人)11回開催	
「藤岡地区まちづくりビジョン」の改正に向けた協議を行いました。	
藤岡南地域会議(委員16人)11回開催	
「藤岡南地区まちづくりビジョン」の改正に向けた協議を行いました。	
2 支所管理費【藤岡支所】	24,924,801円
(1) 事務費	1,233,751円
(2) 施設管理費	8,834,450円
(3) 施設整備費	14,856,600円
藤岡支所管理地の排水整備工事等を行いました。	
3 地域振興事業費【藤岡支所】	44,827,736円
(1) 地域振興事務交付金	
24自治区	26,422,736円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
2地区コミュニティ会議	680,000円
藤岡・藤岡南 各340千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
26件(うち重点パソコン等11件)2,379,000円	
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	

	省エネ型 新設39灯、更新162灯、移設2灯	
	ボール 新設3本	7,075,000円
(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修10件	6,549,000円
(6)	自主防災事業補助金(1/2)	
	防災マップ1件、資機材13件、防災士資格取得1件	
		1,722,000円
4	地域課題解決事業費【藤岡支所】	20,368,006円
	管理費	192,015円
	藤岡地域 安心・安全なまちづくり事業	187,563円
	藤岡南地域 防災SAKURAが咲くまちづくり事業	
		147,635円
	多世代交流拠点「ふじなんBASE」発掘事業	
		39,758円
2地域	健康づくり事業	426,900円
	石畳ふれあい広場魅力向上事業	
		6,050,010円
	「自慢したいまち」藤岡の魅力発掘・発信事業	
		2,159,125円
	支障木伐採事業	6,600,000円
	ふじの回廊周辺活性化事業	4,565,000円
5	地域交通推進費【藤岡支所】	51,021,014円
	藤岡地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バス3路線の運行を行いました。また、藤岡地域バス運営協議会を5回開催し、今後の運行形態について協議しました。	
	年間利用者数 3路線	31,560人
6	藤岡地域核まちづくり推進費【藤岡支所】	1,485,000円
	藤岡地域核周辺における持続可能なまちづくりを進めるため、居住促進に必要な情報を整理しました。	
7	地域活動推進費【藤岡支所】	17,864,000円
	地域観光協会補助金(定額)	
	藤岡地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、藤岡観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	飯野川桜ライトアップ	4月1日～7日 7,450人
	ふじまつり	4月20日～5月5日 29,450人
	ふじおか夏まつり	7月13日 4,000人
	ふじおか紅葉まつり	11月22日～24日 53,450人
8	一般観光施設費【藤岡支所】	6,838,680円

2款 総務費

管理施設等 ふじの回廊、城ヶ根山展望台、天狗岩展望台、 上川口公衆便所、東海自然歩道、木瀬散策路休憩所	
9 石畳ふれあい広場施設費【藤岡支所・建築保全・住宅課】	21,465,706円
(1) 施設管理費	12,995,706円
指定管理者 藤岡石畳地区地域づくり協議会	
施設利用者数 46,158人	
(2) 施設保全費	8,470,000円
石畳ふれあい広場足湯源泉ポンプ等取替修繕を行いました。	
10 藤岡ふれあいの館費【藤岡支所】	25,176,274円
(1) 管理運営費	24,772,574円
指定管理者 ホーメックス(株)	
施設利用者数 40,574人	
(2) 施設整備費	403,700円
アスベスト分析調査等を行いました。	
2- 2-12日 小原地域振興費	
	(前年度)
当初予算額	255,968,000円 (181,716,000円)
予算現額	309,009,000円 (190,830,607円)
決算額	214,588,341円 (169,851,750円)
翌年度繰越額	82,128,000円 (9,170,000円)
不用額	12,292,659円 (11,808,857円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	82,128,000円
小原和紙のふるさと改修事業	40,128,000円
雑敷里山林遊歩道整備事業	42,000,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 地域会議運営費【小原支所】	762,159円
小原地域会議(委員18人)12回開催	
まちづくり計画「第2期おばらみらいプラン」の進捗管理を行いました。また、地域課題解決事業の評価を行いました。	
2 支所管理費【小原支所・建築保全・住宅課】	15,247,832円
(1) 事務費	1,095,323円
(2) 施設管理費	12,768,709円
(3) 施設保全費	1,383,800円
3 地域振興事業費【小原支所】	13,693,752円

(1)	地域振興事務交付金	
	12自治区	8,868,752円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	小原地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
	備品購入4件(うち重点パソコン等3件)	500,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設21灯、更新11灯	
	ポール 新設2本	1,180,000円
(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修5件	2,514,000円
(6)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材等9件	311,000円
4	地域課題解決事業費【小原支所】	13,031,691円
	管理費	99,000円
	まちづくりリーダー育成事業	79,859円
	定住促進サポート事業	1,011,849円
	高齢者を地域で支える体制づくり	204,734円
	耕作放棄地整備支援事業	692,169円
	おばらマルシェ創出事業	584,540円
	四季桜・紅葉の育成体制の構築事業	2,957,420円
	市場跡活用事業	1,395,020円
	生活道路環境整備推進事業	6,007,100円
5	地域交通推進費【小原支所】	22,762,684円
	小原地区の生活交通手段の確保のため、おばら桜バスをエリアデマンド方式により運行しました。また、おばら桜バス利用促進会を1回開催し、運行内容などを検討しました。	
	運行日数 241日(平日5日間運行 タクシー車両2台)	
	利用者数 3,501人	
6	観光交流推進費【小原支所】	144,736円
	川見四季桜の里に設置した和紙原料展示畑を適正管理しました。	
7	地域活動推進費【小原支所】	20,590,000円
	地域観光協会補助金(定額)	20,590,000円
	四季桜まつり期間における来訪者受入の取組のほか、小原観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	四季桜まつり期間 来訪者数 63,280人(推計)	
8	一般観光施設費【小原支所】	8,260,750円
	施設管理費	8,260,750円

2款 総務費

管理施設 小原ふれあい公園、四季桜公園、小原親水公園、
平畑公衆便所、樽俣公衆便所、築平公衆便所、
有平橋公衆便所、上仁木公衆便所、川見公衆便所、
川見駐車場、上仁木駐車場、川見さくら広場

9 小原和紙のふるさと費【小原支所】

82,165,280円

豊田小原和紙工芸を世界に向けて情報発信し、地域文化の向上と
発展に資する事業を実施しました。

(1) 施設管理費 29,980,161円

施設来場者数 21,131人

紙漉き体験者数 2,271人

(2) 施設整備費 35,766,500円

小原和紙のふるさと改修事業として釜場改修等の設計及び工事
を実施しました。併せて、支障木の伐採等を行いました。

(3) 展覧会開催費 4,712,422円

愛知少年院職業訓練展等7回展覧会を開催しました。

展覧会観覧者数(美術館入館者) 4,488人

(4) 小原和紙育成事業費 6,740,407円

小原地区子ども和紙作品展を開催しました。

参加者 159人 展示 159作品

伝統的和紙漉きと豊田小原和紙工芸技術講習を実施し、後継者
の育成に努めたほか、和紙原料の地産化を図りました。

(5) 小原和紙振興費 4,965,790円

「和紙良いフェスタ2024」を開催するとともに、市内外の
イベントに出展し、豊田小原和紙のPRを図りました。

和紙良いフェスタ参加者 1,200人

カンゾカシキ(コウソ収穫と皮剥) 参加者 112人

豊田小原和紙工芸作品購入 4点

藤井達吉作品額装 9点

PAPER CONNECT TOYOTA2024をポスト
豊田国際紙フォーラム事業として実施しました。

市内交流館(15館)での事業参加者 25,419人

足助地区 紙屋鈴木家住宅等でのアートイベント参加者

1,609人

10 北部生活改善センター費【小原支所・建築保全・住宅課】

4,551,857円

(1) 管理運営費 2,490,380円

指定管理者 小原北部開発推進協議会

2款 総務費

施設利用者数 1, 858人

(2) 施設保全費 2, 061, 477円
11 四季の回廊費【小原支所】 31, 043, 700円

(1) 施設管理費 8, 248, 400円

川見四季桜の里の管理委託や川見瑠璃橋の安全点検、鳥屋平工
房跡地の草刈等を行い、施設を適正に管理しました。

また、柿ヶ入遊歩道排水設備の応急修繕を行いました。

(2) 施設整備費 22, 795, 300円

令和5年6月の大雨により被災した川見四季桜の里の復旧修繕
を実施しました。

12 四季桜まつり渋滞対策費【小原支所】 1, 813, 900円

四季桜まつり期間中に、国道419号の渋滞対策を行うことで
沿線住民の生活や企業活動への影響の緩和を図りました。

13 小原歌舞伎伝承活動負担金【小原支所】 520, 000円

年2回の定期公演への補助金交付、各交流館やイベントへの出
張講座等、小原歌舞伎の普及及び人材育成を目的とする小原歌舞
伎保存会の活動を支援しました。

◆特記事項

・小原和紙のふるさと改修事業において、事業の平準化を図るため、9月
議会で55, 880千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。

【小原支所】

・雑敷里山林遊歩道整備事業において、天候不順により工事の遅延が発生
したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度に繰り越しました。

【小原支所】

2- 2-13目 足助地域振興費

(前年度)

当初予算額	545,305,000円	(	492,981,000円)
予算現額	533,327,000円	(	480,115,927円)
決算額	475,302,006円	(	445,946,521円)
翌年度繰越額	22,550,000円	(	0円)
不用額	35,474,994円	(	34,169,406円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 22,550,000円

あゆみ橋修繕事業 22,550,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【足助支所】 252, 020円

2款 総務費

足助地域会議（委員14人）10回開催（3分科会28回開催）
地域課題の解決に向けて、地域会議・分科会で検討を行いました。

2 支所管理費【足助支所・建築保全・住宅課】	18,015,467円
（1）事務費	2,072,081円
（2）施設管理費	15,297,686円
（3）施設保全費	645,700円
非常用発電設備の部品取替修繕を行いました。	
3 地域振興事業費【足助支所】	25,122,646円
（1）地域振興事務交付金	
14自治区	15,548,646円
（2）地区コミュニティ推進交付金	
足助地区コミュニティ会議	340,000円
（3）自治区活動備品整備費補助金（10/10・5/10）	
13件（うち重点パソコン3件）	1,517,000円
（4）防犯灯設置費補助金（定額）	
省エネ型 新設29灯、移設2灯、更新8灯	
ポール 新設 6本、撤去4本	1,482,000円
（5）放送施設整備費補助金（5/10）	
2件	539,000円
（6）地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）	
改修・バリアフリー等 9件	5,136,000円
（7）自主防災事業補助金（1/2）	
防災施設、資機材 4件	560,000円
4 地域課題解決事業費【足助支所】	19,866,357円
（1）地域自治振興費	11,758,080円
森と緑の里山づくり推進事業	
（2）地域定住対策費	760,397円
空き家の提供支援による定住促進事業	
足助通信によるUターン促進事業	
子どもの遊び場創設事業	
（3）地域観光交流費	4,257,880円
旧愛知県東加茂事務所跡地（通称：陣屋跡地）整備事業	
（4）地域防災対策費	2,090,000円
足助地区自主防災力向上事業	
（5）足助地区空き家店舗活用補助金（8/10）	
	1,000,000円
5 地域活動推進費【足助支所】	136,629,219円

- (1) 観光まちづくり事業推進費 146,200円
足助の町並みで新たな取組を開始するため、先進地視察を行いました。
- (2) 足助スクールバス運行費 59,529,456円
スクールバスを運行し、遠距離に居住する児童・生徒等の通学を支援しました。
スクールバス利用児童・生徒実数 114人
- (3) 足助地域バス運行費 50,034,121円
足助地域バス(あいま〜る)を運行し、移動が困難な地区に居住する高齢者等の生活交通を確保しました。
年間利用者数 3,806人
- (4) 地域観光協会補助金(定額) 22,374,708円
足助地区の観光客の誘致及び地域活性化のため、足助観光協会が行う観光事業に対し補助しました。
香嵐溪もみじまつり 11月1日〜30日
約450,000人
中馬のおひなさん 2月8日〜3月9日
約14,600人
- (5) 定住促進費 338,596円
移住定住を促進するための候補地の草刈を実施しました。
- (6) 中学校生徒通学費補助金(10/10)2,895,520円
通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期代を補助しました(名鉄バス利用)。
生徒数 15人
- (7) 中学校生徒通学支援費 885,600円
通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期券を配付しました(おいでんバス利用)。
生徒数 18人
- (8) 山村地域高校機能維持活動推進費 425,018円
足助高等学校の魅力化を支援するため、地域団体等を中心に構成する足助高等学校運営協議会に対し負担金を支出しました。
- 6 一般観光施設費【足助支所】 11,033,194円
- (1) 施設管理費 10,740,154円
観光施設の適切な維持管理に努めました。
管理施設
公衆便所 5か所(追分・藤ノ木・伊勢神・本町・陣屋)
一般観光施設 3か所(東海自然歩道・鈴木正三史跡公園・旧田口家住宅)

指定管理施設 2か所

ア 田町活性化施設

指定管理者 田町自治会

イ 西町活性化施設

指定管理者 (有)あすけ町づくり工房

(2) 施設整備費 293,040円

老朽化した観光案内看板の撤去等を行いました。

7 香嵐渓費【足助支所・建築保全・住宅課】185,209,973円

(1) 施設管理費 128,036,703円

香嵐渓園地及び園地内施設について適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (株)三州足助公社

駐車場利用台数 小型 106,596台

大型 1,698台

足助屋敷入館者数 41,590人

足助村利用者数 4,280人

(2) 施設保全費 30,298,070円

香嵐渓内施設の屋根修繕等を行いました。

(3) 施設整備費 1,331,000円

西町第2駐車場の碎石舗装・法面修繕を行いました。

(4) 再整備費 25,544,200円

香嵐渓を観光資源として健全に保全していくため、もみじの育成に支障のあるスギ等の除伐を実施しました。また、香嵐渓の施設整備の計画をまとめた香嵐渓活性化計画を策定しました。

8 百年草費【足助支所・建築保全・住宅課】69,054,030円

(1) 管理運営費 67,019,030円

指定管理者 (株)三州足助公社

施設利用者数 宿泊2,022人 入浴13,337人

(2) 施設保全費 2,035,000円

バルコニー手すりの修繕を行いました。

9 里山耕費【足助支所】10,030,100円

(1) 施設管理費 9,780,100円

「里山くらし体験館 すげの里」について適切な維持管理に努めました。

延べ来館者 2,759人

うち簡易宿泊利用者 385人

(2) 里山耕流塾負担金 250,000円

イベント開催のため、消耗品等の購入を行いました。

- 10 足助観光施設整備基金積立金【足助支所】 89,000円
香嵐渓産間伐材活用パートナーシップ事業における分配金を積み立てました。

◆特記事項

あゆみ橋修繕事業において修繕に必要な部材（材料）の調達に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。

【足助支所】

2- 2-14目 下山地域振興費

（前年度）

当初予算額	495,357,000円	（ 202,859,000円）
予算現額	491,141,000円	（ 220,644,000円）
決算額	475,560,603円	（ 181,432,735円）
翌年度繰越額	0円	（ 23,500,000円）
不用額	15,580,397円	（ 15,711,265円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 地域会議運営費【下山支所】 147,315円
下山地域会議（委員14人） 11回開催
地域課題解決の提言に向けた協議検討を行いました。
- 2 支所管理費【下山支所】 21,065,931円
 - （1）事務費 805,619円
 - （2）施設管理費 20,260,312円
- 3 地域振興事業費【下山支所】 17,067,399円
 - （1）地域振興事務交付金
 - 7自治区 8,893,399円
 - （2）地区コミュニティ推進交付金
 - 下山地区コミュニティ会議 320,000円
 - （3）自治区活動備品整備費補助金（10/10・5/10）
 - 5件（うち重点パソコン等2件） 755,000円
 - （4）防犯灯設置費補助金（定額）
 - 省エネ型 新設68灯、更新58灯
 - ポール 新設 6本 4,512,000円
 - （5）地域集会所施設整備費補助金（8/10・5/10）
 - 改修 5件
 - バリアフリー 1件 2,234,000円
 - （6）自主防災事業補助金（1/2）
 - 資機材 4件 353,000円

2款 総務費

4	地域課題解決事業費【下山支所】	16,103,579円
	管理費	340,747円
	しもやまスマイルプラン推進事業	202,472円
	しもやま魅力発見事業	2,567,608円
	しもやま都市と山村の共生推進事業	148,634円
	しもやま観光戦略プラン推進事業	1,973,000円
	下山地区支障木伐採事業	9,460,000円
	世界ラリー選手権を生かした安心安全なまちづくり推進事業	1,411,118円
5	地域交通推進費【下山支所】	28,674,106円
	地域バス利用者数	10,542人
6	地域活動推進費【下山支所】	15,321,675円
(1)	定住促進費	321,675円
	2戸2戸作戦宅地分譲事業のPRを行いました。	
(2)	地域観光協会補助金(定額)	15,000,000円
	下山地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、しもやま観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	しもやま夏まつり	8月 参加者約2,500人
	三河高原アドベンチャー10～11月	参加者 420人
	しもやま三河湖花火	11月 参加者 約800人
	レンタサイクル	5～12月 参加者 38人
	しもやまフォトコンテスト	応募数 328点
7	観光交流推進費【下山支所】	5,076,214円
	豊田しもやまラリーに合わせたイベントの開催など、地域を盛り上げる取組を行いました。	
8	下山基幹集落センター費【下山支所】	3,746,666円
	管理運営費	
	下山基幹集落センターの適切な維持管理に努めました。	
	指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数	7,102人
9	下山憩の家費【下山支所】	6,672,919円
	管理運営費	
	下山憩の家の適切な維持管理に努めました。	
	指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数	3,168人
10	香恋の里費【下山支所】	87,766,847円
(1)	施設管理費	62,469,929円
	指定管理者 (株)香恋の里	

2款 総務費

施設利用者数	香恋の館	66,690人
	手づくり工房山遊里	55,773人
	ふれあい公園	33,345人
	(11月～)三河湖観光センター	18,210人
(2)	施設整備費	6,098,618円
	香恋の館テント庇取替改修等を行いました。	
(3)	長寿命化推進費	19,198,300円
	香恋の館の受変電設備の更新を行いました。	
11	三河湖観光費【下山支所】	273,917,952円
(1)	施設管理費	2,001,054円
	三河湖園地の適切な維持管理に努めました。	
	施設利用者数	12,320人
(2)	施設整備費	271,916,898円
	三河湖観光センター再整備が完了し、令和6年11月にリニューアルオープンしました。	

2- 2-15目	旭地域振興費
----------	--------

		(前年度)
当初予算額	702,366,000円	(315,304,000円)
予算現額	694,810,000円	(318,665,073円)
決算額	676,547,640円	(308,209,103円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	18,262,360円	(10,455,970円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	地域会議運営費【旭支所】	147,000円
	旭地域会議(委員14人)12回開催	
	第2次旭地区まちづくり計画・後期計画の策定に向けて、前期計画の総括や後期計画の骨子案をまとめました。	
2	支所管理費【旭支所】	40,554,451円
(1)	事務費	1,366,412円
(2)	施設管理費	10,568,239円
(3)	施設整備費	28,619,800円
	旭支所東側の擁壁改修工事を行いました。	
3	地域振興事業費【旭支所】	7,776,529円
(1)	地域振興事務交付金	
	5自治区	5,801,529円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	

2款 総務費

	旭地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
	3件(うち重点パソコン等1件)	207,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設5灯、更新2灯	216,000円
(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修2件	1,232,000円
4	地域課題解決事業費【旭支所】	22,149,241円
	旭木の駅プロジェクト推進事業	450,000円
	定住促進事業	719,900円
	あさひ高齢者見守り事業	57,200円
	地域資源を活かした「花の里づくり事業」	8,639,684円
	通行支障木の伐採支援事業	9,086,000円
	ツキノワグマ対策事業	2,335,850円
	里山の景観保全支援事業	860,607円
5	観光交流推進費【旭支所】	5,114,468円
	観光拠点周辺の渋滞対策として、警備員による誘導や案内看板等を設置し、観光客や地元住民への影響を緩和しました。	
6	地域活動推進費【旭支所】	51,829,914円
(1)	地域観光協会補助金(定額)	12,076,392円
	旭地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、旭観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	上中のしだれ桃 3月24日～4月14日	約7,500人
	小渡夢かけ風鈴 7月14日～8月31日	約10,000人
	旭やまびこ花火大会 8月15日	約2,000人
	笹戸温泉じねんじょ・もみじまつり 11月23日、24日	約2,000人
(2)	旭バス運行費	39,753,522円
	旭地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスを運行しました。	
	地域バス利用者数	1,777人
7	一般観光施設費【旭支所】	4,451,132円
	東海自然歩道・矢作ダム周辺施設・笹戸公園・公衆便所の清掃や草刈りを実施し適切な維持管理に努めました。	
8	旭高原自然活用村費【旭支所・建築保全・住宅課】	501,066,263円
(1)	管理運営費	116,157,669円
	指定管理者 (株)旭高原	

- 施設利用者数 122,518人(愛知県自然の家含む。)
- (2) 施設保全費 2,444,904円
野外ステージ東面壁張替ほか修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 382,463,690円
キャンプデッキエリア水回り施設取得、人工造雪設備の更新等を行いました。
- 9 笹戸生活改善センター費【旭支所】 726,000円
笹戸生活改善センターについて適切な維持管理に努めました。
指定管理者 笹戸自治区
施設利用者数 3,537人
- 10 つくば工房費【旭支所】 115,016円
農林水産物処理加工施設「つくば工房」について適切な維持管理に努めました。
- 11 旭農林会館費【旭支所・建築保全・住宅課】7,277,000円
(1) 管理運営費 4,307,000円
指定管理者 旭観光協会
施設利用者数 2,676人
(2) 施設保全費 2,970,000円
非常用照明取替修繕を行いました。
- 12 浅野会館費【旭支所・建築保全・住宅課】10,872,644円
(1) 管理運営費 2,182,644円
指定管理者 浅野自治区
施設利用者数 1,204人
(2) 施設保全費 8,690,000円
浄化槽取替修繕を行いました。
- 13 敷島農村環境改善センター費【旭支所】 1,617,202円
敷島農村環境改善センターについて適切な維持管理に努めました。
指定管理者 敷島自治区
施設利用者数 7,785人
- 14 築羽農村環境改善センター費【旭支所】 1,097,580円
築羽農村環境改善センターについて適切な維持管理に努めました。
指定管理者 築羽自治区
施設利用者数 3,625人
- 15 城山森林公園費【旭支所】 774,400円
森林環境の学習の場としての「城山森林公園」について適切な維持管理に努めました。

2款 総務費

16	介護予防拠点施設老人憩の家あさひ荘費	
	【旭支所・建築保全・住宅課】	
		11,078,800円
(1)	管理運営費	7,448,800円
	指定管理者 敷島自治区加塩町内会	
	施設利用者数 4,025人	
(2)	施設保全費	3,630,000円
	第2あさひ荘屋根塗装修繕を行いました。	
17	里山林整備事業費【旭支所】	9,900,000円
	里山林を整備し、地域の交流拠点を築くための整備を行いました。	
2- 2-16目	稲武地域振興費	
		(前年度)
	当初予算額	346,194,000円 (333,137,000円)
	予算現額	350,324,000円 (328,383,710円)
	決算額	344,425,742円 (320,564,870円)
	翌年度繰越額	0円 (0円)
	不用額	5,898,258円 (7,818,840円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	地域会議運営費【稲武支所】	164,704円
	稲武地域会議(委員15人)11回開催	
	稲武地域における「子育て・子育て」の環境づくりについて、市長へ提言を行いました。	
2	支所管理費【稲武支所】	5,292,587円
(1)	事務費	3,626,165円
(2)	施設管理費	1,666,422円
3	地域振興事業費【稲武支所】	33,852,429円
(1)	地域振興事務交付金	
	13自治区	8,460,429円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	稲武地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(10/10・5/10)	
	7件(うち重点パソコン等4件)	748,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設18灯、更新13灯	1,350,000円
	ポール 新設9本	

(5)	地域集会施設整備費補助金 (8 / 10 ・ 5 / 10)	
	改修3件	530,000円
(6)	自主防災事業補助金 (1 / 2)	
	資機材1件	130,000円
(7)	財産区まちづくり支援交付金	
	8自治区	22,314,000円
4	地域課題解決事業費【稲武支所】	20,700,605円
	管理費	19,654円
	稲武移住定住促進事業	1,400,000円
	どんぐりラボ推進事業	5,518,000円
	城山整備事業	7,125,185円
	生活道路における支障木伐採事業及びラリーをいかした交通安全推進事業	6,637,766円
5	観光交流推進費【稲武支所】	6,410,000円
	シロキヤラリーの開催に合わせて、地域を盛り上げるためのイベント等を実施しました。	
6	地域活動推進費【稲武支所】	62,901,900円
(1)	地域観光協会補助金 (定額)	17,609,000円
	稲武地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、いなぶ観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	ひな祭り	2月から4月上旬 約4,700人
	大井平公園もみじまつり	11月 約43,000人
	いなぶの四季を写そう写真大会	応募数184点
(2)	稲武地域バス運行費	42,446,100円
	稲武地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスの運行とイベント開催時に合わせた利用促進活動を行いました。	
	年間利用者数	8,358人
(3)	児童生徒通学支援費	1,252,800円
	遠距離通学者の利便を図るために、路線バス利用者に通学定期券を支給しました。	
	通学定期券支給者数	児童33人 生徒10人
(4)	三市ふれあい協定事業費	1,594,000円
	ふるさとふれあいウォーキング大会の開催及び名古屋市中学生の植樹体験事業を実施しました。	
7	一般観光施設費【稲武支所】	8,220,650円
	施設管理費	
	観光施設の適切な維持管理に努めました。	
	管理施設	水別広場・大井平公園・城山公園・押川大滝公園

名倉川遊歩道・どんぐりの森

8 どんぐりの里費【稲武支所・建築保全・住宅課】

156,094,488円

(1) 管理運営費 150,658,866円

指定管理者 (株)どんぐりの里いなぶ

施設利用者数 どんぐりの湯 137,626人

どんぐり横丁 402,585人

(2) 施設保全費 3,410,000円

どんぐりの湯浴槽循環ろ過装置更新修繕を行いました

(3) 施設整備費 2,025,622円

老朽化した真空包装機を更新しました。

9 稲武どんぐり工房費【稲武支所】 15,947,729円

(1) 管理運営費 9,662,130円

山里体験プログラムをコーディネートし、体験型観光を推進しました。

指定管理者 いなぶ観光協会

施設利用者数 12,615人

(2) 施設整備費 6,285,599円

老朽化した冷蔵庫の更新及びどんぐり工房にスロープを整備するための設計を行いました。

10 帰農者滞在施設費【稲武支所】 1,349,914円

管理運営費

帰農者滞在施設の適切な維持管理に努めました。

11 農林漁家高齢者センター費【稲武支所】 4,745,000円

管理運営費

農林漁家高齢者センターの適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター

施設利用者数 1,098人

12 面ノ木風力発電所費【稲武支所】 23,907,553円

施設管理費

面ノ木風力発電施設3基の適切な維持管理に努めました。

売電電力量 1,989,700kWh

13 養蚕・製糸文化伝承活動負担金【稲武支所】 4,838,183円

稲武地区の養蚕製糸文化を伝承するため、家庭用の養蚕キットを製作し、分散型養蚕を試行的に実施しました。

2款 総務費

2- 3- 1目 税務総務費			
		(前年度)	
当初予算額	972,098,000円	(	931,093,000円)
予算現額	1,015,857,000円	(	939,482,000円)
決算額	985,662,567円	(	911,717,602円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	30,194,433円	(	27,764,398円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 人件費（固定資産評価審査委員会委員6人、一般職117人、非常勤一般職37人）【市民税課・人事課】	980,589,665円		
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	2,544,680円		
3 固定資産評価審査委員会事務費【市民税課】	1,000円		
4 市民税税務事務費【市民税課】	2,046,762円		
5 資産税税務事務費【資産税課】	480,460円		

2- 3- 2目 賦課費			
		(前年度)	
当初予算額	774,207,000円	(	297,579,000円)
予算現額	862,486,200円	(	306,924,963円)
決算額	836,609,532円	(	295,936,772円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	25,876,668円	(	10,988,191円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 市民税等賦課事務費【市民税課】	334,975,446円		
個人市民税納税義務者	237,208人		
法人市民税納税義務者	8,927人		
事業所税納税義務者	719人		
申告相談受付	6,287人		
不申告等調査	3,421件		
扶養調査	12,458件		
法定資料箋調査	2,417件		
<その他の取組事業>			
自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。			
2 資産税等賦課事務費【資産税課】	402,435,068円		

2款 総務費

固定資産税納税義務者	
土 地	139,025人
家 屋	127,497人
償却資産	12,472人
土地現況地目調査	12,536件
土地路線調査	46本
家屋調査（新増築等調査）	2,081件
〃（取壊し調査）	1,658件
償却資産の実地調査等	836件
＜その他の取組事業＞	
自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。	
3 軽自動車税賦課事務費【市民税課】	57,475,763円
軽自動車税課税件数	140,140件
軽自動車申告等処理	50,965件
軽自動車税未納分等調査	256件
＜その他の取組事業＞	
自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。	
4 電子申告システム推進費【市民税課】	41,723,255円
エルタックス電子申告	37,485件
国税連携データ	74,641件
2- 3- 3目 徴収費	
(前年度)	
当初予算額	765,347,000円 (462,261,000円)
予算現額	750,758,800円 (439,271,037円)
決算額	642,540,687円 (397,030,260円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	108,218,113円 (42,240,777円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 徴収事務費【債権管理課】	385,067,278円
(1) 現年滞繰合計収納率	目標99.25% 実績99.43%
滞納繰越分市税徴収額	目標 2.5億円 実績 2.7億円
(2) 口座振替加入率（R7年度当初）	45.80%
口座振替新規加入件数	9,985件
口座振替新規加入増加率	5.41%

2款 総務費

督促状、催告書発行件数	192,448件
(3) 電話等催告件数(委託)	64,905件
返戻督促状処理件数(調査推進員)	3,721件
差押件数(不動産、動産、債権、参加差押)	3,451件
猶予件数(徴収、換価)	13件

<その他の取組事業>

自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。

2 電子収納システム推進費【債権管理課】	40,993,243円
ページー納付件数	17,461件
ゆうちょ銀行納付件数	25,677件
コンビニ納付件数	359,473件
(内 税)	326,233件)
(公課)	28,796件)
(その他債権)	4,444件)
スマートフォン決済納付件数(バーコード)	7,887件
(内 税)	6,722件)
(公課)	981件)
(その他債権)	184件)
3 債権管理推進費【債権管理課】	5,421,707円
弁護士委任件数	134件
回収額	10,072,696円
4 過誤納還付金【債権管理課】	211,058,459円
税額更正、誤った納付による市税の還付等を4,858件執行しました。	

2- 4- 1目 戸籍住民基本台帳費

		(前年度)
当初予算額	1,062,091,000円	(787,283,000円)
予算現額	1,053,235,000円	(784,552,000円)
決算額	961,255,941円	(748,266,528円)
翌年度繰越額	54,417,000円	(0円)
不用額	37,562,059円	(36,285,472円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	54,417,000円
住所関連等実態調査事業(豊田浄水特定土地区画整理事業関連)	54,417,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職52人、非常勤一般職46人）【人事課】
555,910,813円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 3,634,920円
- 3 戸籍住民基本台帳費【市民課】 383,547,545円
(1) 戸籍住民基本台帳事務費 259,221,251円

<年間処理件数>

戸籍届	15,854件（送付分を含む。）
住民基本台帳異動処理	116,146件
印鑑登録	14,513件
出入国在留管理庁連携処理	24,307件
住民票の写し等発行	475,083件（公用・無料含む。）
税証明等発行	102,810件（公用・無料含む。）
臨時運行許可	1,381件
住民実態調査（削除件数）	40件

<参考>（3月31日現在）

本籍数	153,656戸
本籍人口	393,647人
住民登録人口	415,138人
日本人	392,956人
外国人	22,182人
住民登録世帯数	190,271世帯
日本人	177,046世帯
外国人	13,225世帯
印鑑登録者数	270,010人

<その他の取組事業>

- ・自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。
- ・年度末、年度始めの市民窓口の混雑緩和と市民サービスの向上のため、南庁舎1階で休日臨時窓口を開設しました。

実施日及び受付件数

R 6. 4. 7	448件
R 6. 4. 13	253件
R 7. 3. 29	747件

- ・豊田市オリジナル婚姻届を作成し、婚姻届を提出したカップルに記念品と記念写真をプレゼントする結婚お祝い事業を実施しました。

記念品配付数（木製フォトフレーム）1,498個／年

・豊田市オリジナル和紙製フォトスタンドとクリアファイルを作成し、出生届を提出した方にプレゼントする出生お祝い事業を実施しました。

記念品配付数（和紙製フォトスタンド）2,477個／年

(2) 住民基本台帳ネットワークシステム管理費

22,107,008円

<年間処理件数>

広域住民票交付 440件（3の（1）内の再掲）

(3) 個人番号カード交付事務費 74,578,248円

<年間処理件数>

個人番号カード交付（再交付・更新を含む） 45,857件

公的個人認証発行 署名用 51,005件

利用者証明用 35,868件

<参考>（3月31日現在）

個人番号カード保有枚数 339,588枚

個人番号カード保有枚数率 81.6%

<その他の取組事業>

・市民サービス向上のため、休日窓口を16回開設しました。

個人番号カード交付 2,673件

個人番号カード申請 289件

・支所・出張所で出張申請窓口を26回開設しました。

個人番号カード申請 1,016件

・委託業者による福祉施設等での出張申請窓口を26施設で実施しました。

個人番号カード申請 272件

(4) コンビニエンスストアにおける証明書交付推進費

27,641,038円

全国のコンビニエンスストア等の店舗にて証明書交付サービスを実施しました。

コンビニ交付取扱事業者件数 6件

<年間処理件数> (3の（1）内の再掲）

住民票の写し 50,003件

印鑑登録証明書 40,927件

所得課税証明書 5,931件

戸籍全部（個人）事項証明書 10,802件

4 豊田市駅西口サービスセンター費【市民課】18,162,663円

<年間処理件数>

住民票等発行 27,356件（3の（1）内の再掲）

2款 総務費

税証明等発行	6, 1 4 2 件 (3 の (1) 内の再掲)
税等の収納	2, 8 7 6 件
県証紙等の売りさばき	1 9, 9 0 7 件
来客数	3 8, 4 1 0 人
◆特記事項	
住所関連等実態調査事業（豊田浄水特定土地地区画整理事業関連）において、換地処分公告予定日が令和7年1月から10月に変更したため、9月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【市民課】	
2- 5- 1目 選挙管理委員会費	
	(前年度)
当初予算額	2,305,000円 (3,104,000円)
予算現額	2,030,000円 (2,486,000円)
決算額	1,913,347円 (2,205,382円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	116,653円 (280,618円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 人件費（選挙管理委員4人）【選挙管理委員会事務局】	
	754, 200円
2 選挙管理委員会事務費【選挙管理委員会事務局】	
	1, 110, 168円
(1) 委員会の開催（開催回数13回）	
解散に伴う衆議院議員総選挙を10月に執行了しました。	
(2) 選挙人名簿の登録	
登録者数 333, 291人（3月3日現在）	
3 在外選挙人名簿登録事務費【選挙管理委員会事務局】48, 979円	
登録者数 205人（3月3日現在）	
2- 5- 2目 選挙啓発費	
	(前年度)
当初予算額	541,000円 (541,000円)
予算現額	488,000円 (488,000円)
決算額	485,561円 (467,486円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	2,439円 (20,514円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 選挙啓発事務費【選挙管理委員会事務局】 485,561円
- (1) 選挙出前トーク事業
職員による選挙出前トーク（選挙の話、模擬投票）を実施し、選挙に対する意識啓発を図りました。
小学校24校 中学校2校 計26校
- (2) 啓発ポスター募集事業
市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に募集を行い、表彰及び展示を行いました。
応募点数 141点 入選作品 34点
- (3) 啓発グッズの配布
付箋や紙風船等を購入し、交流館祭等に提供しました。
啓発用品支給 21回

2- 5- 3目 衆議院議員総選挙費

当初予算額	0円
予算現額	154,476,609円
決算額	154,476,609円
翌年度繰越額	0円
不用額	0円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（投票管理者127人、投票立会人292人、開票管理者1人、開票立会人7人、期日前投票管理者142人、期日前投票立会人177人、非常勤一般職11人、投票事務等職員手当）
【選挙管理委員会事務局】 54,168,568円
- 2 衆議院議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】 100,308,041円

解散による衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査を10月27日に事務従事者951人によって行いました。126か所の投票所に加え、当日の指定投票所によらず誰でも投票することができる共通投票所を開設しました。また、水素燃料電池バス『SORA』を活用した移動期日前投票所を市内自動車学校2校と足助病院に開設しました。

開票については、当日午後9時から豊田市運動公園体育館にて、事務従事者510人によって行い、小選挙区が午前0時30分に、国民審査が午前2時5分に、比例代表が午前3時に終了しました。

愛知県第11区

2款 総務費

衆議院議員総選挙	小選挙区	比例代表
当日の有権者数	333,802人	333,802人
投票者数	211,906人	211,902人
投票率	63.48%	63.48%
最高裁判所裁判官国民審査		
当日の有権者数	333,802人	
投票者数	211,831人	
投票率	63.46%	
2- 6- 1目 統計調査総務費		
		(前年度)
当初予算額	955,000円	(1,302,000円)
予算現額	617,000円	(1,243,000円)
決算額	527,935円	(1,130,190円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	89,065円	(112,810円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 統計事務費【(総)庶務課】		127,220円
2 統計書等発行費【(総)庶務課】		396,715円
(発行図書名)	(発行部数)	
『豊田市統計書』	100冊	
『豊田市の人口』	50冊	
3 調査員研修費【(総)庶務課】		4,000円
2- 6- 2目 基幹統計費		
		(前年度)
当初予算額	23,967,000円	(16,084,000円)
予算現額	18,612,000円	(12,400,000円)
決算額	17,955,303円	(12,354,179円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	656,697円	(45,821円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(基幹統計調査指導員12人、基幹統計調査調査員307人、非常勤一般職10人、基幹統計事務職員手当)		
【(総)庶務課】		15,971,845円
2 基幹統計調査費【(総)庶務課】		1,931,852円

2款 総務費

- | | | |
|-------|-------------------------------------|----------|
| (1) | 全国家計構造調査費 | 792,839円 |
| | 調査目的：世帯の所得分布、消費の水準等を明らかにする。 | |
| | 調査期間：令和6年10月・11月 | |
| | 調査対象：18調査区 216世帯 | |
| | 調査従事者数：指導員 6人、調査員 18人 | |
| (2) | 経済センサス調査区管理費 | 5,035円 |
| | 事業所の新設、異動等の情報を基に調査区地図を最新の状態に修正しました。 | |
| (3) | 農林業センサス調査費 | 212,355円 |
| | 調査目的：農林業に関する基礎資料を得る。 | |
| | 基準日：令和7年2月1日 | |
| | 調査対象：農林業を営む世帯及び組織 | |
| | 調査従事者数：指導員10人、調査員303人 | |
| (4) | 国勢調査調査区設定費 | 921,623円 |
| | 令和7年度実施の国勢調査に向けて調査区を設定しました。 | |
| 3 | 統計調査員確保対策費【(総)庶務課】 | 51,606円 |
| | 登録統計調査員163人 | |

2- 7- 1目 監査委員費

		(前年度)
当初予算額	100,545,000円	(106,721,000円)
予算現額	101,586,000円	(98,903,000円)
決算額	99,315,159円	(96,725,449円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,270,841円	(2,177,551円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(監査委員4人、特別職1人、一般職8人)
 - 【監査委員事務局・人事課】 95,417,595円
- 2 監査事務費【監査委員事務局】 3,897,564円
 - ・定期監査
 - 部局監査
 - 工事監査(技術士の協力を得て実施)
 - 学校・こども園監査
 - ・財政援助団体監査
 - ・出資団体監査(公認会計士の協力を得て実施)
 - ・指定管理者監査(公認会計士の協力を得て実施)
 - ・例月出納検査

2款 総務費

- ・ 決算等審査
- ・ 健全化判断比率等審査
- ・ 財産区の定期監査及び決算審査
- ・ 内部統制評価報告書審査

3款 民生費

3款 民生費		
(前年度)		
当初予算額	70,147,962,000円	(65,264,557,000円)
予算現額	77,899,457,746円	(72,858,835,224円)
決算額	75,298,033,169円	(69,379,045,338円)
翌年度繰越額	665,111,454円	(1,336,357,746円)
不用額	1,936,313,123円	(2,143,432,140円)
3- 1- 1目 社会福祉総務費		
(前年度)		
当初予算額	8,502,972,000円	(8,021,965,000円)
予算現額	10,001,977,431円	(9,903,512,138円)
決算額	9,707,595,586円	(9,598,884,973円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	294,381,845円	(304,627,165円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(民生委員推薦会委員4人、社会福祉審議会委員45人、一般職103人、非常勤一般職53人)1,015,774,094円	
	【よりそい支援課・やすらぎ福祉総務課・人事課】	
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】4,776,550円	
3	社会福祉総務事務費【やすらぎ福祉総務課・よりそい支援課】1,926,787円	
4	地域福祉計画推進費【地域包括ケア企画課】3,042,236円	
	第3次地域福祉計画策定に向けたアンケート調査を行いました。	
5	再犯防止推進計画推進費【地域包括ケア企画課】106,190円	
	再犯防止推進委員会を開催し、計画の進捗管理や支援の現状についての意見交換を実施しました。	
6	社会福祉援護費【よりそい支援課・生活福祉課】9,044,856円	
	緊急的に保護を必要とする人の一時宿泊費、医療費、その他日用品費等や、引き取り手のない人の葬儀費用を支援しました。	
7	指導監査費【やすらぎ福祉総務課・障がい福祉課・介護保険課】26,484,150円	
	社会福祉法人・施設、介護保険及び障がい福祉サービス事業者、有料老人ホームの適正な運営及び報酬請求を確認するため、指導、監査業務を実施しました。	
	社会福祉法人・施設指導監督業務	

許可・届出受理件数

社会福祉法人・設立認可 1件

社会福祉法人・定款変更 2件

指導監査実施件数

社会福祉法人監査 4法人(対象法人19法人)

社会福祉施設等監査 40施設(対象施設67施設)

児童福祉関係 35施設(対象施設35施設)

老人福祉関係 4施設(対象施設28施設)

障がい福祉関係 1施設(対象施設4施設)

介護保険サービス事業者指導・ケアプランチェック業務

運営指導件数 147事業所(対象事業所697事業所)

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数123事業所

ケアプランチェック件数

13事業所(対象事業所205事業所)

監査件数 1事業所(1法人)

有料老人ホーム立入検査業務

立入検査件数 12施設(対象施設48施設)

うち指定市町村事務受託法人への委託施設数11施設

障がい福祉サービス事業者指導業務

運営指導件数 125事業所(対象事業所518事業所)

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数122事業所

監査件数 8事業所(2法人)

8 民生児童委員活動費【よりそい支援課】 86,279,680円

(1) 活動事務費 76,603,754円

民生児童委員活動の充実を図るための指導や委員の資質向上のための研修事業を実施しました。また、民生児童委員及び地区協議会に対し、活動の推進を図るため費用弁償費等の支給を行いました。

(研修実績)

地区会長研修 1回

新任委員研修 6回

(2) 地区協議会活動助成費補助金(定額) 9,675,926円

9 遺家族援護費【やすらぎ福祉総務課】 985,800円

(1) 遺家族援護事務費 138,800円

(2) 戦没者遺族連合会事業費補助金(10/10)

847,000円

戦没者遺族連合会が実施する「平和をかたりつく事業」に補助を行いました。

3款 民生費

内容 映像記録「うすれゆく戦中戦後の記憶」制作

10 戦没者追悼費【やすらぎ福祉総務課】 3,458,560円

(1) 戦没者追悼事務費 2,081,560円

戦没者に対し追悼の意を表し平和を祈念するため、豊田市戦没者追悼式を開催しました。

開催日 4月20日(土)

参加者 195人

(2) 戦没者追悼費補助金(10/10) 1,377,000円

地区遺族会が開催する追悼式に対し、補助を行いました。

開催時期 8~11月

開催地区 高橋、高岡、猿投、足助、小原、下山 の6地区

11 中国残留邦人等地域生活支援費【生活福祉課】

1,528,450円

(1) 中国残留邦人等地域生活支援費 1,467,520円

中国残留邦人等が、地域で生き生きとした暮らしを実現するため、支援・相談員を配置しました。

(2) 中国残留邦人等地域生活支援事業費補助金(10/10)

60,930円

中国帰国者支援交流センター等が行う日本語教室等、交流事業に通所するための交通費の助成を行いました。

12 生活困窮者自立支援費【よりそい支援課・生活福祉課】

93,237,216円

社会福祉協議会等に委託し、生活困窮者の相談窓口を設置し生活相談や就労支援などを行いました。また、家計改善や健康管理が必要な被保護世帯に対する支援を行いました

相談件数 延べ 11,423件

住居確保給付金 24件

家計改善支援 延べ 154件

就労準備支援 10件

自立相談支援による就労支援 53件

子どもの学習・生活支援 開催箇所数 6か所

参加児童生徒数 104人

健康管理支援 通知発送326件、新規窓口健康管理支援50件

13 孤独・孤立対策等総合調整費【よりそい支援課】

9,214,153円

交流イベントやセミナーの開催などにより、孤独・孤立問題に関する市民の理解を促進するとともに、つながり合いの機会を創出しました。また、副業人材を登用し、専門的な助言体制を整備しまし

た。

14 重層的支援体制整備事業費【よりそい支援課】

148,688,228円

(1) 生活困窮者自立支援費 96,294,170円

(2) 多機関協働費 52,394,058円

個別支援と支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し(社会福祉協議会委託)、包括的な支援体制の推進を図りました。また、民間事業者との連携により、支援が必要な人の社会参加を進めました。

15 子ども食堂安全確保費補助金(10/10)【よりそい支援課】

225,270円

子ども食堂が安全に運営されるための環境整備に対して助成し、地域において子どもが心身ともに安心できる居場所の確保を推進しました。

補助金交付決定団体 8団体

16 多様な働き方支援事業費【よりそい支援課】6,007,516円

引きこもりなど様々な理由で就労に困難を抱える方への支援のあり方を検討し、モデルケースとして支援を実施しました。

相談件数 30件 就労件数 11件

17 社会福祉大会負担金【やすらぎ福祉総務課】221,620円

福祉功績者を顕彰する社会福祉大会を社会福祉協議会との共催で開催しました。

開催日 12月7日(土)

顕彰者 個人 147人、法人・団体 57団体

18 社会福祉協議会運営費補助金(10/10)【よりそい支援課】

69,164,350円

19 シルバー人材センター運営費補助金(10/10)

【産業人材活躍課】 951,796円

20 地域生活意思決定支援事業費【よりそい支援課】

3,078,113円

判断能力に不安のある方の地域生活を支えるため、意思決定支援や金銭管理などの権利擁護支援の仕組みづくりと支援の試行を実施しました。

また、身寄りのない人への支援の相談窓口を開設しました。

支援試行実績 7件 相談件数 117件

21 社会福祉基金積立金【やすらぎ福祉総務課】

16,310,432円

多くの市民の善意を福祉基金として積み立て、基金の利子を福祉

事業に活用しました。

令和6年度寄附金件数 5件(個人 3件、法人・団体 2件)

基金現在高(令和6年度末) 557,997,071円

22 国民健康保険特別会計繰出金【国保年金課】

3,983,433,212円

(内訳)

保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)900,489,605円

保険基盤安定繰出金(保険者支援分)520,878,307円

未就学児均等割保険税繰出金 14,084,811円

職員給与費等繰出金 724,932,532円

産前産後保険税繰出金 3,351,974円

出産育児一時金等繰出金 40,088,013円

財政安定化支援事業繰出金 123,362,000円

保健事業繰出金 200,834,902円

その他繰出金 1,455,411,068円

23 介護保険事業特別会計繰出金【介護保険課】

4,077,690,968円

介護保険財政運営のため、介護給付費に対する12.5%、地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に対する12.5%、地域支援事業の包括的支援事業等に対する19.25%を市の負担分として繰り出しました。また、低所得者に対して保険料の軽減を行うため、保険料軽減分を繰り出しました。

(内訳)

介護給付費繰出金 3,135,652,080円

地域支援事業繰出金 119,171,832円

包括的支援事業等繰出金 48,699,210円

職員給与費等繰出金 227,310,275円

介護保険事務費等繰出金 405,044,362円

低所得者保険料軽減繰出金 141,813,209円

24 社会福祉費過年度国県支出金返還金 145,965,359円

【よりそい支援課・生活福祉課・介護保険課】

3- 1- 2目 国民年金事務費		
		(前年度)
当初予算額	46,536,000円	(1,639,000円)
予算現額	50,787,500円	(1,639,000円)
決算額	50,530,626円	(1,498,839円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	256,874円	(140,161円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 国民年金事務費【国保年金課】	50,530,626円	
＜その他の取組事業＞		
自治体標準準拠システムを導入するため、データ移行の検証作業等を実施しました。		
3- 1- 3目 医療助成費		
		(前年度)
当初予算額	5,237,465,000円	(4,526,279,000円)
予算現額	5,232,967,500円	(5,089,821,000円)
決算額	4,976,086,124円	(4,793,818,711円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	256,881,376円	(296,002,289円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 福祉医療総務事務費【福祉医療課】	726,931円	
2 子ども医療助成費【福祉医療課】	2,429,072,354円	
市条例・規則に基づき、小学校就学前までの乳幼児、小中学生及び高校生世代の入院医療並びに大学生等の入院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。このうち、小中学生の通院医療、高校生世代の入院医療及び大学生等の入院医療については市単独事業として実施しました。		
なお、市単独事業以外の部分は、県補助制度により1／2補助を受けました。		
受給者証交付者数	乳幼児	18,639人（年度平均）
	小中学生	31,683人（年度平均）
	高校生世代	11,260人（年度平均）
入院助成申請人数	大学生等	69人
3 心身障がい者医療助成費【福祉医療課】	931,817,664円	
市条例・規則に基づき、心身障がい者（身体障がい者手帳1級か		

ら3級所持者、療育手帳A・B判定所持者、自閉症と診断された人等)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5, 160人(年度平均)

- 4 母子・父子家庭医療助成費【福祉医療課】236, 096, 491円
市条例・規則に基づき、母子・父子家庭世帯(所得制限あり)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5, 068人(年度平均)

- 5 精神障がい者医療助成費【福祉医療課】509, 054, 677円
市条例・規則に基づき、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。また、この対象外の人でも、自立支援医療(精神通院)による通院医療の自己負担額を全額、精神疾患の診断書による精神科入院医療については、健康保険自己負担額の半額を助成しました。このうち、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の精神疾患以外に係る入通院医療、自立支援医療(精神通院)による通院医療及び診断書による精神科入院医療は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数

精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者

2, 266人(年度平均)

自立支援医療(精神通院)による通院医療

4, 970人(年度平均)

診断書による精神科入院医療

143人(年度平均)

- 6 福祉給付金助成費【福祉医療課】869, 318, 007円
市要綱に基づき、後期高齢者医療制度の被保険者で、一定の条件(身体障がい者手帳1級から3級所持者、戦傷病者手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者、独居老人等)を満たす人の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

このうち、独居老人等一部の条件の対象者は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数 県補助対象者 6, 652人(年度平均)

市単独事業対象者 951人(年度平均)

3- 1- 4目 福祉センター費

(前年度)

当初予算額	422,083,000円	(	422,476,000円)
予算現額	462,017,000円	(	461,908,000円)
決算額	452,772,047円	(	417,765,532円)
翌年度繰越額	1,980,000円	(	42,700,000円)
不用額	7,264,953円	(	1,442,468円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	1,980,000円
長寿命化改修設計事業(稲武福祉センター)	1,980,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 福祉センター費【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】
 - 100,446,562円
 - (1) 管理運営費 98,807,562円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 156,099人
 - (2) 施設保全費 1,639,000円
非常用発電設備部品交換修繕を行いました。
- 2 藤岡福祉センターふじのさと費 75,207,500円

【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】

 - (1) 管理運営費 38,165,000円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 9,140人
 - (2) 施設保全費 302,500円
浄化槽蓋取替修繕を行いました。
 - (3) 長寿命化推進費 36,740,000円
昇降機及び受変電設備の更新を行いました。
- 3 小原福祉センターふくしの里費【やすらぎ福祉総務課】
 - 79,164,800円
 - (1) 管理運営費 67,001,000円
指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会
施設利用者数 10,421人
 - (2) 施設整備費 12,163,800円
土砂災害防止対策のため、法面測量調査設計を委託しました。
- 4 介護予防拠点施設足助まめだ館費【やすらぎ福祉総務課】
 - 42,627,526円
 - (1) 管理運営費 42,442,000円

3款 民生費

指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数	4,610人
(2) 施設整備費	185,526円
会議テーブルを更新しました。	
5 百年草老人デイサービスセンター費【やすらぎ福祉総務課】	14,591,000円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数	4,450人
6 下山保健福祉センターまどいの丘費【やすらぎ福祉総務課】	46,508,392円
(1) 管理運営費	45,884,000円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数	16,710人
(2) 施設整備費	624,392円
会議テーブルを更新しました。	
7 老人福祉センターぬくもりの里費【やすらぎ福祉総務課】	52,218,412円
(1) 管理運営費	52,094,992円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数	11,435人
(2) 施設整備費	123,420円
壁掛け用扇風機を購入しました。	
8 稲武福祉センター費【やすらぎ福祉総務課】	42,007,855円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数	14,174人
◆特記事項	
長寿命化改修設計事業（稲武福祉センター）において、事業の平準化を図るため、9月議会で1,980千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【やすらぎ福祉総務課】	
3- 1- 5目 物価高騰対応重点支援給付金給付費	
(前年度 3- 1- 6目)	
当初予算額	0円 (0円)
予算現額	4,875,821,315円 (2,995,000,000円)
決算額	4,550,650,231円 (1,787,027,382円)
翌年度繰越額	295,342,094円 (1,201,601,746円)
不用額	29,828,990円 (6,370,872円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	295,342,094円
物価高騰対応重点支援給付金給付事業	295,342,094円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（非常勤一般職3人、物価高騰対応重点支援給付金給付事業事務職員手当）【非課税世帯等給付金推進室】

7,748,653円

- 2 物価高騰対応重点支援給付金給付費【非課税世帯等給付金推進室】

4,542,901,578円

（1）事務費 129,101,578円

（2）物価高騰対応重点支援給付金給付事業費補助金（定額）

4,413,800,000円

基準日（令和5年12月1日）において、令和5年度住民税所得割が非課税である世帯に対し、給付金を給付しました。また、同世帯に属する18歳以下の子どもがいる場合は加算して給付金を給付しました。

住民税均等割非課税世帯

1世帯当たり 7万円 471世帯

住民税均等割のみ課税世帯

1世帯当たり10万円 4,192世帯

子ども加算 1人当たり 5万円 4,388人

基準日（令和6年6月3日）において、令和6年度から新たに住民税所得割が非課税となった世帯に対し、給付金を給付しました。また、同世帯に属する18歳以下の子どもがいる場合は加算して給付金を給付しました。

住民税均等割非課税世帯

1世帯あたり10万円 3,053世帯

住民税均等割のみ課税世帯

1世帯当たり10万円 1,618世帯

子ども加算 1人当たり 5万円 974人

基準日（令和6年12月13日）において、令和6年度住民税均等割が非課税である世帯に対して、給付金を給付しました。また、同世帯に属する18歳以下の子どもがいる場合は加算して給付金を給付しました。

住民税均等割非課税世帯

1世帯当たり 3万円 22,326世帯

子ども加算 1人当たり 2万円 3,218人

令和6年分所得税及び令和6年度個人住民税において定額減税を控除しきれないと見込まれる人に、その控除しきれない額を1万円単位で切り上げて算出した当初調整給付金を給付しました。

支給対象者 61,655人 2,492,290千円

◆特記事項

物価高騰対応重点支援給付金給付事業において、物価高騰対応重点支援給付金の申請期限が翌年度であるため、1月20日専決で

1,043,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【非課税世帯等給付金推進室】

3- 2- 1目 障がい者福祉総務費

(前年度)

当初予算額	2,598,741,000円	(2,495,166,000円)
予算現額	2,677,123,000円	(2,597,822,000円)
決算額	2,628,787,664円	(2,531,096,439円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	48,335,336円	(66,725,561円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(身体障がい程度判定医5人)【障がい福祉課】

4,728,000円

2 障がい者福祉事務費【障がい福祉課】

3,899,808円

3 発達障がい児者支援費【障がい福祉課】

53,300円

発達障がい児の子育て経験のある人を相談役とした情報交換会を3回開催しました。

4 障がい者相談員費【障がい福祉課】

436,280円

4人の身体障がい者相談員及び3人の知的障がい者相談員が、本人や家族の相談に応じ、必要な援助や助言を行いました。

5 身体障がい者手帳交付費【障がい福祉課】

488,741円

身体障がい者手帳交付者(再交付を含む。) 1,461人

6 障がい者生活支援サービス費【障がい福祉課】

(1) 「食」の自立支援費

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし障がい者等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数(3月末現在) 20人

延べ配食数 4,196食

(2) 訪問理美容サービス費

外出困難な障がい者の保健衛生の向上を図るため、理美容師の出張費相当額の助成を行いました。

利用回数 延べ121回

7 障がい者就労・生活支援センター費【障がい福祉課】

3,093,000円

運営を福祉事業団に委託し、障がい者が地域生活において自立と社会参加ができるよう関係機関とのネットワークを活用することで個々のニーズに応じた就労・生活支援を行いました。

8 障がい者就業・生活支援センター運営費補助金(10/10)

【障がい福祉課】 108,113円

9 障がい理解・啓発促進事業費【障がい福祉課】3,070,000円

心のバリアフリー推進講座を実施し、障がい理解の推進を図りました。また、障がいの特性に応じた接し方や障がい者差別解消法に関する動画を制作し、配信及び広告を行いました。

10 障がい者優先調達推進費【障がい福祉課】10,146,400円

障がい者就労施設等の製品を販売する置き型菓子ボックスを公共施設等に設置したほか、共同受注窓口として発注や相談に応じることで、販路の拡大を図りました。

11 障がい福祉事業従事者育成確保費【障がい福祉課】

1,170,000円

強度行動障がい支援者養成研修として、基礎研修に加えて新たにフォローアップ研修を実施し、強度行動障がい者支援の充実を図りました。

12 障がい者社会参加促進費【障がい福祉課】 87,000円

全国ろうあ者体育大会に愛知県代表選手として出場する聴覚障がい者の派遣費用の一部を補助しました。

13 障がい者虐待防止・養護者支援費【よりそい支援課】

19,700円

障がい者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携協力体制を整備し、障がい者虐待の早期発見及び防止に努めました。

14 福祉交通対策費【障がい福祉課】 30,892,413円

(1) ハンディキャブ運行費補助金(2/3)

ボランティアによるリフト付き福祉車両を運行する団体に対し事業費の一部を補助しました。

送迎回数 1,437回

(2) 福祉交通対策負担金

単独で公共交通機関を利用することが困難な障がい者等の外出

手段を確保するため、施設送迎車両の空き時間を利用して送迎を行いました。

送迎回数 869回

(3) 福祉有償運送運営協議会費

障がい者等の移動制約者の生活に必要な輸送を確保するため、NPO法人等が行う福祉有償運送に関し、必要な事項を協議しました。

15 福祉事業団運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】
1,389,755,397円

16 サービス継続支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】
9,000円

新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、必要な障がい福祉サービスが継続して提供されるよう、感染拡大防止に係る消毒液等の購入費や人員不足の事業所に対する職員の応援派遣に係る経費を補助しました。

補助件数 1件

17 ICT導入モデル事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】
981,000円

障がい福祉サービス等事業所が業務効率化及び職員の業務負担軽減のためにICTを導入する際の経費を補助しました。

補助件数 2件

18 ロボット等導入支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】
3,288,000円

障がい者支援施設等事業者が介護業務の負担軽減等を図るためにロボット技術を導入する際の経費を補助しました。

補助件数 1件

19 特別障がい者手当等給付費【障がい福祉課】
209,904,990円

日常生活において常時特別な介護を必要とする最重度の身体・知的障がい者(児)の生活安定のため、手当を支給しました。

受給者数(3月末現在)

特別障がい者手当 421人

障がい児福祉手当 228人

経過福祉手当 2人

20 障がい者手当給付費【障がい福祉課】 801,014,500円

(1) 心身障がい者扶助料給付費

障がい者(児)の生活安定と福祉増進を図るため、手当を支給しました。

助成額（月額）

4, 500円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

4, 000円 身体3級、知的B判定、精神2級

2, 500円 身体4～6級、知的C判定、精神3級

受給者数（3月末現在） 17, 221人

（2）在宅重度心身障がい者手当給付費

日常生活に介護を要する在宅の重度障がい者（児）の福祉増進を図るため、手当を支給しました。

受給者数（3月末現在） 547人

21 障がい者更生援護費【障がい福祉課】 44, 890, 699円

（1）タクシー料金助成費

公共交通機関による移動が困難な障がい者にタクシー料金の一部を助成することで、障がい者の社会参加の促進を図りました。

助成額（年額）

16, 000円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

12, 000円 身体3級、知的B判定、精神2級

4, 000円 視覚障がい4～6級、下肢障がい4級、脳原性移動機能障がい4級

交付者数 15, 395人

（2）心身障がい者扶養共済掛金助成費

障がい者の保護者が死亡又は重度障がい者となった場合の経済的保障となる愛知県心身障がい者扶養共済制度の掛金の一部（一口目の60%）を補助しました。

助成者数（3月末現在） 101人

（3）福祉電話設置費

ひとり暮らしの在宅重度障がい者の自宅に、緊急通報システムを設置し、安心かつ安全な生活の確保に努めました。

緊急通報システム設置者数（3月末現在） 19人

（4）中等度難聴児支援費

中等度以下の難聴児に対して適切な補聴器装用を奨励するために補聴器の購入等費用の3分の2を助成しました。

助成件数 22件

22 難病患者支援費【保健支援課】 50, 876, 870円

特定医療費受給者又は特定疾患医療給付事業受給者のうち対象となる方に支援金を支給しました。

給付者数 1, 695人

23 障がい者福祉費過年度国県支出金返還金【障がい福祉課】

67, 657, 883円

3- 2- 2目 障がい者自立支援費

(前年度)

当初予算額	9,606,549,000円	(8,551,595,000円)
予算現額	10,329,406,000円	(9,079,742,484円)
決算額	10,292,938,802円	(8,961,920,998円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	36,467,198円	(117,821,486円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(障がい支援区分等認定審査会委員12人)【障がい福祉課】
2,679,200円
- 2 自立支援事務費【障がい福祉課】 16,545,369円
- 3 自立支援協議会運営費【障がい福祉課】 52,720円
- 4 介護給付費【障がい福祉課】 5,400,738,834円

(1) 居宅介護費

日常生活に支障のある障がい者(児)の家庭で食事・入浴等の介護や調理、清掃等の援助を行い、障がい者(児)の自立支援と家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数 490人(3月利用実績)

延べ提供量 279,806時間

(2) 生活介護費

障がい者の自立促進、生活能力向上のため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動を提供し、自立の支援と家族の負担軽減を図りました。

利用者数 899人(3月利用実績)

延べ提供量 202,851日

(3) 短期入所費

障がい者(児)の在宅生活の維持向上等のために、短期間入所施設等で食事や入浴、排せつ等の介護等を行い、障がい者(児)の家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数 173人(3月利用実績)

延べ提供量 11,929日

(4) 療養介護費

18歳以上のALS患者・筋ジス患者・重症心身障がい者について、専門の医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を実施しました。

利用者数 31人(3月利用実績)

延べ提供量 11,812日

(5) 施設入所支援費

施設入所する人の安定した日常生活のため、夜間や休日における食事、入浴、排せつの介護等の支援を実施しました。

利用者数 232人(3月利用実績)

延べ提供量 83, 975日

5 障がい者福祉サービス費還付金【障がい福祉課】

5, 335, 950円

同一世帯の障がい者等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払により支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい者福祉サービス費還付金 延べ472件

障がい者福祉サービス費還付金 延べ 17件

6 訓練等給付費【障がい福祉課】 3, 739, 067, 860円

(1) 共同生活援助費

障がい者の地域生活を支援するため、夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行い、障がい者の自立を支援しました。

利用者数 421人(3月利用実績)

延べ提供量 135, 746日

(2) 就労継続支援費

一般企業での雇用が困難な障がい者に対し、就労や生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数 1, 202人(3月利用実績)

延べ提供量 226, 296日

(3) 就労移行支援費

企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数 195人(3月利用実績)

延べ提供量 40, 702日

(4) 就労定着支援費

一般就労した障がい者に対し、企業、自宅等へ訪問するなど、課題解決に向けて必要な支援を実施し就労の定着を図りました。

利用者数 55人(3月利用実績)

延べ提供量 741日

(5) 自立訓練費

日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行いました。

3款 民生費

利用者数 33人(3月利用実績)

延べ提供量 10,060日

7 更生医療支給費【障がい福祉課】 304,611,705円

身体障がい者(主に腎臓、心臓、免疫機能)の障がいの状態の軽減を図るため、施術等の医療費の一部を支給しました。

給付者数 951人

8 補装具費支給費【障がい福祉課】 79,807,977円

身体障がい者等の身体上の障がいを補うための用具の購入や修理に要する費用の一部を支給しました。

給付件数 632件

9 地域生活支援費【よりそい支援課・障がい福祉課】

504,426,253円

(1) 移動入浴費

寝たきり等のため家庭において入浴が困難な在宅重度身体障がい者(児)の健康と衛生を維持するため、移動入浴車を各家庭に派遣し、移動入浴を実施しました。

利用者数 54人(3月利用実績)

延べ提供量 6,157回

(2) 日中一時支援費

障がい者(児)の地域生活を援助するため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動の提供を行い、障がい者(児)の自立支援と家族の負担軽減を図りました。

地域デイ 利用者数 72人(3月利用実績)

延べ提供量 7,147日

日中短期 利用者数 104人(3月利用実績)

延べ提供量 3,804日

(3) ケアスタッフ居宅派遣費

地域で生活する重度全身性障がい者(児)の居宅に、早朝、夜間等のヘルパーが派遣できない時間帯にケアスタッフを派遣し、障がい者(児)の自立生活の支援を実施しました。

利用者数 8人(3月利用実績)

延べ提供量 2,349時間

(4) 教養教室等開設費

障がい者の教養を高め、自主性の高揚を図るため、各種教養教室を開催しました。また、豊田市民文化会館において障がい者作品展を開催しました。

教養教室 延べ受講者数 2,605人

作品展 出展者数 775人

入場者数 1, 736人

(5) 成年後見制度利用支援費

判断能力が不十分な障がい者の権利を守り、法的保護を図るため、成年後見制度の利用促進を目的とした成年後見支援センターの運営業務を委託し、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 310件(高齢者等を含む。)

利用支援事業助成件数 39件

(6) 意思疎通支援費

意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者等を派遣するとともに手話奉仕員等の養成講座、市民向けの手話体験会及び点字体験会を実施しました。また、医療機関版コミュニケーション支援ボードの配布を行い、意思疎通の円滑化を図りました。

意思疎通支援者派遣回数 725回

手話奉仕員講習会 受講者数 63人

要約筆記奉仕員講習会 受講者数 2人

点訳講習会 受講者数 7人

(7) 地域活動支援センター費

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し、創作的活動や日中活動場所の提供をしました。

利用者数 18人(3月利用実績)

延べ提供量 1,942日

(8) 福祉ホーム運営費補助金(10/10)

交付団体数 2か所

利用者数 24人(3月末現在)

(9) 日常生活用具給付費

在宅の障がい者等の日常生活を円滑にするために、日常生活用具及び住宅改修に係る給付を行いました。

ストーマ装具、紙おむつ、動脈血中酸素飽和度測定器等

給付件数 4,941件

(10) 移動支援費

屋外での移動が困難な障がい者(児)にヘルパーを派遣し、外出のための支援を行うことで、社会参加の促進を図りました。

利用者数 320人(3月利用実績)

延べ提供量 33,905時間

(11) 障がい者就労支援奨励金支給費

就労支援事業所等を利用する障がい者に対して、奨励金を支給し、障がい者の就労意欲の向上と継続的な就労活動を支援しました。

3款 民生費

利用者数 1, 599人
利用事業所数 168事業所

(12) 自動車改造等助成費

身体障がい者の就労・社会参加促進のため、免許の条件に合致する自動車改造に要する費用の一部を助成しました。

自動車改造費助成数 15人

(13) 知的障がい者職親費

相当な作業能力を持ちながら就職が難しい知的障がい者を事業主が預かり、職場に定着できるように指導訓練を行いました。

利用者数 1人(3月末現在)

10 重層の支援体制整備事業費【障がい福祉課・保健支援課】

141, 547, 463円

(1) 相談支援費

障がい者(児)及び家族に対して生活支援、相談、福祉サービス利用に関する助言等を総合的に行うため、相談支援事業の委託を行い、障がい者(児)が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように支援しました。

実績

福祉サービスの利用に関する支援	5, 787件
障がいや病状の理解に関する支援	1, 093件
健康・医療に関する支援	1, 173件
不安の解消・情緒安定に関する支援	1, 736件
保育・教育に関する支援	353件
家族関係・人間関係に関する支援	764件
家計・経済に関する支援	601件
生活技術に関する支援	768件
就労に関する支援	729件
社会参加・余暇活動に関する支援	219件
権利擁護に関する支援	225件
その他	1, 321件

合 計 14, 769件

(2) 地域活動支援センター運営費

精神障がい者とその家族等に、相談や日中活動場所等を提供するため、医療法人及び社会福祉協議会に事業を委託しました。

委託先 3か所

11 相談支援給付費【障がい福祉課】 95, 516, 471円

障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細かな支援をしました。

3款 民生費

延べ利用者数 5, 537人

12 医療機関システム改修等事業費補助金(10/10)

【障がい福祉課】 2, 609, 000円

マイナンバーカードを自立支援医療受給者証として利用するため
に必要となる医療機関のシステム改修に対して補助しました。

補助件数 15件

3- 2- 3目 障がい者福祉施設費

(前年度)

当初予算額 687,498,000円 (574,191,000円)

予算現額 548,097,000円 (657,931,516円)

決算額 474,495,955円 (619,600,894円)

翌年度繰越額 32,300,000円 (21,000,000円)

不用額 41,301,045円 (17,330,622円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 32,300,000円

けやきワークス長寿命化改修事業 32,300,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 障がい者総合福祉会館費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】

55, 785, 796円

指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会

障がい者福祉会館延べ利用者数 25, 386人

サン・アビリティーズ豊田延べ利用者数 19, 709人

2 けやきワークス費【障がい福祉課】 27, 325, 896円

指定管理者 (社福) 豊田市福祉事業団

定員 50人 契約者 43人(3月末現在)

3 第二ひまわり費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】

64, 300, 909円

施設の長寿命化改修工事を実施しました。

指定管理者 (社福) 豊田市福祉事業団

定員 55人 契約者 53人(3月末現在)

4 重症心身障がい者通所施設費(暖)【障がい福祉課】

30, 496, 643円

指定管理者 (社福) 豊田市福祉事業団

定員 36人 契約者 31人(3月末現在)

5 さくらワークス費【障がい福祉課】 79, 039, 328円

指定管理者 (社福) こじま福祉会

定員 36人 契約者 23人(3月末現在)

6 知的障がい者グループホーム費【障がい福祉課】

1,900,380円

指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団

定員 7人 契約者 4人(3月末現在)

7 障がい者施設設置支援費【障がい福祉課】 97,184,390円

(1) 公共施設活用管理費

民間事業所に貸与している施設等の維持管理を行いました。

(2) 公共施設活用整備費

民間事業所による公共施設の活用のため、施設の整備を行いました。

(3) 民間障がい者施設整備費補助金(3/4)

施設の修繕費用の一部を補助しました。

補助件数 1件

8 民間障がい者施設運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】

20,326,000円

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設の利用者の処遇向上と健全経営への取組に対して、運営費等の一部を補助しました。

運営費補助 15か所

償還金補助 4か所

9 グループホーム等設置促進費【障がい福祉課】

74,583,453円

障がい者が地域で生活していくための居住の場の運営費の一部を補助しました。

運営費補助 52か所

家賃補助 58か所

賃借運営費補助 1か所

開設準備費補助 3か所

改修費補助 1か所

10 重症心身障がい者等支援費【障がい福祉課】

23,553,160円

(1) 移動支援費

重症心身障がい者等本人が希望に沿った生活を送られるよう、日中活動の場への送迎支援を行いました。

送迎回数 延べ129回

(2) 短期入所利用支援事業費補助金(定額)

重症心身障がい者(児)を受け入れた短期入所事業所に対し、費用の一部を補助し、本人及び家族の福祉の向上を図りました。

- 交付事業所 3か所
- (3) グループホーム受入促進事業費補助金(10/10)
- 重度障がい者等を受け入れられる手厚い支援体制を確保するために、グループホームの運営費の一部を補助しました。
- 交付事業所 2事業所(3住居)
- 受入日数 2,028日
- (4) 家族介護者負担軽減事業費補助金(10/10)
- 緊急時においても、預け先があるといった安心感を確保するとともに、在宅生活を支える重症心身障がい者等の家族負担を軽減するために、受け入れた医療機関に対し、費用の一部を補助しました。
- 利用者数 31人
- 利用日数 1,386日

◆特記事項

けやきワークス長寿命化改修事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【障がい福祉課】

3- 3- 1目 老人福祉総務費

		(前年度)
当初予算額	1,657,808,000円	(1,666,933,000円)
予算現額	1,619,969,013円	(1,906,190,156円)
決算額	1,401,076,556円	(1,538,945,257円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	218,892,457円	(367,244,899円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(入所判定委員会委員3人)【よりそい支援課】
284,400円
- 2 老人福祉総務事務費【高齢福祉課・介護保険課】
1,111,710円
- 3 介護保険制度施行推進費【介護保険課】 2,327,050円
 - (1) 社会福祉法人利用者負担軽減対策費補助金(1/2)
1,235,135円

社会福祉法人が行う介護サービスの利用者負担を減額することにより、低所得利用者の負担軽減を図りました。市は社会福祉法人が自ら減額した金額に応じて、社会福祉法人に対して助成を行いました。

助成法人 3法人

- (2) 在宅サービス低所得者負担軽減対策費 1,091,915円
低所得者の介護サービスの利用支援として、すべての在宅系サービスの利用者負担額の2割を軽減しました。

延べ利用者数 317人

- 4 認知症対策費【高齢福祉課】 1,091,300円

認知症に係る相談体制強化のため、認知症伴走型支援拠点「オレンジはっとテラス」を市内2か所に開設しました。

- 5 重層的支援体制整備事業費 651,456,984円

【よりそい支援課・高齢福祉課・健康づくり応援課】

- (1) 地域包括支援センター運営費 636,506,228円

市内に29か所（基幹型地域包括支援センター1か所を含む）設置し、高齢者の介護・福祉・保健・医療等の総合相談、高齢者の権利擁護の支援、地域のネットワークづくりを行いながら、地域における高齢者の生活を支援しました。

高齢者やその家族に対する相談・対応 延べ171,903人

介護保険の要支援者の介護予防支援 延べ33,154人

事業対象者等の介護予防ケアマネジメント延べ18,664人

介護予防教室・家族介護交流会開催 153回

- (2) 地域介護予防活動支援事業費 2,906,756円

介護予防教室修了後の自主活動グループに対し、講師派遣等の支援を実施しました。

自主活動グループ数 205グループ

- (3) 生活支援体制整備事業費 12,044,000円

支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し（社会福祉協議会委託）、高齢者を中心とした地域の課題解決に向けた協議・連携体制づくりを行いました。

- 6 在宅医療・介護連携推進費【地域包括ケア企画課】

2,733,478円

在宅療養を支える医療・福祉関係者の情報共有ツール「豊田みよしケアネット」の運用を行いました。

豊田みよしケアネット登録施設数 523施設（933人）

登録患者数 1,387人

- 7 介護人材確保事業費【介護保険課】 13,989,320円

介護に関わる人材の定着・確保・育成を支援するための取組を行いました。

介護人材支援基礎研修 受講者数 25人

介護の仕事相談会 参加者数 48人

外国人材日本語学習支援講座・介護福祉士国家試験対策講座

受講者数 29人

8 生活支援サービス費【高齢福祉課・介護保険課】

307,880,046円

(1) シルバーカー購入費助成費 1,908,972円

高齢者の外出する機会を増やすことで、介護予防と社会参加の促進を図るため、歩行の補助として使うシルバーカーの購入費を助成しました。

助成券利用者数 192人

(2) ひとり暮らし高齢者等移動費助成費 28,260,450円

日常生活に介護又は支援を要するひとり暮らし高齢者等が地域社会の中で自立した生活を送ることができるように、タクシー料金の助成を行いました。

助成券交付者数 4,085人

(3) 「食」の自立支援費 208,314,297円

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし高齢者や高齢世帯等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数(月平均) 1,669人

延べ配食数 412,727食

(4) すこやか住宅リフォーム助成費 54,140,753円

要支援・要介護認定者に対し、自宅のバリアフリー化により生活環境の改善を図り、住み慣れた地域で継続して生活ができるように住宅改修費の一部を助成しました。

助成件数 370件

(5) 寝具貸与・クリーニング等サービス費 521,225円

衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具貸与とクリーニング等のサービスを実施しました。

延べ利用者数 139人

(6) 訪問理美容サービス費 233,000円

理美容所へ出掛けることが困難な高齢者が自宅で散髪などのサービスを受けやすくするために、理美容師の出張費相当額を助成しました。

交付者数 162人、延べ利用回数 233回

(7) 家族リフレッシュショートステイ利用費7,481,849円

介護する家族の疲れを癒し、介護に対する心身の負担感の軽減を目的として、介護保険の給付限度額を超えた分のショートステイ利用額を1年に5日を上限に助成しました。

3款 民生費

延べ利用件数 424件

延べ利用日数 915日

(8) 高齢者等補聴器購入助成費 7,019,500円

コミュニケーションの円滑化による生活の質の改善や、社会的孤立を防ぎ、高齢者等の社会参加の促進を図るため、補聴器の購入に要する費用の一部を助成しました。

助成人数 360人

9 安心支援サービス費【よりそい支援課・高齢福祉課】

34,436,878円

(1) 福祉電話設置費 1,526,202円

介護認定のあるひとり暮らし高齢者に対して福祉電話訪問を行い、孤独感の解消と安否確認を行いました。また、呼吸器、循環器等の疾患があるひとり暮らし高齢者に対しては、緊急通報システムを設置し、日常生活での不安解消と安全確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数(6年度末) 17人

緊急通報システム設置者数(6年度末) 56人

(2) 成年後見制度利用支援費 32,425,426円

判断能力が不十分な高齢者の権利を守り、法的保護を図るため成年後見制度の利用促進を目的とした成年後見支援センターの運営委託を行い、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 310件(障がい者等を含む)

(3) お元気ですかボランティア訪問費 485,250円

ひとり暮らし高齢者等の話を傾聴し、孤独感の解消を図るために、お元気ですかボランティアによる高齢者宅への訪問活動を実施しました。

ボランティア総数(6年度末) 132人

延べ訪問回数 896回

10 家族介護支援対策費【よりそい支援課・高齢福祉課】

13,235,892円

(1) 徘徊高齢者家族支援費 1,520,855円

行方不明となった高齢者を早期発見・保護するために、対象者情報の事前登録、見守り安心マークの配布及び行方不明高齢者情報のメール配信を実施しました。また、事前登録者を対象に、介護する家族の心理的負担を軽減するため、個人賠償責任保険事業を実施しました。

事前登録者数(6年度末) 478人

個人賠償責任保険加入者数(6年度末) 470人

見守り安心マーク配付者数 76人

3款 民生費

- 行方不明高齢者情報配信メール 15件
- (2) 生活管理指導短期宿泊費 11,540,687円
日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対して、養護老人ホームへの短期宿泊等の支援を行いました。
- 利用者数 20人 延べ利用日数 1,221日
- (3) 徘徊者搜索機器利用促進費補助金(10/10) 174,350円
認知症により行方不明になるおそれがある高齢者等に対して、GPS機器の導入費用を助成しました。
- 助成人数 10人
- 11 老人福祉施設措置費【よりそい支援課】129,579,071円
日常生活に支障がある高齢者に対して心身の状況、その置かれて
いる環境を勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行いました。
- 措置者数(6年度末) 52人
- 12 在宅老人緊急保護費【よりそい支援課】 3,343,267円
自立した生活を営むことが困難で身寄りが無い等のやむを得ない
事由のある高齢者に対して、特別養護老人ホームへの入所措置を行
いました。
- 措置者数(6年度末) 6人
- 13 敬老金支給費【高齢福祉課】 27,892,205円
贈呈者数: 80歳 4,038人
90歳 1,168人
100歳 79人
- 14 外国人高齢者福祉給付金支給費【生活福祉課】 60,000円
日本国籍を有しない、大正15年4月1日以前に出生した無年金
の方に対し、給付金を支給しました。
- 対象者 1人
- 15 高齢者住宅等安心確保サービス費【高齢福祉課】719,114円
シルバーハウジング入居者に対して、緊急通報装置を設置し、安
心して暮らすことができるように努めました。
- 設置戸数(6年度末) 136戸
- 16 高齢者虐待防止・養護者支援費【よりそい支援課】 110,240円
高齢者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携
協力体制を整備し、高齢者虐待の早期発見及び防止に努めました。
- 17 高齢者活動推進費【地域交流課・産業人材活躍課】 118,425,660円
- (1) 高齢者活動事務費 92,000円

3款 民生費

- (2) 作品展開催費 1,064,000円
出品点数 251点 来場者数 1,723人
(日本画、書道、工芸、洋画、写真、手芸)
- (3) 高齢者活動事務交付金 27,892,770円
高齢者の自主的な地域活動・社会貢献活動を促進し、共働のまちづくりを推進するため、単位高齢者クラブの活動を支援しました。
単位クラブ数 161クラブ 会員数 15,985人
加入率 12.8%(会員数/60歳以上人口)
加入率 15.3%(会員数/65歳以上人口)
交付金執行懇の家数 141か所(懇の家総数 161か所)
- (4) 高齢者クラブ連合会補助金(8/10) 10,396,837円
- (5) 高齢者能力活用推進費補助金(10/10) 77,084,273円
高齢者の生きがいづくり及び多様な社会参加の促進を図るため(公社)豊田市シルバー人材センターに補助を行いました。
会員数 2,021人
受注件数 5,773件
就業延べ人数 135,559人
配分金 620,508,185円
- (6) 懇の家管理運営費補助金(1/2・定額) 1,895,780円
補助金執行懇の家数 延べ27か所
(懇の家総数 161か所)
- 18 金婚祝賀会開催費【地域交流課】 1,639,541円
写真撮影組数 339組
- 19 避難行動要支援者対策費【よりそい支援課】 838,420円
災害時における避難行動要支援者の支援体制の確立を目的に、対象者名簿を整備するとともに、情報提供に同意を得られた方の名簿を地域の支援者等関係者へ提供しました。
避難行動要支援者数及び同意者数(6年度末)
対象者8,315人、同意者6,710人、同意率80.7%
- 20 老人ホーム入所者生活補給金【よりそい支援課】492,600円
養護老人ホーム入所者のうち、無収入又は収入が低額な人に対し生活補給金を支給しました。
支給人数(6年度末) 5人
- 21 介護事業所等サービス継続支援費補助金(10/10)

【介護保険課】 25,241,000円

新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、必要なサービスが継続して提供されるよう、感染拡大防止に係る消毒液等の購入費用や人員不足の事業所に対する職員の応援派遣に係る経費、施設内療養に対する経費を補助しました。

29事業所

22 介護保険関係研修受講料補助金(1/2)【介護保険課】

927,000円

介護サービス事業所職員の研修受講料の助成を行いました。

法人数 19法人

受講者数 35人

23 軽費老人ホーム利用料補助金(10/10)【高齢福祉課】

61,663,192円

軽費老人ホーム利用者の利用料負担の軽減と施設の健全な運営を図るため、施設を運営する社会福祉法人に補助を行いました。

ホーム利用者数(6年度末) 100人

24 老人保健医療事業費【福祉医療課】

793,188円

(1) 一般管理事務費

1,188円

(2) 医療費返還金

792,000円

医療機関等から返還された老人保健医療給付費を高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき処理するために、愛知県後期高齢者医療広域連合へ全額納入しました。

25 老人福祉費過年度国県支出金返還金

805,000円

【よりそい支援課・健康づくり応援課】

3- 3- 2目 高齢者福祉施設費

(前年度)

当初予算額 948,785,000円 (1,771,237,000円)

予算現額 687,105,987円 (1,389,467,844円)

決算額 644,666,735円 (1,301,846,465円)

翌年度繰越額 28,535,000円 (16,286,000円)

不用額 13,904,252円 (71,335,379円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆ 26,555,000円

長寿命化改修等事業(老人福祉センター豊寿園) 26,555,000円

☆繰越明許費☆ 1,980,000円

長寿命化改修設計事業(福祉就業センターふれあいの家) 1,980,000円

3款 民生費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 老人福祉センター豊寿園費【高齢福祉課・建築保全・住宅課】

127,898,095円

(1) 管理運営費 106,350,195円

指定管理者 (社福) 豊田市社会福祉協議会

年間利用者数：個人 81,863人

団体 9,040人

会議・講座等 10,938人

(2) 施設保全費 6,160,000円

複合受信機を取り替えました。

(3) 長寿命化推進費（単年度） 14,507,900円

長寿命化改修ほか工事の設計委託等を行いました。

(4) 施設整備費 880,000円

カラオケ機器を更新しました。

2 高齢者温泉休養施設費【高齢福祉課・建築保全・住宅課】

108,388,302円

(1) 管理運営費 102,833,302円

指定管理者 (株) 平畑温泉観光サービス

年間利用者数：宿泊 6,178人

休憩 13,858人

(2) 施設保全費 5,555,000円

屋根防水塗装等の修繕を行いました。

3 温浴施設費【高齢福祉課】 110,725,392円

指定管理者 (株) 豊田ほっとかん

年間利用者数：103,251人

4 福祉就業センター費【産業人材活躍課】 15,947,189円

管理運営費

指定管理者 (公社) 豊田市シルバー人材センター

5 特別養護老人ホーム等費【介護保険課】 280,754,000円

(1) 建設費補助金（1/2・定額） 180,369,000円

看護小規模多機能型居宅介護等の3施設に対し、建設費等の一部を補助しました。

(2) 施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金（定額）

82,087,000円

認知症高齢者グループホーム等の5施設に対し、開設準備経費の一部を補助しました。

(3) 防災改修等補助金（3/4・定額） 18,298,000円

認知症高齢者グループホーム等の4施設に対し、非常用自家発電

電設備の整備等に対する費用を補助しました。

6 高齢者福祉施設費国県支出金返還金【介護保険課】953,757円

◆特記事項

・老人福祉センター豊寿園長寿命化改修工事において、事業の平準化を図るため、9月議会で総額451,440千円の継続費を設定し、当該年度の年割額26,555千円を翌年度に繰り越しました。

【高齢福祉課】

・福祉就業センターふれあいの家長寿命化改修設計事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で1,980千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業人材活躍課】

3- 3- 3目 後期高齢者医療費

(前年度)

当初予算額	5,081,388,000円	(4,727,273,000円)
予算現額	5,147,439,000円	(4,727,046,000円)
決算額	5,126,613,703円	(4,699,274,962円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	20,825,297円	(27,771,038円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 後期高齢者医療健診費【健康政策課】252,002,858円

対象者 後期高齢者医療制度被保険者(おおむね75歳以上)

受診者数 18,919人

受診率 33.3%

2 療養給付費負担金【福祉医療課】3,787,836,347円

豊田市の療養給付費負担分(全体のうち約1/12)を負担しました。

被保険者数 58,228人(年度平均)

3 後期高齢者医療広域連合事務費負担金【福祉医療課】

102,216,498円

愛知県後期高齢者医療広域連合事務費豊田市分を負担しました。

4 後期高齢者医療特別会計繰出金【福祉医療課】

984,558,000円

(1) 保険基盤安定繰出金 846,503,000円

(2) 職員給与費繰出金 79,059,000円

(3) 後期高齢者医療事務費繰出金 58,996,000円

3款 民生費

3- 4- 1目 児童福祉総務費		
		(前年度)
当初予算額	5,020,712,000円	(4,359,992,000円)
予算現額	5,420,493,706円	(4,542,670,320円)
決算額	5,261,541,416円	(4,320,134,746円)
翌年度繰越額	67,344,360円	(0円)
不用額	91,607,930円	(222,535,574円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		67,344,360円
逢妻ふれあい子ども館解体・駐車場整備事業		67,344,360円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(子どもの権利擁護委員4人、子どもにやさしいまちづくり推進会議委員23人、一般職62人、非常勤一般職129人、児童手当制度改正事務職員手当)		
	【 こども・若者政策課・人事課・おやか応援課 】	
	811,234,453円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	6,999,185円	
3 児童福祉総務事務費【保育課】	1,112,700円	
4 児童相談等事務費【こども相談課】	621,488円	
5 育児電話相談費【こども相談課】	13,068,792円	
	コールセンター育児相談件数 3,469件	
6 児童虐待防止費【こども相談課・おやか応援課】	12,230,082円	
(1) 産前産後支援費	7,368,462円	
	妊婦又は乳幼児を養育する家庭にヘルパーを派遣しました。	
	派遣時間 2,623.5時間	
(2) 児童虐待防止対策費	4,861,620円	
	児童虐待への適切な対応のためスーパーバイザーによる職員向けの研修、助言等を実施するとともに、虐待防止のため市民向けの教育や啓発を実施しました。	
	研修、助言等 41回	
	児童虐待防止教育(CAPプログラム)	
	33か所 111回 1,845人	
	11月の「児童虐待防止推進月間」における広報・啓発活動	
7 児童手当等支給事務費【おやか応援課】	12,859,601円	
8 特別児童扶養手当支給事務費【障がい福祉課】	252,220円	
9 病児保育事業費【保育課】	29,154,000円	

病気やケガの回復期にある児童（病後児）又は回復期に至らない児童（病児）などの集団保育が困難な児童等を市が委託した施設で一時的に預かり、子育てと仕事の両立を支援しました。

実施施設 2施設 利用延べ人数 887人

10 子育てサロン管理運営費【保育課】 4,991,780円

実施交流館 23交流館 利用者 91,822人

11 とよた子育て総合支援センター費【保育課】

16,675,104円

(1) 管理運営費

4,133,125円

6か月から2歳児の預かり専用部屋（一時保育プラス）の施設整備を行いました。

(2) ファミリーサポートセンター費

12,289,379円

ファミリー・サポート・センター事業活動件数 3,691件

(3) ファミリーサポートセンター事業利用費補助金（1/2）

252,600円

ひとり親、多子、多胎児、障がい及び生活保護等の世帯のファミリー・サポート・センター事業利用費に対して補助を行いました。

補助件数 17件

12 志賀子どもつどいの広場費【保育課・建築保全・住宅課】

9,435,560円

(1) 管理運営費

1,747,660円

6か月から2歳児の預かり専用部屋（一時保育プラス）で一時的に児童を預かる事業を実施しました。

ゆうゆう 0歳児318人、1歳児430人、2歳児239人

(2) 施設保全費

7,687,900円

乳児室ほか空調設備修繕を行いました。

13 子ども条例費【こども・若者政策課】 13,895,706円

子どもが幸せに暮らすことができるまちを実現するため、子ども会議の開催、こども園、小中学校などでの子どもの権利学習プログラムの実施、とよたこどもの権利フォーラムの開催などを通じて、子ども条例の推進を図りました。

また、令和7年3月に豊田市こども・若者計画（第4次豊田市子ども総合計画）を策定しました。

子ども会議の開催 8回

権利学習プログラム実施対象 5歳児、小1、小3、小5、中2

地域・保護者向け（4か所）

とよたこどもの権利フォーラム2024の開催

延べ参加者数 487人

14 子どもの権利相談室費【こども・若者政策課】

3,070,151円

子どもの権利擁護委員・子どもの権利相談員による相談を通して
子どもの権利の侵害について、その救済を図り、権利の回復を支援
しました。

新規相談件数 119件

相談延べ回数 933回

15 子どもの居場所づくり推進費【こども・若者政策課】

66,123,228円

主に地域住民による運営で、地域の中に子どもたちが活動する場
や大人たちと交流する場を提供する「地域子どもの居場所づくり事
業」を実施しました。また、逢妻ふれあい子ども館の解体・駐車場
整備工事に着手しました。

地域子どもの居場所づくり事業 実施地区 37地区

16 放課後児童健全育成費【こども・若者政策課】

1,376,969,911円

就労等で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後児童ク
ラブを開設し、児童の健全育成に努めました。また、クラブの支援
内容充実のため、研修を実施しました。令和6年度は全クラブへの
入退出管理システムの導入が完了しました。

開設校数 71校

参加人数 4,157人(夏季 5,823人)

主催研修 9回

17 保育ママ事業費【保育課】

11,025,924円

待機児童対策として、保育ママと市の共働による保育を実施しま
した。

山之手こども園 延べ利用児童数 14人

18 認証保育所交付金【保育課】

72,648,000円

豊田市独自の認証基準に基づき認可外保育施設を評価し、決定し
た認証区分に基づき交付金を交付し、保育環境改善を図りました。

認証保育所数 20施設

19 私立こども園振興費【保育課】

439,196,641円

職員の処遇向上、施設の運営改善、保育内容及び施設の充実を図
るため、運営費等の一部を補助しました。また、物価高騰対策とし
て、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立こども園 7園

園児数 869人(令和6年4月1日時点)

20 私立認定こども園振興費【保育課】

1,795,828,530円

職員の処遇向上、施設の運営改善、教育・保育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、園舎老朽化による改築のため施設整備費の一部を補助しました。さらに物価高騰対策として給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立認定こども園 24園

園児数 4,175人(令和6年4月1日時点)

21 家庭的保育事業等振興費【保育課】 984,610円

物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

家庭的保育事業等 3園

22 認可外保育施設振興費【保育課】 5,639,200円

物価高騰対策として給食材料費、光熱費及び燃料費に係る経費の一部を補助しました。

交付施設数 46園

23 重層的の支援体制整備事業費【保育課】 111,969,388円

(1) 地域子育て支援センター管理運営費 11,506,721円

足助、飯野、伊保、越戸、堤、渡刈、宮口、山之手、若園、稲武大草、大沼、杉本の各子育て支援センターにおいて、子育て中の家庭への育児支援を目的とした講座等の開催、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。

来所者数 13センター 計 54,815人

相談件数 1,017件

(2) とよた子育て総合支援センター管理運営費

76,526,208円

子育て支援の中核施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及びサークル育成を行いました。

来所者数 121,459人

相談件数 202件

(3) 志賀子どもつどいの広場管理運営費 5,449,690円

単独型の支援施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及び屋外施設等を利用した地域との交流活動を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。

来所者数 31,204人

相談件数 239件

(4) 柳川瀬子どもつどいの広場管理運営費

18,486,769円

民間の子育て支援団体との共働で運営し、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。また、施設の適切な維持管理に努め

3款 民生費

ました。

来所者数 43,568人

相談件数 247件

24 児童福祉費過年度国県支出金返還金 445,555,162円

【こども・若者政策課・こども相談課・おやこ応援課・保育課】

◆特記事項

逢妻ふれあい子ども館解体・駐車場整備事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【こども・若者政策課】

3- 4- 2目 児童措置費

(前年度)

当初予算額 13,185,468,000円 (12,087,520,000円)

予算現額 13,222,344,248円 (11,880,075,680円)

決算額 13,073,325,891円 (11,763,799,937円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 149,018,357円 (116,275,743円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 教育・保育給付費【保育課】 5,849,770,995円

私立こども園等の児童の教育・保育の経費(施設型給付費、委託費、地域型保育給付費)を支払いました。

また、市外の保育園等に通園した豊田市民の児童の教育・保育に要する費用も支払いました。

給付対象児童数 5,341人(令和6年4月1日時点)

その他、給食費無償化に伴い、市の給食提供が受けられない児童の保護者に対し、給食費相当額の費用を給付しました。

給付対象者 466人

2 子育て支援施設等利用給付費【保育課】 50,483,362円

預かり保育事業、認可外保育施設等における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。

給付対象児童数 489人(実人数)

3 母子生活支援施設委託措置費【おやこ応援課】

37,467,334円

3月末入所者数 8世帯18人

4 児童手当給付費【おやこ応援課】 7,134,685,000円

3月末受給者数 34,339人

5 子育て短期支援利用費【こども相談課】 919,200円

3款 民生費

保護者の疾病等の理由により、家庭における養育が困難になった
児童を児童養護施設等で一時的に保護・養育しました。
利用者数 49人 延べ利用日数 148日

3- 4- 3目 母子父子福祉費

(前年度)

当初予算額	1,256,112,000円	(1,206,968,000円)
予算現額	1,188,098,000円	(1,167,688,000円)
決算額	1,156,440,102円	(1,150,132,439円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	31,657,898円	(17,555,561円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験支援事業費【おやこ応援課】
36,300円
認定試験合格者数 1人
- 2 母子家庭等就業支援費【おやこ応援課】 1,981,254円
就業支援講習会(豊田会場)参加者数 20人
- 3 児童扶養手当給付費【おやこ応援課】 989,328,030円
3月末受給者数 2,334人
- 4 ひとり親家庭等支援手当給付費【おやこ応援課】
147,045,000円
3月末受給者数 2,712人
- 5 母子父子家庭自立支援給付費【おやこ応援課】
11,383,864円
自立支援教育訓練給付金(介護実務者研修講座等) 4人
高等職業訓練促進給付金(看護師養成機関等) 10人
高等職業訓練修了支援給付金 6人
- 6 母子生活支援施設運営費補助金(1/2)【おやこ応援課】
498,000円
- 7 養育費確保支援事業補助金(10/10)【おやこ応援課】
269,654円
補助者数 15人
- 8 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金【おやこ応援課】
5,898,000円

3款 民生費

3- 4- 4目 保育園費

(前年度)

当初予算額	9,080,074,000円	(8,533,162,000円)
予算現額	9,456,051,046円	(8,650,932,180円)
決算額	8,798,149,857円	(8,294,921,227円)
翌年度繰越額	239,610,000円	(54,770,000円)
不用額	418,291,189円	(301,240,953円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	239,610,000円
長寿命化改修事業 (飯野こども園外1園)	64,460,000円
トイレ改修事業 (伊保こども園外5園)	69,723,000円
長寿命化改修設計事業 (堤ヶ丘こども園)	1,980,000円
長寿命化改修等事業 (大草こども園)	103,447,000円

●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要

- 1 人件費 (こども園医33人、こども園歯科医46人、一般職762人
非常勤一般職1,027人) 【 保育課・人事課 】

7,086,290,143円

- 2 非常勤一般職管理事務費【 人事課 】 36,222,940円

- 3 管理運営費【 保育課 】 382,643,953円

公立こども園 51園 (うち2園休園)

4,139人 (令和6年4月1日時点)

野見こども園で6か月から2歳児の預かり専用部屋 (一時保育プラス) で一時的に児童を預かる事業を実施しました。

野見こども園 0歳児447人

1歳児287人

2歳児170人

上郷こども園で6か月から2歳児の預かり専用部屋 (一時保育プラス) の施設整備を行いました。

- 4 こども園給食運営費【 保育課 】 827,412,594円

公立こども園、私立こども園、私立認定こども園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。

- 5 園児対象事業費【 保育課 】 7,775,900円

自然とのふれあい事業 (総合野外センター) 5歳児対象

動物とのふれあい事業 (移動動物園) 全園児対象 (隔年)

- 6 こども園地域活動費【 保育課 】 539,738円

こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種の行事を実施しました。

(1) 子育てひろば利用者 (公立こども園分) 2,323人

(2)	高齢者福祉施設訪問等世代間交流事業	9 2 回
(3)	地域における異年齢児交流事業	7 6 回
(4)	保護者等への育児講座	5 0 回
(5)	郷土文化伝承活動	5 6 回
(6)	こども園卒園児との交流	5 8 回
7	施設維持補修費【建築保全・住宅課】	1 5 9, 7 5 1, 9 4 0 円
8	施設保全費【建築保全・住宅課】	2 7, 8 3 1, 3 2 0 円
	稲武こども園ほか4園の空調設備修繕等を行いました。	
9	長寿命化推進費【保育課】	1 6, 6 8 3, 4 8 0 円
	梅坪こども園の長寿命化改修設計等を行いました。	
1 0	施設整備費【保育課】	1 9 0, 1 9 9, 5 5 0 円
(1)	諸営繕工事	7 5, 5 1 1, 1 3 5 円
	梅坪こども園の地盤沈下対策への工事設計、上郷こども園の一時保育プラスの施設整備等を行いました。	
(2)	用地取得費	4 7 2, 1 5 5 円
	住吉こども園の駐車場用地を取得しました。	
(3)	トイレ改修費	7 3, 2 5 4, 5 0 0 円
	洋式トイレの再整備として、工事を2園、設計を3園で行いました。	
(4)	I C T推進費	4 0, 9 6 1, 7 6 0 円
	保育士、保護者の負担軽減及び保育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。	
1 1	保育備品整備費【保育課】	6 2, 7 9 8, 2 9 9 円
	園の環境整備のため、遊具の更新や乳母車等の備品を購入しました。	

◆特記事項

- ・長寿命化改修事業（飯野こども園外1園）、トイレ改修事業（伊保こども園外5園）及び長寿命化改修設計事業（堤ヶ丘こども園）において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【保育課】
- ・長寿命化改修等事業（大草こども園）において、入札不調により、年度内に適切な工期が確保できなくなったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保育課】

3- 4- 5目 心身障がい児施設費		
		(前年度)
当初予算額	2,302,141,000円	(1,869,124,000円)
予算現額	2,450,274,000円	(2,146,853,000円)
決算額	2,386,481,894円	(2,099,352,159円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	63,792,106円	(47,500,841円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 児童発達支援費【障がい福祉課】	2,083,763,364円	
(1) 子育て特別支援費	こども園等の給食費無償化制度の適用を受けない児童発達支援事業所を利用する障がい児の保護者に対して、代替給付(児童発達支援昼食費給付金)を行いました。 給付件数 30件	
(2) 児童発達支援費	未就学の障がい児の日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の療育、指導を行いました。 利用者数 345人(3月利用実績) 延べ提供量 40,375日	
(3) 放課後等デイサービス費	就学中の障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等の療育、訓練を行いました。 利用者数 939人(3月利用実績) 延べ提供量 133,106日	
(4) 保育所等訪問支援費	こども園等に訪問し、集団生活に適応することができるよう専門的な支援を行いました。 訪問回数 107回	
2 こども発達センター費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】	241,114,475円	
(1) 管理運営費		
ア 外来相談部門	0歳から3歳頃までの心身の発達の遅れが心配される乳幼児とその保護者を対象として、療育指導、助言を行いました。 外来療育グループ「あおぞら」 登録者 400人 利用延べ人数 10,269人	

外来療育グループ「おひさま」

登録者 236人 利用延べ人数 5,666人
相談業務 4,011件

イ 診療部門「のぞみ診療所」

障がい児の早期発見、診断、治療及び総合的評価を行い、多職種による専門的な訓練等により、発達の促進と機能の改善を図りました。

診療、訓練等の状況（延べ人数）

児童精神科	7,464人	理学療法	2,051人
小児神経科	4,034人	作業療法	3,542人
小児整形外科	2,078人	言語・聴覚療法	3,506人
耳鼻咽喉科	325人	心理療法・検査	1,732人
泌尿器科	47人	検査	2,167件
小児歯科	2,609人	薬局処方	5,888件
外来栄養相談支援	87人		

ウ 通園部門

「なのはな」

就学前の難聴児等を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 30人 契約者 38人（3月末現在）

「たんぽぽ」

就学前の肢体不自由児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 40人 契約者 36人（3月末現在）

「ひまわり」

就学前の知的障がい児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 50人 契約者 50人（3月末現在）

（2）施設保全費

こども発達センターの非常放送設備の修繕を実施しました。

（3）施設整備費

こども発達センターの自動ドア修繕、備品更新等を実施しました。

3 障がい児通所給付費還付金【障がい福祉課】 3,235,324円

同一世帯の障がい児等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払いにより支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい児通所給付費還付金 延べ106件

障がい児通所給付費還付金 延べ585件

3款 民生費

4 相談支援給付費【障がい福祉課】		58,368,731円
障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細やかな支援を実施しました。		
延べ利用者数 3,036人		

3- 5- 1目 生活保護総務費		
(前年度)		
当初予算額	284,270,000円	(269,558,000円)
予算現額	301,100,467円	(266,915,991円)
決算額	292,428,698円	(261,575,327円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	8,671,769円	(5,340,664円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（一般職29人、非常勤一般職14人）【人事課】	273,557,350円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	2,145,360円
3 生活保護総務事務費【生活福祉課】	16,725,988円

3- 5- 2目 扶助費		
(前年度)		
当初予算額	4,198,069,000円	(4,155,043,000円)
予算現額	4,197,592,533円	(4,153,973,009円)
決算額	3,995,270,119円	(4,001,014,106円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	202,322,414円	(152,958,903円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 生活保護扶助費【生活福祉課】	3,963,164,271円
------------------	----------------

生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立ができるよう支援しました。

保護世帯の状況（6年度末）

高齢者世帯	868世帯
母子世帯	99世帯
障がい者世帯	304世帯
傷病者世帯	180世帯
その他世帯	339世帯

3款 民生費

計 1, 790世帯

2 中国残留邦人等支援給付費【生活福祉課】 29, 936, 008円

中国残留邦人等の生活の安定のため、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対して、生活支援給付を実施しました。

生活支援給付費受給世帯の状況（6年度末）21世帯 24人

3 中国残留邦人等配偶者支援金給付費【生活福祉課】

2, 169, 840円

中国残留邦人等死亡後の特定配偶者（中国残留邦人が永住帰国する前から継続して配偶者である者）に対して支援金給付を実施しました。

対象者（6年度末）4人

3- 6- 1目 災害救助費

（前年度）

当初予算額 31,291,000円 （ 24,436,000円）

予算現額 30,793,000円 （ 23,938,000円）

決算額 28,181,163円 （ 22,521,510円）

翌年度繰越額 0円 （ 0円）

不用額 2,611,837円 （ 1,416,490円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 緊急生活物資備蓄対策費【防災対策課】 27, 115, 163円

（1）避難者対策費 22, 916, 482円

災害時の避難者用に緊急生活物資及び資機材を備蓄しました。

飲料水、ミルク（粉、液体）、段ボール更衣室、段ボールベッド、乳幼児用物品等

（2）帰宅困難者対策費 4, 198, 681円

災害時の帰宅困難者用に緊急生活物資を備蓄しました。

ライスクッキー、防寒シート等

2 災害見舞金支給費【よりそい支援課】 1, 066, 000円

支給件数 住宅・家財の全焼 13件

住宅・家財の半焼 4件

死亡 2件

入院 2件

4款 衛生費

4款 衛生費		
(前年度)		
当初予算額	17,045,253,000円	(19,203,332,000円)
予算現額	23,040,148,000円	(19,050,038,314円)
決算額	21,870,927,988円	(17,174,817,233円)
翌年度繰越額	292,667,000円	(235,895,000円)
不用額	876,553,012円	(1,639,326,081円)
4- 1- 1目 保健衛生総務費		
(前年度)		
当初予算額	3,082,263,000円	(2,794,103,000円)
予算現額	3,456,484,000円	(3,020,877,599円)
決算額	3,372,752,706円	(2,605,451,910円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	83,731,294円	(415,425,689円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(統計調査員1人、地域保健審議会委員10人、一般職190人、非常勤一般職54人)【健康政策課・人事課】		
	1,714,058,669円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	4,104,680円	
3 保健衛生総務事務費【地域包括ケア企画課・健康政策課】		
	8,527,133円	
4 地域保健関係職員等研修費【健康政策課】		
	881,286円	
市民の需要に対応した保健・医療・福祉の総合的なサービスを実施するために、地域保健、医療、福祉関係者等に対して、最新情報の提供や研修会等を行いました。		
5 医事監視指導費【健康政策課】		
	145,884円	
病院等を科学的で適正な医療を行う場にふさわしいものとするため立入検査を実施し、人員や構造設備、管理の状況について検査しました。		
また、医療安全支援センターにおいて、市民からの医療に関する相談に対応し、医療安全推進協議会を開催しました。		
	立入件数	指導件数
病院	18か所	66件
一般診療所	79か所	127件
歯科診療所	50か所	127件
助産所	1か所	1件
施術所	33か所	73件

- 医療安全支援センター相談件数 587件
 医療安全推進協議会 1回
- 6 統計調査費【健康政策課】 704,272円
 (1) 厚生労働省の委託を受けて、人口動態調査を実施しました。
 (2) 厚生労働省の委託を受けて、各種統計調査を実施しました。
 <厚生労働統計>
 地域保健・健康増進事業報告
 衛生行政報告例
 福祉行政報告例
 医療施設動態調査
 病院報告 18施設
 国民生活基礎調査(世帯票) 2調査地区
 国民生活基礎調査(所得票) 2単位区
 医師・歯科医師・薬剤師調査 市内資格保有者
 <その他統計>
 社会保障に関する意識調査 1単位区
- 7 健康危機管理対策費【健康政策課】 10,965,701円
 大規模災害や新興感染症等の健康危機管理における保健所体制の強化を図るため、各種健康危機に関する研修・訓練、救護所に配備する医薬品・医療資材等の更新、災害時通信機器の整備等を行いました。
 災害・感染症等に関する研修・訓練の実施 10件
 災害用衛星電話の更新
 大規模水害時の移転等に関する協定締結 2団体
 医療救護委員会の開催 1回
- 8 救急医療電話相談費【地域包括ケア企画課】 25,230,908円
 「とよた急病・子育てコール24」の運営を行い、市民や豊田市への訪問者が急病時に安心して相談できる体制を整えるとともに、医療の適正受診を促しました。
 相談件数 17,264件 (救急相談のみ、チャットボット含む)
- 9 医療提供体制強化推進費【地域包括ケア企画課】 728,530円
 医療対策懇話会を開催し、医療提供体制について協議しました。
 急病時の適切な受診に関する啓発講座を実施しました。
 医療対策懇話会の開催 1回
 啓発講座の実施 57回(対象者1,963人)
- 10 乙ケ林診療所費【地域包括ケア企画課】 35,183,225円
 乙ケ林診療所の適切な診療体制の確保に努めました。
 診療日数 191日
 延べ患者数 3,659人

4款 衛生費

- 1 1 古瀬間聖苑費【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】
207,273,032円
- (1) 管理運営費 176,698,510円
市民優先制度を導入するため、予約管理システムを構築しました。
火葬件数 4,496件
- (2) 施設保全費 27,054,500円
火葬炉修繕等を行いました。
- (3) 施設整備費 3,520,022円
予約管理システム導入のためパソコン及びプリンタを購入しました。
- 1 2 南部休日救急内科診療所費【地域包括ケア企画課】
226,600円
医療費助成のオンライン資格確認を可能とするために、電子カルテにソフトウェアの導入を行いました。
- 1 3 豊田地域医療センター施設等整備費【地域包括ケア企画課】
37,309,064円
電動式骨手術器械システム始め22品目を購入しました。
- 1 4 豊田地域医療センター運営費負担金【地域包括ケア企画課】
700,000,000円
運営費負担金 500,000,000円
救急、看護学校、地域医療人材の育成等の運営を支援するため、負担金を支出しました。
出捐金 200,000,000円
期中の一時的な運転資金不足に対応できるよう、出捐金を支出しました。
- 1 5 公的病院運営費補助金【地域包括ケア企画課】
249,450,000円
- (1) 補助対象事業者
愛知県厚生農業協同組合連合会
- (2) 補助金額
公的病院運営費補助金(定額) 75,000,000円
公的病院救命救急センター機能運営費補助金(2/3)
114,450,000円
へき地医療拠点病院運営費補助金(定額)
60,000,000円
- 1 6 病院群輪番制病院運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 23,757,000円

- (1) 補助対象事業者
トヨタ記念病院、足助病院、豊田地域医療センター、みよし市民病院
- (2) 事業実績
実施日数 365日
入院患者数 1,444人
外来患者数 10,973人
- 17 公的病院医療機器整備費補助金【地域包括ケア企画課】
53,165,000円
- (1) 補助対象事業者
愛知県厚生農業協同組合連合会
- (2) 補助金額
公的病院医療機器整備費補助金(1/2)
豊田厚生病院への体外式結石破碎装置整備
33,165,000円
へき地医療拠点病院医療機器整備費補助金(1/2)
足助病院への立位/臥位型FPD画像読み取り装置始め6品目整備
20,000,000円
- 18 小児救急医療支援病院運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 12,509,000円
- (1) 補助対象事業者
豊田厚生病院、トヨタ記念病院
- (2) 事業実績
実施日数 365日
入院患者数 601人
外来患者数 3,204人
- 19 休日救急診療体制運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 8,491,000円
- (1) 補助対象事業者
豊田加茂医師会
- (2) 事業実績
外科在宅当番医 診療日数 72日
患者数 1,717人
休日救急内科診療所診療日数 73日
患者数 4,067人
- 20 地域医療提供体制強化費補助金(1/2)【地域包括ケア企画課】
7,040,000円
- (1) 補助対象事業者

4款 衛生費

豊田加茂医師会	
(2) 事業実績	
難病療養相談会への医師派遣	
交流館での講演会への医師派遣	
ホームページによる市民向けの感染症情報等の配信	
他職種を対象にした講演会や企画研修会の実施 ほか	
21 保健衛生費過年度国県支出金返還金	273,001,722円
【健康政策課・感染症予防課・保健支援課】	
(1) 健康政策課過年度国県支出金返還金	217,000円
(2) 感染症予防課過年度国県支出金返還金	272,620,722円
(3) 保健支援課過年度国県支出金返還金	164,000円
◆特記事項	
・豊田地域医療センター運営費負担金において、人事院勧告に伴う人件費等の増加により、3月議会において100,000千円の増額補正を行いました。【地域包括ケア企画課】	
・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みよりも少なかったため、令和5年度に交付された新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担(補助)金に、257,596千円の返還が生じました。【感染症予防課】	
4- 1- 2目 健康増進対策費	
	(前年度)
当初予算額	783,713,000円 (790,187,000円)
予算現額	770,931,000円 (817,029,488円)
決算額	699,996,996円 (715,081,404円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	70,934,004円 (101,948,084円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 健康増進対策事務費【健康づくり応援課】	588,183円
2 国民健康栄養調査費【健康政策課】	500円
3 栄養改善推進費【健康政策課】	63,505円
特定給食施設等調査	218か所
栄養士研修会 4回	151人
4 健康づくり豊田21推進費	36,325,555円
【健康政策課・健康づくり応援課・保健支援課】	
(1) ヘルスサポートリーダー費	1,325,220円

ア	養成講座	
	修了者数	26人
イ	スキルアップ研修	
	参加者	延べ180人
ウ	健康づくり講座	
	ヘルスサポートリーダーが各地区で健康づくりに関する啓発やレクリエーション等を行いました。	
	講座開催数	336回
	参加者数	9,953人
(2)	地域ウォーキング推進費	1,650,000円
	市民が手軽に取り組める健康づくりの1つであるウォーキングを推進するため、地域主催のウォーキング活動の支援、ウォーキングコースに関する情報発信等を行いました。	
(3)	生活習慣病予防対策費	259,954円
	受動喫煙防止のため、啓発活動(市内喫煙所等)及び事業所等への指導・助言を行いました。	
	ポスター掲示	47か所
(4)	歯科健康診査費	15,164,744円
	妊産婦歯科健康診査受診者数	1,720人
	幼児歯科健康診査受診者数	1,088人
(5)	8020運動推進費	1,792,371円
	80歳で20本の自歯を残すことを目標に「8020運動」を推進しました。	
ア	健康教育事業	
	よい子の歯みがき運動啓発用教材配布	
	親子むし歯予防教室開催	40回
	口腔機能向上支援事業「お口の健康教室」開催	42回
イ	普及啓発事業	
	小学生等を対象とした歯みがき体験	参加者数 579人
(6)	心の健康づくり推進費	1,731,564円
ア	ゲートキーパー研修	
	開催回数	13回
イ	自殺予防啓発(9月・3月)	
(7)	健康づくり豊田21計画推進費	1,771,030円
	計画推進委員会	3回
(8)	とよた健康プラス10推進費	12,630,672円
ア	健康アドバイザー派遣	
	事業所に健康アドバイザーを派遣し、健康課題に対する助言、職場巡視、健康教育等を実施しました。	

4款 衛生費

	事業所数 13事業所	実施回数 19回
イ	医療データ等の分析 効果的な健康づくり事業を行うために、市民の医療データ等の分析を実施しました。	
ウ	働く世代の健康増進プログラムの実施 働く世代の健康づくりを推進するため、デジタル技術を活用した健康増進プログラムを実施しました。	
	事業所数 13事業所	人数 73人
エ	小中学生向け啓発資料の配布 「生活リズム（睡眠）」、「喫煙防止」、「飲酒防止」	
オ	とよた健康マイレージ事業 登録者数（令和7年3月31日時点） 2,375人	
5	食育推進費【健康づくり応援課】	752,533円
	若者向け食育推進費	752,533円
	（1）親子食育講座	
	開催回数	21回
	（2）食育人材バンク	
	登録件数	19件
	（3）食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発	
	母子保健推進員によるこども園等への訪問	26園
	（4）高校生への出前食育講座	
	実施校数	2校
6	きらきらウエルネス推進費【健康づくり応援課】	773,931円
	（1）きらきらウエルネス地域推進費	309,931円
	健康づくり計画策定地区数	23地区
	（2）健康づくり推進費補助金（ $10/10 \cdot 9/10 \cdot 8/10 \cdot 7/10 \cdot 5/10$ ）	464,000円
	コミュニティ会議が実施する健康づくり関連事業に対し、補助金を交付しました。	
	補助件数	8件
7	保健事業費【健康政策課・健康づくり応援課】	
		656,433,789円
	（1）保健事業費	655,713,663円
	健康増進法に基づいて、生活習慣病等の予防のために健康教育や健康相談を行い、各種がん等の早期発見のために検診を実施しました。また、各種がん検診の要精密検査未受診者に対し、受診を奨励しました（歯科健診及び各種がん検診の受診率は当該年度の4月1日人口から算出）。	

ア 歯科健診

対象 20、25、30、35、40、45、50、55、60
65、70、75歳

受診者数 2,336人

受診率 3.6% (令和5年度 3.9%)

イ がん検診

(ア) 胃がん検診

対象 35歳以上(総合がん検診含む。)

	受診者数	要精検者数
エックス線	9,799人	532人
内視鏡	4,879人	437人
受診率	8.6% (令和5年度	8.8%)

(イ) 大腸がん検診

対象 35歳以上(総合がん検診含む。)

受診者数 24,541人 要精検者数 1,838人

受診率 9.1% (令和5年度 9.0%)

(ウ) 乳がん検診

対象 30歳以上の偶数年齢及び41歳の女性

(総合がん検診、がん検診推進事業含む。)

	受診者数	要精検者数
超音波検査	3,843人	66人
マンモグラフィ検査	5,329人	212人
受診率	12.6% (令和5年度	12.4%)

(エ) 子宮頸がん検診

対象 20歳以上の偶数年齢及び21歳の女性

(総合がん検診、がん検診推進事業含む。)

受診者数 7,852人 要精検者数 167人

受診率 9.5% (令和5年度 9.3%)

(オ) 肺がん検診

対象 40歳以上(総合がん検診含む。)

受診者数 20,924人 要精検者数 644人

受診率 8.6% (令和5年度 8.4%)

(カ) 前立腺がん検診

対象 50～70歳の男性(総合がん検診含む。)

受診者数 4,559人 要精検者数 246人

受診率 8.0% (令和5年度 8.4%)

(キ) 脳ドック検診

対象 50歳の総合がん検診受診者

受診者数	154人
(ク)レディース検診	
対象 19～39歳の女性	
実施回数	24回
受診者数	149人
(ケ)骨粗しょう症検診	
対象 40、45、50、55、60、65、70歳の女性	
総合がん検診と同時受診者数	530人
単独受診者数	249人
(コ)肝炎検診	
対象 40歳以上5歳刻みで過去に肝炎検診を受けていない人	
受診者数	2,373人
(サ)胸部エックス線検査	
対象 40歳以上の人	
受診者数 19,154人 要精検者数	546人
(シ)生き生き健診	
対象 生活保護受給者、中国残留邦人で40歳以上の人	
受診者数	65人
(2) 地域保健事業費	720,126円
ア 健康教育事業	
地域住民の健康づくりを推進するため、出前講座等で健康に関する正しい知識の普及と健康意識の向上に努めました。	
(ア)学校	
実施回数 11回 参加者数	2,245人
(イ)自治区等	
実施回数 56回 参加者数	1,528人
イ 健康相談事業	
市民からの健康保持・増進に関する個別相談を、来所又は電話で行うとともに、交流館、自治区等のイベントなど地域に出向いて実施しました。	
(ア)来所・電話相談	
件数	326件
(イ)イベント等における健康相談	
実施回数 109回 参加人数	3,708人
8 お薬手帳推進費補助金(1/2)【健康政策課】	100,000円
医薬品の重複処方や飲み忘れ等で生じた残薬の整理及び医薬品等の危険な相互作用の防止を推進するために、薬剤師会が実施する啓発事業の経費を補助しました。	

交付先 (一社) 豊田加茂薬剤師会

9 歯・口の健康づくり推進費補助金(1/2)【健康づくり応援課】

104,000円

市民の歯科保健の充実を図るために、歯・口の健康づくり推進事業の経費を補助しました。

交付先 (一社) 豊田加茂歯科医師会

10 禁煙治療費助成事業補助金(1/2)【健康づくり応援課】

55,400円

望まない受動喫煙防止対策として、周囲の人と自身の健康被害を防ぐため、禁煙を希望する市民を対象に、禁煙外来治療費の一部を助成しました。

交付件数 10件

11 がん患者補整具購入費補助金(1/2)【健康政策課】

4,561,900円

がん治療に伴う脱毛等の症状により補整具を必要とする方を対象に補整具購入費の一部を助成しました。

交付件数 180件

12 若年がん患者在宅療養支援費補助金(9/10)【健康政策課】

237,700円

若年がん患者の方が、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう療養費の一部を助成しました。

交付件数 3件

4-1-3目 高齢者保健費

(前年度)

当初予算額	8,714,000円	(	1,078,000円)
予算現額	8,477,000円	(	666,000円)
決算額	8,066,885円	(	533,277円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	410,115円	(	132,723円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業費【健康づくり応援課】

8,066,885円

後期高齢者を対象に、国保データベースを分析し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを実施しました。

ハイリスクアプローチ実施者数(個別支援) 延べ 153人

ポピュレーションアプローチ実施者数(集団教育)延べ2,182人

4款 衛生費

4- 1- 4目 母子保健費		
		(前年度)
当初予算額	942,941,000円 (	978,681,000円)
予算現額	939,504,018円 (	881,282,000円)
決算額	892,320,286円 (	855,278,169円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	47,183,732円 (	26,003,831円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 母子保健対策費【おやか応援課】	672,584,647円	
(1) 多胎妊娠婦等支援事業費	67,500円	
多胎ピアサポート事業(相談支援)	21件	
多胎妊娠婦サポーター等事業(健診同行)	1件	
(2) 妊娠婦・乳幼児健診費	388,360,613円	
<区分>	<受診者数>	<受診率>
3、4か月児健診	2,416人	96.7%
1歳6か月児健診	2,691人	96.2%
3歳児健診	2,748人	94.9%
妊婦健診		
(1回目)	2,665件 (2回目)	2,581件
(3回目)	2,558件 (4回目)	2,547件
(5回目)	2,504件 (6回目)	2,492件
(7回目)	2,422件 (8回目)	2,480件
(9回目)	2,337件 (10回目)	2,334件
(11回目)	2,215件 (12回目)	2,308件
(13回目)	1,876件 (14回目)	1,383件
(子宮頸がん検査)		2,632件
産婦健診		
(1回目)	2,425件 (2回目)	2,303件
新生児聴覚検査		2,208件
乳児健診		
(1回目)	2,344件 (2回目)	1,793件
(3) おめでとう訪問費	9,116,058円	
訪問件数	1,975件	
訪問実施率	95.2%	
(4) 妊娠婦・乳児健康診査費補助金(定額)	6,432,276円	
愛知県外で受診された方の健康診査費を払い戻しました。		
実施件数	1,232件	

4款 衛生費

(5)	低所得妊婦支援事業費補助金(定額)	58,200円
	実施件数	10件
(6)	出産・子育て応援給付金給付事業費補助金(定額)	268,550,000円
	出産応援給付金	2,697件
	子育て応援給付金	2,674件
2	母子健康づくり対策費【こども相談課・おやこ応援課】	
		25,413,585円
(1)	母子保健指導費	18,434,869円
	・母子健康手帳交付(実数)	2,691件
	・パパママ教室	12回 受講者数 687人
	・多胎パパママ教室	4回 受講者数 60人
	・2ndマタニティ教室	6回 受講者数 109人
	・母子保健推進員養成講座	6回 受講者延べ数 76人
	・パパと一緒に楽しむベビー教室	4回 受講者組数 51組
	・ふれあい子育て教室	12回 受講者組数 172組
	・産後ケア	利用件数 590件
(2)	地域母子保健指導費	1,605,424円
	・育児相談(延べ件数)	
	来所相談	1,061件
	電話相談	192件
	オンライン相談	56件
(3)	思春期教育費	1,125,970円
	・思春期教室「自分の体と心を知る」	
	小・中学校	32校
(4)	子育て家庭訪問指導費	4,247,322円
	・保健師訪問指導	延べ人数 1,143人
	・委託助産師訪問指導	延べ人数 914人
3	医療給付費【おやこ応援課・保健支援課】	164,656,426円
(1)	未熟児養育医療費	16,045,142円
	新規承認件数	47件
(2)	障がい者育成医療費(自立支援医療給付)	1,415,657円
	承認件数	23件
(3)	小児慢性特定疾病医療費	147,195,627円
	承認件数	373件
4	不妊治療対策費【おやこ応援課】	6,580,690円

4款 衛生費

(1)	不妊症・不育症相談費	100,000円
	相談件数 5件	
(2)	不育症検査費補助金(7/10)	180,000円
	承認件数 3件	
(3)	不妊治療費補助金(7/10)	6,300,690円
	承認件数 159件	
5	医療機関システム改修等事業費補助金(10/10)【保健支援課】	1,698,000円
	マイナンバーカードを小児慢性特定疾病医療受給者証として利用するために必要となる医療機関のシステム改修に対して補助しました。	
	補助件数 7件	
6	母子保健費過年度国県支出金返還金	21,386,938円
	【こども相談課・おやか応援課・保健支援課】	
(1)	こども家庭課過年度国県支出金返還金	20,989,709円
(2)	保健支援課過年度国県支出金返還金	397,229円

4- 1- 5目 障がい者保健費		
		(前年度)
当初予算額	38,651,000円	(6,723,000円)
予算現額	29,712,000円	(4,728,000円)
決算額	29,153,244円	(4,190,604円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	558,756円	(537,396円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	保健支援事務費【保健支援課】	409,776円
2	精神保健予防対策費【保健支援課】	2,372,118円

精神障がい者及びその家族を支援するための各教室、市民や支援者を対象とする講演会・研修を開催し、知識の普及と障がいの理解啓発に努めました。また、精神科医師や心理職員、保健師等による相談に加え、依存専門医による相談を新たに開始し相談者の不安解消に努めました。

精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの推進を図るため、ピアサポーターによる普及啓発を実施しました。

家族教室等実施回数	実施回数	延べ参加人数
高次脳機能障がいの家族教室	4回	21人
依存症の家族教室	2回	6人
精神保健福祉地域普及講演会	1回	350人
精神障がい者支援従事者研修会	1回	47人

4款 衛生費

精神障がい者地域支援協議会・部会	4回	52人
ピアサポーターフォローアップ	5回	10人
相談件数	実施回数	延べ件数
精神保健福祉相談	17回	31件
依存専門医による相談	2回	6件
心理職員による相談	8回	12件
来所・電話相談		1,384件
家庭訪問		112件
緊急事例対応		33件
警察官通報件数		30件
措置入院者退院後支援事業		11件
地域移行・地域定着支援		25件
精神障がい者家族会による相談	51回	121件
精神障がい者家族会による居場所運営	51回	380件
自主グループ等支援	実施回数	
精神障がい者家族会（交流会）	1回	
3 難病患者・家族支援費【保健支援課】	25,187,750円	
難病・精神保健活動の充実を図るため、特定医療費専用窓口を設置しました。		
難病患者及びその家族が安定した療養生活を送ることができるよう、専門医や保健師による相談を行いました。		
相談等実施回数	実施回数	延べ人数
医師による個別相談	4回	6人
家庭訪問等		41人
4 障がい者歯科事業費【健康政策課】	1,183,600円	
障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（通所）において、歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布、歯科保健指導を実施しました。		
	実施施設	13施設
	実施人数	288人

4- 1- 6目 感染症予防費

(前年度)

当初予算額	1,926,121,000円	(3,873,857,000円)
予算現額	2,445,385,422円	(3,518,835,351円)
決算額	2,034,354,240円	(2,644,322,419円)
翌年度繰越額	0円	(39,714,000円)
不用額	411,031,182円	(834,798,932円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(感染症診査協議会委員7人、予防接種健康被害調査委員会委員5人)【感染症予防課】 2,009,400円

2 感染症予防事務費【感染症予防課】 621,065円

3 結核予防対策費【感染症予防課】 2,506,828円

(1) 結核予防事務費 899,498円

パンフレットを企業等に配布して知識の普及啓発を行い、結核のまん延防止を図りました。

(2) 接触者健康診断費 1,607,330円

結核患者の確実な服薬を支援する地域DOTS(直接服薬確認療法)事業を推進しました。また、結核の早期発見と二次感染予防のため、登録患者の接触者を対象にIGRA検査(結核感染の補助的診断)を活用した効果的・効率的な健康診断を実施しました。

接触者健康診断

<区分>	<受診者数>	<患者発見数>
		(発病のおそれ含む)

患者の家族	13人	0人
-------	-----	----

他の接触者	77人	4人
-------	-----	----

4 感染症対策費【感染症予防課】 413,243,204円

(1) 感染症予防費 129,314円

感染症の発生予防やまん延防止のため、疫学調査及び消毒指導等を実施しました。また、ホームページなどを通して、感染症の正しい知識の普及啓発を行いました。

ア 三類感染症届出状況

腸管出血性大腸菌感染症	28件
-------------	-----

イ 四類感染症届出状況

レジオネラ症	7件
--------	----

重症熱性血小板減少症候群	1件
--------------	----

日本紅斑熱	1件
-------	----

ウ 五類感染症届出状況

梅毒	38件
百日咳	20件
その他アメーバ赤痢はじめ8感染症	36件

- (2) 新興再興感染症対策費 2,997,432円
 新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、備蓄品等を購入しました。

- (3) 特定感染症予防費 10,057,018円
 HIV及び梅毒の検査を実施しました。また、肝炎については、感染不安のある市民を対象に医療機関において検査を実施しました。さらに、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を目的とした陽性者フォローアップ事業を実施しました。

正しい知識の普及のため、警察やボランティア団体との共働による啓発を行いました。

<保健所検査>

検査回数	28回
検査件数	HIV 542件
	梅毒 542件

<医療機関検査>

検査件数	B・C型肝炎検査 279件
------	---------------

- (4) 感染症発生動向調査費 1,330,430円
 市内の指定届出機関から感染症発生情報を収集し、医療機関、教育委員会、市民等に発生動向に関する情報を提供することにより、学校・福祉施設等における感染症対策、医療機関における適切な医療の提供に寄与しました。

<指定届出機関> 12医療機関

小児科定点	9定点
インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点	9定点
眼科定点	2定点
STD（性感染症）定点	4定点
基幹定点	1定点
疑似症定点	2定点
病原体定点	3定点
医療機関からの検体提供	6件

- (5) 新型コロナウイルス感染症対策費 105,925円
 新型コロナウイルス感染症の行政検査費（令和5年5月7日以前に医療機関で実施した分）を給付しました。

- (6) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費

4款 衛生費

398,623,085円

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、重症者等の発生をできる限り減らすことを目的にワクチンの接種を推進しました。

新型コロナ 被接種者数 28,238人

5 自宅療養者健康管理事業費【感染症予防課】 4,042,896円

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になった後も、療養や感染対策に関する相談対応を行いました。

6 予防接種費【感染症予防課】 1,605,837,205円

(1) 定期予防接種費 1,517,329,089円

感染症の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づき15疾病の予防接種を乳幼児や高齢者などに実施しました。

＜種類＞	＜被接種者数＞
------	---------

A類疾病

BCG	2,456人
-----	--------

ポリオ	6人
-----	----

4種混合	3,650人
------	--------

5種混合	6,632人
------	--------

2種混合	3,197人
------	--------

麻疹風しん混合	5,564人
---------	--------

日本脳炎	12,458人
------	---------

子宮頸がん	14,745人
-------	---------

ヒブ	2,986人
----	--------

小児用肺炎球菌	9,741人
---------	--------

水痘	5,149人
----	--------

B型肝炎	7,309人
------	--------

ロタ	6,257人
----	--------

風しん第5期（抗体検査）	905人
--------------	------

風しん第5期（予防接種）	179人
--------------	------

B類疾病

インフルエンザ	59,900人
---------	---------

高齢者用肺炎球菌	1,100人
----------	--------

(2) 任意予防接種費 79,747,161円

感染症の発生及びまん延を予防するため、4疾病の予防接種等や免疫を失った子への再接種費用について助成しました。また、子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的勧奨の差控えにより定期接種の機会を逃し、自費で接種を受けた人に対して接種費用の償還払いを行いました。

＜種類＞	＜被接種者数＞
------	---------

ア 任意予防接種費用助成事業

おたふくかぜ 4,477人

带状疱疹 6,374人

イ 風しん対策事業

風しん抗体検査 765人

麻しん風しん混合 246人

風しん 70人

ウ 麻しん対策事業

麻しん抗体検査 461人

麻しん風しん混合 143人

麻しん 3人

エ 免疫を失った子への再接種費用助成 2人

オ 自費接種者の償還払い(子宮頸がん) 17人

(3) インフルエンザ予防接種費補助金(10/10)

8,760,955円

中学3年及び高校3年生等を対象に補助金を交付しました。

7 医療給付費【感染症予防課】 2,868,617円

感染症患者の医療費の自己負担分を公費負担し、負担軽減を図りました。

(1) 結核医療給付費 2,082,742円

通院医療 延べ 310件

入院医療 延べ 18件

(2) 感染症患者入院医療給付費 785,875円

新型コロナウイルス感染症の入院医療費を給付しました。

8 結核予防対策事業費補助金(2/3)【感染症予防課】

3,225,025円

定期健康診断の受診率の向上を図るため、胸部エックス線撮影の経費を補助しました。

学校法人 5法人 5施設

社会福祉法人 8法人 20施設

◆特記事項

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みを下回り、186,218千円の不用額が生じました。

【感染症予防課】

・定期予防接種費において、接種数が見込みを下回り、176,374千円の不用額が生じました。【感染症予防課】

4款 衛生費

4- 1- 7目 生活衛生費		
		(前年度)
当初予算額	99,721,000円 (	95,228,000円)
予算現額	113,829,560円 (	94,038,050円)
決算額	101,007,490円 (	78,792,122円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	12,822,070円 (	15,245,928円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 薬務監視指導費【健康政策課】

471,511円

(1) 薬局、毒物劇物販売業者等に対して立入調査を実施するなど、各法令に基づく店舗管理及び医薬品等の適正販売についての監視指導を行いました。

薬局等施設監視

140件

毒物劇物販売施設等監視

30件

衛生検査所監視

1件

(2) 麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止に向けた啓発事業を効果的に実施するため、薬物乱用防止推進協議会を開催し、年間を通じて啓発活動を展開しました。

薬物乱用防止推進協議会開催

1回

街頭啓発活動

2回

講習会開催

27回

2 環境衛生監視指導費【感染症予防課】

1,097,491円

(1) 環境衛生関係営業施設に対し、各法令に基づく衛生管理、自主管理状況等について調査を行いました。

環境衛生関係営業施設の監視

265件

(2) 多数の者が利用し、相当程度の規模を有する特定建築物に対し利用者の衛生的環境を確保するため監視指導を行いました。

特定建築物の監視

40件

(3) 温泉法に基づき温泉を利用している施設に対し、適切な温泉利用を図るため監視指導を行いました。

温泉利用施設の監視

7件

(4) ハエや蚊などの衛生害虫や化学物質による室内空気環境汚染など住環境に係る相談を受け付けました。

住環境衛生及び衛生害虫等の相談

296件

(5) 風水害等が発生した場合における感染症の発生及びまん延を防止するため、防疫用機器の整備及び操作訓練を実施しました。

防疫用機器の操作訓練

1回

- 3 食品衛生監視指導費【保健衛生課】 7, 208, 487円
- (1) 豊田市食品衛生監視指導計画に基づき、食品営業施設等に対する立入検査を実施するとともに、食品衛生に関する知識の普及を行い、食中毒の発生防止を図りました。
- | | | |
|------|------|---------|
| 営業許可 | 新規 | 980件 |
| | 更新 | 0件 |
| 監視指導 | | 2, 120件 |
| 収去検査 | | 202件 |
| 講習会 | 開催数 | 16回 |
| | 受講者数 | 2, 359人 |
- (2) 食の安全・安心に関する豊田市の取組について市民各界の意見を伺い、効果的な施策を推進するため、食の安全・安心を語る懇談会を開催しました。
- | | | |
|---------------|------|----|
| 食の安全・安心を語る懇談会 | 開催数 | 1回 |
| | 出席者数 | 8人 |
- 4 試験検査費【保健衛生課】 33, 093, 380円
- (1) 食品等の安全性確保、食中毒・感染症関連の原因究明及び拡大防止のために、食品・ふん便・水等の行政検査を実施しました。
- | | | |
|---------|-------|---------|
| 食中毒関連検査 | 106検体 | 418件 |
| 感染症関連検査 | 140検体 | 140件 |
| 食品等検査 | 微生物 | 136検体 |
| | 理化学 | 86検体 |
| | | 2, 777件 |
| 水質検査 | 8検体 | 32件 |
- (2) ふん便・水等に関する依頼検査を実施しました。
- | | | |
|-------|----------|----------|
| ふん便検査 | 6, 049検体 | 15, 916件 |
| 水質検査 | 78検体 | 634件 |
- (3) 試験検査の複雑化、高度化への対応、検査技術レベルの維持・向上のため、検査担当職員が各種研修に参加するとともに、外部機関による精度管理を実施しました。
- 5 食肉衛生検査費【保健衛生課】 3, 841, 990円
- 食肉の安全確保のため、と畜場に搬入された獣畜について、人獣共通感染症等の疾病検査、動物用医薬品等の残留有害物質検査を実施しました。また、と畜場におけるHACCP(食品衛生管理手法)が適切に運用されているかを確認するため、外部検証を実施しました。
- | | |
|-------------|----------|
| と畜検査頭数(豚のみ) | 80, 530頭 |
| 残留有害物質検査数 | 203件 |
| 外部検証 | 現場検査 |
| | 243回 |
| | 記録検査 |
| | 12回 |

4款 衛生費

	微生物試験（60頭×2項目）	120件
6	動物愛護対策費【保健衛生課】	40,532,098円
(1)	狂犬病予防法及び豊田市犬による危害防止条例に基づき、犬の登録、狂犬病予防注射、捕獲等を実施しました。	
	登録頭数	21,855頭
	うち新規	1,611頭
	狂犬病予防注射実施	17,111頭
	捕獲	9頭
	うち返還	7頭
(2)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬・猫の引取り及び負傷動物の保護を行いました。また、殺処分低減のため、飼養が可能な犬・猫の譲渡を行うとともに、飼養に関する相談等に対応しました。	
	引取り 所有者依頼 犬	2頭 猫 16頭
	所有者不明 犬	8頭 猫 77頭
	負傷動物の保護 犬	1頭 猫 71頭
	譲渡 犬	8頭 猫 131頭
	殺処分 犬	4頭 猫 29頭
	うち収容中死亡 犬	0頭 猫 28頭
	飼養に関する相談等	971件
(3)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物（人の生命、身体又は財産に危害を加えるおそれがある動物として政令で定める動物）の飼養又は保管について、基準に適合していることを確認しました。	
	許可施設数	水槽型施設 4件
		移動用施設 1件
(4)	動物愛護センターを拠点とし、豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例に基づき、犬のしつけ方講座などの各種講座、教室を開催し、市民の関心と理解を深める事業を実施しました。	
	11事業 45回 参加者2,581人	
(5)	市民の生きがいづくりと動物愛護意識の普及を図るため、動物愛護ボランティア養成講座でボランティアを育成しました。	
	ボランティア養成講座	2回 参加者18人
(6)	収容動物の里親を見つけるための譲渡会を開催するとともに、犬猫を飼う前講座を実施しました。46回 参加者402人	
7	動物愛護センター費【保健衛生課】	11,480,622円
	管理運営費	
	動物愛護センターの適切な維持管理を行いました。	

4款 衛生費

来館者数	20,721人
8 地域猫事業推進費【保健衛生課】	2,424,911円
野良猫によるふんや鳴き声による被害を軽減するため、地域で実施する地域猫活動を支援しました。	
地域猫活動支援実施地域数	255地域
避妊去勢手術実施頭数	オス227頭、メス256頭
9 食品衛生費補助金（1／3）【保健衛生課】	857,000円
市民の安全な食生活を維持するため、豊田市食品衛生協会が実施する食品衛生指導、衛生知識の普及啓発等の事業に補助金を交付しました。	
4- 2- 1目 環境衛生費	
(前年度)	
当初予算額	1,266,955,000円 (1,924,041,000円)
予算現額	1,295,169,000円 (1,880,341,679円)
決算額	1,270,076,757円 (1,880,231,385円)
翌年度繰越額	25,000,000円 (0円)
不用額	92,243円 (110,294円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	25,000,000円
廃止簡易水道施設撤去事業	25,000,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 廃止簡易水道施設費【上水運用センター】	443,406円
管理費	443,406円
管理施設数	33施設
2 水道事業負担金【経営管理課】	238,908,351円
3 水道事業補助金（10／10）【経営管理課】	900,000,000円
4 水道事業出資金【経営管理課】	130,725,000円
◆特記事項	
廃止簡易水道施設撤去事業については、工事入札不調により年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【上水運用センター】	

4款 衛生費

4- 2- 2目 環境対策費			
(前年度)			
当初予算額	464,326,000円	(	457,577,000円)
予算現額	5,484,042,000円	(	438,370,321円)
決算額	5,435,902,523円	(	363,542,903円)
翌年度繰越額	3,902,000円	(	0円)
不用額	44,237,477円	(	74,827,418円)
●翌年度繰越額			
☆繰越明許費☆			3,902,000円
長寿命化改修設計事業（環境学習施設 e c o - T）			3,902,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 人件費（環境審議会委員16人、不良な生活環境を解消するための審議会委員6人）【環境政策課・環境保全課】			1,117,200円
2 環境政策事務費【環境政策課】			2,259,674円
3 環境保全事務費【環境保全課】			3,441,633円
(1) 法令等に係る届出及び報告			
件数：大気215件、水質251件、騒音174件、振動173件、特定建設作業1,698件、石綿事前調査結果3,878件、公害防止組織89件、化学物質316件、土壌202件、ダイオキシン類26件、悪臭55件及び揚水112件			
(2) 工場及び事業場等の規制指導			
関係法令に基づき立入検査及び行政指導を行いました。			
大気汚染防止法	延べ111事業所		
水質汚濁防止法	延べ100事業所		
騒音規制法等	延べ40事業所		
振動規制法等	延べ6事業所		
悪臭防止法等	延べ21事業所		
ダイオキシン類対策特別措置法	延べ16事業所		
土壌汚染対策法	延べ11事業所		
(3) 光化学スモッグ及びPM2.5緊急時対策			
愛知県から光化学スモッグ予報が1回発令され、緊急メールとよた等により市民に周知しました。PM2.5注意喚起情報は、発令されませんでした。			
(4) 苦情処理			

苦情件数240件(延べ260件)
(内訳:大気汚染119件、水質汚濁6件、騒音85件、
振動15件、悪臭28件及びその他7件※重複あり)

(5) 河川事故等への緊急対応

河川への濁水や油の流出事故等について、緊急対応しました。

対応件数 12件

4 産業廃棄物対策費【廃棄物対策課】 9,532,049円

(1) 事務費 5,881,861円

(2) 不適正処理産業廃棄物対策費 460,188円

ア 産業廃棄物処理施設等への立入検査・指導

産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理のため、処理業者、産業廃棄物処理施設等に立ち入り、検査・指導を行いました。

定期立入事業所数 80か所

その他立入事業所数 延べ 1,088か所

イ 不適正処理に関する行政指導及び行政処分

産業廃棄物処理業者等に行政指導を行いました。

行政指導 指導票 19件

ウ 産業廃棄物に係る苦情処理

苦情件数 161件

(内訳:廃棄物の野焼き123件、不法投棄22件、

その他16件)

(3) 航空写真を解析した不法投棄等監視費 3,190,000円

通常業務では把握できない地域における不法投棄等の監視の充実を図るため、航空写真を解析して不適正処理現場の早期発見、早期指導を行いました。

現地調査箇所数 1,037地点

不適正処理発見数 14地点(うち年度内改善済み6地点)

5 PCB処理推進費【廃棄物対策課】 3,795,106円

PCB処理安全監視費

ア 安全監視委員会等の開催

豊田市PCB処理安全監視委員会によるJESCO北九州事業所の視察、委員会の開催(1回)及び作業部会の開催(2回)により、豊田PCB処理事業所の事業の監視及び情報公開の推進に努めました。

イ PCB環境調査

国や近隣自治体の協力を受け、大気3地点、土壌1地点、河川(水質・底質)2地点において、調査を実施しました。

6 環境基本計画策定費【環境政策課】 21,940,300円

環境基本計画及び地球温暖化防止行動計画の改定に向け、ワークショップ等を実施し、計画素案等の作成作業を行いました。

7 公共施設脱炭素対策推進費【環境政策課】56,467,250円

(1) 公共施設太陽光発電設備設置費 855,250円

太陽光発電設備をリース方式で5施設に設置しました。

(2) 公共施設太陽光発電設備整備事業補助金(1/2)

55,612,000円

太陽光発電設備設置事業の契約者に対し、設置費用の一部を補助しました。

8 環境対策啓発費【環境政策課・循環型社会推進課】

9,111,988円

(1) とよたSDGsポイント費

加入者 30,954人

(アプリ:5,513人、カード:25,441人)

加盟店 101店舗

(2) エコライフ活動推進費

65団体で構成する「とよたエコライフ倶楽部」の活動を推進し、環境にやさしいライフスタイルづくりに努めました。11月にとよたエコライフ倶楽部フェスタを開催しました。また、4月に開催されたとよたガーデニングフェスタ等へ出展しました。

イベントの出展 10イベント

出前講座の実施 8回

9 地球温暖化防止対策推進費【環境政策課】183,200,717円

(1) 地球温暖化防止対策関連費

ア 温室効果ガス排出量の算定(令和4年度市内全域の排出量)

イ 脱炭素スクールの開催

第3期後期スクール 4回、第4期前期スクール 4回

ウ とよた・ゼロカーボンアクションの実践

キャンペーン3件、イベント啓発5件

(2) 気候変動適応推進費

ア 気候変動適応情報プラットフォームの運用

イ クーリングシェルターの設置

公共施設 73か所、民間施設 58か所

ウ 熱中症対策講座の開催 5回

(3) 次世代自動車普及促進費

SAKURAプロジェクトによる次世代自動車の普及啓発のためのイベント出展を29件(うち自動車販売店等出展10件)行いました。

- (4) スマートハウス普及促進費
チラシやポップ、リーフレットを作成し、スマートハウスの普及啓発をしました。
- (5) 家庭用燃料電池設置費補助金(5/100)
交付件数 50件
- (6) 次世代自動車普及促進費補助金(定額)
電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数 316台
燃料電池自動車 交付台数 1台
充電設備補助件数 113件
- (7) 事業者向次世代自動車普及促進費補助金(定額)
電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数 53台
燃料電池自動車 交付台数 5台
充電設備補助件数 12件
- (8) 家庭用蓄電池設置費補助金(定額)
交付件数 376件
- (9) スマートハウス化設備設置費等補助金(定額)
交付件数 140件(うちZEH補助件数82件)
- (10) 住宅省エネ改修費補助金(定額)
交付件数 59件
- 10 環境学習施設エコット(エコット)費【環境政策課】
48,814,580円
- (1) 学習事業
エコット来館者 延べ 17,162人
学校の施設見学学習 75校 3,614人
出前授業 41回 延べ 2,077人
エコライフ講座 117回 延べ 1,987人
(うち卒FITセミナー 2回 延べ 172人)
出前講座 7回 延べ 212人
積み木キャラバン 50こども園 1,514人
インタープリター登録数(積み木キャラバン隊含む)
延べ90人
- (2) イベント事業
エコットフォーラム 8月26日 107人
エコットフェスタ 12月8日 828人
- 11 不良な生活環境解消推進費【環境保全課】 432,342円
いわゆる「ごみ屋敷」等の不良な生活環境を解消し、市民が安心して暮らすことができる安全で快適な生活環境を確保するため、関係機関と連携した福祉的な支援や声掛けなど、解消に向けた取組を行いました。

対応件数 86件（うち新規26件）

解決 27件

12 環境調査費【環境保全課】 48,430,817円

（1）大気汚染調査

ア 有害大気汚染物質等調査

大気汚染防止法に基づき、大気中の有害大気汚染物質等の状況把握のため、実態調査を実施しました。

3地点 年12回

環境基準設定4物質は全て環境基準を達成しました。

指針値設定11物質は全て指針値に適合しました。

イ 大気環境中の石綿濃度調査

1地点 年1回 0.18本/L

ウ 微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析調査

2地点 年4回 46成分

（2）水質汚濁調査

ア 河川調査

公共用水域の水質を把握するため、水質調査を実施しました。

43河川56地点

カドミウム等の健康項目は、全ての地点で環境基準を達成しました。BOD等の生活環境項目は、芥木川等4河川の大腸菌数及び逢妻女川のBODを除き、類型指定された全ての地点で環境基準に適合しました。

ノルフェノール等の水生生物保全項目は、逢妻川水系で全亜鉛が環境基準を超過し、要監視項目は、全ての地点で指針値に適合しました。

イ 地下水調査

（ア）概況調査

水質汚濁防止法に基づき、市内の地下水質の状況を把握するため、11地点で地下水調査を実施しました。

11地点27項目を調査した結果、全ての地点で環境基準を達成しました。要監視項目の全マンガンは1地点（前林町）で調査した結果、指針値を超過しました。

（イ）定期モニタリング調査

水質汚濁防止法に基づき、過去に汚染が判明した地域を継続的に調査しています。

28井戸で、鉛、トリクロロエチレン等14項目を調査した結果、6井戸でトリクロロエチレン等4項目が環境基準を超過しました。

(ウ) 汚染井戸周辺地区調査

事業者から土壌汚染の報告があったため、5地点13井戸で、ふっ素及びその化合物等6項目を調査した結果、全ての井戸で環境基準に適合しました。

ウ 排水基準等監視調査

工場を中心に立入確認及び排水検査を実施し、有害物質使用特定事業場は土壌地下水汚染防止対策の確認を行いました。

延べ 62事業所

8事業所で排水基準等違反があり、改善対策を指導しました。

エ ゴルフ場排水水中の農薬検査

6ゴルフ場 5項目 延べ12検体

全て指針値、協定値に適合しました。

(3) ダイオキシン類常時監視調査

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域水質・底質、地下水質及び土壌中のダイオキシン類の状況把握のため、調査を実施しました。

大気 1地点 年4回

公共用水域水質 3地点 年2回

公共用水域底質 3地点 年1回

地下水質 3地点 年1回

土壌 3地点 年1回

全ての地点で環境基準を達成しました。

(4) 環境騒音調査及び振動調査

環境騒音調査(一般地域及び道路に面する地域)、自動車騒音調査及び道路交通振動調査を実施し、市域の状況把握に努めました。

環境騒音調査(一般地域13地点)環境基準達成率92.3%

環境騒音調査(道路に面する地域5路線3,352戸)環境基準達成率99.6%

自動車騒音調査は、6地点全てで要請限度を下回りました。

道路交通振動調査は、3地点全てで要請限度を下回りました。

(5) 排出ガス中のダイオキシン類等調査

ダイオキシン類及びばい煙測定を2事業所の2施設で実施し、全て排出基準に適合しました。

13 水環境指標推進費【環境保全課】 171,900円

西中山川、伊保川等において、市民と共働調査を実施し、市民に分かりやすい水環境指標の推進に努めました。

調査河川数 11河川

調査参加者 520人

- 14 水質浄化対策費【環境保全課】 33,200円

豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会(30市町村等加盟)の活動を通じて三河湾の水質浄化に努めました。

- 15 環境保全協定推進費【環境保全課】 1,738,636円

市内中小企業の環境法令遵守及び環境取組のレベルアップのため環境取組技術支援セミナーを開催しました。

セミナー参加者 67人

協定協議会発足15周年を記念して、協議会の取組を市民に分かりやすく紹介したパネル等を作成しました。

- 16 大気測定局費【環境保全課】 44,110,702円

(1) 管理費

北部局(加納町)13項目測定

東部局(宝来町)9項目測定

中部局(三軒町)15項目測定

南部局(竹元町)10項目測定

新田局(花園町)10項目測定

環境基準設定項目である、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質(PM2.5)は全局で環境基準を達成し、光化学オキシダントは全局で達成しませんでした。

(2) 伊勢湾岸自動車道関連環境調査費

大気調査(6項目)を3局で、騒音調査を4局で行いました。

3局の気象計感部を交換し、上郷局(上郷町)のエアコンを更新しました。

(3) 施設整備費

新田局(花園町)のPM2.5計を更新しました。また北部局(加納町)及び東部局(宝来町)のエアコンを更新しました。

- 17 脱炭素社会推進基金積立金【環境政策課】

5,001,304,429円

脱炭素社会実現に向けた取組に活用するため、基金の積立を行いました。

◆特記事項

長寿命化改修設計事業(環境学習施設e c o - T)において、事業の標準化を図るため、9月議会で3,902千円を増額補正し翌年度へ繰り越しました。【環境政策課】

4- 3- 1目 清掃総務費

(前年度)

当初予算額	1,272,619,000円	(1,261,259,000円)
予算現額	1,355,383,500円	(1,290,920,000円)
決算額	1,315,403,507円	(1,266,567,911円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	39,979,993円	(24,352,089円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職165人、非常勤一般職25人）【人事課】
1,266,889,352円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 1,408,430円
- 3 清掃事務費【循環型社会推進課】 1,662,631円
- 4 一般廃棄物処理基本計画策定費【循環型社会推進課】
8,177,300円
一般廃棄物処理の実態等を整理・評価し、課題の解決に向けて対応すべき基本フレームを検討した上で、基本計画の素案を策定しました。
- 5 環境委員活動費【循環型社会推進課】 230,600円
市民の廃棄物に関する意識の向上及びごみの減量・資源化を推進するため環境委員の活動を支援しました。
- 6 廃棄物意識啓発費【循環型社会推進課】 12,258,700円
市民等にごみの分別・資源リサイクルの必要性を呼び掛け、ごみ減量に対する意識の向上に努めました。また、フードドライブのぼり旗のロゴマークを中学生と作成し、フードドライブの活動資材を貸出支援するなど、事業者等との共働による食品ロスの削減に取り組みました。
出前講座の実施 9回
資源・ごみ分別アプリの累計ダウンロード数 86,335件
各種啓発冊子、パンフレットの作成
ごみカレンダー 178,000部
ごみガイドブック 18,500部
外国語版ごみガイドブック 3,000部
市内金融機関への食品ロス削減啓発ポスターの掲示 40店舗
大学や生産者との災害備蓄食品アレンジレシピの試食会 100人
フードドライブの実施・支援 13回
フードシェアリングサービス
ユーザー登録者数 3,008人
協力店登録店舗数 20店舗（9増1減）
- 7 庁舎等施設費【清掃施設課】 24,776,494円

4款 衛生費

(1)	清掃庁舎等管理費	23,971,714円
(2)	清掃庁舎等整備費	804,780円
4- 3- 2目 塵芥処理費		
(前年度)		
当初予算額	2,030,253,000円	(1,852,114,000円)
予算現額	1,932,003,500円	(1,774,609,000円)
決算額	1,860,958,405円	(1,726,657,386円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	71,045,095円	(47,951,614円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	ごみ収集事業費【清掃業務課】	983,870,613円
(1)	一般家庭から排出されたごみを収集しました。	
	令和6年度収集量(前年度対比5.4%減)	
	燃やすごみ	65,335t
	金属ごみ	1,242t
	埋めるごみ	931t
	資 源	2,566t
	(内訳 飲料缶114t びん782t	
	ペットボトル269t	
	プラスチック製容器包装1,401t)	
	有害ごみ	132t
	(内訳 廃乾電池112t 廃蛍光管20t)	
	危険ごみ	124t
	(内訳 スプレー缶115t ライター9t)	
	合計	70,330t
(2)	市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう次の事業を実施しました。	
ア	ごみ収集場所81か所を新設し、収集場所の適正配置に努めるとともに、ごみ出しマナーの向上、分別出しの徹底による収集の効率化に努めました。	
イ	ひとり暮らしの高齢者・障がい者等を対象としたごみ収集支援「ふれあい収集」を340世帯に実施しました。	
ウ	ごみの散乱防止等のため、自治区等に対しごみステーション原材料支給を行いました。	
	(原材料支給 ごみステーション65か所 防鳥ネット支給1,756枚)	

エ じん芥収集車両 5台（小型ワイド1台、中型4台）を購入しました。

オ 「ごみの正しい出し方」「資源の再利用」について以下のとおり実施しました。

（ア） 指定ごみ袋を容易に入手できるようにするため、自治区に指定ごみ袋のあっせんを行いました。

234自治区 107, 235パック

（イ） ごみ出しマナーの向上のため、地域と共働でごみステーションに分別方法を示した看板等を設置しました。

分別収集用看板431枚、資源収集用看板102枚、
啓発用看板75枚

（ウ） 転入者に指定ごみ袋でのごみ出し、分別の周知を図るため、転入者用ごみ袋セットを作成し、市民課や支所・出張所の窓口で配布しました。

転入者用ごみ袋セット 9, 340セット

（エ） 実証実験やキャッチフレーズ募集を行い、燃やすごみ袋についてデザインの見直しと、新たに市指定ごみ袋「燃やすごみワイド」の導入に向けた仕様の変更を行いました。

カ 不燃ごみリサイクル処理事業

金属ごみ、粗大ごみ、廃棄自転車、不法投棄された不燃ごみを民間施設で破碎選別処理を行い資源回収と減容化を図りました。

処理量1, 954 t 資源回収量1, 237 t（63.3%）

回収量 金属 745 t

非鉄 85 t

小型家電 407 t

2 勘八不燃物処分場費【清掃施設課】 72, 454, 930円

（1） 施設管理費 68, 274, 930円

処理水放流量 20, 763 m³

（2） 施設整備費 4, 180, 000円

施設の維持管理及び延命化のため高圧変圧器を更新しました。

3 グリーン・クリーンふじの丘費【清掃施設課】

273, 499, 329円

（1） 施設管理費 266, 988, 429円

ごみ等搬入量 3, 051 t

資源等搬出量 777 t

埋立量 2, 274 t

処理水放流量 25, 936 m³

（2） 施設整備費 6, 510, 900円

キャッシュレス決済を導入するため、計量システムを改修しました。

4 廃棄物資源化事業費【循環型社会推進課】234,561,600円

(1) 資源を集団回収した登録団体に対して報奨金を交付しました。

報奨金交付額	16,448,196円
活動団体	391団体
回収量 古紙類	1,920t
古布類	44t

(2) 市内22か所のリサイクルステーションにおいて、資源の回収を実施しました。

回収量 古紙類	5,445t
古布類	407t
飲料缶	347t
ペットボトル	770t
ガラスびん	1,257t
プラスチック製容器包装	456t
事業系古紙類	67t
廃食用油	16t

(3) 国の指定法人である(公財)日本容器包装リサイクル協会へ委託し、「プラスチック製容器包装」及び「ガラスびん(その他の色)」の再商品化を実施しました。

プラスチック製容器包装	1,719t
ガラスびん(その他の色)	224t

(4) 家庭から粗大ごみ等として排出された家具等を清掃・補修し、リユース(再使用)品として展示販売・譲渡しました。

リユース工房

販売数	620点(9t)
売払収入	1,565,600円

リユーススポット

販売・譲渡数	2,358点(14t)
売払収入	798,800円

(5) コンポスト講座及びカバン型コンポストの貸与等を実施し家庭から排出される生ごみの資源循環を促進しました。

ダンボールコンポスト講座の開催

講座24回 227人参加

カバン型コンポスト講座の開催

講座3回 55人参加

カバン型コンポストの貸与 925世帯

- (6) 集団回収された資源の回収を行う事業者に対して補助金を交付しました。

補助金交付額 3,526,422円

交付事業者数 19事業者

- (7) 生ごみ処理機器等を購入した世帯に対して補助金を交付し、家庭から排出される燃やすごみの減量・資源化を促進しました。

交付件数 512件

補助金交付額 9,808,300円

5 緑のリサイクルセンター費【清掃施設課】216,413,062円

- (1) 管理運営費 147,202,162円

処理量 2,460t

堆肥等利用量 581t

- (2) 施設整備費 69,210,900円

計量器等の更新及びキャッシュレス決済を導入するため、計量システムを改修しました。

6 粗大ごみ収集事業費【清掃業務課】46,451,019円

粗大ごみの収集について、電話申込みによる戸別収集を行いました。また、10月からLINE申請による受付を開始しました。

収集件数 17,630件(令和5年度18,698件)

収集個数 41,674個(令和5年度48,642個)

収集量 654t(令和5年度 715t)

7 きれいなまちづくり費【清掃業務課】33,707,852円

- (1) 直営不法投棄班(7人)と会計年度任用職員の不法投棄パトロール員(15人)で不法投棄のパトロール及び不法投棄物の回収(家電4品目・タイヤ等)を行い、処理しました。

処理件数 1,114件(令和5年度 1,266件)

処理量 49.6t(令和5年度 51.8t)

- (2) 豊田市に登録された不法投棄パトロール隊へ不法投棄対策及びまちの美化活動に必要な資材を支給し、活動を支援しました。

令和6年度不法投棄パトロール隊208団体 6,629人

(令和5年度不法投棄パトロール隊210団体 6,105人)

- (3) ごみ散乱防止対策として、ポイ捨てごみの多い地域へ看板を配布し、ごみ散乱防止の啓発を行いました。

犬フン公害防止看板 181枚

不法投棄禁止看板 179枚

- (4) 不法投棄パトロールの車両(2tトラック)を2台更新しました。

4款 衛生費

4- 3- 3目 し尿処理費		
		(前年度)
当初予算額	919,404,000円	(889,797,000円)
予算現額	838,956,909円	(880,471,000円)
決算額	806,642,314円	(839,613,856円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	32,314,595円	(40,857,144円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 し尿収集事業費【清掃業務課】	161,861,142円	
(1) 直営収集	都市景観や環境に配慮し、側面をパネル架装したし尿収集車で計画的に収集作業を実施しました。(収集世帯数：73世帯)	
(2) 委託収集(1組合、1業者)	し尿収集作業の一部を業者へ委託しました。 (収集世帯数 1,140世帯)	
し尿搬入量		
逢妻衛生プラント	1,282t	
砂川衛生プラント	3,557t	
し尿搬入量 計	4,839t	
2 砂川衛生プラント費【清掃施設課】	284,634,415円	
	※全体 (豊田市分)	
し尿処理量 計	3,953t (3,557t)	
汚泥処理量 計	54,228t (49,116t)	
	※全体は、みよし市分を含む。	
3 逢妻衛生プラント費【清掃施設課】	346,134,891円	
	※全体 (豊田市分)	
し尿処理量 計	1,820t (1,282t)	
汚泥処理量 計	65,605t (48,867t)	
	※全体は、知立市分を含む。	
肥料利用量	335t	
4 浄化槽対策費【下水道施設課】	4,634,131円	
(1) 事務費		
(2) 浄化槽適正管理推進費	地域ぐるみで浄化槽の適正な維持管理を推進する「浄化槽維持管理促進事業」を実施しました。	
実施団体	45団体	
実施世帯	3,602世帯	

4款 衛生費

- 5 公衆便所費【清掃業務課】 9,377,735円
 名鉄豊田市駅周辺や浄水駅前など10か所の公衆トイレの清掃・補修等の維持管理を行いました。

4-3-4目 清掃工場費

(前年度)

当初予算額	4,209,572,000円	(4,278,687,000円)
予算現額	4,370,270,091円	(4,447,869,826円)
決算額	4,044,292,635円	(4,194,553,887円)
翌年度繰越額	263,765,000円	(196,181,000円)
不用額	62,212,456円	(57,134,939円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	254,759,000円
渡刈クリーンセンター設備改修事業	254,759,000円
☆繰越明許費☆	9,006,000円
長寿命化改修設計事業(渡刈クリーンセンター)	9,006,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 渡刈クリーンセンター費【清掃施設課】

	3,334,946,876円
(1) 管理運営費	2,207,515,666円
ごみ焼却量	3 炉合計 84,242 t
発電電力量	38,751MWh
売電電力量	17,863MWh
溶融スラグ利用量	2,352 t
(2) 施設整備費	1,127,431,210円
	基幹的設備改良工事を行いました。

2 プラスチック資源化施設費【清掃施設課】129,375,632円

(1) 管理運営費	123,325,632円
処理量	1,844 t
引渡量	1,719 t
(2) 施設整備費	6,050,000円
	供給コンベヤ等の修繕を行いました。

3 藤岡プラント費【清掃施設課】579,970,127円

(1) 管理運営費	566,789,927円
ごみ焼却量	18,382 t
(2) 施設整備費	13,180,200円
	消防用設備の修繕及びキャッシュレス決済を導入するため、計

4款 衛生費

量システムを改修しました。

◆特記事項

長寿命化改修設計事業（ 渡刈クリーンセンター ）において、事業の平準化を図るため、9月議会で9, 0 0 6千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【 清掃施設課 】

5款 労働費

5款 労働費			
(前年度)			
当初予算額	171,001,000円	(	181,598,000円)
予算現額	173,903,000円	(	171,301,000円)
決算額	166,386,467円	(	163,965,067円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	7,516,533円	(	7,335,933円)
5- 1- 1目 労働費			
(前年度)			
当初予算額	171,001,000円	(	181,598,000円)
予算現額	173,903,000円	(	171,301,000円)
決算額	166,386,467円	(	163,965,067円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	7,516,533円	(	7,335,933円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 人件費(一般職6人、非常勤一般職3人)【人事課】			
			51,581,458円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】			
			158,790円
3 労政事務費【産業人材活躍課】			
			173,930円
4 職業訓練校費【産業人材活躍課】			
			8,615,078円
職業訓練校の適正な維持管理に努めるとともに、訓練生の授業料や教材用の木材調達への支援により、訓練事業の運営強化を図りました。			
指定管理者 職業訓練法人豊田職業訓練協会			
利用者数 2,424人			
5 就労支援費【産業人材活躍課】			
			72,763,864円
(1) 就労支援室費			
就職希望者を対象に、ハローワーク豊田と連携し、一体的就労支援事業を実施しました。			
相談件数 3,365件			
紹介件数 1,100件			
就職件数 294件			
(2) 若年者就労支援費			
若年者就労支援のため、キャリアカウンセリングやPC講座を実施しました。			
参加者数 129人			
(3) 定住外国人就労支援費			

就職に必要な技能習得を目的とした外国人就労支援日本語教室
や就労支援セミナー等を実施しました。

中級日本語教室（１１９回開催）参加者実人数 ２１人

初級日本語教室（１２０回開催）参加者実人数 ７４人

外国人向け就労支援セミナー等参加者数 １０５人

シニア外国人向け日本語教室（９回）参加者実人数 ２１人

（４）女性就労支援費

女性しごとテラスを運営し、職業相談・職業紹介を行うとともに
に女性の再就労を支援する各種のセミナーを実施しました。

相談件数 １，３６７件

就職件数 １２５件

就労支援セミナー参加者数 １２回 ３９０人

ジョブトレーニング参加者数 ３回 ９２人

（５）中高年齢者就労支援費

個別相談、セミナー参加者数 ２１１人

6 働き方改革推進費【産業人材活躍課】 8, 033, 254円

（１）アドバイザー派遣費

市内事業所の働き方改革の取組を促進するため、専門的知識を
有する登録アドバイザーの活用促進を図るとともに、市内事業所
へ派遣しました。

登録アドバイザー ４０人

アドバイザー・講師派遣回数 ２５事業所５０回

（２）啓発事業費

市内事業所の働き方改革への取組意欲を喚起するため、意識啓
発を実施しました。

優良事業所表彰 応募事業所数 １６事業所

確認公表制度 確認公表完了事業所数 ５６事業所

（３）働き方改革推進支援補助金（２／３・１／２）

社内コミュニケーションの活性化やテレワークの導入、多様な
人材の活躍推進等に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部
を補助しました。

補助件数 １７件

7 勤労者サービスセンター事業補助金（１０／１０）

【産業人材活躍課】 ２１，０８４，０９３円

会員数 ６，５２９人（５１９事業所）

8 勤労者対策費【産業人材活躍課】 3, 976, 000円

（１）雇用対策協会補助金（１／２）

事業内容 インターンシップ事業、業界研究会等

5款 勞働費

(2) 勞働団体公益的事業補助金 (1 / 2)

事業内容 交通安全活動、環境美化活動

6款 農林水産業費

6款 農林水産業費		
(前年度)		
当初予算額	3,110,483,000円	(3,299,502,000円)
予算現額	3,242,162,000円	(3,415,905,077円)
決算額	3,050,900,030円	(3,179,309,550円)
翌年度繰越額	62,208,000円	(105,386,000円)
不用額	129,053,970円	(131,209,527円)
6- 1- 1目 農業委員会費		
(前年度)		
当初予算額	135,662,000円	(138,771,000円)
予算現額	126,746,000円	(129,199,000円)
決算額	118,845,187円	(125,567,710円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,900,813円	(3,631,290円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(農業委員会委員66人、一般職7人、非常勤一般職5人)		
【農業委員会事務局・人事課】	108,243,987円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	326,260円	
3 農業委員会事務費【農業委員会事務局】	10,274,940円	
《事務処理状況》		
(1) 農地移動等処理状況(令和6年度)		
＜項目＞	＜件数＞	＜面積＞
農地法第3条	85件	14.6ha
農地法第3条解除付	1件	0.4ha
農地法第18条	168件	34.6ha
農地法第4条(許可)	17件	0.8ha
農地法第5条(許可)	246件	29.3ha
農地法第4条(届出)	97件	8.0ha
農地法第5条(届出)	203件	10.2ha
事業計画変更承認	13件	1.4ha
農地改良届	10件	0.8ha
現況証明	105件	3.0ha
生産緑地に係る主たる		
従事者の証明書	4件	1.2ha
贈与、相続税の納税		
猶予に係る適格証明	8件	4.0ha

6款 農林水産業費

そ の 他	4 2 6 件	1 3 9 . 4 h a
計	1 , 3 8 3 件	2 4 7 . 7 h a
(2) 遊休農地発生防止・解消		
令和6年度末1号遊休農地面積	4 5 5 . 7 h a	
令和6年度末2号遊休農地面積	1 5 3 . 8 h a	
(3) 担い手への農地集積・集約		
農用地区域内の農地集積率 平坦地	6 2 . 6 %	
山村地	8 . 7 %	
6- 1- 2目 農林総務費		
		(前年度)
当初予算額	669,095,000円	(591,767,000円)
予算現額	543,270,000円	(561,474,000円)
決算額	514,835,274円	(538,268,029円)
翌年度繰越額	7,500,000円	(0円)
不用額	20,934,726円	(23,205,971円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		7,500,000円
新規就農者育成総合対策事業		7,500,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職44人、非常勤一般職13人)【人事課】		382,871,767円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		885,670円
3 農政事務費【農政企画課・農業振興課】	2,249,863円	
4 農政総合推進費【農政企画課・農業振興課】	34,678,000円	
(1) 農地調整推進費	495,000円	
農地転用許可台帳システムの保守管理のための業務委託を行いました。		
(2) 農業チャレンジ推進補助金(1/2)	6,736,000円	
農業のカーボンニュートラル実現に向けて、農業者が営農上の課題解決に向けて自ら取り組む挑戦的な事業を支援しました。		
補助件数	12件	
(3) 農業人材力強化総合支援費補助金(定額)		4,950,000円
令和3年度までに認定を受けた新規就農者に交付金を交付し、農業への定着を促進しました。		
農業次世代人材投資資金交付件数	5件	

(4) 新規就農者育成総合対策補助金 22,497,000円
令和4年度以降の認定新規就農者に対して資金を助成するとともに、就農に必要な機械等の導入を支援しました。

経営開始資金(定額) 13件 18,750,000円

経営発展支援事業(3/4)1件 3,747,000円

5 農業振興地域整備推進費【農政企画課】 4,977,500円
豊田農業振興地域整備計画の見直しを行うために業務委託を行いました。

6 農業基本計画推進費【農政企画課】 596,928円
豊田市農業・農村支援協議会及び豊田市農業基本計画検討部会を開催し、第4次豊田市農業基本計画を策定しました。

7 農ライフ創生センター費【農業振興課】 23,599,982円
(1) 運営費 21,580,982円

多様な農業の担い手を育成し、「生きがい型農業」の実践を支援することで遊休農地の活用を進めるため、農作物栽培研修を実施しました。

また、県内有数の桃・梨の産地である本市をこの先も産地として維持するため、担い手の確保を目的とした桃・梨専門コースを実施しました。

<農作物栽培技術研修>

担い手づくりコース(農家志望者対象 2年・週1回)

20期生17人(修了) 21期生23人(1年目修了)

22期生26人(受講決定)

桃・梨専門コース(果樹農家志望者対象 2年
・年1,200時間以上)

5期生 2人(修了)

※受入実績は、1～5期生で8人

生きがいづくりコース(農を楽しむ者対象 1年・週1回)

6期生 10人(修了)

7期生 12人(受講決定)

旬の野菜づくりコース(農の基礎を学ぶ者対象 年12回)

令和6年度 30人(修了)

令和7年度 30人(受講決定)

<担い手づくりコース修了生の農地借入状況>

19期生までの累計298人 約60.0ha

<桃・梨専門コース用管理は場の確保状況>

研修修了生用に確保したは場の累計 約8.7ha(継承済)

(2) 整備費 1,719,000円

豊田市家庭菜園協会に対し、家庭菜園の整備等を支援することで家庭菜園の利用環境改善を図りました。

- (3) 新規就農者就農支援事業補助金(1/2) 300,000円
桃・梨専門コースの修了生に対し、新規就農時の経営安定を図るため支援しました。

補助対象 新規就農時の事業経費

補助件数 1件

- 8 体験農園費【農政企画課】 1,113,550円

- (1) 体験農園費 963,550円

都市と山村部の交流促進のため、足助地区の市民農園等の管理を行いました。

- (2) 市民農園運営等支援費補助金(3/10) 150,000円
市民農園運営者に対し、農園整備や農業教室の開催等を支援することで市民農園の利用環境の改善と利用率向上を図りました。

補助対象 市民農園運営者

補助件数 1件

- 9 後継者育成費補助金(2/10)【農業振興課】 69,000円
中核的担い手となる農業後継者グループの組織の育成強化を図りました。

交付先 豊田みよし4Hクラブ 会員 9人

豊田加茂青年農業士会 会員 14人

- 10 農業近代化資金利子補給補助金【農業振興課】 177,281円
担い手農業者に対し、自身が立てた経営改善資金計画に即した農業経営の近代化を支援しました。

令和6年度末融資残高 11件 60,753千円

- 11 経営体育成総合融資費【農業振興課】 46,597円
認定農業者等の経営改善計画に即した資本装備高度化を支援し、農業経営の効率化・安定化に努めました。

令和6年度末融資残高 2件 16,350千円

- 12 と畜場支援費【農政企画課】 12,694,136円

- (1) 環境対策負担金 7,299,136円
と畜場の適正管理を目的として、豊田食肉事業協同組合の行うと畜場の環境対策に係る経費を負担しました。

- (2) 施設等整備費補助金(1/2) 5,395,000円
安全な食肉の供給を図るため、と畜場の施設修繕等を支援しました。

補助対象 汚水処理施設・汚泥脱水機修繕始め2件

- 13 卸売市場特別会計繰出金【農政企画課】 50,875,000円

◆特記事項

新規就農者育成総合対策事業において、初期投資促進事業の交付決定が年度内にされなかったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【農業振興課】

6- 1- 3目 農業振興費

(前年度)

当初予算額	303,047,000円	(	340,293,000円)
予算現額	298,513,030円	(	316,563,077円)
決算額	279,594,538円	(	265,269,896円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	18,918,492円	(	51,293,181円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 農村振興費【農業振興課】 4,609,000円

営農条件が不利な山村部において農地保全を図るため、全国の好事例を調査しました。

2 米政策改革推進費【農業振興課】 13,431,000円

(1) 水田農業経営所得安定対策推進事務費 2,937,000円

(2) 水田農業経営所得安定対策推進補助金(10/10)

6,300,000円

水田農業経営安定対策の円滑な推進のため、事務を行う豊田市地域農業再生協議会の運営を支援しました。

(3) 転作団地化推進費補助金(定額) 4,194,000円

連担団地の奨励・育成を図り、集団転作の定着を円滑に推進するため、集団転作参加者を支援しました。

連担団地面積 810.3ha

3 中山間地域等直接支払費【農業振興課】 113,962,248円

(1) 事務費 2,977,040円

(2) 中山間地域等直接支払交付金(定額)

110,985,208円

中山間地域等直接支払制度に参加し、協定を締結した136集落と個別協定者2人に対し交付金を支出しました。各集落は、この交付金を活用して耕作放棄の防止、多面的機能の増進、将来に向けた農業生産活動の体制整備等を行いました。

協定数 藤岡11 小原19 足助31 下山18 旭17

稲武19 石野 4 松平19 計138協定

協定締結面積 804.0ha

- 4 地場産業振興費【農政企画課・農業振興課】 11, 293, 661円
 - (1) 地産地食推進費 4, 602, 708円
産業フェスタ内農林マーケットを運営したほか、ジビエの普及啓発に向けた講座やマルシェを開催しました。
 - (2) 農産物直売所推進費 200, 330円
直売所の販売促進と認知度向上を図るため、「豊田市農産物直売所スタンプラリー2024」を開催しました。
 - (3) 豊田地域農業活性化対策負担金 5, 267, 623円
市内産農林畜産物のブランド化を推進するための品評会の開催や、機関連携による各種PRイベントの実施など、豊田市農産物ブランド化推進協議会の取組を支援しました。
 - (4) 地場農産物産地育成対策費補助金(3/10) 1, 223, 000円
生産出荷組織の育成を図り、地場農産物の高品質化を目指すとともに、産地の強化に努めました。
補助対象 組織育成費
補助件数 21件
- 5 山間地営農等振興費【農業振興課】 8, 390, 000円
営農条件が不利な山村部における農業振興を図るため、農業者団体に助成を行いました。
補助対象 農業用機械(1/2)
補助件数 2件
- 6 経営改善支援費【農業振興課】 7, 800円
スマート農業普及のため、講演会及び展示会を実施しました。
- 7 地域資源活用産業育成支援費【農政企画課】 1, 938, 568円
 - (1) 農商工連携促進費 207, 738円
市内農業者及び小売店と連携して、特産品であるいちごをテーマに「とよたいちごマルシェ」を開催しました。また、特産品づくりを現場で支援するアドバイザーを派遣しました。
出展事業者 4事業者
アドバイザー派遣回数 2事業者4回
 - (2) 6次産業化促進費 1, 730, 830円
都市圏での大規模商談会への出展を目指した「とよた食と農のビジネススクール事業」の開催を通じ、6次産業化に取り組む農業者の販路拡大を支援しました。
- 8 強い農業づくり対策費【農業振興課】 26, 239, 000円
 - (1) あいち型産地パワーアップ事業費補助金(4/10) 18, 389, 000円

産地の生産体制を強化し高収益化を図るため、農業機械等を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

補助件数 5件

(2) あいち型産地パワーアップ事業費補助金(耕畜連携型)

(1/2) 7,850,000円

自給飼料の生産量を拡大し畜産振興に寄与するため、農業機械を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

補助件数 1件

9 勘八農場費【農政企画課】 3,869,905円

勘八農場の適正な管理を実施しました。

10 主要穀物生産振興費【農業振興課】 719,000円

安全で安心な豊田市の農産物の品質向上のため、共同利用の農業機械導入に対して補助金を交付しました。

補助対象 農業用機械(3/10)

補助件数 1件

11 環境保全型農業推進費【農業振興課】 7,929,633円

(1) 環境保全型農業推進協議会負担金 130,833円

減農業栽培や有機栽培等特色ある農業生産を進め、環境保全型農業の振興を図るため、豊田・みよし環境保全型農業推進協議会に負担金を交付しました。

(2) 環境保全型農業直接支援対策費補助金(定額)

7,798,800円

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む7団体

(120.62ha)に補助金を交付しました。

12 農地集積推進費【農政企画課】 13,814,000円

(1) 農地集積推進補助金(定額) 12,914,000円

中間管理機構による担い手への農地集積と集約に取り組む地域に補助金を交付しました。

補助件数 1件

(2) 農地集積支援事業費補助金(定額) 900,000円

農地の集積・集約を促進するために、畦畔を除去した農地の所有者に補助金を交付しました。

補助件数 29件

13 漁業振興費【農業振興課】 11,520,150円

(1) 水産多面的機能発揮対策費負担金 429,150円

水産資源の生態系の維持保全及び多面的機能の理解増進を図るため、市内2団体の活動を支援する愛知県内水面水産多面的機能発揮対策協議会に負担金を交付しました。

- (2) 内水面漁業振興費補助金(1/2) 11,091,000円
内水面漁業の活性化のため稚鮎の放流や産卵場の整備などに対して補助しました
補助対象 4漁業組合(矢作川、巴川、名倉川、三河湖)
- 14 鳥獣対策費【農業振興課】 60,263,573円
- (1) 有害鳥獣捕獲対策費 35,826,494円
鳥獣による農作物被害防止のため、農事組合等の依頼に基づき
猟友会に委託し、有害鳥獣駆除を実施しました。
また、豚熱の感染防止のため、死亡野生イノシシの防疫措置業務を委託しました。
駆除依頼件数 336件
駆除頭羽数(4～3月) 10,019頭羽
ニホンカモシカ捕獲 20頭
死亡野生イノシシ 防疫措置委託件数 23件
- (2) 鳥獣害防止総合対策費負担金 14,483,079円
農作物被害を解消するため、農業関係者等で構成する豊田市農作物等鳥獣害対策連絡協議会に負担金を交付しました。
侵入防止柵 27組合 延長 47,169m
捕獲おり導入 6組合 9基
- (3) 野生鳥獣被害防止対策事業補助金(1/2) 3,788,000円
イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を防止するため、電気柵等の侵入防止施設を設置した農業者等(個人)に対し、資材費を補助しました。
補助件数 91件
- (4) 狩猟免許取得支援費補助金(10/10) 454,000円
農作物等に被害を及ぼす野生鳥獣を捕獲する担い手を確保するため、新たに有害鳥獣駆除員になる新規狩猟免許取得者に対し、免許取得費用を補助しました。
補助件数 22件
- (5) 有害鳥獣捕獲奨励補助金(定額) 5,712,000円
農事組合等の集落に対し、イノシシ等の捕獲おり管理(給餌、見回り)の奨励金を支給しました。
支給件数 217件
- 15 都市と農山村交流事業費【農政企画課】 1,607,000円
都市部の子どもが農山村体験や農家へ宿泊などをする事業に補助金を交付し、グリーンツーリズムを推進しました。

6- 1- 4目 畜産業費		
		(前年度)
当初予算額	5,843,000円 (	12,841,000円)
予算現額	36,718,970円 (	83,709,000円)
決算額	32,576,470円 (	49,490,392円)
翌年度繰越額	0円 (	30,100,000円)
不用額	4,142,500円 (	4,118,608円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 畜産振興費【農業振興課】	32,082,470円
(1) 事務費	336,600円
家畜伝染病のまん延防止のため、11月に畜産農家の防疫対策を支援しました。	
(2) 家畜導入奨励費補助金（2／10）	503,000円
畜産農家の経営と生産基盤の安定を図るため、優良家畜（牛）の導入事業に補助金を交付し、その推進を支援しました。	
補助対象 加茂和牛改良組合	
導入農家3戸、和牛6頭	
(3) 酪農ヘルパー円滑化補助金（1／20）	162,000円
酪農家の後継者育成とゆとりある酪農経営を進めるヘルパー制度を推進するため、補助金を交付しその円滑な実施を支援しました。	
補助対象 豊田酪農ヘルパー利用組合	
組合員6人	
(4) 山間地獣医療支援事業費補助金（定額）2,568,000円	
診療効率の悪い山間地で往診する家畜診療所に対し、往診にかかる経費を支援することで、獣医療体制の確保を図りました。	
補助対象家畜診療所 4か所	
(5) 後継牛確保対策費補助金（定額）	339,000円
一定の成績をもつホルスタイン雌雄判別精液の導入費用を補助し、計画的な搾乳後継牛を確保する体制を支援しました。	
(6) 粗飼料価格高騰対策事業費補助金（定額）	6,796,500円
粗飼料価格高騰に直面する酪農農家、肉用牛農家に対し価格高騰分の一部を支援しました。	
補助農家実数 22経営体	
(7) 配合飼料価格高騰対策事業費補助金（定額）	21,377,370円

6款 農林水産業費

配合飼料価格高騰に直面する畜産農家に対し価格高騰分の一部を支援しました。

補助農家実数 36経営体

2 家畜生産流通指導費【農業振興課】 494,000円

鶏卵の計画生産と安定供給を図るため、鶏卵価格安定補填金積立事業に参加する生産団体に補助金（定額）を交付しました。

補助対象 知多養鶏農業協同組合

鶏卵量 494t

6-2-1目 農地総務費

(前年度)

当初予算額	133,008,000円	(153,019,000円)
予算現額	262,106,000円	(283,116,000円)
決算額	196,101,078円	(190,055,127円)
翌年度繰越額	54,708,000円	(75,286,000円)
不用額	11,296,922円	(17,774,873円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 54,708,000円

地籍調査事業 54,708,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 農地管理事務費【農地整備課】 5,580,052円

2 農業用施設管理費【農地整備課】 58,428,072円

大雨・洪水時における湛水防除のため、排水機場7か所、野見・門田樋門及び枝下用水関連24施設等の管理を委託し、適正な運用に努めました。

3 地籍調査費【都市計画課】 91,122,954円

実施地区

貝津地区、加納地区、黒田地区、上郷大成地区、柢立地区

小田木地区、猿投地区、伊保地区、大沼地区

事業内容

事前調査93ha、境界立会43ha、境界測量36ha、

成果閲覧59ha、認証登記127ha

4 農村環境改善センター費【農地整備課】 23,077,000円

高岡農村環境改善センターの適切な維持管理に努めました。

施設利用者数 54,873人

利用者ふれあい発表会 1回、講習会 7回

5 土地改良区運営費補助金【農地整備課】 17,893,000円

6款 農林水産業費

豊田土地改良区、藤岡土地改良区、下山土地改良区、旭土地改良区に
対して補助金を交付しました。

◆特記事項

地籍調査事業において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で
50,724千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。また、法務
局の登記が年度内に完了しなかったため、3月議会で繰越明許費補正し、
翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】

6- 2- 2目 農地整備費

（前年度）

当初予算額	88,421,000円	（ 50,934,000円）
予算現額	94,321,000円	（ 53,543,847円）
決算額	91,586,434円	（ 52,539,847円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	2,734,566円	（ 1,004,000円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 農地環境整備事業費【農地整備課】 72,143,434円
県営事業の下山地区始め4地区の排水路等の実施設計及び工事に対し
負担金を執行しました。
- 2 農業農村基盤整備推進費【農地整備課】 2,338,000円
旭土地改良区が実施する、小渡・笹戸地区の農地環境整備事業立ち上
げに向けた基本調査に対し、負担金を執行しました。
- 3 経営体育成基盤整備事業費【農地整備課】 17,105,000円
豊田土地改良区が実施する、若林狸山地区の経営体育成基盤整備事業
の立ち上げに向けた基本計画調査及び換地調査に対し、補助金を交付し
ました。

6- 2- 3目 施設整備費

（前年度）

当初予算額	832,348,000円	（ 1,026,298,000円）
予算現額	933,496,000円	（ 1,008,293,153円）
決算額	900,532,653円	（ 1,002,908,386円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	32,963,347円	（ 5,384,767円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 農道整備費【農地整備課】 32,194,900円

6款 農林水産業費

修繕	迫（１）地区始め１３地区	
委託	道元橋修繕詳細設計	
工事	夏焼地区	延長＝１３２ｍ
原材料	３８か所	
負担金	浅谷地区始め５地区	延長＝３９４ｍ
2	ため池整備費【農地整備課】	３７，４６０，５００円
（１）	ため池整備事業費	３４，４７２，９００円
	本地池始め１５池の修繕、樹木伐採、測量調査を行いました。	
（２）	緊急老朽ため池整備事業費	２，９８７，６００円
	県営事業の切山池１号地区工事に対し負担金を執行しました。	
3	防災ダム事業費【農地整備課】	５，７２２，９２６円
	県営事業の徳間池地区始め４地区の実施設計及び工事に対し、負担金を執行しました。	
4	水路整備費【農地整備課】	７１，７３９，４４４円
修繕	武節（１）地区始め２１地区	
手数料	岩滝（１）地区 倒木撤去	
工事	四ツ松地区始め３地区	延長＝３３９ｍ
原材料	３４か所	
負担金	深見地区始め１７地区	延長＝１６８ｍ
5	排水機場整備費【農地整備課】	４，５８５，９００円
	千石排水機場始め４排水機場の修繕を行いました。	
6	中山間地域等活性化戦略費【農地整備課】	３，１３８，５７５円
	中山間地域の耕作放棄地の拡大を抑制するためにイノシシ被害復旧等を実施しました。	
修繕	３か所	
原材料	３か所	
7	用水保全費【農地整備課】	３２１，０６７，５１７円
（１）	放水門自動装置点検費	９，６５０，４７２円
	枝下用水放水門・河川門の保守点検を行うため、負担金を執行し、正常な機能確保を図り、災害の未然防止に努めました。	
（２）	水質保全対策事業費	２３，０４５，９４５円
	逢妻地区始め２地区の老朽化した幹線水路及び揚水機場の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。	
（３）	農業水利施設保全対策事業費	２１，８７５，０９５円
	枝下用水５期地区の老朽化した農業用施設の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。	
（４）	県営震災対策農業水利施設整備費（枝下用水地区）	２３８，７６７，５８８円

枝下用水の耐震対策工事を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。

- (5) 県営かんがい排水費(明治用水西井筋地区) 153,000円
明治用水西井筋地区の農業用施設の老朽化、耐震化対策を行う
県営事業に対し、負担金を執行しました。

- (6) 農業用用水保全対策費 1,043,000円
矢作川流域の農業用水を安定的に確保するため、明治用水土地
改良区が実施する水源かん養林事業に対し、負担金を執行しまし
ました。

- (7) 矢作川総合第二期地区支援事業費 25,511,050円
明治用水の耐震対策事業に伴う、他目的使用施設の撤去等に係
る共同工事の負担金を執行しました。

- (8) 矢作川用水緊急整備事業費 1,021,367円
国の機能保全計画に基づき、県が実施する羽布ダム1期地区及
び矢作第二1期地区の水利施設整備事業に対し、負担金を執行し
ました。

- 8 土地改良施設適正化事業費【農地整備課】 26,760,000円
枝下用水8-2号放水工の開閉機更新工事を実施しました。

- 9 県営湛水防除費【農地整備課】 10,763,905円
上郷2期地区始め2地区の県営事業に対し、負担金を執行しました。

- 10 多面的機能支払費【農地整備課】 181,928,959円
農地、農業用施設の草刈りや景観植物の植栽など農村環境保全に取
り組む70の活動組織を支援しました。

認定面積 2,439ha

- 11 土地改良事業費補助金【農地整備課】 205,055,500円

- (1) かんがい排水事業補助金
($10/10 \cdot 8.5/10 \cdot 4/10 \cdot 2.5/10$)
上郷西部No2地区始め82地区 126,741,800円

- (2) 農道整備事業補助金
($10/10 \cdot 9/10 \cdot 5/10 \cdot 4/10$)
石楠No1地区始め9地区 10,220,900円

- (3) 農業用施設安全対策事業補助金($10/10 \cdot 3.5/10$)
猿投No1地区 369,000円

- (4) 機械揚水事業補助金($9.25/10 \cdot 0.75/10$)
舞木(2)地区始め7地区 4,150,000円

- (5) 農村総合整備事業補助金($6/10 \cdot 5/10 \cdot 4/10$)
枝下用水No1地区始め3地区 5,087,100円

- (6) 緊急農地防災事業補助金($2.89/10$)

6款 農林水産業費

吉原補助用水地区	25,920,700円
(7) 調査設計事業補助金(10/10・5/10)	
大内(1)地区始め4地区	26,686,000円
(8) 用水機維持管理事業補助金(3/10)	
配津揚水機場始め36施設	5,880,000円
12 ふるさと・水と土保全基金積立金【農地整備課】	114,527円

6-3-1目 林業費

		(前年度)
当初予算額	943,059,000円	(985,579,000円)
予算現額	946,991,000円	(980,007,000円)
決算額	916,828,396円	(955,210,163円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	30,162,604円	(24,796,837円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 人件費(森づくり委員会委員9人、一般職19人、非常勤一般職1人)
【森林課・人事課】 159,765,518円
- 非常勤一般職管理事務費【人事課】 67,660円
- 林業振興事務費【森林課】 17,631,128円
- 市有林管理費【森林課】 25,086,615円
 - 切置き間伐 5.20ha(西市野々市有林)
 - 利用間伐 2.00ha(御内市有林)
 - 獣害防護柵撤去 2か所(村山市有林・黒坂市有林)
御内市有林等管理委託(御内自治区)
- 森林会館費【森林課】 14,000,000円
指定管理者(一社)ウッディーラー豊田
- 矢作川水源林対策費【森林課】 48,129,261円
矢作川流域の水源となる森林を保全するため、(公財)矢作川水源基金の助成を受け、森林及び作業路の整備に補助しました。
また、この事務の一部を豊田森林組合に委託しました。
矢作川水源林対策事業事務費 2,610,261円
矢作川水源林対策費補助金(定額) 45,519,000円
 - 人工造林 0.62ha
 - 獣害対策(忌避剤散布等) 0.08ha
 - 獣害対策(防止柵設置) 509.31m
 - 下刈 8.91ha
 - 枝打ち 0.86ha

除伐	0. 83ha
間伐	78. 00ha
作業路新設 1路線	529m
7 森づくり推進費【森林課】	149, 393, 126円
(1) 計画推進費	1, 317, 347円
次期森づくり構想策定を見据え、第4次森づくり基本計画において課題となった事項についての検討委託等を実施しました。	
(2) 団地化推進費	77, 571, 374円
人工林の健全化を進めるため、団地化を推進するとともに、県が実施するあいち森と緑づくり事業と保安林事業の間伐事業地取りまとめ業務を実施しました。	
あいち森と緑づくり事業	
取りまとめ面積	352. 95ha
保安林事業	
取りまとめ面積	41. 07ha
(3) モニタリング調査費	4, 070, 000円
間伐効果を検証するため、間伐モニタリング調査を実施しました。	
(4) 人材育成費	2, 500, 000円
森林作業員の人材確保・育成を図るため、若手森林作業員に対する基礎技術研修や県内の高校生等を対象とした林業体感・見学ツアーを開催しました。	
(5) 里山林整備事業	22, 013, 205円
森づくり会議が実施する森林活用を支援するため、大径木及び竹林の伐採を実施しました。	
(6) 森づくり推進組織育成費交付金	41, 921, 200円
豊田市森づくり基本計画に基づき、人工林の間伐を推進する地域組織として「地域森づくり会議」の設立を進めるとともに、実際に間伐を行う「森づくり団地」の取りまとめを推進しました。	
また、森づくり団地の計画認定面積に応じて、地域森づくり会議と豊田森林組合に交付金を支出しました。	
森づくり会議設置数	6地域
森づくり団地設置数	44団地
森づくり団地計画認定面積	1, 048. 03ha
8 林道整備調査費【森林課】	1, 321, 306円
林道舗装工事に必要な土質調査及び林道紙資料のデータ化を実施しました。	
9 林道開設費【森林課】	42, 405, 705円

林業の生産性の向上及び山村地域の活性化を図るため、林道を開設しました。

野入立野線 施工延長： 164m 幅員： 4m

10 林道舗装費【森林課】 47,126,200円

林道の走行性及び安全性向上のため、雨水洗堀等により浸食された道路路面の舗装を行いました。

大見山線 舗装延長： 250m 幅員： 4m

尾根線 舗装延長： 460m 幅員： 4m

小川線 舗装延長： 320m 幅員： 4m

舗装延長計：1,030m

11 林道改良費【森林課】 105,466,900円

林道の安全性向上のため、道路のり面危険箇所及び道路路面損傷箇所の改良を行いました。

臼木2号線 整備延長： 188m

野原根山線 整備延長： 23m

月ヶ平線 整備延長： 618m

サンガ坂線 整備延長： 49m

フルヤ線 整備延長： 44m

夜月ヶ洞線 整備延長： 38m

根山日掛線 整備延長： 39m

峯山線 整備延長： 28m

野入月ヶ平線 整備延長： 420m

稲橋滝ヶ洞線 整備延長： 54m

和合黒坂支線 整備延長： 34m

整備延長計：1,535m

12 林道維持管理費【森林課】 51,013,309円

林道を適切に管理するため、林道パトロールを豊田森林組合に委託しました。また、倒木撤去や側溝浚渫を実施しました。

13 林道修繕費【森林課】 58,077,800円

林道の機能維持と安全性を高めるため、破損した危険箇所の修繕を実施しました。

14 林道橋りょう維持管理費【森林課】 20,897,800円

橋りょうの機能維持と安全性を高めるため、橋りょう修繕を実施しました。また、橋りょうの安全性を確認するため、定期点検を実施しました。

林道橋りょう修繕 無名橋（川添線）

林道橋りょう定期点検 47路線 55橋

15 間伐材搬出利用促進費【森林課】 49,604,820円

(1)	中核製材工場費	445,709円
	中核製材工場施設の修繕を実施しました。	
(2)	搬出路網整備費	133,111円
	作業道の維持補修をするため、原材料を支給しました。	
(3)	間伐材搬出路網開設費補助金	
	(9.7/10・2/3・3/10) 49,026,000円	
	間伐材を搬出するため、作業道・搬出路の整備に要する経費を補助しました。	
	作業道新設延長	636m 6,805,000円
	搬出路整備延長	44,287m 42,221,000円
16	間伐促進事業費【森林課】	75,239,000円
	森林の公益的機能の増進を図るため、人工林での間伐に対して補助しました。	
	間伐面積	135.38ha
17	林業労働力対策費【森林課】	19,234,000円
	新規林業就業者を確保するため、豊田森林組合の緑の雇用事業修了者への奨励金及び新規採用職員の林業大学校等への就学に要する経費を補助しました。	
18	森林環境教育推進費【森林課】	14,727,248円
	森づくりへの市民理解を醸成するため、実行委員会の運営としたとよた森林学校はじめ、小学校向け流域学習プログラム校外学習や森林出前講座を実施しました。	
	また、講座の開催案内などを周知する「森の総合サイトTomorri」の運営及び市民活動団体によって調査された市内全域の森林植生データのデジタル化を実施しました。	
	とよた森林学校実行委員会負担金	9,870,487円
		12講座(32回)197人
	流域学習プログラム校外学習	13校(17回)656人
	森林出前講座	20回258人
	植生分布調査結果データ入力業務	3,244,934円
19	地籍調査費【森林課】	1,273,000円
	森林地域の地籍調査を推進するため、令和6年度から森林組合が実施する地籍調査事業にかかる経費を補助しました。	
20	高性能林業機械施業促進費【森林課】	6,611,000円
	機械化・省力化を推進し、木材生産量を増加させるため、林業経営体が行う高性能林業機械の導入及び借入れに要する経費を補助しました。	
	購入	1台、リース3台、レンタル3台

21 地域材利用拡大推進費【森林課】 9,005,000円
 豊田市産材の認知向上と活用促進のため、商品開発、調査研究、利
 用拡大等に係る費用を支出しました。

地域材利用促進事業負担金 1団体 7,090,000円

地域材活用セミナー講師謝礼 130,000円

テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金

1件 1,785,000円

22 森林整備市民活動費【森林課】 752,000円

市民グループによる自主的な森林整備を進めるため、グループの立
 ち上げ経費及び保険料を補助しました。

森林ボランティア始動支援 3団体 250,000円

森林ボランティア安全対策 14団体 502,000円

◆特記事項

- ・市の予算執行関係では、間伐促進事業、矢作川水源林対策事業及び水道
 水源林保全事業（水道水源保全会計）で332.71haの私有林を間
 伐しました。【森林課】
- ・市全体では、あいち森と緑づくり事業等の県の予算執行関係を加え、
 769.67haの私有林を間伐しました。【森林課】
- ・「地域森づくり会議」は、これまでに122会議が設立され、755団
 地、17,609.80haの人工林が団地化されました。【森林課】

7款 商工費

7款 商工費		
(前年度)		
当初予算額	3,958,160,000円	(4,673,905,000円)
予算現額	5,321,067,000円	(7,467,317,064円)
決算額	4,059,216,600円	(5,731,349,900円)
翌年度繰越額	440,848,868円	(952,800,000円)
不用額	821,001,532円	(783,167,164円)
7- 1- 1目 商工総務費		
(前年度)		
当初予算額	430,392,000円	(402,269,000円)
予算現額	442,537,000円	(913,333,432円)
決算額	418,981,714円	(483,109,038円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	23,555,286円	(430,224,394円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費（一般職42人、非常勤一般職24人）【人事課】	416,457,333円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	2,093,280円	
3 商工総務事務費【産業振興課】	431,101円	
7- 1- 2目 商業振興費		
(前年度)		
当初予算額	928,112,000円	(1,018,196,000円)
予算現額	1,059,562,000円	(1,954,082,000円)
決算額	948,325,554円	(1,909,660,612円)
翌年度繰越額	40,848,868円	(2,800,000円)
不用額	70,387,578円	(41,621,388円)
●翌年度繰越額		
☆継続費☆	40,848,868円	
足助商工会館修繕事業	22,202,000円	
豊田参合館長寿命化等改修負担事業（共用部）	18,646,868円	
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費（商業振興委員会委員8人）【産業振興課】	408,100円	
2 商業振興費【産業振興課】	10,227,439円	
(1) 事務費	129,439円	

- (2) 施設整備費 10,098,000円
足助商工会館の修繕工事を開始し、工事請負者に前払金を支払いました。
- 3 産業文化センター費【産業振興課、建築保全・住宅課】
156,663,609円
- (1) 管理費 144,927,385円
- (2) 施設保全費 6,069,706円
東側バス駐車場門扉の故障に伴う修繕と館内の壁面タイルの浮きに対する落下防止の修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 5,666,518円
シュレッダーの故障に伴い購入しました。また、乳幼児を連れて利用できるよう科学体験館付近のトイレにベビーキープとベビーシートを設置しました。
- 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団
施設利用者数 404,756人
- 4 都心駐車場費【産業振興課】 11,751,741円
- (1) 管理費 5,558,800円
- (2) 施設整備費 6,192,941円
都心地区駐車場の適正な維持管理のため、施設修繕及び管理費の負担を行いました。
- 5 再開発施設費【産業振興課】 209,882,554円
- (1) 管理費 159,216,163円
- (2) 施設整備費 50,666,391円
再開発施設の適正な維持管理のため、専用部火災保険料、共用部管理費・修繕費の負担を行いました。また、豊田参合館長寿命化等改修事業において、修正設計等に係る費用を負担しました。
- 6 フリーパーキング費【産業振興課】 137,500,000円
フリーパーキング対象駐車場において、公共施設の利用者の駐車料金の一部を負担し、都心駐車場の利便性向上を図りました。
- 7 商業活性化対策費【産業振興課】 309,349,670円
- (1) 商業活性化対策費 12,091,670円
個店等への商業アドバイザー派遣、創業に関心のある市民を対象とした創業機運醸成事業、「とよた産業ナビ」への補助金の採択事業の掲載等を実施しました。また、豊田市商業活性化プラン2025～2029に係る業務委託を行いました。
- (2) 商業活性化推進交付金 2団体 23,530,000円
商業振興条例に基づき、商業活性化推進3か年計画を策定した団体から申請のあった各種事業について支援しました。

(3) 商業・サービス機能誘致奨励金 (定額)

1団体 1, 177, 000円

商業振興条例に基づき、商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定した地域内で、商業・サービス機能の拠点となる施設を誘致した事業者に奨励金を交付しました。

(4) 商店街等事業機会拡大事業補助金

(9 / 10 ・ 8 / 10 ・ 5 / 10 ・ 4 / 10)

9団体 8, 485, 000円

商店街等活性化計画を策定した商業団体が実施する販売促進等の事業機会の拡大や、研修会開催などの人材育成事業に対して支援しました。

(5) 商店街等施設整備事業補助金 (9 / 10 ・ 5 / 10)

5団体 4, 059, 000円

商業団体が実施する商店街の活性化を図る施設・設備の整備に対して支援しました。

(6) 街路灯電灯料支援事業補助金 (9 / 10)

16団体 10, 211, 000円

商店街等商業団体が維持管理する街路灯の電灯料について支援しました。

(7) 街路灯整備事業補助金 (9 / 10 ・ 8 / 10 ・ 5 / 10)

5団体 6, 262, 000円

商店街等商業団体が設置する街路灯のLED化などの改修等を支援しました。

(8) 中小企業指導事業補助金 (8 / 10 ・ 5 / 10)

8団体 78, 133, 000円

豊田商工会議所や商工会等が行う経営改善普及事業等について支援しました。

(9) 中心市街地活性化協議会活動支援事業補助金

(8 / 10 ・ 5 / 10) 1団体 103, 000円

(10) 商業パワーアップ支援補助金 (5 / 10)

20件 14, 134, 000円

市内商業者の事業転換、事業拡大、業務効率化に対して支援しました。

(11) 商店街等プレミアム商品券発行事業補助金

(10 / 10 ・ 8 / 10 ・ 6 / 10)

149, 659, 000円

市内での消費喚起を促し、地域経済の好循環を生み出すため、12団体に対して商品券発行に係る補助を実施しました。

- (1 2) 山村地域貢献事業応援補助金 (5 / 1 0)
3件 1, 505, 000円
山村地域に求められる買い物関連事業に対して支援し、買い物環境の維持・向上を図りました。
- 8 中心市街地活性化対策費【産業振興課】 49, 843, 455円
(1) 中心市街地情報提供費 2, 468, 852円
歩行者通行量自動計測装置等の管理を行いました。
- (2) 中心市街地活性化調査費 3, 209, 800円
第4期中心市街地活性化基本計画の事業進捗を測るため、空き家・空き店舗の現況調査を実施しました。
- (3) まちなか賑わい・回遊性向上費 34, 164, 803円
中心市街地での回遊性を高めるため、映画を活かしたまちづくり事業の経費、ディズニー・オン・アイス開催に合わせたまちなか回遊事業の経費及びラリー駅前イベントの開催に係る経費を支援しました。
- (4) イルミネーションストーリー実行委員会負担金
10, 000, 000円
中心市街地の賑わいを創出するため、中心市街地一帯をイルミネーションで装飾する費用を負担しました。
- 9 エリアマネジメント推進費【産業振興課】 30, 620, 942円
(1) 公共空間活用推進費 16, 710, 401円
あそべるとよた推進協議会に対し公共的空間活用事業の経費、都市再生推進法人に対し自立したエリアマネジメントに向けた事業の経費を支援しました。
- (2) エリアマネジメント推進人材活用補助金
(10 / 10・8 / 10) 13, 910, 541円
都市再生推進法人がまちづくりに関して事業を実施する上で必要となる人材の登用に係る費用を支援しました。
- 10 農商工連携促進費【産業振興課】 1, 504, 044円
特産品の販路拡大のために「とよたの特産品展実行委員会」が行う特産品展の開催について負担しました。
- 11 産業展負担金【産業振興課】 17, 200, 000円
名 称 とよた産業フェスタ2024
開催日 令和6年10月5日(土)、10月6日(日)2日間
- 12 コンベンション開催支援補助金 (1 / 2・定額)
【観光誘客推進課】 94件 13, 374, 000円
市内消費を喚起するため、ホテル・旅館で開催する会議等に要する経費に対して支援しました。

7- 1- 3目 工業振興費

(前年度)

当初予算額	1,838,330,000円	(2,548,558,000円)
予算現額	2,711,833,000円	(2,736,702,000円)
決算額	1,692,505,330円	(1,511,805,575円)
翌年度繰越額	400,000,000円	(950,000,000円)
不用額	619,327,670円	(274,896,425円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	400,000,000円
カーボンニュートラル創エネ促進補助事業	250,000,000円
カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助事業	150,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(産業振興委員会委員10人、企業立地審査会委員4人、
ものづくり創造補助事業審査会委員4人)709,200円

【産業振興課・次世代産業課】

- 2 工業振興事務費【産業振興課】 13,931,611円
- 3 工業振興推進費【次世代産業課】 204,120,356円

(1) イノベーションセンター運営費

産学官の連携により「とよたイノベーションセンター」を運営し、イノベーションセミナー、人材育成講座、技術経営相談、支援機関への講習会等を実施しました。また、豊田市DX推進プラットフォーム事業として相談窓口やDX促進アドバイザー派遣、DX推進セミナー等を実施しました。

セミナー・講座等受講者 486人

技術・経営相談 800件

支援機関への講習会等 30回

DX相談窓口等支援社数 36社

(2) ものづくり創造拠点運営費

ものづくりスペース、交流スペース、セミナールーム等を併せ持つ「ものづくり創造拠点」や実証フィールドで、ものづくり企業・団体の新事業展開、人材育成等を支援しました。

登録団体 117団体

ものづくりミライ塾参加者 27人

(3) 新事業展開支援費

新規事業計画策定に向けたワークショップや、事業拡大やオープンイノベーションの推進を図るイベント等をオンライン併用で実施し、市内企業の新たな事業展開を支援しました。

- 新規事業創出取組促進事業 10社
 ピッチイベント 8社登壇
 豊田スタートアップチャレンジ 全4回
- (4) ビジネスチャンス拡大支援費
 とよたビジネスフェア2024を開催しました。
 出展者数 120社・団体
 来場者数 5,800人
- (5) ものづくりブランド創出活用費
 市内企業の優れた技術や製品を豊田ものづくりブランドとして
 認定し、PR動画を制作しました。
 認定技術・製品数 9件
- (6) ものづくり創造補助金(1/2)
 市内中小企業の新事業展開や、スタートアップの事業化に向け
 た活動に必要な経費の一部を補助しました。
 補助件数 4件
- (7) 次世代航空モビリティ産業化推進費
 次世代航空モビリティ協業ネットワークを中心に、開発報告&
 提案会、普及啓発イベントや中学校での講演会を実施すると共に
 研究・開発用地の整備を行いました。
 市内企業等との協業実績 7件
- 4 デジタル化促進費【産業人材活躍課・次世代産業課】
 40,410,600円
- (1) デジタル人材育成支援費
 メタバースを活用した市内産業等のPRを実施したことに加え
 て、デジタル人材育成のため、企業従業員や求職者等を対象とし
 てスキルアップ研修を実施しました。
 研修受講者 延べ 105人
- (2) デジタル技術活用促進費
 DXに挑戦する中小企業に対して支援しモデル事例を創出する
 とともに、市内企業へ横展開を図りました。また、ローカル5G
 の実証スペースを提供しました。
 支援件数 6件
- 5 経営力高度化支援費【産業人材活躍課】 43,926,460円
- (1) 人材マッチング支援費
 市内の中小企業に対して、人材確保や育成に関わるコンサル
 ティング・若年層との接点づくりや企業同士の学びあいとコミュ
 ニティ化に向けた伴走支援を行いました。また、学校教員や地域
 の企業が「はたらく」や「キャリア教育」等について、ワークシ

ヨップを通して共に学ぶ機会を提供しました。

人材確保強化支援事業への参加企業数 16社

教員と企業の学びあい・交流事業への参加者数 110人

(2) 中小企業経営力高度化事業補助金(2/3・1/2)

人材育成、人材確保、販路拡大等の経営課題に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数 124件

6 カーボンニュートラル促進費【産業振興課・次世代産業課】

387,135,000円

(1) カーボンニュートラル取組拡大支援費

中小企業等のカーボンニュートラル取組促進のため、相談窓口の設置や個別コンサルティング支援を行いました。

相談窓口件数 50件

コンサルティング支援件数 26件

(2) カーボンニュートラル創エネ促進補助金(2/3・1/2)

再生可能エネルギー発電設備等を導入する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数 16事業所 197,599千円

(3) カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金

(1/2・1/3)

既存設備をエネルギー消費効率の優れた指定生産設備に更新する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数 13事業所 181,132千円

7 産業立地政策推進費【産業振興課】 991,004,177円

(1) 産業誘致活動費

企業誘致を推進するため、産業用地整備候補地を選定し、モデルプラン作成、事業採算性の確認及び課題整理等を行いました。

(2) 企業誘致推進補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 1事業所 177,005千円

(3) 企業立地奨励補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 10事業所 712,320千円

中小企業設備投資奨励金 1事業所 1,615千円

市民雇用奨励金 3事業所 2,250千円

(4) 創造産業立地補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

創造産業立地補助金 1事業所 92,232千円

8 産業情報提供費【産業振興課・産業人材活躍課】

1,295,129円

産業振興施策に必要な情報を収集するとともに、企業支援情報サイト「とよた産業ナビ」により、市内企業に対して積極的に情報提供を行いました。

9 建設業振興推進費【産業振興課】

1,094,153円

豊田商工会議所建設業部会と連携し、各展示会等で効果的に建設業界のPR活動ができるよう、PRバナー等の作成を行いました。

10 先人顕彰事業負担金【産業振興課】

1,060,587円

本市の礎を築いた先人の「まちづくり」「ものづくり」精神を伝承するため、「中村寿一・豊田喜一郎顕彰会事業」に負担金を支払いました。

献花式開催日 令和7年3月1日(土)

11 ものづくり未来創造基金積立金【次世代産業課】

818,057円

12 産業用地造成事業特別会計繰出金【産業振興課】

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金

7,000,000円

◆特記事項

カーボンニュートラル創エネ促進補助事業及びカーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助事業において、事業者による2か年に渡る設備工事に対応するため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業振興課】

7- 1- 4目 金融対策費

(前年度)

当初予算額	281,507,000円	(219,440,000円)
予算現額	411,507,000円	(350,066,116円)
決算額	366,426,170円	(338,217,576円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	45,080,830円	(11,848,540円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 金融対策事務費【産業振興課】

328,170円

事前信用調査の実施など、各種制度融資の普及・啓発に努めました。

2 信用保証料補助金(10/10・7.5/10)【産業振興課】

116,098,000円

中小企業が信用保証制度を利用して融資を受ける際に負担する信用保証料を補助しました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み緊急経済

7款 商工費

対策補助金を交付しました。

補助件数 1,078件(うち、緊急経済対策補助金は490件)

3 資金融資費【産業振興課】 250,000,000円

中小企業の健全な事業活動を支援するため、融資取扱い金融機関へ預託を行いました。

(1) 小規模企業等振興資金預託金(振、振小)

預託額 185,000,000円

融資決定件数 435件

融資決定金額 2,443,140,000円

(2) 商工業者事業資金預託金(マルトヨ)

預託額 65,000,000円

融資決定件数 73件

融資決定金額 247,460,000円

7- 1- 5目 消費者行政費

(前年度)

当初予算額 26,273,000円 (27,776,000円)

予算現額 26,273,000円 (29,826,000円)

決算額 25,328,237円 (29,194,908円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 944,763円 (631,092円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 消費者行政推進費【市民相談課】 1,179,534円

消費者の権利を守るため、消費生活相談業務を行いました。

相談件数 2,780件(対前年 +88件)

2 消費者啓発費【市民相談課】 4,934,512円

消費者被害を未然に防止するため、市内企業や団体の依頼を受け消費生活講座を行いました。

講座開催 29回(参加者1,931人)

消費者啓発資料の配布やCATV等を利用して消費者に情報提供しました。

3 豊田消費生活センター費【市民相談課】 13,294,095円

4 計量行政推進費【産業振興課】 5,920,096円

計量の適正化を図るため、定期検査や各種立入検査を実施しました。

量目検査 10店 400個

燃料油メーター検査 16店 217器

特定計量器定期検査 302営業所 604器

大型計量器定期検査		5 営業所	6 器
7- 1- 6目 観光費			
(前年度)			
当初予算額	453,546,000円	(	457,666,000円)
予算現額	669,355,000円	(	1,483,307,516円)
決算額	607,649,595円	(	1,459,362,191円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	61,705,405円	(	23,945,325円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	観光事務費【観光誘客推進課】	13,839,003円	
2	観光基本計画策定費【観光誘客推進課】	7,570,670円	
	豊田市観光実践計画2025～2029を策定しました。		
3	観光まちづくり推進費【観光誘客推進課】	6,171,480円	
	観光防災に関する知識を習得した人材を育成するため、観光防災セミナーを開催しました。		
	「観光防災セミナー」講座1回 参加者33名		
	「豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会」にて、市内観光などを促す広報物の作成、「豊田市デイズ」出稿、タクシーチケット事業を実施しました。		
4	観光プロモーション費【観光誘客推進課】	11,252,282円	
	映像文化の醸成等を図るため、寿恵野小学校における映像制作体験事業の実施や、電子雑誌「旅色」を制作し、市内観光地のPRを実施しました。		
5	来訪者受入環境推進費【観光誘客推進課・産業振興課】	2,040,000円	
(1)	観光地魅力向上推進費	500,000円	
	地域で活躍する団体等が抱える課題を解決するためのアドバイザーを派遣しました。		
	派遣先 1団体(豊田市しもやま観光協会)		
(2)	施設整備対策費	1,540,000円	
	豊田市駅東口のデジタルサイネージを活用し、情報発信を実施しました。		
6	松平地区回遊歩道費【観光誘客推進課】	208,170円	
7	松平郷観光施設費【観光誘客推進課】	23,836,814円	
(1)	施設管理費	10,145,114円	
	松平郷園地年間利用者数	77,100人	

- (2) 施設整備費 13,691,700円
観光案内看板、遊歩道、枕木の修繕等を実施しました。
- 8 王滝溪谷観光施設費【観光誘客推進課】 17,532,735円
- (1) 施設管理費 12,933,085円
王滝溪谷 年間利用者数 118,832人
うちバーベキュー場利用者数 2,456人(291組)
- (2) 施設整備費 4,599,650円
龍門園地トイレや遊歩道の修繕等を実施しました。
- 9 猿投地区観光施設費【観光誘客推進課】 5,058,287円
- (1) 施設管理費 4,574,287円
猿投山 年間利用者数 358,499人
- (2) 施設整備費 484,000円
登山者用の駐車場を新たに整備しました。
- 10 東海自然歩道費【観光誘客推進課】 1,747,355円
施設管理費
東海自然歩道 4地区(豊田、藤岡、足助、旭)
年間利用者数 197,613人
- 11 豊田おいでんまつり開催負担金【産業振興課】 250,543,546円
第56回豊田おいでんまつり(マイタウン、総踊り、花火大会)
を開催しました。
- 12 観光協会補助金【観光誘客推進課】 110,164,501円
- (1) ツーリズムとよた補助金(定額) 105,014,501円
本市の地域資源の魅力を引き出し、国内外からの観光客の誘致
促進による地域経済の活性化に向けて一般社団法人ツーリズムと
よたに対し補助金を交付しました。
ホームページ総ページビュー数 465万件
正会員数 204会員
- (2) 松平観光協会補助金(定額) 5,150,000円
松平地区の観光資源を生かし誘客を図る松平観光協会に対し補
助金を交付しました。
- 13 観光客等誘引宿泊促進費【観光誘客推進課】 157,684,752円
本市の豊かな自然や多様な文化、食などに触れることができる「体
験」の機会を創出するとともに、宿泊促進による観光産業の活性化を
図るため、「VISITとよた割」を実施しました。

8款 土木費

8款 土木費		
(前年度)		
当初予算額	30,954,766,000円	(32,278,048,000円)
予算現額	45,978,169,239円	(39,033,400,659円)
決算額	39,463,304,712円	(32,507,380,420円)
翌年度繰越額	5,872,833,480円	(5,493,020,119円)
不用額	642,031,047円	(1,033,000,120円)
8- 1- 1目 土木総務費		
(前年度)		
当初予算額	605,601,000円	(652,093,000円)
予算現額	614,100,000円	(599,142,000円)
決算額	597,487,643円	(574,924,756円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	16,612,357円	(24,217,244円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職69人、非常勤一般職6人)【人事課】	594,201,360円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	407,100円	
3 土木総務事務費【土木管理課】	2,879,183円	
8- 1- 2目 建築管理費		
(前年度)		
当初予算額	12,935,000円	(34,913,000円)
予算現額	12,947,000円	(48,425,000円)
決算額	12,184,297円	(44,842,016円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	762,703円	(3,582,984円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 建築管理事務費【建築整備課】	9,514,941円	
2 建築保全事務費【建築保全・住宅課】	480,356円	
3 公共建築物設計費【建築整備課】	2,189,000円	
建築改修工事等に要するアスベスト分析調査を行いました。		

8- 1- 3目 建築審査費

(前年度)

当初予算額	200,156,000円	(250,504,000円)
予算現額	207,778,000円	(224,784,000円)
決算額	174,275,143円	(221,431,646円)
翌年度繰越額	27,500,000円	(0円)
不用額	6,002,857円	(3,352,354円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 27,500,000円

盛土規制法基礎調査委託事業 27,500,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(建築審査会委員5人、開発審査会委員5人)
 - 【建築相談課・開発調整課】 394,000円
- 2 建築審査事務費【建築相談課】 15,282,541円
 - (1) 建築確認申請等受付件数(中間・完了検査含む。) 87件
 - 許可・認定申請受付件数 17件
 - 仮使用認定申請受付件数 1件
 - (2) 長期優良住宅建築等計画認定申請受付件数 1,040件
 - (3) 人にやさしい街づくりの推進に関する条例
 - 整備計画届出受理件数 74件
 - 適合証請求受理件数 8件
 - (4) 建築基準法道路情報の更新データを作成しました。
 - 作成件数 249件
 - (5) 建築基準法道路システムへ道路後退届出等の関連資料を追加しました。
 - 作成件数 7,016件
 - (6) 建築基準法道路公開情報を更新しました。
- 3 開発審査事務費【開発調整課】 1,753,618円
 - 都市計画法
 - 開発許可申請受付件数 203件
 - 建築許可申請受付件数 312件
 - 盛土規制法
 - 許可申請受付件数 26件
- 4 開発事業監視費【開発調整課】 123,670円
 - パトロール実施回数 795回
- 5 造成宅地防災区域指定等調査費【開発調整課】 24,244,420円

8款 土木費

既存盛土調査		257か所
6	建築安全対策事務費【建築相談課】	184,756円
管理不全空家等判定基準(樹木)を選定しました。		
7	後退用地整備費【土木管理課・土木課】	126,391,738円
狭あいな生活道路解消のため、道路側溝、舗装等の整備を行いました。		
寄附採納筆数		133筆
寄附採納面積		1,346㎡
整備工事		3件
整備延長		1,054m
8	位置指定道路整備費【土木課】	5,900,400円
位置指定部分の寄附を受け、舗装等の整備を行いました。		
整備工事		1件
整備延長		54m
◆特記事項		
盛土規制法基礎調査委託事業において、国の補正予算(第1号)により社会資本整備総合交付金の採択が受けられたため、3月議会では21,200千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。		
【開発調整課】		
8- 2- 1目 道路橋りょう総務費		
(前年度)		
当初予算額	608,632,000円	(702,226,000円)
予算現額	685,492,000円	(679,085,000円)
決算額	669,825,219円	(664,036,584円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	15,666,781円	(15,048,416円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(一般職50人、非常勤一般職21人)【人事課】	505,147,682円
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	1,467,210円
3	道路橋りょう総務事務費	30,367,172円
【建設企画課・土木管理課・道路維持課・道路予防保全課・土木課・地域建設課】		
道路等占用物の適正化のため、管理システムの保守管理等を行いました。		
また、建設分野のDX推進のため、デジタルツインの構築に向け		

た市道の3次元点群データの取得を行いました。

- 4 道路橋りょう台帳等整備費【土木管理課】 70,622,464円

道路・橋りょうの管理の適正化のため、道路法に基づき道路台帳の更新を行いました。

道路台帳整備 路線数 283路線 延長 30.5km

- 5 道路内民地処理費【土木管理課・地域建設課】

10,952,271円

道水路内の民有地について、所有権移転登記を行いました。

55筆(3,169㎡)

- 6 公有地境界確認費【土木管理課】 51,218,420円

公有地(道水路)の境界確認業務を委託し実施しました。

境界立会件数 818件

- 7 県道改修促進期成同盟連合会等補助金(定額)【地域建設課】

50,000円

8-2-2目 道路橋りょう維持費

(前年度)

当初予算額	4,071,942,000円	(4,030,964,000円)
予算現額	4,756,934,120円	(4,929,175,577円)
決算額	4,202,547,317円	(4,413,236,889円)
翌年度繰越額	450,979,000円	(265,120,000円)
不用額	103,407,803円	(250,818,688円)

●翌年度繰越額

☆繰越証明費☆	450,979,000円
橋りょう長寿命化修繕事業(新関瀬瀬橋外4橋)	143,545,000円
路面舗装事業(市道原山線外4路線)	102,006,000円
橋りょう長寿命化修繕事業(竹見橋外20橋)	88,000,000円
橋りょう耐震補強事業(さかうえ跨道橋外4橋)	117,428,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 道路橋りょう維持管理費【道路維持課・地域建設課】

150,169,552円

生活環境と道路を適正に管理するため、側溝、排水管の清掃及び道路の維持修繕等を行いました。

また、降雪、凍結時に道路の安全を確保するため、凍結防止剤の散布を行いました。

- 2 道路等管理費【市街地整備課・道路維持課】

1,059,256,928円

(1) 道路等管理委託費 987,501,085円

道路利用者の安全確保と景観向上を図るため、街路樹の点検、
剪定及び植栽帯の草刈を行いました。

高中木 11,675本

低 木 $A = 160,698\text{m}^2$

草 刈 $A = 514,058\text{m}^2$

道路清掃 $L = 1,100\text{km}$

また、道路緑化ガイドライン（改訂版）アクションプラン（案）
を策定しました。

（２） 歩行者専用道等維持管理費 28,837,542円

歩行者の安全を確保するため、豊田市駅東デッキの巡視点検、
昇降機の保守点検及び修繕を行いました。

（３） 浄水駅歩行者専用道等維持管理費 23,217,827円

（４） 市道土橋駅南北歩行者道線維持管理費 12,087,346円

（５） 鞍ヶ池スマートインターチェンジ周辺維持管理費
7,613,128円

3 道路修繕費【道路維持課・地域建設課】

2,161,885,753円

（１） 道路側溝修繕費 306,516,100円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、生活環境を改善するため、
道路側溝修繕を行いました。

工事 24か所 $L = 1,994\text{m}$

また、91か所の緊急修繕を行いました。

（２） 地域道路側溝修繕費 356,460,940円

旭・足助・稲武・下山地区において、生活環境を改善するため、
道路側溝修繕を行いました。

工事 25か所 $L = 2,079\text{m}$

また、147か所の緊急修繕を行いました。

（３） 路面舗装修繕費 1,168,583,113円

旧豊田市・藤岡・小原地区における交通安全対策として、路面
舗装修繕を行いました。

工事 18か所 $A = 49,440\text{m}^2$

また、582か所の部分補修及び1,044mの亀裂充填を行
いました。

（４） 地域路面舗装修繕費 283,974,900円

旭・足助・稲武・下山地区における交通安全対策として、路面
舗装修繕を行いました。

工事 23か所 $A = 19,642\text{m}^2$

また、59か所の緊急修繕を行いました。

- (5) 歩道修繕費 44,799,700円
歩行者の安全を確保するため、歩道の修繕を行いました。

市道公園線始め8路線

- (6) 街路樹補植費 1,551,000円
快適な道路環境を整備し良好な道路景観を確保するため、木の補植を行いました。

高木 22本

- 4 橋りょう修繕費【道路予防保全課】 510,525,784円

- (1) 橋りょう修繕費 4,034,030円
施設の安全を確保するため、橋りょう等の緊急修繕を行いました。

橋りょう等緊急修繕 3件

- (2) 橋りょう長寿命化修繕費 506,491,754円
施設の延命化を図り安全を確保するため、橋りょう等の長寿命化修繕及び点検を実施しました。

橋りょう長寿命化修繕 75橋

橋りょう等定期点検 254橋

- 5 道路防災対策費【道路予防保全課・地域建設課】

261,716,300円

道路の安全を確保するため、のり面の防災対策を実施しました。

市道押沢松嶺線始め9路線 10か所

- 6 耐震対策費【道路予防保全課】 58,993,000円

地震に対する橋りょうの安全を確保するため、重要法定外道路橋の耐震補強を実施しました。

重要法定外道路橋耐震補強工事 1橋

◆特記事項

- ・橋りょう長寿命化修繕事業の新開羅瀬橋外4橋において、工事の平準化を図るため、9月議会で212,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路予防保全課】
- ・路面舗装事業の市道原山線外4路線において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で102,006千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路維持課】
- ・橋りょう長寿命化修繕事業の竹見橋外20橋において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で30,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路予防保全課】
- ・橋りょう耐震補強事業のさかうえ跨道橋外4橋において、債務負担行為を設定して進めており、事業進捗に合わせて3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路予防保全課】

8- 2- 3目 道路新設改良費		
		(前年度)
当初予算額	1,200,718,000円	(1,570,538,000円)
予算現額	2,260,460,000円	(1,903,254,000円)
決算額	1,642,030,464円	(1,577,859,656円)
翌年度繰越額	529,991,000円	(205,402,000円)
不用額	88,438,536円	(119,992,344円)
●翌年度繰越額		
☆継続費☆		164,554,000円
市道新設事業(市道豊田西部2号線)		91,004,000円
市道改良事業(市道土橋竜神1号線)		73,550,000円
☆繰越明許費☆		365,437,000円
市道改良事業(市道四郷25号線外1路線)		11,391,000円
市道改良事業(市道林添九久平1号線)		179,046,000円
市道改良事業(市道上野大見線外3路線)		55,000,000円
市道改良事業(市道松平足助線)		80,000,000円
市道改良事業(市道小原大草足助線外2路線)		40,000,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 市道新設費【幹線道路推進課・土木課】	265,772,220円	
住民の利便性向上と交通の安全確保を図るため、市道の新設事業を行いました。		
市道豊田西部2号線始め3事業	整備延長L=160m	
2 市道改良費1【市街地整備課・幹線道路推進課・土木課】	801,504,995円	
歩行者の交通の安全確保と住民の利便性向上を図るため、市道の改良事業を行いました。		
市道林添九久平1号線始め8事業	整備延長L=1,726m	
3 市道改良費2	543,728,395円	
【市街地整備課・区画整理支援課・幹線道路推進課・土木課・地域建設課】		
住民の交通の安全確保と利便性向上を図るため、市道の改良事業を行いました。		
市道歌石挙母線始め14事業	整備延長L=2,712m	
4 市道舗装費【土木課】	7,866,100円	
住民の利便性向上を図るため、市道の路面整備を行いました。		
2路線	舗装面積A=848㎡	
5 法定外道路改良費【土木課・地域建設課】	23,158,754円	

住民の利便性向上を図るため、豊田市法定外道路整備工事分担金
条例に基づき法定外道路の整備を行いました。

10か所

整備延長L = 754m

◆特記事項

- ・市道改良事業の市道四郷25号線外1路線において、関連する愛知県事業の年度内完了が困難となったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】
- ・市道改良事業の市道林添九久平1号線において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で11,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。また、工事において、地質の影響により、掘削に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】
- ・市道改良事業の市道上野大見線外3路線において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で55,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】
- ・市道改良事業の市道松平足助線及び市道小原大草足助線外2路線において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で110,650千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 3- 1目 安全維持費

(前年度)

当初予算額	628,699,000円	(518,550,000円)
予算現額	641,092,000円	(498,230,000円)
決算額	612,366,073円	(464,535,162円)
翌年度繰越額	10,000,000円	(0円)
不用額	18,725,927円	(33,694,838円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	10,000,000円
昭和町駐輪場整備事業	10,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 安全維持事務費【交通安全防犯課・道路維持課】

	3,174,027円
(1) 交通対策事務費	3,014,032円
(2) 安全施設事務費	159,995円
- 2 交通安全施設維持管理費【道路維持課・地域建設課】

	256,876,201円
(1) 道路照明灯等維持管理費	111,146,444円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、道路照明灯の電気料、
LED道路照明灯リース料を支払いました。

(2) 地域道路照明灯等維持管理費 2,290,912円

(3) 危険箇所維持補修費 69,811,610円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、老朽化する道路照明灯、
ガードレール等の修繕を行いました。

修繕 145か所

(4) 地域危険箇所維持補修費 2,109,800円

旭・足助・稲武・下山地区において、老朽化する道路照明灯、
ガードレール等の修繕を行いました。

修繕 8か所

(5) 交通安全施設更新事業 58,768,435円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、交通安全施設を適正に管
理するため、計画的な点検と修繕を行いました。

交通安全施設点検

道路照明灯 592基

道路警戒標識 1,264基

(6) 地域交通安全施設更新事業 12,749,000円

旭・足助・稲武・下山地区において、交通安全施設を適正に管
理するため、計画的な点検と修繕を行いました。

交通安全施設点検

大型標識 26基

道路情報板 4基

3 交通安全施設整備費【交通安全防犯課】 285,803,804円

交通事故防止対策として、交差点、カーブ、通学路等の交通危険
箇所に対し、交通安全施設の整備を行いました。

対策箇所 629か所

主な内容 防護柵 2,536m

カーブミラー 140基

区画線 91,135m

カラー舗装 1,244㎡

押しボタン式横断者明示標識 4か所

4 二輪車駐車場費【交通安全防犯課・建築保全・住宅課】

66,074,241円

(1) 管理運営費 50,595,924円

(2) 施設保全費 880,000円

朝日ヶ丘自転車等保管所照明器具取替修繕を行いました。

(3) 施設整備費 3,776,860円

昭和町駐輪場の移設整備図面の作成を行いました。

- | | | |
|-----|---------------------|--------------|
| (4) | 朝日ヶ丘自転車等保管所管理費 | 1, 125, 226円 |
| (5) | 放置自転車等防止対策費 | 9, 696, 231円 |
| | 自転車等撤去台数 | 924台 |
| | 自転車等返還台数 | 165台 |
| | 自転車等売却台数 | 813台 |
| 5 | 違法駐車等防止対策費【交通安全防犯課】 | 437, 800円 |
| | 勧告等による自主撤去 | 1台 |

◆特記事項

昭和町駐輪場整備事業において、関係者との調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【交通安全防犯課】

8- 3- 2目 歩道等整備費

(前年度)

当初予算額	297,427,000円	(390,305,000円)
予算現額	373,356,000円	(556,973,000円)
決算額	298,438,386円	(478,815,369円)
翌年度繰越額	37,000,000円	(53,000,000円)
不用額	37,917,614円	(25,157,631円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	37,000,000円
歩行者・自転車通行環境整備事業	37,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- | | | |
|---|--|----------------|
| 1 | 歩道設置費【土木課】 | 260, 221, 086円 |
| | 歩行者の交通安全を確保するため、歩道の新設改良事業を行いました。 | |
| | 市道六ツ木岩倉線始め5事業 | 整備延長L=754m |
| 2 | 歩行者・自転車通行環境整備費【土木課】 | 38, 217, 300円 |
| | 歩行者及び自転車利用者の交通安全を確保するため、豊田市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間の整備を行いました。 | |
| | 歩行者・自転車通行環境整備事業 | 整備延長L=1, 280m |

◆特記事項

歩行者・自転車通行環境整備事業において、国の補正予算(第1号)に伴い、3月議会で37, 000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 4- 1目 河川総務費			
		(前年度)	
当初予算額	537,160,000円	(	560,564,000円)
予算現額	723,208,500円	(	668,522,000円)
決算額	679,772,037円	(	629,613,203円)
翌年度繰越額	20,746,000円	(	20,397,200円)
不用額	22,690,463円	(	18,511,597円)
●翌年度繰越額			
☆繰越明許費☆			20,746,000円
河川改良事業(普通河川桑原川)			20,746,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 人件費(一般職22人、非常勤一般職8人)【人事課】			209,440,073円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】			741,310円
3 河川総務事務費【河川課】			2,401,582円
4 河川等施設費【河川課】			171,259,176円
(1) 樋門施設の維持管理 宝蔵川始め14施設			
(2) 調整池の草刈り及び施設維持			
(3) 排水ポンプ車の維持管理			
(4) 雨水排水施設等の維持管理			
5 矢作川研究所費【河川課】			9,245,813円
(1) 事務費			867,096円
(2) 河川環境啓発広報費			3,070,764円
矢作川研究所広報誌の作成及びシンポジウムを開催しました。			
(3) 河川等環境調査研究費			39,368円
健全な河川環境を回復するため、地域住民と共働で外来生物対策を行いました。			
(4) 矢作川生態系リフレッシュ費			4,754,047円
矢作川の河床環境と生物生息状況を調査し、改善策を検討しました。			
(5) 矢作川流域モニタリング調査費			514,538円
矢作川本流で水生生物及び水温のモニタリング調査を行いました。			
6 総合雨水計画策定費【河川課】			31,051,900円
豊田市総合雨水対策マスタープランに基づき、大谷川の整備計画を作成しました。			
7 総合雨水対策費【河川課】			138,116円

雨水浸透阻害行為の許可標識等を製作し、設置しました。

8 矢作川水防災協議会費【河川課】 5, 042, 188円

豊田市3D洪水ハザードマップを作成しました。

9 矢作川改修促進費【河川課】 105, 457, 678円

矢作川改修事業を促進するため、普通河川桑原川の設計や用地取得を行いました。

10 (仮)水辺ふれあいプラザ整備費【河川課】

70, 415, 093円

水辺の親水性向上のため、緩傾斜護岸等の工事を行いました。

11 急傾斜地崩壊対策負担金【土木管理課】 74, 166, 108円

愛知県が行う急傾斜地崩壊対策事業で、24か所の実施に伴う事業費の一部を負担しました。

工事 17か所

調査・設計 7か所

12 雨水貯留浸透施設補助金(1/2)【下水道建設課】

413, 000円

降雨時の河川の負担軽減及び雨水の有効利用を目的として、雨水貯留浸透施設を新たに設置するものに対し、経費の一部を補助しました。

補助実績：15件

◆特記事項

河川改良事業の普通河川桑原川において、同調する国の矢作川改修事業の進捗により、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 2目 河川改良費

(前年度)

当初予算額 1,056,694,000円 (1,316,263,000円)

予算現額 1,636,626,400円 (1,884,808,400円)

決算額 1,085,846,866円 (1,297,072,977円)

翌年度繰越額 526,968,780円 (513,569,700円)

不用額 23,810,754円 (74,165,723円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆ 454,115,600円

河川改良事業(準用河川長田川) 454,115,600円

☆繰越明許費☆ 72,853,180円

河川改良事業(準用河川大見川) 53,855,700円

8款 土木費

河川改良事業（普通河川喜光寺川） 16,840,780円

河川修繕事業（準用河川逢妻男川） 2,156,700円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 河川改良費【河川課】 463,341,788円

治水安全度を高めるため、準用河川大見川始め4河川の改良工事
及び設計等を行いました。

2 河川修繕費【地域建設課・河川課】 452,184,059円

河川施設の機能を維持するため、損傷箇所の修繕を行いました。
準用河川逢妻男川始め150か所

3 河川監視事業費【河川課】 9,788,020円

漁協との共働により、河川管理施設の監視活動を行いました。

4 安永川浄化対策費【河川課】 20,573,399円

市街地における準用河川の水質浄化に努めるため、安永川浄化用
水施設の管理を適正に行いました。

5 矢作川環境対策費【河川課】 4,772,369円

市民の憩いの場として矢作緑地の活用を図るため、散策路等の管
理を行いました。

6 矢作川環境整備費【河川課】 52,126,600円

矢作川水辺プロジェクト費

矢作川水辺空間の利活用を推進するため、高水敷の駐車場整備を
行いました。

7 河川一般環境整備費【河川課】 14,836,217円

河川環境及び水辺の生態系を維持保全するため、河川愛護団体の
活動を支援しました。

支援愛護会 25団体

8 河畔環境整備費【河川課】 939,498円

良好な河川空間を形成するため、地域との共働による河畔整備を
行いました。

9 流域貯留施設整備費【河川課】 65,431,300円

(1) 丸根池 46,115,300円

境川流域総合治水対策を推進するため、丸根池の貯留施設の整
備を行いました。

(2) 境川流域貯留施設 19,316,000円

境川流域総合治水対策を推進するため、大別当池の貯留施設の
設計を行いました。

10 矢作川学校運営負担金【河川課】 243,616円

11 矢作川環境整備促進事業補助金（1/2）【河川課】

1,610,000円

矢作川流域の草刈り等の環境美化活動に対し補助しました。

◆特記事項

- ・河川改良事業の準用河川大見川において、地質の影響により矢板護岸の施工に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】
- ・河川改良事業の普通河川喜光寺川において、同調する愛知県の事業進捗により、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】
- ・河川修繕事業の準用河川逢妻男川において、緊急の災害復旧工事の実施により、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 3目 排水路費

(前年度)

当初予算額	404,022,000円	(492,815,000円)
予算現額	429,561,100円	(537,923,000円)
決算額	422,325,201円	(520,930,360円)
翌年度繰越額	0円	(239,100円)
不用額	7,235,899円	(16,753,540円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

排水路改良費【地域建設課・河川課】 422,325,201円

排水施設の機能を維持するため、損傷箇所を修繕を行いました。

本地町排水路始め147か所

8- 5- 1目 都市計画総務費

(前年度)

当初予算額	1,559,670,000円	(1,443,812,000円)
予算現額	5,280,919,000円	(1,489,697,000円)
決算額	5,165,878,700円	(1,437,578,027円)
翌年度繰越額	47,452,000円	(12,000,000円)
不用額	67,588,300円	(40,118,973円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	47,452,000円
総合都市交通体系調査事業	8,778,000円
上豊田駅周辺土地区画整理測量設計業務委託事業	38,674,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（都市計画審議会委員16人、景観アドバイザー4人、一般職144人、非常勤一般職29人）

【都市計画課・建築相談課・人事課】1,403,570,675円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,084,810円
- 3 都市計画総務事務費【都市計画課・建築相談課】

16,150,313円

 - (1) 都市計画事務費 14,207,100円
 - (2) 都市景観事務費 1,943,213円

景観アドバイザーによる景観計画区域内行為の事前相談を実施しました。

景観アドバイザーによる事前相談件数 28件

景観計画区域内行為届出受付件数 79件

屋外広告物の許可審査を実施しました。

新規許可申請受付件数 62件

更新等許可申請受付件数 450件

屋外広告物のパトロール、簡易除却を実施しました。

パトロール、簡易除却 6回
- 4 都市計画道路調査費【都市計画課】 18,983,162円
 - (1) 鉄道計画調査費 8,258,162円

名鉄三河線速達化に向けて、実現性を見据えた部分改良案の検討を行いました。
 - (2) パーソントリップ調査費 10,725,000円

交通需要推計実施に向けた基礎資料の整理を行いました。
- 5 都市計画公園緑地調査費【都市計画課】 10,965,953円
 - (1) 緑の基本計画策定費 5,113,953円

緑の基本計画改定に向けて、施策方針案を整理しました。
 - (2) 公園整備計画策定費 5,852,000円

都市計画公園・緑地の見直しガイドラインを策定しました。
- 6 土地利用調査費【都市計画課・市街地整備課・区画整理支援課】

114,123,787円

 - (1) 都市計画マスタープラン策定費 16,970,447円

都市計画マスタープラン改定に向けて、施策方針案を整理しました。
 - (2) 地区計画調査費 968,000円

市街化調整区域内地区計画制度のリーフレットを作成しました。
 - (3) 既成市街地土地利用調査費 2,409,000円

三河豊田駅駅前広場において、地域住民等で構成される協議会

の支援等を行いました。

(4) 上豊田駅周辺土地利用調査費 11,926,000円
上豊田駅周辺において、まちづくり事業の整備手法等の検討を行いました。

(5) 八草駅周辺土地利用調査費 81,850,340円
八草駅周辺において、市街地整備に向けた道路予備設計、現地測量等を行いました。

7 都心環境計画推進基金積立金【都市整備課】

3,600,000,000円

豊田市駅舎整備事業において、計画的な事業進捗に向けて安定的な財源を確保するため、都心環境計画推進基金への積増しを実施しました。

◆特記事項

- ・総合都市交通体系調査事業のパーソントリップ調査において、中京都市圏総合都市交通計画協議会の確報公表が令和7年3月に変更となり、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】
- ・上豊田駅周辺土地区画整理測量設計業務委託事業において、現況測量手法として実績が少ない3次元点群データの観測方法の決定に時間を要し、年度内の完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】

8- 5- 2目 土地区画整理費

(前年度)

当初予算額	1,410,588,000円	(2,207,275,000円)
予算現額	1,480,850,000円	(2,421,406,000円)
決算額	1,419,899,778円	(2,341,958,514円)
翌年度繰越額	58,594,000円	(54,000,000円)
不用額	2,356,222円	(25,447,486円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	58,594,000円
住所関連等実態調査事業(豊田浄水特定土地区画整理事業関連)	3,219,000円
若林駅周辺土地区画整理推進業務委託事業	28,375,000円
公共施設管理者負担事業(土橋土地区画整理事業)	27,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 土地区画整理事務費【市街地整備課・区画整理支援課】

5,288,878円

- | | | |
|-----|---|--------------|
| 2 | 記念碑等修繕費【区画整理支援課】 | 191,400円 |
| 3 | 土地区画整理調査費【区画整理支援課】 | 1,334,400円 |
| | 若林駅周辺地区における区画整理の事業化に向け、発起人会の活動を支援するとともに、事業計画の見直しを行いました。 | |
| 4 | 土地区画整理関連事業費【市街地整備課】 | 20,604,100円 |
| (1) | 土橋土地区画整理関連事業費 | 8,410,400円 |
| | 防火水槽を設置しました。 | |
| (2) | 花園土地区画整理関連事業費 | 7,958,700円 |
| | 防火水槽を設置しました。 | |
| (3) | 四郷駅周辺土地区画整理関連事業費 | 4,235,000円 |
| | 四郷駅前の測量設計を行いました。 | |
| 5 | 公共施設管理者負担金【市街地整備課】 | 473,200,000円 |
| (1) | 土橋土地区画整理事業負担金 | 107,000,000円 |
| | 出来形確認測量、道路築造工事 | |
| (2) | 花園土地区画整理事業負担金 | 366,200,000円 |
| | 物件等移転補償、道路築造工事 | |
| 6 | 都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金【市街地整備課】 | 919,281,000円 |
| (1) | 土橋土地区画整理事業繰出金 | 227,232,000円 |
| (2) | 花園土地区画整理事業繰出金 | 692,049,000円 |

◆特記事項

- ・住所関連等実態調査事業（豊田浄水特定土地区画整理事業関連）において、換地処分公告予定日が令和7年1月から令和7年10月に変更となり年度内での完了が困難となったため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】
- ・若林駅周辺土地区画整理推進業務委託事業において、事業化検討パートナーとの協議に時間を要し年度内での完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】
- ・公共施設管理者負担事業（土橋土地区画整理事業）において、社会資本整備総合交付金の配分を受けた工事の一部が年度内での完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【市街地整備課】

8- 5- 3目 街路事業費

(前年度)

当初予算額	6,700,628,000円	(5,280,121,000円)
予算現額	10,082,517,000円	(6,868,279,000円)
決算額	9,033,737,763円	(4,720,541,284円)
翌年度繰越額	1,032,837,000円	(2,129,700,000円)
不用額	15,942,237円	(18,037,716円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	1,032,837,000円
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	570,000,000円
街路建設事業(都市計画道路西岡吉原線)	462,837,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 街路事業事務費【街路課】	5,081,198円
2 街路建設費【区画整理支援課・幹線道路推進課・街路課】	9,028,656,565円

- (1) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業の推進のため、高架本体の整備を行いました。
- (2) 都市計画道路若林東西線ほか3事業の測量設計等の委託を行いました。
- (3) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業ほか4事業の用地取得を行いました。

◆特記事項

- ・名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業において、関係機関との協議調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】
- ・街路建設事業の都市計画道路西岡吉原線において、国の補正予算(第1号)に伴い、3月議会で452,809千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

8- 5- 4目 特定道路費

(前年度)

当初予算額	1,714,029,000円	(2,728,045,000円)
予算現額	4,369,862,619円	(4,508,668,629円)
決算額	2,660,211,848円	(3,094,821,636円)
翌年度繰越額	1,695,098,700円	(1,382,457,619円)
不用額	14,552,071円	(31,389,374円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	1, 479, 190, 700円
内環状線建設事業（高橋細谷線長興寺第1工区）	1, 479, 190, 700円
☆繰越明許費☆	215, 908, 000円
内環状線建設事業（都市計画道路高橋細谷線）	32, 000, 000円
特定道路建設事業（都市計画道路豊田刈谷線）	85, 908, 000円
特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道上原11号線）	46, 000, 000円
特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道上原14号線）	52, 000, 000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 特定道路事務費【建設企画課】 1, 994, 846円
- 2 幹線道路整備促進広報活動費【建設企画課】 479, 600円
- 3 高規格道路建設促進費【幹線道路推進課】 12, 374, 666円
スマートインターチェンジの更なる利用促進を図るため、効果検証及び対策を行いました。
- 4 特定道路建設費【建設企画課・街路課】 2, 510, 684, 572円
 - （1） 持続可能なまちづくりを推進するため、豊田市幹線道路網整備計画（2025年度～2034年度）の策定を行いました。
 - （2） 内環状線を担う都市計画道路高橋細谷線の事業推進を図るため、道路・橋りょうの整備及び用地取得を行いました。
 - （3） 都市計画道路豊田刈谷線の事業推進を図るため、道路改良工事及び用地取得を行いました。
- 5 特定道路改良促進費【幹線道路推進課】 133, 678, 164円
豊田南・北バイパス事業に伴い、地域道路の安全や機能を確保するため、道路設計、道路改良工事及び用地取得を行いました。
- 6 幹線道路整備促進協議会負担金【建設企画課】 1, 000, 000円

◆特記事項

- ・内環状線建設事業の都市計画道路高橋細谷線において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で22, 000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】
- ・特定道路建設事業の都市計画道路豊田刈谷線において、地権者の移転補償工事の遅延及び占用者の工作物支障移転工事に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】
- ・特定道路改良促進事業の豊田北バイパス関連市道上原11号線において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【幹線道路推進課】

- ・特定道路改良促進事業の豊田北バイパス関連市道上原14号線において、

国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で52,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】

8- 5- 5目 下水道管理費

(前年度)

当初予算額	3,175,025,000円	(3,219,130,000円)
予算現額	3,134,612,000円	(3,179,637,000円)
決算額	3,098,390,386円	(3,133,022,303円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	36,221,614円	(46,614,697円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 浄化槽整備事務費【下水道施設課】 208,565円
- 2 施設等管理費【下水道施設課】 32,866,873円
 - (1) 廃止施設管理(10施設)
 - (2) 旧柳川瀬浄化センター解体詳細設計
- 3 合併処理浄化槽整備費【下水道施設課】 117,442,000円

合併処理浄化槽補助実績 142件
- 4 下水道事業負担金【経営管理課】 2,359,250,721円
- 5 下水道事業補助金(10/10)【経営管理課】

158,622,227円
- 6 下水道事業出資金【経営管理課】 430,000,000円

8- 5- 6目 公園費

(前年度)

当初予算額	1,698,494,000円	(2,679,636,000円)
予算現額	3,575,643,000円	(2,676,003,000円)
決算額	3,310,215,199円	(2,323,448,673円)
翌年度繰越額	227,844,000円	(297,107,000円)
不用額	37,583,801円	(55,447,327円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	195,098,000円
中央公園第二期整備基盤造成事業	195,098,000円
☆繰越明許費☆	32,746,000円
高岡公園整備事業	23,826,000円
矢作緑地勘八公園整備検討業務委託事業	8,920,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 公園緑地整備事務費【公園緑地課】 299,000円
- 2 公園事務費【やすらぎ福祉総務課・公園緑地課】
2,004,641円
- 3 公園維持管理費【やすらぎ福祉総務課・公園緑地課】
1,231,743,569円
- 4 市民広場等維持管理費【公園緑地課】 2,987,344円
- 5 街区公園整備費【公園緑地課】 94,601,100円
 - (1) 四郷北公園の整備を行い、供用しました。
 - (2) 大切川さくら公園の整備を行いました。
 - (3) 土橋八幡社東公園の整備を行い、供用しました。
 - (4) 高橋天神公園の整備を行い、供用しました。
- 6 地区公園整備費【公園緑地課】 54,907,600円
 - (1) 土橋公園拡張区域の整備を行い、供用しました。
 - (2) 高岡公園拡張区域の整備を行いました。
- 7 緑地整備費【公園緑地課】 538,868,331円
 - (1) 枝下緑道の施設復旧設計を行いました。
 - (2) 勘八公園の民間活力導入の検討を行いました。
 - (3) 中央公園第二期整備の用地取得、造成工事、民間活力導入公募等を行いました。
- 8 公園施設修繕費 215,347,345円
 【やすらぎ福祉総務課・公園緑地課・建築保全・住宅課】
 公園施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。
 公園遊具修繕 18件
 公園施設修繕 154件
- 9 花のあるまちづくり推進費【公園緑地課】 52,690,349円
 花やか豊田プランに基づき、花のあるまちづくり協議会の運営、豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの花飾りやフラワーロード事業の継続等の施策を実施し、ボランティア技術の向上並びに市民への普及及び啓発を行いました。
- 10 地域広場整備費【公園緑地課】 116,765,920円
 - (1) 東広瀬町地内の地域広場の整備を行い、供用しました。
 - (2) 広場施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。
 広場遊具修繕 2件
 広場施設修繕 21件
- 11 樹木資源保全基金積立金【公園緑地課】
 1,000,000,000円
 樹木資源保全事業の推進を図るため、基金を新設し、積み立てまし

た。

◆特記事項

- ・高岡公園整備事業において、適切な工期確保のため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地課】
- ・矢作緑地勘八公園整備検討業務委託事業において、民間事業者へのサウンディング調査等に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地課】

8- 5- 7目 自然保全費

(前年度)

当初予算額	264,950,000円	(	440,649,000円)
予算現額	258,067,000円	(	425,448,000円)
決算額	254,548,686円	(	418,181,053円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	3,518,314円	(	7,266,947円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 自然保全事務費【開発調整課】 131,366円
自然公園法に基づく許可申請等受付件数 86件
- 2 緑化推進費【公園緑地課】 10,580,199円
市民が行う優良な緑化事業へ補助金を交付しました。
交付件数 3件
- 3 自然保護費【環境政策課】 14,134,749円
 - (1) 管理費
名木指定件数 220件
 - (2) 自然共生型地域づくり推進費
森林や湿地等身近な自然の整備を進める市民団体の活動を支援しました。
支援団体 3団体
 - (3) 野生生物共生費
ツキノワグマ目撃等の通報受付、現地調査、住民や学校等への情報提供、注意喚起などの対応を行いました。
ツキノワグマ対応件数 92件
 - (4) 生物多様性啓発推進費
 - ア 特定外来生物オオキンケイギクについて、市民との共働による防除活動を実施しました。
 - イ 動植物の生育生息状況の調査を委託しました。
 - (5) 湿地保全促進費

8款 土木費

ア ラムサール条約湿地の保全管理を委託しました。

矢並湿地保存会、上高湿地を守る会、山中町自治区

イ 矢並湿地の保全計画策定のため、森林調査を委託しました。

ウ 用地管理

土地賃貸借 5筆 107,773㎡

使用貸借 1筆 466㎡

4 緑地保全費【公園緑地課】 110,489,210円

開発緑地等の枝払い、草刈、害虫駆除等を行い、適正な維持管理に努めました。

開発緑地等 80か所 745,082㎡

5 自然観察の森費【環境政策課】 118,462,037円

(1) 指定管理者 とよたの自然パートナーズ

ネイチャーセンター利用者 延べ 24,789人

(2) 環境学習

自然体験講座等 107回 延べ 1,528人

環境学習プログラム 52校 延べ 3,237人

出前授業 11件 延べ 270人

湿地学習 4校 延べ 550人

矢並湿地一般公開 4日 延べ 470人

(3) 施設ボランティア活動支援

登録者 4団体 72人

(4) 用地管理

土地賃貸借 1,113筆 1,019,310.82㎡

使用貸借 3筆 1,429.00㎡

(5) 施設の修繕等

ネイチャーセンター木製回廊修繕、屋上軽量土飛散防止修繕を実施しました。

6 緑の推進基金積立金【公園緑地課】 751,125円

緑の推進基金の利子を同基金に積み立てました。

8- 5- 8目 都心整備費

(前年度)

当初予算額 2,833,786,000円 (889,607,000円)

予算現額 3,393,989,500円 (2,001,868,000円)

決算額 2,134,593,603円 (1,282,845,050円)

翌年度繰越額 1,205,623,000円 (560,027,500円)

不用額 53,772,897円 (158,995,450円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	874,306,000円
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ部改築事業	221,280,000円
豊田市駅西口施設整備事業	653,026,000円
☆繰越明許費☆	331,317,000円
歩車共存道路整備事業（市道西町若宮線）	40,000,000円
豊田市駅東口施設整備事業	23,342,000円
豊田市駅東口ペDESTリアンデッキ橋りょう耐震補強事業	145,200,000円
豊田市駅西口駅前広場等整備事業	32,775,000円
豊田市駅駅舎改修負担事業	90,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 都心整備事務費【都市整備課】 80,038,938円
- 2 都心環境計画推進費【都市整備課】 2,050,473,665円
 - (1) 都心環境計画整備費 5,019,300円
豊田市駅東口管理用地の修繕を行いました。
 - (2) サイン施設再整備費 3,784,000円
歩行者誘導案内サインの修繕を行いました。
 - (3) 歩車共存道路整備費 99,534,937円
市道西町若宮線の歩車共存道路整備工事を行いました。
 - (4) 豊田市駅東口駅前広場整備費 41,465,800円
豊田市駅東口駅前広場のロータリー整備工事を行いました。
 - (5) 豊田市駅東口施設整備費 85,140,514円
豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの耐震補強工事を行いました。
 - (6) 豊田市駅西口施設整備費（単年度）154,824,240円
ペDESTリアンデッキの昇降機の修繕及びバス乗降場施設の設計を行いました。
 - (7) 豊田市駅西口施設整備費（継続費）
1,499,704,000円
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキの改築及び耐震補強、バス乗降場整備工事を行いました。
 - (8) 豊田市駅整備費 100,954,049円
豊田市駅整備事業の施行に関する令和6年度協定書に基づき、負担金を支出しました。
 - (9) 新豊田駅東口駅前広場整備費 16,128,600円
市道公園線の道路詳細設計及び新豊田駅東口駅前広場の修繕を行いました。
 - (10) 新豊田駅西口駅前広場整備費 3,987,100円
新豊田駅西口バスプールの設計を行いました。

- (1 1) 鉄道駅耐震補強事業補助金 (1 / 6) 39,931,125円
 鉄道事業者が実施する豊田市駅耐震補強事業を支援しました。
- 3 電線類地中化費【都市整備課】 4,081,000円
 樺通り線
 市道樺通り線の道路基本計画検討を行いました。

◆特記事項

- ・歩車共存道路整備事業 (市道西町若宮線) において、占用物の支障移転に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅東口施設整備事業において、隣接する耐震補強工事の工程に遅延が生じたため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅東口ペDESTリアンデッキ橋りょう耐震補強事業において、既設橋脚形状が設計と異なっていることが判明し、対応策の協議に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅西口駅前広場等整備事業において、設計条件を定めるにあたり関係機関との協議に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】
- ・豊田市駅駅舎改修負担事業費において、鉄道事業者との協議に時間を要し、撤去工事着手が遅れたため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】

8- 5- 9目 総合交通対策費

		(前年度)
当初予算額	1,094,724,000円	(1,174,452,000円)
予算現額	1,049,277,000円	(1,223,306,053円)
決算額	1,009,211,583円	(1,167,340,009円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	40,065,417円	(55,966,044円)

●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要

- 1 交通政策事務費【交通政策課】 1,302,760円
- 2 ITS管理費【交通政策課】 11,393,866円
- (1) 道路交通情報システム管理費
 ITSセンターの維持管理を行いました。
- (2) 駐車場案内システム管理費
 駐車場案内システムの維持管理及び保守点検を行いました。

(3) 公共交通利用促進システム管理費

乗換情報を提供している総合交通案内板等の維持管理及び保守点検を行いました。

(4) 総合交通システム管理費

おいでんバス情報等を提供しているウェブサイト「みちなびとよた」の保守管理を行いました。

3 ITS推進費【交通政策課】 195,800円

道路地下に存置されている旧駐車場案内板基礎コンクリートの埋設表示板を路面に設置しました。

4 旧名鉄三河線費【交通政策課】 5,258,508円

廃線敷地の維持管理及び修繕を行いました。

5 総合交通対策調整費【交通政策課】 6,000,000円

次期豊田市地域公共交通計画策定に向けて、計画骨子を作成しました。

6 生活交通対策費【交通政策課】 37,834,368円

(1) 地域内交通確保調査費

自家用車を活用した有償による輸送サービスである公共ライドシェアについて、他地域の事例調査や運営手法などの検討を行いました。

(2) 住民共助交通推進費

共助交通の取組の拡大を図るため、市内の取組事例を紹介するシンポジウムを開催しました。また、既に共助交通に取り組む団体に対して、ボランティアドライバーへの安全運転講習の開催やボランティア輸送専用保険料の経費の支援を行いました。

(3) 地域バス運行費

上郷地域バスのデマンド運行に負担金を支出しました。

<利用者数>

・対象期間：令和6年4月～令和7年3月

上郷地域バス（チョイソコにこここバス） 4,279人

(4) 地域タクシー運行費

地域バスの代替として4地域の地域タクシーの運行に負担金を支出しました。

<地域タクシー別 年間利用回数及び利用者数>

・対象期間：令和6年4月～令和7年3月

鞍ヶ池地域タクシー 559回 1,564人

水源東地域タクシー 276回 302人

つくばね地域タクシー 743回 938人

松平地域タクシー 2,294回 2,902人

合 計 3, 872回 5, 706人
 (5) 住民共助輸送支援事業費補助金(10/10・9/10・1/2) ※新規
 自家用車等を用いた住民主体の移動支援に補助金を支出しまし
 た。

<交付件数>

・対象期間：令和6年7月～令和7年3月
 コミュニティ・カーシェアリングの導入支援(試運行)1件
 コミュニティ・カーシェアリングの運営支援(本運行)1件

(6) 共助タクシー運行支援事業費補助金(9/10) ※新規
 乗用タクシーを活用した住民主体の移動支援に補助金を支出し
 ました。

<交付件数>

・対象期間：令和6年7月～令和7年3月
 共助タクシーの運営支援 1件

7 バス運行推進費【交通政策課】 879, 467, 636円

(1) バス施設設備管理費

ICカード決済システム運用業務委託等を行いました。また、
 バス停標識の基礎更新を行いました。

(2) 公共交通利用促進費

70歳以上対象の割引定期券「おでかけバス70」の発行、中
 央図書館パネル展示及び愛知環状鉄道フォト川柳コンテストを行
 いました。また、おいでんバスの企業共助施策の検討、実証運営
 及び検証を行いました。

(3) 基幹バス運行費

都心、駅、地域核を相互に結ぶ基幹バス11路線の運行負担金
 を支出しました。

<路線別年間利用者数>

対象期間：令和6年4月～令和7年3月

藤岡・豊田線(加納経由)	100, 747人
小原・豊田線	189, 753人
藤岡・豊田線(西中山経由)	97, 340人
旭・豊田線	106, 354人
旭・足助線	12, 436人
稲武・足助線	27, 247人
さなげ・足助線	211, 625人
下山・豊田線	222, 281人
保見・豊田線	420, 714人
中心市街地玄関口バス	84, 913人

土橋・豊田東環状線	903,919人
合 計	2,377,329人
(4) 乗合バス運行費補助金(10/10)	
市内を走る乗合バス路線を維持・存続するため、民間バス事業者に対し運行経費の一部を補助しました。	
・対象期間：令和5年10月～令和6年9月	
・対象路線：豊田西市内線（豊田市～聖心寮前）	
矢並線増便分（豊田市～足助）	
豊田・渋谷線（豊田市～桑原公園）	
岡崎市内線（三河上郷駅～JR岡崎駅）	
大沼線（大沼～名鉄東岡崎駅）	
岡崎・足助線（名鉄東岡崎駅～足助）	
(5) 公共交通バス購入費	
燃料電池バス「SORA」3台を借りました。	
(6) 次世代バス推進費	
燃料電池バス「SORA」3台をおいでんバスとして運行しました。	
8 愛知環状鉄道整備促進費【交通政策課】	63,442,530円
(1) 愛知環状鉄道駅前施設管理費	
市内10駅のトイレ清掃や浄化槽の維持管理を行いました。	
(2) 愛知環状鉄道整備改修費補助金(定額)	
愛知県及び沿線市と協調し、愛知環状鉄道に対し鉄道の安全安定輸送、利便性向上に資する信号保安設備、線路設備等の更新に要する経費の一部を補助しました。	
9 パークアンドライド推進費【交通政策課】	577,490円
八草駅前駐車場の土地使用料を支払いました。	
10 都市交通研究所運営費補助金(10/10)【交通政策課】	
	3,738,625円

8- 6- 1目 住宅管理費

		(前年度)
当初予算額	697,852,000円	(635,758,000円)
予算現額	792,664,000円	(635,938,000円)
決算額	763,376,680円	(631,022,513円)
翌年度繰越額	2,200,000円	(0円)
不用額	27,087,320円	(4,915,487円)

8款 土木費

●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	2,200,000円
市営住宅管理システム導入等委託事業	2,200,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 人件費（一般職9人）【人事課】	73,493,908円
2 市営住宅管理事務費【建築保全・住宅課】	334,752,605円
管理代行者及び指定管理者 愛知県住宅供給公社	
＜管理戸数2,322戸＞	
管理代行 初吹住宅始め21住宅	2,054戸
指定管理 桑田和住宅始め27住宅	268戸
3 手呂住宅污水处理施設管理費【建築保全・住宅課】	7,047,190円
4 市営住宅整備費【建築保全・住宅課】	342,059,977円
市営住宅営繕費	
解体工事 岩倉住宅	
電気設備改修工事 丸山住宅始め3住宅	
給水設備改修工事 丸山住宅始め3住宅	
外部鉄部塗装工事 中根住宅	
給排水管改修工事 一ノ木住宅	
エレベーター改修工事 東山住宅	
外壁改修工事 大沼住宅始め2住宅	
屋上防水改修工事 大沼住宅始め2住宅	
5 分譲住宅建設事業特別会計繰出金【建築保全・住宅課】	6,023,000円
◆特記事項	
市営住宅管理システム導入等委託事業において、機器の購入が入札不調により令和7年3月となり、システム更新に伴う設定作業の年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度に繰り越しました。【建築保全・住宅課】	

8- 6- 2目 住宅建設費

		(前年度)
当初予算額	181,034,000円	(1,059,828,000円)
予算現額	218,213,000円	(1,072,828,000円)
決算額	216,141,840円	(1,069,322,740円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	2,071,160円	(3,505,260円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 公営住宅等関連事業推進費【都市計画課】 9, 837, 600円
住宅マスタープラン推進費
次期計画の骨子案を作成しました。
- 2 定住対策事業費【総合山村室・都市計画課・都市整備課】
190, 345, 000円
(1) 住宅取得費補助金(1/10) 71, 880, 000円
山村地域等で、定住目的の住宅・土地を取得した移住・定住者を支援しました。
補助件数 82件
(2) 三河豊田駅前地区優良建築物等整備費補助金(2/3)
76, 400, 000円
宅地の共同化・高度利用化を促進するため、設計費、建物除却費及び建築工事費を支援しました。
(3) 移住支援補助金(定額) 5, 000, 000円
首都圏からの移住に要する費用の一部を補助しました。
補助件数 3件
(4) 結婚新生活支援補助金(定額) 37, 065, 000円
結婚新生活に伴う住居費用や引越し費用を補助しました。
補助件数 228件
- 3 定住促進プロモーション費【シティプロモーション戦略課】
12, 881, 240円
住まいガイド作成 3, 000部
不動産・住宅情報誌掲載 20, 000部
不動産・住宅サイト掲載
イベント出展 2回
雑誌へのPR記事掲載 30, 000部
移住・定住促進サイト管理運営
- 4 住まい相談総合支援事業費【建築相談課】 1, 078, 000円
住まいの相談対応 106件
住まいに関するセミナー 12回
- 5 空き家対策事業費【建築相談課】 2, 000, 000円
老朽空き家等解体費補助金(1/2)
倒壊等のおそれのある危険な空き家の除却に係る費用の一部を補助しました。
補助件数 10件

9款 消防費

9款 消防費	
(前年度)	
当初予算額	8,646,641,000円 (7,151,362,000円)
予算現額	8,625,996,000円 (7,370,066,876円)
決算額	7,904,674,266円 (7,135,910,571円)
翌年度繰越額	494,431,640円 (12,900,000円)
不用額	226,890,094円 (221,256,305円)
9- 1- 1目 常備消防費	
(前年度)	
当初予算額	5,727,235,000円 (5,627,163,000円)
予算現額	6,062,038,058円 (5,777,255,781円)
決算額	5,871,416,209円 (5,686,603,045円)
翌年度繰越額	85,703,000円 (0円)
不用額	104,918,849円 (90,652,736円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	85,703,000円
消防署所女性専用施設等改修事業(北消防署藤岡小原分署外3施設)	82,703,000円
南消防署改修工事仮施設設備上	3,000,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職540人、非常勤一般職20人)【人事課】	
	4,887,020,710円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	
	810,070円
3 消防本部費【(消)総務課・警防救急課・予防課・(南)管理課】	
	129,477,966円
(1) 消防本部運営費	11,017,599円
(2) 交際費	34,000円
(3) 職員厚生費	38,572,006円
(4) 職員研修費	20,983,246円
専門的知識・技術の習得及び資格取得のため、各種学校及び研修会等に派遣しました。	
消防大学校	4人(1科3コース)
愛知県消防学校	50人(13科)
各種研修会・講習会	91人(28種類)
(5) 消防音楽隊費	1,912,587円
防火意識の普及啓発を目的とし、隊長始め36人で活動しました。	
演奏回数	13回

	練習回数	27回
(6)	予防業務運営事務費	5,224,259円
	防火対象物や危険物施設の紙台帳を電子化し、立入検査業務等の効率化を図りました。	
	防火対象物査察	2,270件
	危険物施設査察	776件
	各種訓練指導(消火・通報・避難訓練等)	376件
	消防同意	468件
	防火管理指導	268件
	消防設備検査	1,272件
	防火対象物台帳の電子化	1,380件
	危険物施設許認可	550件
	危険物施設台帳の電子化	619件
(7)	高校生防火防災リーダー養成費	547,079円
	防火防災意識の向上を図るため、高校生消防クラブへの参加者を募集し、防火防災リーダーの養成を進めました。	
	参加者数	99人
(8)	防災学習センター運営費	9,139,747円
	市民が防火防災を学ぶために、災害発生状況を踏まえた企画展等を開催しました。	
	利用者数	25,893人
(9)	消防フェスタ開催費	1,900,000円
	とよた消防フェスタを豊田スタジアムで開催しました。	
	来場者数	2,750人
(10)	火災予防活動費	2,205,415円
	火災予防の推進を図るため、消防こども写生大会の優秀作品を地震体験車の側面や消防団格納庫のシャッターに掲示しました。	
	応募作品数	141点
(11)	高齢者住宅防火促進費	1,966,195円
	住宅火災による高齢者の被害軽減を図るため、VR消火訓練機器を使用し、出前講座等を実施しました。	
(12)	競技訓練活動費	188,310円
	消防救助隊員を育成するため、全国消防救助技術大会(習志野市)に職員を派遣しました。	
(13)	消防活動企画運営費	7,717,012円
	ア まちかと救急ステーション広報のため、新たなステッカーを600部作成し、配布しました。	
	イ 関係機関に負担金を執行しました。	

	愛知県防災ヘリコプター運営負担金	
	愛知県下高速道路消防連絡協議会負担金	
(14)	救急高度化推進費	28,070,511円
	ア 救急救命士の養成及び育成を実施しました。	
	救急救命士養成施設への派遣	6人
	薬剤投与等の資格取得に係る育成	19人
	救急救命士再教育の履修	112人
	イ 救急活動をより適切なものとするため、医療機関との協定に基づき、救急活動事後検証を実施しました。	
4	北消防署費【(北)管理課・(中)管理課】	43,615,626円
(1)	管理運営費	19,941,602円
	ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。	
	イ 地域の交流館、学校等と連携し、防火防災啓発を行いました。	
(2)	救助・警防活動費	11,500,956円
	ア 水難救助事案に対応するため、潜水器具を更新しました。	
	イ 隣接消防本部との相互応援体制を強化するため、3消防本部合同で山岳救助訓練を行いました。	
	火災件数	47件(前年度比 17件増)
	救助出動	80件(前年度比 6件減)
	その他の出動	1,147件(前年度比 86件増)
(3)	救急活動費	11,318,739円
	ア 医療機関とのEM-PASS連携のほか、関係機関と合同研修等を行い、円滑な救急搬送業務を推進しました。	
	イ 適切な救命活動を行うため、救急隊用AEDを更新しました。	
	救急出動	4,462件(前年度比 199件減)
	搬送人員	4,075人(前年度比 234人減)
(4)	救急高度化推進費	854,329円
	ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。	
	イ 効果的な応急手当講習を行うため、音声ガイドに加え、画像を表示するトレーニング用AEDを購入しました。	
	児童・生徒	33校 2,484人
	教員	48回 1,164人
	一般市民	269回 5,056人
	普及員による講習	101回 1,417人
5	中消防署費【(中)管理課】	57,273,909円

- (1) 管理運営費 21,249,277円
 ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。
 イ 出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。
- (2) 救助・警防活動費 16,095,760円
 ア 火災対応力の強化に向け、視察研修等へ職員を派遣するとともに、燃焼実験用のコントロールボックスを新たに導入して、職員教育を実施しました。
 イ 鉄塔事故発生時における現場対応力を向上するため、鉄塔昇降用資機材を購入し、他消防署と合同訓練を行いました。
 火災件数 42件(前年度比 2件増)
 救助出動 119件(前年度比 35件増)
 その他の出動 1,500件(前年度比 145件増)
- (3) 救急活動費 13,991,302円
 日勤救急隊のほか、管内救急隊の適切な運用に努めました。
 救急出動 9,530件(前年度比 196件増)
 搬送人員 8,557人(前年度比 70人増)
- (4) 救急高度化推進費 5,937,570円
 ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。
 児童・生徒 32校 2,863人
 教員 37回 820人
 一般市民 668回 9,431人
 普及員による講習 492回 4,892人
 イ 応急手当インストラクター派遣を適切に行いました。
 インストラクター派遣数 延べ1,044人
- 6 南消防署費【(中)管理課・(南)管理課】44,836,466円
- (1) 管理運営費 17,356,161円
 ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。
 イ 防火防災意識を啓発するため、南消防フェスタを開催しました。
 来場者数 2,600人
- (2) 救助・警防活動費 13,430,094円
 次世代自動車及び大型自動車事故への災害対応力を向上するため、講習会を実施しました。
 火災件数 37件(前年度比 5件減)
 救助出動 116件(前年度比 18件増)
 その他の出動 1,422件(前年度比 85件増)

9款 消防費

- (3) 救急活動費 13,497,721円
 高速道路上の災害において、ドクターヘリを有効に活用するため関係機関と合同訓練を実施しました。

救急出動 6,778件(前年度比 204件減)
 搬送人員 6,157人(前年度比 205人減)

- (4) 救急高度化推進費 552,490円
 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒 18校 2,206人
 教員 16回 459人
 一般市民 178回 4,088人
 普及員による講習 25回 604人

7 足助消防署費【(中)管理課・(足)管理課】

32,955,390円

- (1) 管理運営費 14,929,408円
 ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ 防火防災を啓発するため、足助消防署ふれあい広場を開催しました。

来場者数 908人

- (2) 救助・警防活動費 11,017,379円
 ア 総務省消防庁から無償貸与された小型救助車の運転操作を向上させるため、専門技術者による講習会を行いました。

イ 中山間地域での災害対応力向上のため、豊田森林組合や隣接消防本部と応援協定に基づいた訓練を合同で行いました。

火災件数 8件(前年度比 1件減)
 救助出動 19件(前年度比 14件減)
 その他の出動 315件(前年度比 58件増)

- (3) 救急活動費 6,363,932円
 医療連携を強化するため、ドクターヘリとの訓練を合同で行いました。

救急出動 1,081件(前年度比 3件増)
 搬送人員 1,005人(前年度比 19人増)

- (4) 救急高度化推進費 644,671円
 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒 18校 253人
 教員 25回 291人
 一般市民 53回 781人

	普及員による講習	12回	160人
8	常備消防活動費		673,962,364円
	【建築保全・住宅課・(消)総務課・警防救急課・指令課】		
(1)	消防庁舎管理費	105,170,960円	
	施設数 1本部・4消防署・5分署・7出張所		
(2)	消防庁舎営繕費	2,626,380円	
	女性専用施設の整備に向けた施設のアスベスト調査等を行いました。		
	1か所(西)		
(3)	施設保全費	1,745,315円	
	豊田市消防本部・中消防署ほか2施設の照明取替修繕等を行いました。		
(4)	消防車両管理費	2,444,602円	
(5)	救急救助施設管理費	3,033,092円	
	ヘリポートの維持管理のため、竹伐採等を行いました。		
(6)	通信機器管理費	558,942,015円	
	消防指令システム及び通信機器の適正な維持管理を行い、消防救急デジタル無線のバックアップ回線を整備しました。		
9	防火危険物安全協会運営交付金【予防課】	1,400,000円	
	市民に対する防火・防災意識の普及啓発事業等を推進し、安全で住みよい地域社会を築くため、防火危険物安全協会の活動を支援しました。		
	会員事業所数	325事業所	
10	女性消防クラブ運営交付金【予防課】	63,708円	
	各家庭の火災の減少を図るため、地域住民へ火災予防の普及啓発を実施するクラブを支援しました。		
	クラブ数	5クラブ	
	会員数	115人	

◆特記事項

- ・消防署所女性専用施設等改修事業(北消防署藤岡小原分署外3施設)において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【(消)総務課】
- ・南消防署改修工事仮施設設備上において、改修工事の延期に伴い借上期間が延期したため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【(消)総務課】

9款 消防費

9- 1- 2目 非常備消防費		
		(前年度)
当初予算額	609,161,000円	(505,949,000円)
予算現額	589,317,000円	(563,805,876円)
決算額	547,874,740円	(491,465,136円)
翌年度繰越額	12,794,640円	(12,900,000円)
不用額	28,647,620円	(59,440,740円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		12,794,640円
旧若林・藤岡飯野詰所格納庫及び火の見櫓解体事業		12,794,640円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費【防災対策課】	135,991,032円	
(1) 消防団員報酬（基本団員1,621人）	86,114,374円	
(2) 消防団員報酬（機能別団員63人）	379,473円	
(3) 公務災害補償共済基金負担金	5,872,855円	
(4) 退職報償金共済基金負担金	38,649,600円	
(5) 災害補償費	4,974,730円	
2 非常備消防活動費【防災対策課・（消）総務課】	175,221,806円	
(1) 消防団運営費	9,767,076円	
(2) 消防団員厚生費	47,640,154円	
(3) 消防団充実強化推進費	56,384,972円	
消防団を応援する取組として、消防団ファミリー・フェスタを開催しました。また、消防団活動の安全性の向上のため、新基準活動服1,000着、電動チェーンソー等を配備しました。		
(4) 任免式開催費	115,895円	
(5) 消防団車両管理費	17,553,741円	
(6) 消防操法大会開催費	1,611,868円	
消防団の火災対応力の向上を図るため、第64回豊田市消防操法大会を開催しました。		
(7) 消防団運営交付金	42,148,100円	
消防団が火災、風水害等に備えた即応体制をとるため、資機材の点検等の活動に係る経費として交付しました。		
3 詰所・格納庫費【防災対策課・建築保全・住宅課】	95,547,913円	
(1) 管理費	8,157,165円	

9款 消防費

- (2) 施設保全費 6, 5 5 7, 4 1 9 円
消防団詰所格納庫の長寿命化修繕を行いました。
長寿命化 5 か所 (本新・保見・芳友・今・扶桑)
- (3) 整備費 8 0, 8 3 3, 3 2 9 円
消防団詰所格納庫の整備を行いました。
整備 2 か所 (浄水・若林)
- 4 消防団消防機械整備費【防災対策課】 1 4 1, 1 1 3, 9 8 9 円
消防団車両を更新しました。
小型動力ポンプ付き積載車 1 3 台
(古瀬間・畝部東・和会・中・浄水・足助田町・近岡・明川・
御蔵・花沢・榊野・川手・大野瀬)
消防ポンプ自動車 1 台
(武節)

◆特記事項

旧若林・藤岡飯野詰所格納庫及び火の見櫓解体事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【防災対策課】

9- 1- 3目 消防施設費

		(前年度)
当初予算額	270,236,000円	(330,459,000円)
予算現額	248,093,442円	(354,644,844円)
決算額	236,300,882円	(341,902,533円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	11,792,560円	(12,742,311円)

●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要

- 1 消防水利整備費【警防救急課】 3 5, 4 9 4, 7 0 0 円
- (1) 消防水利施設管理費 1 6, 0 8 8, 4 5 0 円
- ア 防火水槽
金網修繕 2 か所
漏水修繕 2 か所
- イ 消火栓
修繕 5 6 基
- ウ 消火栓用ホース格納箱
修繕 2 4 基
設置 1 基
- (2) 消火栓整備費 1 9, 4 0 6, 2 5 0 円

9款 消防費

消防水利施設の整備充実を図るため、消火栓を２５基設置しました。	
2 救急救助施設整備費【警防救急課】	957,000円
下山地区ヘリポートの維持管理を図るため、法面に防草シートを設置しました。	
3 消防機械整備費【警防救急課・（南）管理課】	3,323,534円
救急隊員の資質向上のため、救急訓練用資機材を整備しました。	
救急処置訓練用人形	1体
消防用ドローンの操作員の知識及び技術能力の向上を図るため、新たに研修会を開催しました。	
4 通信施設整備費【指令課】	290,914円
消防指令システム等の整備に向けて公募型プロポーザル方式による業者選考及び先進地視察を行いました。	
5 消防車両整備費【警防救急課】	196,234,734円
消防力の強化を図るため、消防車両を整備しました。	
救助工作車（足助）	1台
高規格救急自動車（松平）	1台
資機材搬送車（足助）	1台
小型動力ポンプ付き積載車（稲武）	1台
連絡車（警防救急）	1台
9- 1- 4目 水防費	
(前年度)	
当初予算額	3,504,000円 (8,799,000円)
予算現額	3,508,500円 (8,592,000円)
決算額	3,193,588円 (8,199,123円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	314,912円 (392,877円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 水防対策費【（消）総務課】	704,145円
洪水や土砂災害に対応するため、土のう袋等を更新しました。	
2 矢作川豊田防災ステーション費【（消）総務課】	2,464,343円
3 県水防管理団体連合会負担金【防災対策課】	25,100円

9- 1- 5目 災害対策費

(前年度)

当初予算額	2,036,505,000円	(678,992,000円)
予算現額	1,723,039,000円	(665,768,375円)
決算額	1,245,888,847円	(607,740,734円)
翌年度繰越額	395,934,000円	(0円)
不用額	81,216,153円	(58,027,641円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	395,934,000円
防災行政無線通信機器更新事業(同報系)	395,934,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(防災会議委員15人、一般職16人、非常勤一般職2人)
 - 【防災対策課・人事課】 150,812,059円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 175,560円
- 3 災害対策事務費【防災対策課・予防課】 3,256,227円
 - (1) 防災指導事務費 1,004,525円

防火・防災意識の向上を目指し、地震体験車や資機材を活用し
た啓発を行いました。

地震体験車派遣 286回 体験者数 20,615人
 - (2) 防災対策事務費 2,251,702円
- 4 防災計画費【防災対策課】 10,360,460円
 - (1) ハザードマップ作成費 513,260円
 - (2) 受援体制推進費 497,200円
 - (3) 危機管理体制調査費 9,350,000円
- 5 危機管理対策費【防災対策課・警防救急課】59,302,879円
 - (1) 災害対策本部運営費 21,704,432円

大雨、台風等の災害に備えて、非常配備体制をとり、応急対策
活動等を実施しました。

準備体制 17回

第1非常配備体制 3回

第2非常配備体制 1回
 - (2) 防災拠点施設維持管理費 1,856,827円
 - (3) 災害用便槽整備費 33,786,060円

避難所における避難者の健康と衛生環境の確保を図るため、災
害用便槽(マンホールトイレ)及び資機材を整備しました。

下水道接続型災害用便槽の整備 2か所

災害用マンホール直結型トイレ・テント(一般型) 2組

災害用マンホール直結型トイレ・テント（車椅子対応型）

2組

（4） 緊急救助費 218,460円

令和6年蒲郡市土砂災害への愛知県内広域消防相互応援出動、
令和6年奥能登豪雨への緊急消防援助隊出動に伴い、必要となる
食糧・消耗品・燃料を整備しました。

（5） 災害ボランティア対策費 1,717,100円

災害時、ボランティアの受入れと活動支援を円滑に行うため、
災害ボランティア支援センターの開設・運営に必要な資機材の整
備及び災害ボランティアコーディネーターの育成を行いました。

養成講座修了者数 69人

（6） 防災連携推進費 20,000円

6 防災設備費【防災対策課】 844,685,536円

（1） 防災設備維持管理費 22,377,131円

（2） 高度情報通信ネットワーク維持管理費 4,515,568円

（3） 防災行政無線維持管理費 107,585,585円

（4） 防災設備整備費 44,803,000円

自動昇降機付き多目的移動トイレユニット「モバイルトイレユ
ニット」を導入しました。

（5） 災害時情報通信設備整備費 665,404,252円

老朽化した豊田市防災行政無線システムに係る機器の更新を行
いました。

7 防災意識普及啓発費【防災対策課・建築相談課】

15,419,322円

（1） 自主防災育成費 5,136,910円

共助の取組促進により地域防災力の強化を図るため、地域の防
災活動を先導する自主防災リーダーの育成、自主防災会の実施す
る防災訓練に対し、指導員派遣、訓練用資機材貸出等の支援を行
いました。

自主防災リーダー養成講座

育成数 165人

防災訓練支援

訓練実施回数 166回

訓練実施自主防災会数 147団体

訓練参加者数 28,760人

豊田市自主防災会連絡協議会事業

定期総会 1回

消防防災専門指導員

- 自主防災会の訓練等への派遣 93回
- (2) 防災啓発費 6,992,412円
- 市民に対する防災・減災意識の啓発と防災教育の推進を図るため、とよた防災啓発推進協議会において啓発事業を行い、車中泊体験や家具固定等、防災を学ぶイベントを開催しました。
- また、小中学校を対象とした防災キャンプの実施支援を行いました。
- とよた防災啓発推進協議会事業
- 事業概要 「親子で防災ネイチャーゲームに挑戦」を開催
- 防災キャンプ
- 事業概要 小中学校で行う避難所生活体験
- 実施箇所 6校
- 参加者数 669人
- (3) 企業防災推進費 830,000円
- 災害発生時に、市内の事業者が業務を継続できるよう「BCP作成セミナー」の入門編及び中級編を開催し、BCP作成に向けた支援の充実を図りました。
- 参加事業者数 入門編 17事業者 延べ24人
- 中級編 14事業者 延べ15人
- (4) ブロック塀撤去奨励補助金(2/3) 2,460,000円
- 危険なブロック塀等の撤去費に対し補助金を交付しました。
- 補助件数 20件
- 8 国民保護計画費【防災対策課】 31,800円
- 9 震災対策消防施設設備整備費【警防救急課】87,138,144円
- (1) 震災対策消防設備整備費 6,232,600円
- 震災時に防火水槽を効果的に活用するため、震災用可搬式小型動力ポンプを整備しました。
- 更新 陣中町、喜多町、花園町、高岡出張所 4台
- (2) 耐震性貯水槽整備費 80,905,544円
- 震災対応力の強化を図るため、耐震性貯水槽を設置しました。
- 耐震性貯水槽(40m³)
- 2基(国閑町、小渡町)
- 防火水槽の機能維持を図るため、修繕を実施しました。
- 長寿命化修繕 12か所
- 蓋板修繕 2か所
- フェンス修繕 1か所
- 金網修繕 2か所
- 10 民間木造住宅耐震対策費【建築相談課】 51,664,400円

9款 消防費

- (1) 耐震診断費 8, 3 5 4, 4 0 0円
昭和56年5月以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しました。

診断件数 177件

- (2) 耐震補強工事費等補助金 43, 310, 000円
木造住宅の無料耐震診断の結果、耐震性能が不足する住宅の改修工事等に対し補助を行いました。

補強計画・工事 37件 34, 200, 000円

解体補助 43件 8, 510, 000円

耐震シェルター補助 2件 600, 000円

11 民間建築物等耐震対策費【建築相談課】 23, 042, 460円

- (1) 防災まちづくり啓発推進費 1, 318, 460円
無料耐震診断の受診啓発等を行いました。

戸別訪問 727件

- (2) 民間非木造建築物耐震化補助金 21, 724, 000円
耐震診断の結果、耐震性能が不足する建築物の除却工事に対し補助を行いました。

除却工事 1件

◆特記事項

防災行政無線通信機器更新事業(同報系)において、当初の予定よりも契約額が安価となり、令和6年度予算の範囲内で事業が完了できる見込みとなったため3月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【防災対策課】

10款 教育費

10款 教育費		
(前年度)		
当初予算額	31,720,372,000円	(28,993,795,000円)
予算現額	34,670,099,460円	(36,562,976,691円)
決算額	31,067,206,699円	(32,109,258,815円)
翌年度繰越額	2,257,198,040円	(2,726,378,460円)
不用額	1,345,694,721円	(1,727,339,416円)
10- 1- 1目 教育委員会費		
(前年度)		
当初予算額	6,661,000円	(6,536,000円)
予算現額	6,646,000円	(6,517,000円)
決算額	6,254,740円	(6,267,453円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	391,260円	(249,547円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(教育委員会委員6人)【教育政策課】	5,436,000円	
2 委員会事務費【教育政策課】	724,770円	
3 教育委員会交際費【教育政策課】	93,970円	
10- 1- 2目 事務局費		
(前年度)		
当初予算額	261,330,000円	(258,000,000円)
予算現額	284,274,000円	(254,518,000円)
決算額	276,175,528円	(252,602,122円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	8,098,472円	(1,915,878円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(教育行政計画審議会委員13人、特別職1人、一般職28人 非常勤一般職1人)【教育政策課・人事課】	263,300,696円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	159,800円	
3 事務局事務費【教育政策課】	2,245,030円	
4 教育行政計画策定費【教育政策課】	9,102,146円	
(仮)第5次豊田市教育行政計画に係る基礎調査及び計画策定業務委託を行いました。		

10款 教育費

5 教育行政外部評価費【教育政策課】		157,600円
外部の有識者委員を交えて、教育委員会点検・評価に係る事業説明会、現地視察、ヒアリングを実施しました。		
6 教育施設整備基金積立金【教育政策課・学校づくり推進課】		1,210,256円
10- 1- 3目 奨学費		
(前年度)		
当初予算額	35,861,000円 (	36,367,000円)
予算現額	33,594,000円 (	26,472,000円)
決算額	33,537,548円 (	26,471,624円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	56,452円 (	376円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(奨学金審査委員会委員4人)【教育政策課】32,000円		
2 私立高等学校授業料補助費【教育政策課】15,549,548円		
	交付者数	補助額(定額)
区分Ⅰ	370人	30,000円
区分Ⅱ	222人	20,000円
3 奨学生交付金【教育政策課】		12,856,000円
交付者数120人(新規64人、継続56人)		
4 奨学基金積立金【教育政策課】		5,100,000円
10- 1- 4目 私学振興費		
(前年度)		
当初予算額	594,817,000円 (	593,525,000円)
予算現額	594,117,000円 (	588,325,000円)
決算額	452,631,011円 (	518,684,579円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	141,485,989円 (	69,640,421円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 私立幼稚園振興費【保育課】		449,803,511円
職員の処遇向上、施設の運営改善、教育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。		
私立幼稚園	10園	
園児数	1,245人(令和6年4月1日時点)	

10款 教育費

また、保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況等に応じて、給食費の減免を行いました。

給食費補足給付費対象児童数 135人

旧制度幼稚園における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。

授業料軽減給付費対象児童数 1,447人

- 2 多様な集団活動事業利用支援給付費【保育課】2,827,500円
自然保育活動や各種学校等の多様な集団活動事業の利用料に関する支援を行いました。

給付対象児童数 16人

10- 2- 1目 学校管理費

(前年度)

当初予算額	1,758,197,000円	(1,561,629,000円)
予算現額	1,687,235,000円	(1,525,814,000円)
決算額	1,602,259,513円	(1,427,676,638円)
翌年度繰越額	11,989,000円	(0円)
不用額	72,986,487円	(98,137,362円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 11,989,000円

通学バス取得事業 11,989,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（非常勤一般職233人）【人事課】
367,461,388円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 11,948,280円
- 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
1,217,763,896円
- 4 地域施設管理運営費【旭支所】 847,000円
旧築羽小学校の施設定期点検（3年に1度及び毎年）を行い、施設の適正管理に努めました。
- 5 校舎建設校管理備品等整備費【学校づくり推進課】
4,238,949円
中山小学校の体育館増築に伴い、管理備品を整備しました。

◆特記事項

通学バス取得事業において、バス需要増加による車両納期の長期化により年度内納入が困難となったため、12月議会で11,989千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【学校づくり推進課】

10- 2- 2目 教育振興費

(前年度)

当初予算額	422,035,000円	(366,432,000円)
予算現額	410,306,000円	(363,323,000円)
決算額	376,928,262円	(344,286,184円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	33,377,738円	(19,036,816円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】

240,753,680円

教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。

2 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】54,588,864円

リース満了に伴い、学校図書館用コンピュータシステム機器を更新しました。

3 校舎建設校教材備品整備費【学校づくり推進課】

16,127,496円

中山小学校の体育館増築に伴い、教材備品を整備しました。

4 校長会等負担金【学校教育課】3,267,610円

5 就学援助費【学校教育課】62,190,612円

(1) 要保護標準要保護就学援助費

教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和7年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定児童数 1,800人

入学前支給児童数 158人

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している児童の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費等の扶助を行いました。

認定児童数 555人

10- 2- 3目 学校建設費	
	(前年度)
当初予算額	3,543,400,000円 (1,352,194,000円)
予算現額	5,224,607,000円 (3,264,295,000円)
決算額	4,196,948,450円 (1,799,913,541円)
翌年度繰越額	871,838,100円 (1,093,053,000円)
不用額	155,820,450円 (371,328,459円)
●翌年度繰越額	
☆継続費☆	317,848,000円
中山小学校増築等事業	317,848,000円
☆繰越明許費☆	553,990,100円
トイレ再整備設計事業 (小清水小学校外5校)	21,763,100円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業 (青木小学校外6校)	370,227,000円
屋外遊具整備事業 (小原中部小学校外11校)	162,000,000円
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要	
1 学校建設事務費【学校づくり推進課】	1,228,910円
2 施設整備費【学校づくり推進課】	3,502,776,540円
(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備工事を行いました。また、トイレ再整備設計委託に着手しました。〔保全改修費〕	
トイレ再整備工事	青木小学校 ほか7校
(2) 近年の暑さ、雷雨などの天候への対応、プールの維持管理の負担軽減等を検証するため、梅坪小学校ほか14校で学校水泳授業の民間委託モデル事業を行いました。〔長寿命化改修費〕	
(3) 肢体の不自由な児童や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるため、花山小学校のバリアフリー化整備工事を行いました。〔バリアフリー化整備費〕	
(4) 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校の暑さ対策として、青木小学校ほか38校の体育館に空調設備を整備しました。〔体育館等暑さ対策費〕	
(5) 児童の安全・安心の確保や運動能力向上を図るため、上鷹見小学校ほか10校の屋外遊具整備工事を行いました。〔遊具整備費〕	
(6) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、青木小学校ほか21校に緑のカーテンを設置しました。〔緑のカーテン整備費〕	
(7) 中金小学校の用地取得を行いました。〔校地占有物件等整理費〕	
(8) 児童の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を	

行いました。〔諸宮繕工事〕

3 校舎建設費【学校づくり推進課】 692,943,000円

(1) 中山小学校の体育館増築等工事を行いました。

(2) 中山小学校の校舎増築等工事に着手しました。

◆特記事項

- ・トイレ再整備設計事業において、6月補正予算での予算措置となったこととで年度内完了が難しくなったため、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

- ・トイレ再整備・屋根外壁改修事業及び屋外遊具整備事業において、国の補正予算(第1号)による交付金に対応するため、3月議会で

532,227千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

10- 3- 1目 学校管理費

(前年度)

当初予算額 888,653,000円 (815,048,000円)

予算現額 873,029,237円 (801,652,000円)

決算額 826,036,509円 (762,104,817円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 46,992,728円 (39,547,183円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(一般職3人、非常勤一般職88人)【人事課】

151,003,699円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

4,241,690円

3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】

670,791,120円

10- 3- 2目 教育振興費

(前年度)

当初予算額 242,043,000円 (240,024,000円)

予算現額 237,666,000円 (238,738,000円)

決算額 216,999,947円 (217,818,157円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 20,666,053円 (20,919,843円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】

		104,099,806円
教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。		
2	学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】	20,404,054円
リース満了に伴い、学校図書館用コンピュータシステム機器を更新しました。		
3	校長会等負担金【学校教育課】	1,215,920円
4	就学援助費【学校教育課】	91,280,167円
(1) 要保護率要保護就学援助費		
教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和7年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。		
認定生徒数		1,190人
入学前支給生徒数		259人
(2) 特別支援教育就学奨励費		
特別支援学級等に在学している生徒の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費等の扶助を行いました。		
認定生徒数		211人
10- 3- 3目 学校建設費		
(前年度)		
当初予算額	2,094,050,000円	(414,961,000円)
予算現額	2,845,584,763円	(1,527,919,000円)
決算額	2,432,411,793円	(830,504,309円)
翌年度繰越額	341,855,100円	(408,662,000円)
不用額	71,317,870円	(288,752,691円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		341,855,100円
トイレ再整備設計事業(朝日丘中学校外4校)		18,389,100円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業(逢妻中学校外5校)		323,466,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	学校建設事務費【学校づくり推進課】	457,195円
2	施設整備費【学校づくり推進課】	2,431,954,598円
(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備工事を行いました。また、トイレ再整備設計委託に着手しました。〔保全改修費〕		

- トイレ再整備工事 井郷中学校 ほか5校
- (2) 肢体の不自由な生徒や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるため、保見中学校のバリアフリー化整備工事を行いました。〔バリアフリー化整備費〕
- (3) 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校の暑さ対策として、逢妻中学校ほか15校の体育館・武道場に空調設備を整備しました。〔体育館等暑さ対策費〕
- (4) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、逢妻中学校ほか6校に緑のカーテンを設置しました。
〔緑のカーテン整備費〕
- (5) 生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を行いました。〔諸宮繕工事〕

◆特記事項

- ・トイレ再整備設計事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

- ・トイレ再整備・屋根外壁改修事業において、国の補正予算(第1号)による交付金に対応するため、3月議会で323,466千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【学校づくり推進課】

10- 4- 1目 特別支援学校費

(前年度)

当初予算額	223,683,000円	(195,705,000円)
予算現額	220,873,000円	(190,862,000円)
決算額	208,012,537円	(177,296,336円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	12,860,463円	(13,565,664円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 人件費(非常勤一般職38人)【人事課】 96,339,868円
- 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,105,600円
- 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
60,232,818円
- 教材備品整備費【学校教育課】 1,717,213円
- 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 747,791円
リース満了に伴い、学校図書館用コンピュータシステム機器を更新しました。
- 通学バス運行費【学校教育課】 37,083,134円

10款 教育費

(1) 豊田特別支援学校運行費		24,681,734円
豊田特別支援学校の児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。		利用者数 7,344人
(2) 岡崎特別支援学校運行費		12,401,400円
豊田市から岡崎聾学校及び岡崎盲学校に通学する児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。		利用者数 1,627人
7 児童生徒対象事業費【学校教育課】		356,000円
豊田特別支援学校の児童生徒の社会的自立を支援するため、芸術鑑賞会を実施しました。		
8 施設整備費【学校づくり推進課】		9,430,113円
児童生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、修繕等を行いました。〔 諸宮繕工事 〕		
10- 5- 1目 幼稚園費		
(前年度)		
当初予算額	842,027,000円	(661,482,000円)
予算現額	856,819,000円	(566,998,000円)
決算額	801,795,903円	(532,894,982円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	55,023,097円	(34,103,018円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職32人、非常勤一般職35人)【人事課】		
	375,347,042円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	915,540円	
3 管理運営費【保育課】		
	46,201,782円	
公立こども園 9園(うち1園休園)		
園児数 162人(令和6年4月1日時点)		
4 こども園給食運営費【保育課】		
	110,749,606円	
公立こども園(幼稚園機能)、私立幼稚園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。		
5 園児対象事業費【保育課】		
	1,799,600円	
(1) 自然とのふれあい事業(総合野外センター)		
	5歳児対象	
(2) 動物とのふれあい事業(移動動物園)		
	全園児対象(隔年)	
6 施設保全費【建築保全・住宅課】		
	2,684,000円	
平山こども園の西門排水ほか修繕を行いました。		
7 施設整備費【保育課】		
	263,992,475円	
(1) 備品等整備費		
	21,672,758円	

園の環境整備のため、遊具の更新や保育所化に向けた備品整備、
園児用の机・椅子等を購入しました。

(2) 諸営繕工事 207,545,195円

保育所への認可変更のため、トヨタこども園ほか1園の改修工
事を行いました。

(3) トイレ改修費 28,552,700円

洋式トイレの再整備として、トヨタこども園ほか1園の改修工
事を行いました。

(4) ICT推進費 6,221,822円

保育士、保護者の負担軽減及び幼児教育の質の向上を図るため、
保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執
行しました。

8 こども園地域活動費【保育課】 105,858円

こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種行
事を実施しました。

(1) 子育てひろば利用者(公立こども園分) 619人

(2) 高齢者福祉施設訪問等世代間交流事業 9回

(3) 地域における異年齢児交流事業 18回

(4) 保護者等への育児講座 8回

(5) 郷土文化伝承活動 7回

(6) こども園卒園児との交流 7回

10- 6- 1目 学校教育総務費

(前年度)

当初予算額 2,158,787,000円 (1,915,412,000円)

予算現額 2,605,299,000円 (1,908,565,000円)

決算額 2,230,456,290円 (1,760,614,783円)

翌年度繰越額 143,185,000円 (0円)

不用額 231,657,710円 (147,950,217円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 143,185,000円

教職員会館長寿命化改修事業 143,185,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(一般職67人、非常勤一般職684人)【人事課】

1,401,402,968円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 22,285,345円

3 学校教育総務事務費【学校教育課】 15,765,288円

- 4 就学事業費【学校教育課】 2,640,392円
入学指定通知等就学に係る事務費を執行しました。また、みよし市の規約に基づいて、教育事務を委託し、通学の利便を図りました。
対象者数 小学校23人 中学校1人
- 5 副読本・教師用教科書等購入費【学校教育課】 404,234,821円
小・中・特別支援学校の児童生徒用副読本及び教師用教科書・指導書を購入しました。
- 6 通学路整備費【学校教育課】 30,306,270円
児童生徒の通学途上の安全を確保するため、通学路整備推進会議を開催し、国・県・市の関係機関等と連携して通学路整備を行いました。
安全のみどり線設置工事 20校 L=9,109m
通学路標識 修繕 20か所 撤去 2か所
- 7 通学バス運行費【学校教育課】 148,640,172円
旭地区、足助地区、小原地区、石野地区、下山地区及び松平地区の学校統廃合等により、遠距離通学となった児童生徒をスクールバスで送迎し、通学の利便を図りました。
- 8 教職員会館費【建築保全・住宅課・学校教育課】 87,002,754円
(1) 施設管理運営費 29,339,478円
施設利用者数 51,785人
(2) 施設保全費 2,399,276円
(3) 長寿命化推進費 55,264,000円
長寿命化改修工事に着手しました。
- 9 共働の学校づくり推進費【学校教育課】 41,990,924円
地域学校共働本部全104か所の運営支援を行いました。
- 10 部活動の地域移行事業費【学び体験推進課】 ※新規 75,437,356円
地域指導者等を全中学校に配置するなど、部活動に替わる「とよた地域クラブ活動」の開始に向け、準備を進めました。
- 11 外国人学校教育推進費補助金(1/50)【教育政策課】 700,000円
交付学校数 各種学校 1校
- 12 私立幼稚園保護者の会連合会補助金(1/3)【保育課】 50,000円
幼稚園教育に関する進展活動を行い、幼児教育に対する意識向上

を図るため、連合会に対して補助金を支出しました。

◆特記事項

教職員会館長寿命化改修事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。

【学校教育課】

10- 6- 2目 教育指導費

(前年度)

当初予算額	848,433,000円	(755,634,000円)
予算現額	552,407,919円	(522,398,000円)
決算額	521,884,827円	(500,745,407円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	30,523,092円	(21,652,593円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(非常勤一般職24人)【学校教育課】

165,833,144円

2 教育指導事務費【学校教育課・保健給食課】 2,816,247円

3 児童生徒対象事業費【学校教育課】 284,881,744円

(1) 文化的部活動指導奨励費 1,850,000円

文化的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。

特別指導者 24人 実績時間 925時間

(2) 感動体験事業費 22,265,602円

一流の文化、芸術に直接触れることで、豊かな心を育むため、コンサートホールで名古屋フィルハーモニー交響楽団の鑑賞会を実施しました。

(3) 自然体験等学習費 10,498,346円

豊かな自然の中での集団宿泊生活を通じて、調和のとれた児童生徒の健全育成を図るため、六所山等で野外学習(小学5年生、中学1年生)を実施しました。

(4) 公共施設体験学習費 9,176,112円

地域社会の構成員としての自覚や地域社会を大切にする気持ちを育てるため、公共施設見学(小学4年生)を実施しました。

(5) 児童生徒対象行事費 1,882,769円

豊かな感性を育て、教育の向上を図るため、科学研究作品展、書き初め大会等各種行事を実施しました。

(6) へき地小規模校教育推進費 2,916,730円

へき地小規模校の児童に集団の中で学習する機会を与えるため、あすけ集合学習、都市体験学習及び芸術鑑賞会を実施しました。

(7) 外国人講師費 156,860,000円

外国人英語指導助手を小・中・特別支援学校へ派遣し、小学校での外国語活動や外国語科の授業、中学校での英語科の授業の充実を図りました。

(8) 特別支援教育推進費 32,563,405円

特別支援教育を推進するため、就学支援、巡回相談活動等を実施しました。

また、医療的ケアの必要な児童生徒に対して、学校へ看護師を派遣しました。

(9) 生徒進路対策費 33,053,875円

児童生徒の健全育成を図るため、学力検査、進路指導等を実施しました。

知能検査及び学力検査(小学5年生)、進路指導及び生徒指導(全中学生)

(10) 外国人児童生徒教育推進費 5,980,335円

外国人児童生徒等の教育を推進するため、学校日本語指導員の派遣、ことばの教室の運営、プレスクール事業等を実施しました。

外国人児童生徒数 1,351人(令和6年5月1日現在)

(11) 地域教育用副読本作成費 1,102,600円

教科書改訂に伴う学習内容の変更に対応するため、社会科副読本の改訂を行いました。

(12) 教育介護員派遣費 707,243円

肢体不自由、発達障がい等の児童生徒が、安全に修学旅行や自然教室等の学校行事に参加できるよう、教育介護員を派遣しました。

(13) 校外学習活動費 4,113,450円

交通不便、地域固有の条件等で教育活動に支障のある学校に対して、校外学習のためのバスを借りました。

(14) 小中学校文化的大会選手派遣費補助金(10/10・5/10)

1,911,277円

文化的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。

4 中高連携費【学校教育課】 8,377,108円

市内にある県立高等学校、特別支援学校及び豊田工業高等専門学校15校の特色ある取組や教育課程等を、ステージ及び各校のブースにおいて発信する「豊田市高等学校魅力発見フェスタ」を開催し

ました。来場した中学生及び保護者等へ魅力をアピールする場となりました。

5 国際交流活動費【学校教育課】 34,909,933円

国際感覚を身に付けるとともに、海外での生活体験の中で実際に見聞し、学んだことを周囲の生徒に報告、広めるなど国際理解教育に役立てるため、イギリスとアメリカへの派遣を実施しました。現地へ直接足を運び、見聞きした経験から、異文化理解を深めることができました。

6 教育問題研究費【学校教育課】 24,892,651円

(1) 教育指導研究費 2,197,471円

教育行政計画推進のため、10の委員会を設置し、具体的な事業遂行のための研究を行いました。また研究の振興のため、24の部会を設置し、各教科等の特性に応じた研究を行いました。

(2) 帰国児童生徒教育推進費 32,400円

帰国児童生徒対策等の充実を図るため、教育国際化推進連絡協議会の事業を推進しました。

(3) キャリア教育推進費 930,000円

地域の教育力を最大限に生かし、子どもたちの職業観や勤労観を磨き、社会性やコミュニケーション能力を高めるため、職場体験学習等を実施しました。

(4) 教育研究指定校活動費 786,840円

教育の課題解決や地域に根ざした学校教育の充実を図るため、研究推進校・継続校を指定し、教育実践を行いました。

(5) 特色ある学校づくり推進費 18,800,573円

伝統や地域性を生かした教育活動を推進するため、小中学校103校で、学校の自由裁量による研究、活動を実践しました。また、都市(旧市内)と山間(旧町村)の学校間の教育交流や海外の学校と国際交流を行いました。

(6) 少人数教育対応費 1,813,197円

小学校1～3学年及び中学校2・3学年で市独自の少人数学級編制を、中学校2・3学年で少人数指導授業を実施することにより、個に応じたきめ細かな指導を行いました。

(7) 学校図書館司書配置費 224,920円

学校図書館に司書を週1回程度配置し、児童生徒の読書活動、調べる学習の支援を行い、学校図書館の利用充実を図りました。

(8) 小規模特認校制度推進費 107,250円

小規模特認校制や特認校の魅力をPRするために、ポスター及びちらしを作成しました。

10款 教育費

7 小・中学校講師向け新豊田市民応援補助金（1／2・定額）

【学校教育課】 174,000円

小中学校講師の人材確保のため、市内に転入してくる講師に対し
転居に係る経費の一部を補助しました。

対象者数 1人

10- 6- 3目 教育センター費

（前年度）

当初予算額	494,136,000円	（ 440,408,000円 ）
予算現額	485,189,000円	（ 440,408,000円 ）
決算額	474,636,314円	（ 435,877,435円 ）
翌年度繰越額	0円	（ 0円 ）
不用額	10,552,686円	（ 4,530,565円 ）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（教育センター企画運営委員会委員3人）【学校教育課】

48,000円

2 施設管理運営費【学校教育課】

2,462,015円

3 学校情報化推進費【学校教育課】

456,641,737円

学校の情報化を推進するため、学校のコンピュータ機器の円滑な
運用を図りました。

また、リース満了に伴い、校務用パソコンサーバ機器及び学校図
書館用コンピュータシステム機器を更新しました。

4 教職員研修費【学校教育課】

15,484,562円

学校教育における教育目標を効果的に達成し、教職員の資質・能
力の向上を図るため、専門職としての理論や技術の各種研修を実施
しました。

10- 6- 4目 学校保健費

（前年度）

当初予算額	332,979,000円	（ 332,531,000円 ）
予算現額	345,094,081円	（ 356,192,000円 ）
決算額	328,399,990円	（ 330,996,771円 ）
翌年度繰越額	0円	（ 10,470,000円 ）
不用額	16,694,091円	（ 14,725,229円 ）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（こども園医8人、こども園歯科医8人、こども園薬剤師8人、

学校医 81人、学校歯科医 96人、学校眼科医 12人、学校耳鼻咽喉科医 18人、学校薬剤師 61人)

- | | |
|--|--------------|
| 【保育課・保健給食課】 | 189,577,945円 |
| 2 学校保健衛生管理費【保健給食課】 | 123,477,529円 |
| (1) 管理費 | 25,480,425円 |
| 学校保健の円滑な運営のため、保健室の医薬材料・備品などの購入、機器の検査・修繕及び環境衛生検査などを実施しました。 | |
| (2) 結核予防費 | 5,022,400円 |
| 感染症法・学校保健安全法による予防事業として、児童生徒及び教職員の結核の感染を防ぐため健康診断などを実施しました。 | |
| (3) 健康診査費 | 60,952,759円 |
| 学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、各種健康診断を実施しました。 | |
| (4) 治癒証明費 | 1,148,840円 |
| 児童生徒が学校保健安全法に規定する感染症に感染した場合に出席停止の指示及び当該疾病に係る治癒が確認できる証明書の交付業務を委託しました。 | |
| (5) 学校災害共済負担金 | 30,873,105円 |
| 学校管理下の災害における医療費等の給付を目的とする災害共済給付制度について、児童生徒の加入契約に係る共済掛金を負担しました。 | |
| 3 学校保健特別対策事業費【保健給食課】 | 4,763,000円 |
| 感染症対策のために、換気対策等にかかる物品を購入し、学校に配付しました。 | |
| 4 健康づくり推進費【保健給食課】 | 2,119,452円 |
| むし菌予防事業を実施しました。 | |
| 5 学校プール管理費【保健給食課】 | 8,462,064円 |

10- 6- 5目 学校体育費

		(前年度)
当初予算額	13,319,000円	(25,644,000円)
予算現額	8,187,000円	(21,110,000円)
決算額	7,348,319円	(16,090,503円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	838,681円	(5,019,497円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- | | |
|------------------|------------|
| 1 学校体育事務費【学校教育課】 | 2,083,467円 |
|------------------|------------|

10款 教育費

- 2 体育的部活動指導奨励費【学校教育課】 437,030円
 体育的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。
 特別指導者 6人 実績時間 206時間
- 3 体育大会開催費【学校教育課】 2,596,298円
 体力の向上を図るとともに、スポーツの推進を図るため、中学校総合体育大会を開催しました。
- 4 体育大会選手派遣費補助金(10/10)【学校教育課】 2,231,524円
 体育的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。
 全国大会出場 弓道(4校)、水泳(1校)ほか

10- 6- 6目 学校給食費

		(前年度)
当初予算額	99,502,000円	(178,718,000円)
予算現額	21,136,220円	(169,075,000円)
決算額	19,262,595円	(162,384,107円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,873,625円	(6,690,893円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 学校給食運営費【保健給食課】 19,262,595円
- (1) 運営費 1,063,203円
 安全な給食提供に向け、アレルギー給食検討委員会及び食物アレルギー対応審査会を開催しました。
- (2) 配膳費 15,572,892円
- (3) 子育て特別支援費 2,626,500円
 給食費無償化に伴い、市の給食提供が受けられない児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を給付しました。
 支給実績 小学校児童 94人
 中学校生徒 46人

10- 6- 7目 給食センター費

(前年度)

当初予算額	4,739,907,000円	(4,492,423,000円)
予算現額	5,073,888,780円	(4,859,081,000円)
決算額	4,882,490,308円	(4,662,790,279円)
翌年度繰越額	108,178,000円	(86,144,000円)
不用額	83,220,472円	(110,146,721円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	108,178,000円
旧北部給食センター解体事業	108,178,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（学校給食センター運営委員会委員9人）【保健給食課】

72,000円

2 給食業務管理運営費【保健給食課】 251,552,707円

(1) 管理費 16,643,461円

給食システムを活用し、献立作成、給食物資の発注、食数管理及び物資管理を行いました。

(2) 配送業務委託費 214,278,020円

配送実績（199日間）

小学校22校 中学校10校 こども園など56園

(3) 給食用食器整備費 20,631,226円

3 給食材料費【保健給食課】 964,573,260円

魅力ある給食を提供するため、地域で生産される食材を活用し、児童生徒の栄養面、嗜好面などを考慮しながら、給食の質を確保しつつ、安全な給食材料の購入に努めました。

4 学校給食協会委託費【保健給食課】 1,553,401,985円

(公財)豊田市学校給食協会に委託し、給食調理業務及び給食物資の調達を行いました。

各給食センター年間調理実績

中部給食センター 1,226,869食

南部給食センター 1,626,426食

平和給食センター 1,445,480食

豊田特別支援学校 33,977食

5 施設管理運営費【保健給食課】 73,536,956円

給食センターの効率的な管理運営を図るため、施設設備等の維持管理に必要な業務を委託しました。

6 地域給食施設管理運営費【保健給食課】 51,406,779円

10款 教育費

(1)	足助地域給食施設管理運営費	36,900,484円
	年間調理実績	141,911食
(2)	旭地域給食施設管理運営費	7,080,096円
	年間調理実績	39,876食
(3)	稲武地域給食施設管理運営費	7,426,199円
	年間調理実績	30,203食
7	施設整備費【保健給食課】	208,953,458円
	中部給食センター蒸気ボイラー改修ほか工事を行いました。	
8	東部給食センター費【保健給食課】	670,929,790円
(1)	管理運営費	477,886,537円
	年間調理実績	2,092,103食
(2)	建設費	193,043,253円
	東部給食センター改築整備運営事業（PFI事業）契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。	
9	北部給食センター費【保健給食課】	532,179,741円
(1)	管理運営費	482,617,314円
	年間調理実績	1,524,778食
(2)	建設費	49,562,427円
	北部給食センター改築整備運営事業（PFI事業）契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。	
10	学校給食協会運営費補助金（10／10）【保健給食課】	575,883,632円

◆特記事項

旧北部給食センター解体事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。

【保健給食課】

10- 7- 1目 社会教育総務費

		(前年度)
当初予算額	241,560,000円	(245,325,000円)
予算現額	254,249,000円	(242,084,000円)
決算額	232,542,022円	(231,595,999円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	21,706,978円	(10,488,001円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（生涯学習審議会委員10人、一般職5人、非常勤一般職37人）【学び体験推進課・人事課】136,353,349円

- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2, 140, 500円
- 3 市民活躍支援総務事務費【学び体験推進課】 639, 396円
- 4 家庭教育費【こども・若者政策課】 290, 000円
 家庭教育の学習機会や情報取得機会を提供するため、家庭教育講座の開催を支援しました。
 家庭教育講座 15か所 1, 026人
- 5 生涯学習推進費【スポーツ振興課】 2, 868, 000円
 市民の多様な学習活動を奨励するため、体育・文化等に関する全国大会や国際大会の出場者に対し報奨金を交付しました。
 個人 281人、団体 12団体
- 6 生涯学習事業費【学び体験推進課】 8, 971, 128円
 (1) こどもたちの自ら考え判断する力を育むため、2つの事業を開催しました。
 中学生と地域の大人による対話事業(4校)
 生徒421人/大人185人
 高校生アントレプレナーシップ教育事業
 出前授業(2校) 959人
 起業家体験講座(全4日間) 25人
 (2) ミドルシニア世代が学び、活躍する機会を創出するため、地域をフィールドとした「とよたローカルキャリア・デザインスクール」を開催しました。
 キックオフイベント34人、連続講座(全6回)17人
- 7 PTA活動費【こども・若者政策課】 1, 677, 000円
 PTA活動の推進と充実を図るため、豊田市PTA連絡協議会に補助対象経費の1/2を上限として、補助金を交付しました。
- 8 ものづくり科学創造推進費【学び体験推進課】 58, 620, 587円
 (1) 企画運営費 44, 830, 031円
 指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団
 とよた科学体験館入場者数 227, 949人
 内訳 プラネタリウム入場者数 54, 566人
 サイエンスホール入場者数 173, 383人
 (2) 施設整備費 4, 982, 450円
 とよた科学体験館の施設備品を更新しました。
 (3) 科学技術教育推進費 808, 106円
 児童・生徒を対象とした科学講座、中学生による科学ものづくりイベントなど、9種の事業を開催しました。
 (4) 少年少女発明クラブ補助金(1/2) 8, 000, 000円

9 ものづくり文化のまち推進費【学び体験推進課】

17,921,761円

(1) ものづくり教育推進費

5,535,861円

ものづくり教育プログラムを小学校等73校で実施しました。

ものづくりサポーター登録者数 118人

(2) ものづくりサポートセンター管理運営費3,208,270円

ものを作る仕事の魅力を学び体験する講座として、4事業を開催し、94人が参加しました。

豊田市名誉市民である藤嶋昭東京理科大学栄誉教授から同氏の経験や発想を学ぶ「藤嶋塾」を4回開催し、177人が受講しました。

(3) とよたものづくりフェスタ開催負担金 9,177,630円

10月27日にとよたものづくりフェスタ2024を開催しました。

来場者数 15,000人 体験者数 10,054人

10 ものづくりプロジェクト推進費【学び体験推進課】

2,718,205円

丘KOBAPROJECT負担金

チームをひとつの会社に見立て、協力企業の社員と子ども達と一緒に「未来のモビリティ」の製作に取り組みました。

11 青少年ものづくり基金積立金【学び体験推進課】 59,495円

12 博学未来創造基金積立金【博物館】 282,601円

10- 7- 2目 文化財保護費

(前年度)

当初予算額 389,910,000円 (416,901,000円)

予算現額 478,542,400円 (481,517,500円)

決算額 386,346,169円 (347,683,954円)

翌年度繰越額 77,380,400円 (124,864,400円)

不用額 14,815,831円 (8,969,146円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆

77,380,400円

旧鈴木家住宅保存整備事業(その4)

77,380,400円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(文化財保護審議会委員13人、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員9人、景観アドバイザー2人)

【文化財課・建築相談課】

561,300円

- 2 文化財等保護保存費【文化財課】 86,192,182円
- (1) 指定文化財、史跡等の適切な保存管理に謝礼を支出しました。
史跡、天然記念物 21件
- (2) 史跡等の草刈りやニホンカモシカの対応等を行い、史跡・天然記念物等の維持管理に努めました。
池田3号墳支障木伐採、挙母城(桜城)跡平槽台草刈、足助城枯木伐採等
ニホンカモシカ死体処理 90件
- (3) 老朽化した史跡説明看板を修繕しました。
曽根遺跡公園始め3件
- (4) 史跡名勝等の保存・整備を行いました。
曽根遺跡公園遺構修繕、シラヒゲソウ自生地フェンス修繕等
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査、出土品整理、調査報告書の刊行を行いました。
発掘調査 桜城跡
範囲確認調査等 林遺跡始め12件
埋蔵文化財工事立会 高橋遺跡始め67件
報告書等刊行
「令和5年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」 500部
「舞木廃寺・舞木古窯」 500部
- (6) 民俗芸能等記録映像を制作しました。
とよたの祭事記録「猿投祭り」
- (7) 民俗文化財の保存継承活動を支援しました。
豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会運営支援
民俗芸能発表会開催(5団体参加)
- (8) 有形・無形民俗文化財、伝統的郷土芸能の保存、継承及び後継者育成に補助金を交付しました。
有形民俗文化財 15団体(挙母神社の山車等)
無形民俗文化財 31団体(棒の手、歌舞伎等)
伝統的郷土芸能 16団体(はやし、神楽等)
- (9) 指定文化財の修理等補助金
皆福寺絹本著色聖徳太子孝養像(皆福寺)
足助八幡宮本殿屋根・防災設備整備・消防設備点検
(足助八幡宮)
隣松寺本堂消防設備点検(隣松寺)
挙母神社の山車(旧南町)襖絵等(旧南町挙母祭保存会)
挙母神社の山車(竹生町)苾棒
(竹生町挙母祭山車祭囃子保存会)

- 高橋町の山車部品倉庫・彫刻（高橋町山車保存会）
 足助八幡宮新町の山車蔵（足助新町山車祭り保存会）
 平井町の山車台輪・梶棒（平井町山車囃子保存会）
 大洞のスギ伐採（大洞町内会）
- （10）伝統的郷土芸能保存修理費補助金
 献馬馬具（長興寺巫女舞・献馬保存会）
 小締め太鼓（保見町芸能保存会）
- 3 豊田市郷土資料館費【文化財課】 2,239,036円
 旧郷土資料館及び文化財倉庫（旧図書館・保見文化財倉庫）の維持管理を行いました。
- 4 地域資料館費【藤岡支所・稲武支所】 3,559,749円
 （1）藤岡民俗資料館管理費 3,112,912円
 年間入館者数 321人
 （2）稲武郷土資料館管理費 446,837円
 年間入館者数 4,188人
- 5 郷土史充実費【文化財課】 12,831,920円
 （1）郷土史に関する刊行物等を作成しました。
 「100項目で読み解くとよたの歴史」原稿作成
 「守綱寺太鼓堂保存修理工事報告書」刊行 300部
 市史総集編デジタル公開に向けたデータ作成
 （2）郷土ゆかりの人物等の事績を顕彰・紹介・研究するため、顕彰会に補助金を支出しました。
 鈴木正三顕彰会始め3団体
- 6 歴史的町並み保存費【文化財課】 238,859,466円
 （1）重伝建地区内の建物の修理等に補助金を交付しました。
 修理修景3件
 （2）旧鈴木家住宅保存修理工事第6・7期工事、防災対策第2期工事、活用整備第3期工事を行いました。
 （3）旧鈴木家住宅主屋を部分公開しました。
 入館者数（開館日数209日） 22,727人
 （4）旧鈴木家住宅に遺された民具等の展示や、歴史や文化を学び楽しむ講座及びイベントなどを実施しました。
- 足助・紙屋鈴木家de端午の節句 入場者数1,660人
 紙屋鈴木家のおひなたち 入場者数8,530人
 紙屋鈴木家について語る会 参加者数 24人
 紙屋鈴木家の歴代当主について 参加者数 42人
 隊員募集！足助こども調査隊 参加者数 10人
 紙屋鈴木家の紙商いとその広がり 参加者数 42人

	重要文化財の大商家で愉しむ茶道体験	参加者数	19人
	天然香料で自分だけの香り袋づくり	参加者数	28人
(5)	旧鈴木家住宅の修理現場見学を開催しました。		
	修理現場見学15回	参加者数	38人
7	文化財施設費【文化財課】		32,799,652円
(1)	文化財施設の適切な管理運営に努めました。		
	喜楽亭	年間入館者数	4,846人
	松平郷館	年間入館者数	10,276人
	旧松本家長屋門	年間入館者数	1,068人
(2)	文化財施設の修理を行いました。		
	城跡公園足助城本丸土間たたき修繕		
8	地域文化財管理費【藤岡支所・小原支所・足助支所】		
			9,302,864円
(1)	藤岡地域文化財管理費		299,531円
	県指定文化財である旧山内家住宅の適切な管理を行いました。		
(2)	小原地域文化財管理費		1,143,234円
	市指定文化財である市場城跡等の適切な管理を行いました。		
(3)	足助地域文化財管理費		565,178円
	県指定文化財である足助中馬館の適切な管理を行いました。		
	年間入館者数	9,264人	
(4)	城跡公園足助城管理費		7,294,921円
	指定管理者 (株)三州足助公社		
	年間入場者数	9,578人	

10-7-3目 民芸館費

		(前年度)
当初予算額	88,358,000円	(68,661,000円)
予算現額	87,874,000円	(68,321,000円)
決算額	83,189,342円	(65,160,206円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	4,684,658円	(3,160,794円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	人件費(運営協議会委員5人)【博物館】	80,000円
2	施設管理運営費【博物館】	57,829,382円
	民芸館、民芸の森の施設運営や各種修繕を行いました。	
	指定管理者 (株)技研サービス	
	民芸館施設総利用者数	58,776人

	民芸の森施設総利用者数	19,129人
3	展覧会開催費【博物館】	15,621,015円
(1)	展覧会準備費	
	次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。	
(2)	企画展	
	「美しき手仕事―新収蔵品を中心に」	
	会期 令和6年4月9日～6月30日(74日間)	
	観覧者数 2,850人	
	「アイヌの生活―高松静男コレクションを中心に―」	
	会期 令和6年10月12日～12月15日(58日間)	
	観覧者数 5,698人	
	「郷土玩具展 干支と巳」	
	会期 令和6年12月21日～令和7年2月2日(32日間)	
	観覧者数 1,364人	
	民芸の森 コレクション展2回、アート展2回	
	会期 令和6年4月4日～令和7年3月23日(261日間)	
	観覧者数 9,928人	
(3)	特別展	
	「或る賞鑑家の眼―大久保裕司の蒐集品」	
	会期 令和6年7月13日～9月23日(66日間)	
	観覧者数 2,439人	
	「アイヌの美しき手仕事」	
	会期 令和6年10月12日～12月15日(58日間)	
	観覧者数 5,297人	
	「おいしい民窯 一食のうつわー」	
	会期 令和7年1月11日～3月31日(69日間)	
	観覧者数 3,453人	
4	施設保全費【建築保全・住宅課】	354,200円
	敷地内木柱修繕を行いました。	
5	施設整備費【博物館】	8,779,049円
(1)	民芸館整備費	7,716,229円
	インターネット回線、電話器設備更改や木製展示ケースの更新を行いました。	
(2)	民芸の森整備費	1,062,820円
	敷地内目隠しフェンスの修繕等を行いました。	
6	資料購入費【博物館】	525,696円
	衣食住及び伝統的な手仕事に関する展示資料として、日本民藝館展優秀作品4点を購入しました。	

10款 教育費

10- 7- 4目 図書館費			
		(前年度)	
当初予算額	1,556,374,000円	(	901,291,000円)
予算現額	965,469,000円	(	931,031,000円)
決算額	912,262,993円	(	922,504,768円)
翌年度繰越額	52,066,691円	(	0円)
不用額	1,139,316円	(	8,526,232円)

●翌年度繰越額			
☆継続費☆			52,066,691円
豊田参合館長寿命化等改修負担事業 (中央図書館・共用部)			52,066,691円
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要			
1	人件費 (図書館協議会委員 7 人) 【 図書館管理課 】	160,000円	
2	図書館管理事務費【 図書館管理課 】	771,664円	
3	中央図書館費【 図書館管理課 】	621,754,249円	
	指定管理者制度による図書館運営や施設管理を行いました。		
	指定管理者	TRC・ホームックス共同企業体	
	施設利用者数	805,117人	
4	こども図書室費【 図書館管理課 】	82,500円	
5	図書館システム費【 図書館管理課 】	103,922,106円	
6	豊田参合館運営費負担金【 図書館管理課 】	185,572,474円	
(1)	管理運営費	148,356,061円	
(2)	施設整備費	37,216,413円	
	豊田参合館の適正な維持管理のため、共用部の維持管理及び施設整備の費用を負担しました。また、豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施しました。		

10- 7- 5目 博物館費			
		(前年度)	
当初予算額	540,774,000円	(	3,022,738,000円)
予算現額	535,229,000円	(	6,186,936,000円)
決算額	482,173,958円	(	6,124,651,043円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	53,055,042円	(	62,284,957円)

●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要			
1	人件費 (運営協議会委員 7 人) 【 博物館 】	158,800円	
2	博物館事務費【 博物館 】	12,090,074円	

3	博物館管理運営費【博物館】	309,423,306円
	博物館総利用者数	284,594人
	展覧会観覧者数	171,866人
	開館日	284日
	セミナールーム利用者数	17,291人
	体験室利用者数	11,821人
	むかしの家利用者数	21,523人
	みんなの研究室利用者数	11,069人
	庭園利用者数	25,772人
4	附属施設管理運営費【博物館】	577,030円
	七州城・又日亭利用者数	615人
5	みんなでつくる博物館費【博物館】	52,275,576円
(1)	ミュージアムショップカフェ等運営費	
	カフェ利用者数	16,312人
	ショップ利用者数	8,325人
(2)	パートナー運営費	
	個人パートナー	162人
	団体パートナー	102団体
	全体研修	2回
	博物館の楽しみ方ガイドグループ	
	活動延べ回数107回、延べ人数	708人
	自然体験グループ	
	活動延べ回数	9回、延べ人数
	博物館学習グループ	
	活動延べ回数111回、延べ人数	1,148人
	博物館の環境維持グループ	
	活動延べ回数	23回、延べ人数
	あつめるプロジェクトグループ	
	活動延べ回数114回、延べ人数	169人
(3)	講座等開催費	
	実施回数45回、参加延べ人数	4,159人
(4)	理解活動費	
	こどもはくぶつかんだよりを2回(1回 5,500部)発行しました。	
	博物館の開館及び各展覧会の広報活動を実施しました。	
(5)	博物館学習費	
	実施延べ校数335校、参加延べ人数	24,451人
6	展覧会開催費【博物館】	70,721,229円

- (1) 展覧会調査費
次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。
- (2) 常設展
年3回の展示替えを実施しました。
観覧者数 125,588人
- (3) 「旅するジョウモンさん」展
会期 令和6年10月12日～12月8日(52日間)
観覧者数 19,119人
- (4) 「和食」展
会期 令和7年1月18日～3月31日(63日間)
観覧者数 27,159人
- (5) 「岸田吟香と岸田劉生」展
「岸田吟香と岸田劉生」展の準備を行いました。
- 7 地域施設管理運営費【博物館】 7,781,574円
地域施設の適切な管理運営に努めました。
歌舞伎伝承館
指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団
施設利用者数 6,385人
- 8 郷土史充実費【博物館】 12,742,243円
(1) 資料調査研究費
地域資料館に収蔵されている民具資料の整理・調査等を行いました。
- (2) 資料購入費
博物館学習や講座等で使用するための「長久手合戦図屏風」
(複製)の購入等を行いました。
- 9 資料管理費【博物館】 16,404,126円
所蔵資料の燻蒸、虫菌害対策のための保存環境整備等を行い、資料の適切な保存管理に努めました。

10- 8- 1目 文化体育総務費

(前年度)

当初予算額	2,659,634,000円	(2,400,639,000円)
予算現額	2,803,098,456円	(2,479,210,000円)
決算額	2,703,395,934円	(2,421,903,482円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	99,702,522円	(57,306,518円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職89人、非常勤一般職137人）【人事課】
1,223,926,677円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 10,538,945円
- 3 こどもの文化・スポーツ地域活動推進費【学び体験推進課】
2,671,306円
有識者等で構成する協議会を開催し、とよた地域クラブ活動展開
プランを策定するとともに、地域指導者向けの研修や説明会等を実
施しました。
- 4 文化振興財団運営費補助金（10/10）【文化振興課】
1,466,259,006円
派遣職員10人、正規職員68人、再任用職員7人、
特定業務職員191人、限定職員5人、臨時職員216人

10- 8- 2目 文化活動費

		(前年度)
当初予算額	176,478,000円	(193,519,000円)
予算現額	176,478,000円	(191,307,000円)
決算額	162,461,525円	(163,677,454円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	14,016,475円	(27,629,546円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 文化活動事務費【文化振興課】 1,974,151円
- 2 文化芸術振興計画推進費【文化振興課】 217,230円
文化芸術振興委員会 3回開催
- 3 文化事業開催費【文化振興課】 21,481,153円
 - (1) 市民美術展 4,387,770円
公募展・関連企画
入場者数 4,080人
応募点数 374点（うち入選点数 291点）
 - (2) 文化事業負担金 17,093,383円
市民が様々な文化に触れる機会を提供し、文化への興味や関心
を高めるため、文化事業を開催しました。
- ア 市民アート展（5・6月／参加者数 1,587人）
- イ 小倉百人一首競技かるた全日本選手権大会
（4月／参加者数 560人）
- ウ とよた将棋フェスタ（6月／参加者数 266人）

- エ 吹奏楽フェスティバル（11月／参加者数 1,200人）
- オ 秋季市民茶会（11月／参加者数 354人）
- カ おいでんアート体験フェア（2月／参加者数 2,813人）
- キ とよた囲碁まつり（2月／参加者数 95人）
- ク とよた市民アートプロジェクト
（文化イベント等実施数 3事業 参加者数 2,938人）
- ケ とよたデカスプロジェクト
（応募 15件 採択 8件 参加者数 966人）
- 4 青少年音楽活動費【文化振興課】 41,664,986円
豊田市少年少女合唱団
団員数 95人
主な活動 定期演奏会1回 イベント参加8回 大会出場3回
豊田市ジュニアマーチングバンド
団員数 106人
主な活動 定期演奏会1回 イベント参加5回 大会出場3回
豊田市ジュニアオーケストラ
団員数 57人
主な活動 定期演奏会2回 イベント参加4回
- 5 コンサートホール・能楽堂運営費【文化振興課】 87,001,618円
（公財）豊田市文化振興財団と共催し、コンサートホール・能楽堂等において、一流の奏者・演者による公演から幅広く親しみやすいプログラムまで、多様な芸術文化に触れる機会を提供しました。
ア 企画運営委員会 3回開催
イ クラシック音楽鑑賞会事業 18事業
名古屋フィルハーモニー交響楽団公演等
（入場者数 11,663人）
ウ クラシック音楽市民参加事業 2事業
豊田市民クラシックコンサート等（入場者数2,374人）
エ クラシック音楽普及啓発事業 6事業
かーるくクラシック等（入場者数 6,462人）
オ 能楽鑑賞会事業 9事業
さつき能等（入場者数 2,788人）
カ 能楽市民参加事業 2事業
豊田市民演能会等（入場者数 307人）
キ 能楽普及啓発事業 5事業
能・狂言が見たくなる講座等（入場者数 1,640人）
ク 地域活性化事業 2事業

出前コンサート等（入場者数 4,891人）		
6 郷土作家美術品収集費【文化振興課】	1,465,810円	
郷土作家美術品管理費		
市所蔵作品の修繕等、美術品の適正な維持管理に努めました。		
7 文化芸術人材育成活用推進費【文化振興課】	8,656,577円	
（１）文化活動者派遣事業費	1,490,887円	
文化芸術活動者を小学校に派遣し、子どもたちが文化への興味や関心を高める機会を提供しました。		
（実施回数 54回 参加者数 3,130人）		
（２）舞台芸術人材育成活用・創造事業費	7,165,690円	
舞台芸術（演劇）等への市民の関心を高めるとともに、支える人材の育成を図る事業を実施しました。		
ア とよたこども創造劇場		
（参加者数 34人 公演入場者数 615人）		
イ とよた演劇ファクトリー		
（参加者数 23人 公演入場者数 161人）		
ウ 劇団四季こころの劇場		
（参加校 42校 入場者数 1,794人）		
10- 8- 3目 青少年活動費		
（前年度）		
当初予算額	202,260,000円	（ 185,903,000円 ）
予算現額	200,180,236円	（ 199,974,093円 ）
決算額	187,701,446円	（ 187,606,104円 ）
翌年度繰越額	0円	（ 0円 ）
不用額	12,478,790円	（ 12,367,989円 ）
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 青少年活動事務費【こども・若者政策課】	503,432円	
2 青少年センター費【こども・若者政策課】	7,315,190円	
青少年センターについて適正な維持管理に努めました。		
指定管理者 （公財）豊田市文化振興財団		
施設利用者数 延べ104,409人		
登録団体 31団体		
3 総合野外センター費【こども・若者政策課・建築保全・住宅課】	94,522,337円	
（１）管理費	77,038,641円	
総合野外センターについて適正な維持管理に努めました。		

- 指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団
施設利用者数 延べ50,236人
- (2) 施設保全費 7,164,300円
揚水ポンプ取替、真空ボイラー更新修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 10,319,396円
備品購入や活性化検討のための業務委託を行いました。
- 4 こども・若者支援対策費【こども相談課】 43,555,297円
こども・若者が円滑に社会生活を送ることができるよう支援する
こども・若者総合相談センターや、こども・若者が抱える課題に連
携して支援を行うこども・若者支援地域協議会を運営しました。
こども・若者総合相談センター登録者数 321人
こども・若者支援地域協議会 1回開催
- 5 青少年健全育成費【こども・若者政策課】 29,807,190円
- (1) 二十歳のつどい開催費 18,010,347円
各地区コミュニティ会議で二十歳のつどいを開催しました。
出席者数 3,537人(出席率66.7%)
- (2) 青少年健全育成推進協議会負担金 5,010,520円
豊田市青少年健全育成推進協議会の活動に対し、負担金を支出
しました。
- (3) 青少年育成事業負担金 6,786,323円
(公財) 豊田市文化振興財団に対し、青少年の社会参加、指導
者育成等の事業を行うための負担金を支出しました。
23事業 延べ9,968人
- 6 地域子ども会活動費補助金(8/10・1/2)
【こども・若者政策課】 7,834,000円
子ども会及びジュニアクラブの活動に対し、補助金を交付しまし
た。
単位子ども会 265団体
ジュニアクラブ 47団体
- 7 更生保護対策費【こども・若者政策課】 1,476,000円
- (1) 更生保護対策費補助金(1/2) 1,231,000円
豊田市保護司会の活動に対し、補助金を交付しました。
- (2) 更生保護女性会費補助金(1/2) 187,000円
豊田市更生保護女性会の活動に対し、補助金を交付しました。
- (3) 更生保護における雇用及び就労支援対策費補助金(1/2) 58,000円
豊田保護区協力雇用主会の活動に対し補助金を交付しました。
- 8 青少年健全育成関連団体活動支援補助金(1/2)

10款 教育費

【こども・若者政策課】		2,688,000円
豊田市子ども会育成連絡協議会を始め9団体の青少年健全育成関連団体の活動に対し、補助金を交付しました。		
10- 8- 4目 青少年教育費		
(前年度)		
当初予算額	116,850,000円	(111,199,000円)
予算現額	189,193,422円	(109,797,000円)
決算額	105,140,764円	(102,331,434円)
翌年度繰越額	67,000,000円	(0円)
不用額	17,052,658円	(7,465,566円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		67,000,000円
青少年相談センター長寿化改修事業		67,000,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(いじめ防止対策委員会委員5人)【学校教育課】		134,200円
2 青少年非行化防止費【学校教育課】		2,000,000円
豊田少年補導委員会、足助少年補導委員会の活動に対して負担金を支出しました。		
3 青少年相談センター費【学校教育課】		67,621,394円
(1) 管理運営費		21,676,185円
(2) 相談活動費		45,822,209円
ア 相談指導事業		
青少年や保護者の悩みに応じるため、関係機関と連携し、相談活動等を実施しました。		
面接相談延べ回数		5,546回
サポートチーム会議(ケース会議)教職員		415回
関係機関		162回
スクールソーシャルワーカーによる延べ支援児童生徒数		16,298人
イ ユースワーカー事業		
大学生を主としたユースワーカーが問題を抱えた青少年と心理学に基づいた自由遊び、面接を行い、青少年の問題行動の改善を図りました。		
ユースワーカー		1人
活動の対象となる青少年		1人

活動延べ回数	11回
ウ 電話相談「はあとラインとよた」事業	
青少年や保護者等に対する電話相談を実施しました。	
電話相談延べ回数	90回
(3) 公開セミナー費	123,000円
発達障がいや、いじめ・不登校等の諸問題に関するセミナーを開催しました。	
実施回数	7回
参加人数	366人
4 いじめ不登校問題対策費【学校教育課】	34,956,920円
(1) いじめ・不登校対策事業	
いじめ・不登校の未然防止のために、相談連絡先カードの更新と児童生徒への配布、hyper-QU検査(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)等を実施しました。	
(2) パルクはあとラウンジ(教育支援センター)事業	
登校できない児童生徒の社会的自立のために、集団生活や体験活動を通して「対人関係の改善」「自立性・自発性の育成」「基礎学力の補充」を目的にパークはあとラウンジの運営を行いました。	
教育支援専門員	10人
ふれあい指導員	9人
パークはあとラウンジ登録児童生徒	148人
5 フリースクール等利用支援補助金(定額)【学校教育課】	
	428,250円
経済的に困難を抱える不登校児童生徒が学校外で安心して過ごせる居場所を確保し、地域等のつながりの中で社会的自立を図ることを目的とし、フリースクール等を利用する際の補助を行いました。	
補助金交付件数	6件

◆特記事項

青少年相談センター長寿命化改修事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【学校教育課】

10- 8- 5目 男女共同参画費			
		(前年度)	
当初予算額	16,393,000円	(	16,561,000円)
予算現額	15,149,000円	(	14,715,000円)
決算額	12,895,708円	(	13,983,094円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	2,253,292円	(	731,906円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 男女共同参画センター費【多様性社会共創課】	3,366,626円		
(1) 管理運営費	2,174,376円		
利用者数	35,716人		
(2) 相談費	1,192,250円		
電話相談件数	クローバーコール(女性) 1,151件		
	メンズコールとよた(男性) 68件		
2 男女共同参画推進費【多様性社会共創課】	8,829,082円		
(1) 推進会議費	246,200円		
男女共同参画推進懇話会	委員10人 4回開催		
(2) 講座開講費	417,859円		
	13講座 参加者数 460人		
(3) 啓発費	679,260円		
	男女共同参画社会実現に向け、情報誌の発行など啓発を行いました。		
	情報誌クローバー(1回発行) 15,400部		
	配布先 自治区、市内事業所		
(4) 計画策定費	4,004,000円		
	男女共同参画社会の実現を目指し、クローバープランVを策定しました。		
(5) 子ども・若者啓発費	511,560円		
	若者の固定的性別役割意識の解消を目的に、小学生を対象として、性別イメージにとらわれない職業選択を促進する「オシゴト体験ラボ」を実施しました。		
	参加者数 50人		
(6) 女性団体育成推進費	134,500円		
	団体が行う市民への啓発講座や研修会等にかかる講師料を助成しました。		
(7) 女性のライフプラン・キャリア形成支援費	2,222,700円		

女性のためのスキル&マインドアップセミナーを開催しました。

23 講座 参加者数 272人

(8) 働き方改革推進費 114,235円

ワーク・ライフ・バランスキャンペーンとして、事業所への定
時退社協力依頼を実施しました。

キャンペーン実施期間 11月13日～20日

(9) 性的少数者理解促進費 498,768円

性的少数者に対する理解促進のため、生涯学習出前講座や演劇
の上演、リーフレットの作成、スポーツイベントでの啓発等を実
施しました。

3 女性労働能力活用費補助金(1/2)【多様性社会共創課】

700,000円

豊田市ファミリー・サービス・クラブの運営に対し、補助金を交
付しました。

10- 8- 6目 社会体育費

(前年度)

当初予算額 788,130,000円 (832,390,000円)

予算現額 1,021,750,552円 (846,088,385円)

決算額 983,743,951円 (825,073,875円)

翌年度繰越額 2,079,000円 (0円)

不用額 35,927,601円 (21,014,510円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 2,079,000円

公共下水道接続設計事業(梅坪浄水運動広場外1施設) 2,079,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(スポーツ推進審議会委員9人、スポーツ推進委員155人)

【スポーツ振興課】 6,990,400円

2 社会体育事務費【スポーツ振興課】 510,951円

3 スポーツ推進委員活動費【スポーツ振興課】 1,818,279円

4 アジア競技大会開催支援費【観光誘客推進課】 331,560円

5 スポーツ振興費【スポーツ振興課】 10,309,487円

(1) 生涯スポーツ推進費 9,605,487円

第43回豊田マラソン 参加者 6,213人

(2) スポーツボランティア推進費 704,000円

ボランティア事務局の運営 登録者 2,989人

6 学校開放費【スポーツ振興課】 40,611,414円

	＜学校数＞	＜開放校＞	＜利用回数＞	＜利用人数＞
小学校	75	74	20,034	515,030人
中学校	28	28	19,103	343,358人
計	103	102	39,137	858,388人
7 地域学校開放費				1,178,339円
【藤岡支所・足助支所・下山支所・旭支所・稲武支所】				
(1) 藤岡地域学校開放費				99,550円
(2) 足助地域学校開放費				593,230円
(3) 下山地域学校開放費				232,559円
(4) 旭地域学校開放費				121,000円
(5) 稲武地域学校開放費				132,000円
8 競技会誘致費【観光誘客推進課】				3,300,000円
	＜大会・試合＞		＜観客数＞	
	女子ソフトボールリーグ(JDリーグ)		8,572人	
	女子バスケットボールリーグ(Wリーグ)		4,993人	
	女子バスケットボールリーグファイナル		7,308人	
	男子バスケットボールリーグ(Bリーグ)		26,812人	
	日本バレーボールリーグ(SVリーグ)		9,299人	
	ソフトテニスリーグ(STリーグ)		2,500人	
	U25車いすバスケットボール大会		2,668人	
	日本ハンドボールリーグ(リーグH)		2,948人	
	日本ボッチャ選手権		1,776人	
	ジャパンラグビーリーグワン		16,366人	
	ラグビー国際試合		14,613人	
9 ホームチーム応援費【観光誘客推進課・スポーツ振興課】				9,887,700円
ホームチームを応援する機運醸成のため、選手の等身大パネル、バスラッピング及びマンホールを作成しました。また、都市対抗野球大会応援事業として、壮行会や市民応援を企画・実施しました。				
10 夢の教室開催費【スポーツ振興課】				12,614,320円
こどもたちに、夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学5年生と中学2年生を対象に夢を実現したアスリート等を夢先生として派遣する「夢の教室」を開催しました。				
＜実施校＞ 小学校65校133クラス、中学校8校24クラス				
11 スポーツ教室開催費【スポーツ振興課】				4,796,881円
企業や大学と連携したスポーツ教室を開催しました。				
12 地域スポーツクラブ育成支援費【スポーツ振興課】				

	15,428,919円
(1) 育成支援事務費	1,154,259円
(2) 連携事業負担金	3,396,246円
(3) 活動費補助金(9/10・4/5・2/3・1/2)	
補助金交付クラブ数 6クラブ	6,320,000円
(4) 集いの場創出事業費	3,000,000円
(5) クラブハウス管理運営費	1,558,414円
13 Jリーグホームタウン推進費【観光誘客推進課・スポーツ振興課】	
	5,601,919円
名古屋グランパス2024シーズン開幕応援事業や名古屋グランパス指導者派遣事業を実施しました。	
14 子どもの体力向上推進費【スポーツ振興課】	56,600円
保育士等にコーディネーショントレーニング研修を実施しました。	
15 スポーツツーリズム推進費【観光誘客推進課】	
	7,464,739円
全国のJリーグチームのアカデミー世代による交流大会「WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2024」を実施しました。	
ラグビーの国際試合を誘致するとともに、開催に合わせてまちなかの装飾、シャトルバスの運行及び経済波及効果計測調査を実施しました。	
16 トップアスリート・スポーツチーム応援費【スポーツ振興課】	
	17,600,662円
オリンピック・パラリンピックを契機としたわがまちアスリートの応援事業や「とよたスポーツフェスティバル」を開催しました。	
17 スポーツ協会負担金【スポーツ振興課】	7,399,000円
市民総合体育大会 41種目	参加者数 27,417人
スポーツ少年団 19種目	団員数 6,095人
18 世界ラリー選手権開催推進費 【ラリーまちづくり推進課】	
	837,842,781円
ラリージャパン2024の開催機運を高めるため、豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会による盛り上げや各種事業の実施のほか、ラリーに関するイベントを開催しました。	
また、ラリージャパン2024の開催に向け、実行委員会に対して負担金及び出資金を支払いしたほか、ラリージャパン2025の開催準備に向け、同委員会に対して出資金を支払いました。	
・豊田しもやまラリーの開催支援	5月19日
来場者数	650人
・シロキヤラリー in 稲武の開催支援	10月13日

10款 教育費

来場者数	750人	
・ラリージャパン2024の開催	11月21～24日	
来場者数	543,800人	
大会パートナー	29社	
経済波及効果	約156億円	
メディア露出価値	約126億円	
大会満足度（イベント全体）	88.2%	
FIA環境認証プログラム三ツ星認定（最高ランク）		
・TGRラリーチャレンジin豊田の開催	12月1日	
来場者数	15,000人	
・ラリー教室の開催	2回	
・グッドドライバー・レッスンの開催	1回	
◆特記事項		
梅坪・浄水スポーツクラブハウス公共下水道接続設計事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】		
10- 8- 7目 文化施設費		
		（前年度）
当初予算額	1,534,167,000円	（849,201,000円）
予算現額	892,493,740円	（937,549,365円）
決算額	810,776,624円	（836,848,666円）
翌年度繰越額	65,115,749円	（88,173,400円）
不用額	16,601,367円	（12,527,299円）
●翌年度繰越額		
☆継続費☆		40,446,749円
豊田参加館長寿命化等改修負担事業（コンサートホール・能楽堂・共用部）		40,446,749円
☆繰越明許費☆		24,669,000円
長寿命化改修設計事業（猿投棒の手ふれあい広場）		24,669,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 文化施設管理費【文化振興課】		786,720円
2 市民文化会館費【文化振興課・建築保全・住宅課】		201,288,096円
（1）管理運営費		185,729,886円
指定管理者（公財）豊田市文化振興財団		
施設利用者数	301,033人	
（2）施設保全費		10,120,000円

市民文化会館空調設備修繕等を行いました。

- (3) 施設整備費 5,438,210円

小ホール旧発電機室の改修修繕等を行いました。

3 コンサートホール・能楽堂費【文化振興課】

265,848,526円

- (1) 管理運営費 230,663,029円

指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団

施設利用者数 68,725人

- (2) 施設整備費 35,185,497円

豊田参合館長寿命化等改修負担事業及び豊田参合館の共用部に
係る修繕費負担金を支出しました。

4 地域文化広場費【学び体験推進課】 194,387,432円

- (1) 管理運営費 136,429,061円

指定管理者 ホームメックスグループ共同企業体

施設利用者数 244,305人

- (2) 施設整備費 57,958,371円

地域文化広場プール更衣室ロッカーの更新やこども体験館の修
繕、プール換気設備等の改修を行いました。

5 視聴覚ライブラリー費【文化振興課】 1,092,351円

施設廃止に伴う屋外倉庫の移設修繕等を行いました。

6 猿投棒の手ふれあい広場費【文化財課】 48,817,786円

- (1) 管理運営費 46,663,126円

指定管理者 ホームメックス(株)

施設利用者数 79,042人

- (2) 施設整備費 2,154,660円

棒の手会館の展示リニューアルに関する資料調査・展示改修案
の作成を実施しました。

7 平戸橋いこいの広場費【博物館】 46,341,013円

- (1) 管理運営費 24,167,213円

指定管理者 (株)技研サービス

施設利用者数 83,355人

- (2) 施設整備費 22,173,800円

平戸橋いこいの広場の公共下水道接続等工事と既設浄化槽の汚
泥抜取清掃を行いました。

8 文化ゾーン費【文化振興課】 52,214,700円

文化ゾーン内における路面舗装工事等を行いました。

◆特記事項

猿投棒の手ふれあい広場長寿命化改修設計事業について、事業の平準化

10款 教育費

を図るため、9月議会で20,640千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【文化財課】

10- 8- 8目 体育施設費

(前年度)

当初予算額	2,921,997,000円	(4,065,712,000円)
予算現額	3,665,558,660円	(5,055,629,348円)
決算額	3,110,728,893円	(4,116,568,053円)
翌年度繰越額	516,511,000円	(723,289,660円)
不用額	38,318,767円	(215,771,635円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	491,094,000円
豊田スタジアム長寿命化改修事業(その3)	491,094,000円
☆繰越明許費☆	25,417,000円
公共下水道接続設計事業(梅坪浄水運動広場外1施設)	2,079,000円
長寿命化改修等設計事業(高岡公園体育館外1施設)	23,338,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 体育施設事務費【スポーツ振興課】 30,035,662円
- 2 豊田市運動公園費【スポーツ振興課】 132,343,244円
 - (1) 管理運営費 126,729,944円
指定管理者(公財)豊田市スポーツ協会
施設利用者数 297,184人
 - (2) 施設整備費 5,613,300円
多目的広場Cコート不陸修繕等を行いました。
- 3 五ヶ丘運動広場費【スポーツ振興課】 21,872,066円
管理運営費
指定管理者(公財)豊田市スポーツ協会
施設利用者数 38,812人
- 4 運動広場費【スポーツ振興課】 60,184,030円
 - (1) 管理運営費 20,311,601円
石野運動広場ほか4施設
指定管理者(公財)豊田市文化振興財団
施設利用者数 81,889人
 - (2) 施設整備費 39,872,429円
河合池運動広場管理棟拡張工事等を行いました。
- 5 保見マレットゴルフ場費【スポーツ振興課】 2,370,583円

(1)	管理運営費	1,551,083円
	施設利用者数	13,722人
(2)	施設整備費	819,500円
	植栽伐採等を行いました。	
6	勘八漕艇庫費【スポーツ振興課】	1,954,432円
	管理運営費	
7	東山体育センター費【スポーツ振興課】	33,626,967円
(1)	管理運営費	31,739,367円
	指定管理者 (特非) 美里スポーツクラブ	
	施設利用者数	120,201人
(2)	施設整備費	1,887,600円
	東山運動広場不陸修繕等を行いました。	
8	毘森公園費【スポーツ振興課】	30,605,750円
(1)	管理運営費	21,396,000円
	指定管理者 (公財) 豊田市スポーツ協会	
	施設利用者数	39,577人
(2)	施設整備費	9,209,750円
	弓道場防矢ネット修繕等を行いました。	
9	高岡公園費【スポーツ振興課】	48,504,653円
(1)	管理運営費	45,730,453円
	指定管理者 ホームックス(株)	
	施設利用者数	176,628人
(2)	施設整備費	2,587,200円
	屋外トイレ排水管修繕等を行いました。	
(3)	長寿命化推進費	187,000円
	高岡公園体育館屋根劣化状況調査委託を行いました。	
10	柳川瀬公園費【スポーツ振興課】	226,683,670円
(1)	管理運営費	59,483,670円
	指定管理者 (特非) かみごうスポーツクラブ	
	施設利用者数	210,321人
(2)	施設整備費	167,200,000円
	サッカー場人工芝張替修繕等を行いました。	
11	井上公園費【スポーツ振興課】	121,797,671円
(1)	管理運営費	118,989,021円
	指定管理者 (特非) いさとスポーツクラブ	水泳場除く
	施設利用者数	36,625人
	指定管理者 井上公園水泳場運営企業体	水泳場部分
	施設利用者数	131,209人

- (2) 施設整備費 2,808,650円
脱水機等を購入しました。
- 12 中央公園費【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】
1,255,079,994円
- (1) 管理運営費 787,090,856円
指定管理者 (株)豊田スタジアム
施設利用者数 1,772,475人
- (2) 施設保全費 111,477,718円
サイドB上段スタンド防水修繕等を行いました。
- (3) 長寿命化推進費 326,600,000円
豊田スタジアム長寿命化改修工事(第二期)に着手しました。
- (4) 施設整備費 29,911,420円
トイレ洋式化改修工事設計委託等を行いました。
- 13 総合体育館費【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】
700,005,668円
- (1) 管理運営費 175,276,207円
指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会
施設利用者数 452,109人
- (2) 施設保全費 44,941,468円
メインホール吊物機構設備制御機器修繕等を行いました。
- (3) 長寿命化推進費 461,494,660円
長寿命化改修機械設備工事等を行いました。
- (4) 施設整備費 18,293,333円
普通乗用自動車等を購入しました。
- 14 西部体育館・逢妻運動広場費
【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】 33,300,175円
- (1) 管理運営費 23,423,275円
指定管理者 ハマダスポーツ企画(株)
施設利用者数 106,729人
- (2) 施設保全費 1,402,500円
避難口誘導灯等取替修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 8,474,400円
バスケットゴール等を購入しました。
- 15 梅坪浄水運動広場費【スポーツ振興課】 19,962,000円
管理運営費
指定管理者 (一社)梅坪・浄水スポーツクラブ
施設利用者数 26,621人
- 16 松平体育館費【スポーツ振興課】 52,995,280円

- (1) 管理運営費 51,021,000円
 指定管理者 (一社)松平スポーツクラブ
 施設利用者数 140,063人
- (2) 施設整備費 1,974,280円
 屋根付き運動広場横幕ネット修繕等を行いました。
- 17 藤岡地域体育施設費【藤岡支所】 14,680,169円
 管理運営費
 ア 藤岡体育センターほか3施設
 指定管理者 (株)都市環境サービス
 施設利用者数 42,392人
 イ 藤岡山村広場
 指定管理者 藤岡石畳地区地域づくり協議会
 施設利用者数 1,674人
- 18 小原地域体育施設費【小原支所】 23,857,491円
 管理運営費
 緑の公園、小原トレーニングセンター
 指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター
 施設利用者数 37,318人
- 19 足助地域体育施設費【足助支所・建築保全・住宅課】 30,704,743円
 (1) 管理運営費 28,526,743円
 ア 足助グラウンドほか3施設
 指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団
 施設利用者数 29,705人
 イ 足助プール
 指定管理者 (株)メイギガードサービス
 施設利用者数 4,185人
 ウ ふれあいセンター萩野
 施設利用者数 7,695人
 (2) 施設保全費 2,178,000円
 ふれあいセンター萩野舞台機構修繕を行いました。
- 20 下山地域体育施設費【下山支所】 18,704,422円
 管理運営費
 ア 下山トレーニングセンターほか1施設
 指定管理者 しもやまスポーツクラブ
 施設利用者数 16,031人
 イ 下山西部プール
 指定管理者 (株)日本クリーナー

- 施設利用者数 1, 291人
- 21 旭地域体育施設費【旭支所】 16, 223, 627円
- 管理運営費
- 旭総合体育館ほか3施設
- 指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター
- 施設利用者数 18, 453人
- 22 稲武地域体育施設費【稲武支所】 5, 450, 545円
- 管理運営費
- 稲武夏焼グラウンド
- 指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター
- 施設利用者数 1, 350人
- 23 河川敷スポーツ施設費【スポーツ振興課】 5, 450, 170円
- (1) 管理運営費 4, 089, 800円
- 川田公園、白浜公園、平井公園始め10施設
- 施設利用者数 288, 356人
- (2) 施設整備費 1, 360, 370円
- 川田公園除草作業等を行いました。
- 24 体育施設予約システム管理開発費【スポーツ振興課】
- 19, 899, 044円
- T O S Sシステム管理運営費
- 次期公共施設予約システム検討業務委託を実施しました。
- 25 スポーツ協会運営費補助金(10/10)【スポーツ振興課】
- 204, 436, 837円

◆特記事項

- ・梅坪浄水運動広場公共下水道接続設計事業において、6月補正予算での予算措置となったことで年度内完了が困難となったため、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】
- ・高岡公園体育館ほか1施設長寿命化改修工事設計事業において、工事の平準化等のため、9月議会で23, 525千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】

10- 8- 9目 美術館費

(前年度)

当初予算額	887,667,000円	(1,041,082,000円)
予算現額	1,018,880,994円	(1,186,555,000円)
決算額	999,376,986円	(983,650,656円)
翌年度繰越額	0円	(191,722,000円)
不用額	19,504,008円	(11,182,344円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(美術館運営協議会委員6人)【美術館】 103,400円
- 2 美術館事務費【美術館】 7,421,298円
- 3 美術館施設管理費【美術館】 301,525,712円
 - 美術館総利用者数 318,195人
 - 展覧会観覧者数 224,836人
 - 開館日 265日
 - ギャラリー利用 8展覧会
 - ギャラリー入場者数 12,573人
 - レストラン利用者数 18,093人
 - 講堂利用者数 6,417人
 - ワークショップルーム利用者数 138人
 - 庭園利用者数 8,264人
- 4 附属施設管理運営費【美術館】 10,311,312円
 - (1) 童子苑 利用者数 14,711人
 - (2) 藤沢倉庫
- 5 美術館施設保全費【建築保全・住宅課】 61,625,606円
 - 空調設備部品修繕等を行いました。
- 6 美術館運営費【美術館】 3,961,831円
 - ミュージアムショップ
 - 利用者数 26,200人
- 7 展覧会開催費【美術館】 152,681,885円
 - (1) 常設展
 - 年3回の展示替えを実施しました。
 - 観覧者数 99,164人
 - (2) 企画展調査費
 - 次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。
 - (3) 「未完の始まり—未来のヴァンダーカンマー」展
 - 会期 令和6年4月2日～5月6日(32日間)
 - 観覧者数 7,784人

- (4) 「エッシャー ふしぎのヒミツ」展
会期 令和6年7月13日～9月23日(66日間)
観覧者数 68,120人
- (5) 「しないでおく、こと。芸術と生のアナキズム」展
会期 令和6年10月12日～令和7年2月16日(94日間)
観覧者数 20,667人
- (6) 「玉山拓郎:FLOOR」展
会期 令和7年1月18日～3月30日(63日間)
観覧者数 13,468人
- (7) 「生誕120年 人間国宝 黒田辰秋」展
会期 令和7年3月15日～3月30日(14日間)
観覧者数 3,259人
- (8) 「モネ 睡蓮のとき」展
「モネ 睡蓮のとき」展の調査、準備を行いました。
- (9) 「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」展
「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」展
の調査、準備を行いました。
- (10) 「没後50年 高島野十郎」展
「没後50年 高島野十郎」展の調査、準備を行いました。
- 8 教育普及活動費【美術館】 14,539,657円
展覧会記録ビデオや、紀要の作成、広報、アウトリーチ活動、託
児サービス等を行いました。
- 9 美術図書室活動費【美術館】 2,098,544円
展覧会調査研究用資料等の購入を行いました。
ライブラリーの利用者数 6,963人
- 10 作品管理費【美術館】 30,247,263円
屋外彫刻作品基礎及び外観保守、作品修復、収蔵庫・展示室の環
境整備等を行い、所蔵作品の適切な保存管理に努めました。
- 11 作品収集費【美術館】 894,578円
美術品収集委員会を開催し、収集候補作品(寄贈)の審査を行
いました。
- 12 高橋節郎館活動費【美術館】 24,965,723円
「高橋節郎館リニューアルオープン記念 高橋節郎展」
会期 令和7年1月18日～3月30日(63日間)
観覧者数 12,374人
漆講座、写生大会、庭園活用事業(マルシェ)、3館共通年間パ
ースポートの作成等を行いました。
- 13 高橋節郎館改修費【美術館】 388,432,000円

10款 教育費

エントランスホールの増築、ワークショップルームの改修等を行いました。

14 高橋節郎館活動基金積立金【美術館】 568,177円

高橋節郎館活動基金の利子を同基金に積み立てました。

11款 災害復旧費

11款 災害復旧費		
(前年度)		
当初予算額	350,160,000円	(235,660,000円)
予算現額	564,190,500円	(1,245,657,400円)
決算額	508,606,450円	(1,020,608,983円)
翌年度繰越額	0円	(53,212,000円)
不用額	55,584,050円	(171,836,417円)
11- 1- 1目 農林施設災害復旧費		
(前年度)		
当初予算額	202,660,000円	(118,160,000円)
予算現額	202,660,000円	(562,460,000円)
決算額	172,722,050円	(404,791,773円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	29,937,950円	(157,668,227円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 農林施設現年災害復旧事業費【農地整備課】		
110,443,200円		
令和6年度の台風及び大雨により被災した農地及び農業施設の災害復旧を実施しました。		
施設災害	83件	
農地災害	32件	
2 農林施設過年災害復旧事業費【農地整備課】47,218,200円		
令和5年度の台風及び大雨により被災した農地及び農業施設の災害復旧を実施しました。		
施設災害	20件	
農地災害	11件	
3 林業施設現年災害復旧事業費【森林課】15,060,650円		
令和6年度の台風及び大雨により被災した林道施設の災害復旧を実施しました。		
林道災害	19件	

11- 1- 2目 土木施設災害復旧費			
		(前年度)	
当初予算額	129,500,000円	(	99,500,000円)
予算現額	334,166,500円	(	627,000,000円)
決算額	322,868,400円	(	573,640,710円)
翌年度繰越額	0円	(	43,848,000円)
不用額	11,298,100円	(	9,511,290円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 土木施設現年災害復旧事業費	293,272,900円		
	【道路維持課・地域建設課・河川課】		
(1) 道路施設	43,210,200円		
	令和6年8月等の大雨により被災した市道広久手下細谷線始め38か所の道路災害復旧を行いました。		
(2) 地域道路施設	21,200,300円		
	令和6年5月等の大雨により被災した市道足助百田奥山十明線始め53か所の道路災害復旧を行いました。		
(3) 河川施設	187,368,500円		
	令和6年8月等の大雨により被災した準用河川逢妻男川始め34か所の河川災害復旧を行いました。		
(4) 地域河川施設	41,493,900円		
	令和6年5月等の大雨により被災した準用河川伊熊川始め10か所の河川災害復旧を行いました。		
2 土木施設過年災害復旧事業費【地域建設課】	29,595,500円		
	地域河川施設		
	令和5年6月の大雨により被災した普通河川鏡川始め6か所の河川災害復旧を行いました。		

11- 1- 3目 都市施設災害復旧費			
		(前年度)	
当初予算額	2,000,000円	(	2,000,000円)
予算現額	2,330,000円	(	2,000,000円)
決算額	2,321,000円	(	1,697,300円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	9,000円	(	302,700円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 公園施設現年災害復旧事業費【公園緑地課】	2,321,000円		

11款 災害復旧費

令和6年8月の大雨により被災した勘八公園及び枝下緑道の災害復旧を実施しました。			
公園施設災害		2か所	
11- 1- 4目 公営住宅災害復旧費			
(前年度)			
当初予算額	1,000,000円	(	1,000,000円)
予算現額	670,000円	(	1,000,000円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	670,000円	(	1,000,000円)
11- 1- 5目 文教施設災害復旧費			
(前年度)			
当初予算額	12,000,000円	(	12,000,000円)
予算現額	12,000,000円	(	22,802,100円)
決算額	0円	(	20,780,100円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	12,000,000円	(	2,022,000円)
11- 1- 6目 その他施設災害復旧費			
(前年度)			
当初予算額	3,000,000円	(	3,000,000円)
予算現額	12,364,000円	(	30,395,300円)
決算額	10,695,000円	(	19,699,100円)
翌年度繰越額	0円	(	9,364,000円)
不用額	1,669,000円	(	1,332,200円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 地域振興施設現年災害復旧事業費			
【小原支所】10,354,000円			
令和5年6月の大雨により被災した川見四季桜の里復旧修繕に係る設計を実施しました。また、令和6年8月の大雨により土砂が流入した小原支所駐車場側溝の浚渫を実施しました。			
2 観光施設現年災害復旧事業費【観光誘客推進課】 341,000円			
松平城址の森の法面修繕を実施しました。			

12款 公債費

12款 公債費		
(前年度)		
当初予算額	7,084,873,000円	(7,659,907,000円)
予算現額	7,077,189,000円	(7,658,934,000円)
決算額	7,007,271,442円	(7,653,340,298円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	69,917,558円	(5,593,702円)
12- 1- 1目 元金		
(前年度)		
当初予算額	6,891,907,000円	(7,541,475,000円)
予算現額	6,891,907,000円	(7,542,814,633円)
決算額	6,891,906,216円	(7,542,814,633円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	784円	(0円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 元金【財政課】	6, 8 9 1, 9 0 6, 2 1 6 円	
建設事業等に充当した市債の元金を償還しました。		
* 資料編「地方債現在高の状況」参照		
12- 1- 2目 利子		
(前年度)		
当初予算額	192,966,000円	(118,432,000円)
予算現額	185,282,000円	(116,119,367円)
決算額	115,365,226円	(110,525,665円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	69,916,774円	(5,593,702円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 利子【財政課】	1 1 5, 3 6 5, 2 2 6 円	
建設事業等に充当した市債の利子を償還しました。		
* 資料編「地方債現在高の状況」参照		

13款 諸支出金

13款 諸支出金		
(前年度)		
当初予算額	1,000円 (	30,000,000円)
予算現額	0円 (	0円)
決算額	0円 (	0円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	0円 (	0円)
13- 1- 1目 土地取得費		
(前年度)		
当初予算額	1,000円 (	30,000,000円)
予算現額	0円 (	0円)
決算額	0円 (	0円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	0円 (	0円)

14款 予備費

14款 予備費			
(前年度)			
当初予算額	500,000,000円	(	500,000,000円)
予算現額	51,954,182円	(	121,155,295円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	51,954,182円	(	121,155,295円)

14- 1- 1目 予備費			
(前年度)			
当初予算額	500,000,000円	(	500,000,000円)
予算現額	51,954,182円	(	121,155,295円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	51,954,182円	(	121,155,295円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 予備費【財政課】448,045,818円

個人情報流出事件対策事業（2款1項1目）、衆議院議員選挙（2款5項3目）、令和6年8月の大雨に関する災害復旧事業（11款1項2目）などの経費として充用しました。

第 1 4 表 主要工事实績表

※ (1) 支出額 30,000千円以上を掲載
(2) 請負金額の() 書は契約総額、外書は本年度執行額

財 産 管 理 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
市役所元城庁舎ほか1施設 解体工事	元城町	6. 6. 28 7. 2. 28	129,686	須藤建設工業	市役所元城庁舎解体工事 一式 (合併施行)

未 来 都 市 推 進 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
市役所元城庁舎ほか1施設 解体工事	元城町	6. 6. 28 7. 2. 28	100,214	須藤建設工業	とよたエコフルタウン解体工事 一式 (合併施行)

交 流 館 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
井上小学ほか3施設 受変電設備修繕工事	井上町ほか	6. 1. 26 7. 1. 31	10,855 (10,855)	宮田電工	益富交流館 受変電設備更新工事 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)
末野原交流館 長寿命化改修工事	豊栄町	6. 1. 26 6. 8. 30	64,977 (64,977)	マルコオ・ ポーロ化工	外壁改修工事 一式 屋上防水改修工事 一式 外構改修工事 一式 (R5年度 繰越明許費)
末野原交流館 長寿命化改修空調工事	豊栄町	6. 5. 17 7. 1. 31	61,820 (61,820)	中根管工	空調設備更新工事 一式 (R5年度 繰越明許費)

福 祉 セ ン タ ー 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
藤岡福祉センターふじのさと 長寿命化改修設備工事	藤岡飯野町	6. 1. 26 7. 1. 31	36,740 (36,740)	豊田電気	長寿命化改修設備工事 エレベータ更新 1基 受変電設備更新 1基 (R5年度 繰越明許費)

児 童 福 祉 総 務 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
逢妻ふれあい子ども館 ほか11施設解体ほか工事	新町ほか	6. 8. 9 7. 6. 30	39,361 (104,327)	須藤建設工業	逢妻ふれあい子ども館解体工事 駐車場整備 (R6年度 繰越明許費) (合併施行)

保 育 園 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
大草こども園増築ほか工事	小原町	7. 2. 21 7. 10. 17	54,912 (137,280)	小原 ハウジング	乳児室の増築、3歳児保育室の改修、 4・5歳児保育室及び支援センターの改修 屋根外壁長寿命化改修 浄化槽更新 (R6年度 繰越明許費)
東山こども園ほか1園 トイレ改修工事	渋谷町ほか	6. 2. 9 6. 8. 26	42,416 (42,416)	親宏建設	東山こども園、渡刈こども園 便器洋式化 衛生環境の整備（床乾式化、手洗いの温水化等） (R5年度 繰越明許費)

清 掃 工 場 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
渡刈クリーンセンター 基幹的設備改良工事	渡刈町	4. 9. 30 9. 2. 26	1,109,253 (6,914,160)	カナデビア	機械設備工事 一式 土木建築工事 一式 (R4～8年度 継続費)

林 業 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
野入立野線林道開設工事	夏焼町ほか	6. 6. 14 7. 2. 14	40,964	青木建設	工事延長 L=164m 土工 一式 法面工 A=895.2㎡ 排水施設工 一式

工 業 振 興 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
榊野実証用地排水施設ほか 整備工事	榊野町	6. 6. 7 6. 10. 18	51,725	榊建設	土工 一式 排水構造物工 L=195m 柵工 L=584m

道 路 橋 り よ う 維 持 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道大洞線ほか道路修繕工事	朝日町ほか	6. 3. 29 6. 11. 8	60,796 (60,796)	浜田建設	工事延長 L=846m 排水構造物工 L=524m 舗装工 A=3,098㎡ (R6年度 債務負担行為)
市道小原宮前線ほか 道路修繕工事	永太郎町 ほか	6. 9. 13 7. 3. 21	73,495	海老澤建設	工事延長 L=766m 排水構造物工 L=766m 舗装工 A=1,841㎡
市道渋谷上野山線ほか 道路修繕工事	広川町ほか	6. 9. 13 7. 3. 21	31,632	シラカワ ドケン	工事延長 L=382m 排水構造物工 L=311m 舗装工 A=904㎡

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道高崎白山線ほか 舗装修繕工事	高崎町ほか	6. 3. 29 6. 9. 13	147, 994 (147, 994)	ヤハギ道路	工事延長 L = 652m 舗装工 A = 6, 140㎡ (R6年度 債務負担行為)
市道藤岡深見田茂平線 舗装修繕工事	深見町	6. 3. 29 6. 9. 11	133, 374 (133, 374)	太啓建設	工事延長 L = 1, 405m 舗装工 A = 10, 320㎡ (R6年度 債務負担行為) (R5年度 繰越明許費)
市道梅坪駅前1号線ほか 舗装修繕工事	梅坪町ほか	6. 9. 20 7. 2. 28	122, 293	太啓建設	工事延長 L = 1, 194m 舗装工 A = 9, 923㎡
市道白浜線ほか舗装修繕工事	川端町ほか	6. 9. 20 7. 2. 28	92, 606	太啓建設	工事延長 L = 915m 舗装工 A = 6, 933㎡
市道古瀬間墓地公園線ほか 舗装修繕工事	古瀬間町 ほか	6. 9. 20 7. 2. 28	94, 830	ヤハギ道路	工事延長 L = 1, 412m 舗装工 A = 10, 526㎡
市道堤駒場線ほか 舗装修繕工事	前林町ほか	6. 9. 20 7. 2. 28	135, 131	ヤハギ道路	工事延長 L = 717m 舗装工 A = 5, 598㎡
市道足助佐切国閑平折線ほか 舗装修繕工事	下佐切町 ほか	6. 3. 8 6. 7. 19	34, 168 (34, 168)	ヤハギ道路	工事延長 L = 513m 舗装工 A = 2, 701㎡ 排水構造物工 L = 87m (R6年度 債務負担行為)
市道旭中央線舗装修繕工事	加塩町	6. 6. 14 6. 10. 18	42, 315	ヤハギ道路	工事延長 L = 516m 舗装工 A = 3, 810㎡
市道下山大官屋敷松本線ほか 舗装修繕工事	大沼町ほか	6. 6. 14 6. 11. 29	49, 163	ヤハギ道路	工事延長 L = 784m 舗装工 A = 3, 703㎡
市道稻武富永線ほか 舗装修繕工事	小田木町 ほか	6. 6. 14 6. 11. 1	34, 092	青木建設	工事延長 L = 546m 舗装工 A = 3, 266㎡
市道稻小渡明賀線 道路防災対策工事	明賀町	6. 9. 27 7. 2. 28	42, 562	松寿建設	施工箇所 N = 2か所 斜面浸食防止工 A = 360㎡ 吹付砕工 A = 321㎡
小原橋ほか 橋りょう補修工事	近岡町ほか	5. 10. 13 6. 4. 12	51, 696 (77, 546)	大岡建設	橋りょう補修 N = 2橋 断面修復工 一式 舗装打換え工 A = 988㎡ 伸縮装置補修工 L = 39. 2m (R5年度 繰越明許費)
秋平橋 橋りょう補修工事	秋葉町	6. 9. 13 7. 2. 28	61, 415	浜田建設	橋りょう補修 N = 1橋 伸縮装置補修工 L = 38. 2m ひび割れ補修工 L = 30. 7m 排水管補修工 一式

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
豊田大橋ほか 橋りょう補修工事	白浜町ほか	6. 9. 20 7. 2. 28	82, 114	安山建設	橋りょう補修 N=2橋 伸縮装置止水工 L=23. 6m 伸縮装置補修工 L=57. 2m ひび割れ補修工 L=28. 4m
新関羅瀬橋 橋りょう補修工事	関羅瀬町 ほか	6. 11. 29 7. 7. 18	37, 664 (108, 459)	舟橋塗装店	橋りょう補修 N=1橋 橋梁塗装工 A=1, 340㎡ 伸縮装置止水工 L=13. 1m 水切り工設置 L=162m (R6年度 繰越明許費)
赤沢橋ほか 橋りょう補修工事	時瀬町ほか	6. 11. 29 7. 6. 30	30, 791 (81, 039)	建装工業	橋りょう補修 N=4橋 橋梁塗装工 A=456㎡ 伸縮装置補修工 L=37. 6m 断面修復工 一式 (R6年度 繰越明許費)
市道押沢松嶺線ほか 道路防災対策工事	松嶺町ほか	6. 8. 9 7. 2. 28	55, 306	豊緑化技研	施工箇所 N=4か所 斜面浸食防止工 A=517㎡ 法面吹付工 A=545㎡ 落石防止網工 N=5か所
さかうえ跨道橋 重要法定外道路橋 耐震補強工事	扶桑町	7. 1. 24 7. 11. 21	33, 572 (83, 930)	テクナス	橋りょう耐震補強 N=1橋 床版増厚補強工 A=194㎡ 工場製作工 W=5. 8 t 支承補強工 N=14基 (R7年度 債務負担行為) (R6年度 繰越明許費)

道 路 新 設 改 良 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道林添九久平1号線 道路改良工事（その3）	九久平町	6. 5. 17 7. 2. 28	136, 609	沖土木建設	工事延長 L=390m 道路土工 V=4, 140㎡ 擁壁工 一式 排水構造物工 L=451m
市道林添九久平1号線 道路改良工事（その4）	九久平町	6. 9. 13 7. 7. 31	50, 718 (133, 443)	東工建設	工事延長 L=380m 道路土工 V=4, 340㎡ 擁壁工 一式 排水構造物工 L=515m (R6年度 繰越明許費)
市道林添九久平1号線 道路改良工事（その5）	九久平町	7. 2. 7 7. 8. 29	31, 627 (79, 068)	原田工務店	工事延長 L=510m 道路土工 V=1, 440㎡ 排水構造物工 L=319m 舗装工 A=4, 770㎡ (R6年度 繰越明許費)
市道宮裏線 道路改良工事（その1）	駒場町	6. 8. 21 7. 2. 21	40, 611	シラカワ ドケン	工事延長 L=188m 排水構造物工 L=373m 舗装工 A=1, 601㎡ 防護柵工 一式

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道堤駒場線ほか１路線 道路改良工事（その３）	生駒町ほか	5. 7. 21 6. 4. 19	83,618 (128,040)	小野組	工事延長 L=1,037m 地盤改良工 A=2,670㎡ 舗装工 A=2,924㎡ 路面切削工 A=5,926㎡ (R4～6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか１路線 道路改良工事（その４）	生駒町ほか	5. 11. 17 6. 9. 30	58,840 (97,362)	松尾組	工事延長 L=664m 道路土工 V=1,156㎡ 排水構造物工 L=717m 舗装工 A=2,214㎡ (R4～6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか１路線 道路改良工事（その５）	生駒町ほか	6. 2. 2 6. 10. 31	65,137 (107,615)	沖土木建設	工事延長 L=323m 道路土工 V=2,010㎡ 排水構造物工 L=535m 舗装工 A=986㎡ (R4～6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか１路線 道路改良工事（その６）	生駒町ほか	6. 3. 8 6. 8. 30	80,748 (80,748)	三栄工業	工事延長 L=1,037m 舗装工 A=11,755㎡ 区画線工 L=5,204m 構造物撤去工 一式 (R4～6年度 継続費)
市道松平足助線 道路改良工事（その５）	豊松町	6. 6. 28 7. 2. 14	46,831	天野建設工業	工事延長 L=235m 道路土工 V=2,200㎡ 法面工 A=1,090㎡ 排水構造物工 L=469m
市道小原築平川下線 道路改良工事（その３）	築平町	6. 6. 28 7. 1. 17	51,099	中澤建設	工事延長 L=290m 道路土工 V=760㎡ 排水構造物工 L=300m 舗装工 A=1,228㎡
市道乙尾深田山２号線 ほか３路線道路改良工事	田代町ほか	6. 7. 5 7. 2. 21	59,644	松尾組	工事延長 L=622m 道路土工 一式 排水構造物工 L=502m 舗装工 A=694㎡
市道豊田西部２号線 道路新設工事（その１）	大池町	6. 3. 15 6. 12. 13	53,046 (85,390)	ヤハギ道路	工事延長 L=160m 道路土工 一式 排水構造物工 L=203m 水路工 L=49m (R5年度 繰越明許費)
市道豊田西部２号線 道路新設工事（その２）	大池町	6. 12. 20 8. 7. 31	48,996 (473,000)	ヤハギ道路	工事延長 L=280m 道路土工 一式 地盤改良工 一式 擁壁工 L=265m (R6～9年度 継続費)
市道足助摺月原線 道路改良工事	月原町	6. 5. 24 7. 1. 31	48,338	小松	工事延長 L=173m 道路土工 一式 舗装工 A=854㎡ 排水構造物工 L=367m

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道土橋竜神1号線 道路築造工事	曙町	6. 12. 20 8. 9. 30	30,050 (187,831)	太啓建設	舗装工 A=2,014㎡ P C 橋工 N=1橋 (R6~8年度 継続費)

安 全 維 持 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道美山1号線ほか3路線 押しボタン式横断者明示標識 設置工事	柿本町ほか	6. 9. 20 7. 1. 10	32,808	東陽工業	押しボタン式横断者明示標識 N=4か所ほか整備工事 一式

歩 道 等 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道御立野見線ほか1路線 歩道設置工事	御立町ほか	5. 9. 22 6. 6. 7	58,438 (89,986)	東工建設	工事延長 L=330m 排水構造物工 L=256m 舗装工 A=3,270㎡ 防護柵工 L=239m (R6年度 債務負担行為)
市道六ツ木岩倉線 歩道設置工事（その10）	松平志賀町	6. 8. 9 7. 3. 21	82,477	原田工務店	工事延長 L=54m 道路土工 V=702㎡ 法面工 A=297㎡ 排水構造物工 L=21m
市道小坂若林1号線 ほか1路線 自転車通行空間整備工事 （その2）	小坂町ほか	6. 5. 17 6. 11. 8	30,077 (30,077)	菊池建設	工事延長 L=1,280m 自転車通行帯 A=652㎡ 矢羽根 N=120個 区画線工 L=3,205m (R5年度 繰越明許費)

河 川 総 務 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
（仮）水辺ふれあいプラザ 河床整備工事	亀首町	5. 9. 22 6. 6. 28	68,580 (109,852)	今井組	工事延長 L=160m 床止工 L=31.5m 修景工 一式 仮設工 一式 (R6年度 債務負担行為) (R5年度 繰越明許費)

河 川 改 良 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
準用河川大見川 河川改良工事 ※R5年度発注分	室町ほか	5. 9. 8 6. 8. 30	48,892 (105,515)	テクナス	工事延長 L=93m 河川土工 一式 護岸工 L=93m 仮設工 一式 (R6年度 債務負担行為) (R5年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
準用河川大見川 河川改良工事 ※R6年度発注分	室町ほか	6. 8. 21 7. 3. 21	136,090 (136,090)	小野組	工事延長 L=112m 矢板工 N=190枚 仮設工 一式 橋台工 一式 (R5年度 繰越明許費)
都市計画道路高橋細谷線 長興寺第1工区道路改良工事 (その4)	秋葉町ほか	5. 3. 17 9. 10. 29	150,810 (795,894)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長 L=360m 護岸工 A=2,258㎡ 管渠工 L=65m (R2～9年度 継続費) (合併施行)
丸根池 流域貯留施設整備工事	丸根町	6. 8. 30 7. 2. 28	46,115	松山建設工業	工事延長 L=97m 提体工 L=50m 洪水吐工 一式 仮設工 一式
川端公園ほか 駐車場整備工事	落合町ほか	5. 12. 22 7. 1. 20	42,020 (67,076)	ヤハギ道路	工事面積 A=4,091㎡ 敷地造成工 V=1,060㎡ 舗装工 A=2,180㎡ 植生ブロック駐車桟 A=1,663㎡ (R5年度 繰越明許費)

排 水 路 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
鵜ヶ瀬町排水路 排水路改良工事	鵜ヶ瀬町	5. 11. 7 6. 6. 28	37,650 (61,080)	コメジ・ ソシオ	工事延長 L=126m 土工 一式 排水構造物工 L=126m 仮設工 一式 (R6年度 債務負担行為) (R5年度 繰越明許費)

特 定 道 路 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
都市計画道路高橋細谷線 舗装工事	野見町ほか	6. 5. 17 7. 2. 14	123,125	太啓建設	工事延長 L=420m 舗装工 A=7,793㎡ 縁石工 L=689m 防護柵工 L=661m
都市計画道路高橋細谷線 竜宮橋河川構造物工事	竜宮町ほか	6. 6. 28 7. 2. 28	94,336	沖土木建設	P4橋脚部 河川土工 V=820㎡ 護岸基礎工 L=87m 法覆護岸工 A=746㎡
都市計画道路高橋細谷線 竜宮橋橋りょう整備工事 (その8)	竜宮町ほか	5. 6. 30 6. 7. 31	379,931 (930,401)	前田・ 太啓建設 共同企業体	P3橋脚部 河川土工 V=14,220㎡ 法覆護岸工 A=2,444㎡ 土留・仮締切工 一式 (H29～R6年度 継続費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
都市計画道路高橋細谷線 長興寺第1工区道路改良工事 （その4）	秋葉町ほか	5. 3. 17 9. 10. 29	401,740 (2,264,340)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長 L=360m 排水構造物工 L=992m 舗装工 A=4,322㎡ 門型カルバート工 L=116m (R2～9年度 継続費) (合併施行)
都市計画道路豊田刈谷線 道路改良工事	本田町	6. 7. 5 7. 6. 30	48,092 (120,230)	須藤建設工業	工事延長 L=320m 道路土工 一式 擁壁工 L=112m 舗装工 A=2,204㎡ (R6年度 繰越明許費)
市道福谷一色線ほか1路線 道路改良工事	宮口町ほか	5. 9. 8 6. 6. 28	46,624 (69,944)	海老澤建設	工事延長 L=533m 排水構造物工 L=291m 舗装工 A=2,796㎡ 防護柵工 L=160m (R5年度 繰越明許費)

公 園 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
高岡公園拡張区域整備工事 （その2）	高丘新町 ほか	6. 9. 20 8. 2. 27	42,174 (105,435)	松尾組	A=1.5ha 敷地造成工 一式 擁壁工 N=1箇所 舗装工 A=7,050㎡ 防球ネット 一式 (R7年度 債務負担行為) (R6年度 繰越明許費)
中央公園第二期整備事業 基盤造成工事	広川町	5. 12. 22 7. 6. 30	136,462 (550,410)	ヤハギ道路	A=4.6ha 路床安定処理工 一式 (R5～7年度 継続費)
西山公園園内整備工事	西山町	6. 9. 20 7. 2. 28	37,549	シビル	土工 一式 構造物取壊し工 一式 舗装工 A=1,480㎡
公園施設長寿命化対策工事	御船町ほか	6. 9. 20 7. 3. 7	66,637	豊田緑化苑	遊具更新（3公園7基、10広場25基） 撤去工 一式

都 心 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
豊田市駅東口 ペデストリアンデッキ 橋りょう耐震補強工事	喜多町	6. 6. 28 7. 9. 30	74,800 (201,110)	日京工設	橋りょう耐震補強 N=1橋 橋脚補強工 N=4橋脚 (R6年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
豊田市駅西口周辺整備工事	若宮町ほか	6. 3. 23 8. 7. 10	1, 129, 974 (4, 245, 361)	大林組・ ヤハギ道路 特定建設工事 共同企業体	ペDESTリアンデッキ耐震補強 L=204. 2m バス乗降場整備 L=95. 4m 大屋根整備 一式 昇降施設整備 一式 (R5～8年度 継続費)
豊田市駅西口 ペDESTリアンデッキ Dブロック改築工事	若宮町	5. 6. 30 7. 7. 11	369, 730 (753, 804)	矢作建設・ ヤハギ道路 建設共同 企業体	ペDESTリアンデッキ改築 L=10. 5m W=24. 5m (R4～7年度 継続費)
市道西町若宮線 歩車共存道路整備工事	西町ほか	6. 7. 5 7. 2. 28	71, 594	ヤハギ道路	歩車共存道路整備 L=137m 管路工 L=17m アスファルト舗装工 A=768㎡ 排水構造物工 L=210m

住 宅 管 理 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市営住宅等工事代行業務	丸山町ほか	6. 4. 1 7. 3. 21	258, 955	愛知県 住宅供給公社	電気設備改修工事（丸山住宅始め3住宅） 給水設備改修工事（丸山住宅始め3住宅） 住戸内給排水管改修工事（一ノ木住宅） エレベーター改修工事（東山住宅） 外部鉄部塗装工事（中根住宅） 外壁改修工事（大沼住宅始め2住宅） 屋上防水改修工事（大沼住宅始め2住宅）
旧岩倉住宅解体工事	岩倉町	6. 9. 20 7. 2. 28	68, 937	河木興業	解体工事 一式 14棟61戸

非 常 備 消 防 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
逢妻ふれあい子ども館 ほか 1 1 施設解体ほか工事	新町ほか	6. 8. 9 7. 6. 30	8, 159 (20, 303)	須藤建設工業	旧藤岡飯野詰所格納庫解体 旧若林詰所格納庫解体 火の見櫓解体9か所 (R6年度 繰越明許費) (合併施行)

災 害 対 策 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
耐震性貯水槽設置工事	小渡町ほか	6. 7. 26 7. 1. 31	30, 081	マツヤマ	耐震性貯水槽40㎡ 設置2基 防火水槽20㎡ 22㎡ 25㎡ 27㎡ 撤去4基

小 学 校 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
中山小学校 屋内運動場増築ほか建築工事	西中山町	5. 6. 30 6. 7. 31	416, 140 (574, 530)	太啓建設	屋内運動場増築 鉄骨造平屋 1, 288. 06㎡ 上記に係る建築工事 一式 (R5～8年度 継続費)
中山小学校 屋内運動場増築ほか設備工事	西中山町	5. 8. 4 6. 7. 31	133, 320 (133, 320)	豊田電気	屋内運動場増築 鉄骨造平屋 1, 288. 06㎡ 上記に係る設備工事 一式 (R5～8年度 継続費)
中山小学校 校舎増築ほか建築工事	西中山町	6. 7. 17 8. 1. 15	135, 069 (723, 800)	太啓建設	校舎及び渡り廊下増築 鉄筋コンクリート造及び木造2階 1, 690. 54㎡ 上記に係る建築工事 一式 (R5～8年度 継続費) (R5年度 繰越明許費)
中山小学校 校舎増築ほか空調・管工事	西中山町	6. 7. 17 8. 1. 15	43, 028 (200, 200)	三河商事	校舎及び渡り廊下増築 鉄筋コンクリート造及び木造2階 1, 690. 54㎡ 上記に係る空調・管工事 一式 (R5～8年度 継続費) (R5年度 繰越明許費)
猿投台中学校ほか1校 トイレ改修工事	青木町	6. 5. 9 6. 11. 11	32, 525 (32, 525)	加藤建設	青木小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)
下山中学校ほか1校 トイレ改修工事	大沼町ほか	6. 6. 14 7. 1. 17	43, 243 (43, 243)	ホマレ 建設工業	花山小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)
高嶺小学校ほか1校 トイレ改修工事	広美町ほか	6. 5. 9 6. 11. 18	112, 860 (112, 860)	神谷組工業	高嶺小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 寿恵野小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費)
根川小学校ほか1校 トイレ改修工事	下林町ほか	6. 5. 9 6. 11. 15	61, 533 (61, 533)	小原 ハウジング	根川小学校 トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
東山小学校ほか1校 トイレ改修工事	渋谷町ほか	6. 5. 9 6. 11. 29	102,740 (102,740)	神谷組工業	東山小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 平井小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費)
花山小学校 バリアフリー化整備工事	下山田代町	6. 7. 5 7. 2. 14	88,957 (88,957)	大幸	エレベーター棟増築工事 鉄骨造2階 25.55㎡ 多目的トイレ整備工事 段差解消工事 (R5年度 繰越明許費)
飯野小学校ほか2校 学校遊具更新工事	藤岡飯野町 ほか	6. 6. 7 7. 1. 17	46,620 (46,620)	加納造園	飯野、石畳、御作小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R5年度 繰越明許費)
西広瀬小学校ほか3校 学校遊具更新工事	西広瀬町 ほか	6. 6. 7 7. 2. 14	48,782 (48,782)	鈴鍵	西広瀬、中金、上鷹見、足助小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R5年度 繰越明許費)
矢並小学校ほか3校 学校遊具更新工事	矢並町ほか	6. 6. 7 7. 2. 7	48,863 (48,863)	三共造園	矢並、幸海、滝脇、豊松小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R5年度 繰越明許費)
井上小学校ほか3施設 受変電設備修繕工事	井上町ほか	6. 1. 26 7. 1. 31	39,151 (39,151)	宮田電工	井上、市木、西保見小学校 受変電設備更新工事 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)

中 学 校 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
井郷中学校ほか1校 トイレ改修工事	井上町ほか	6. 6. 7 6. 12. 5	77,924 (77,924)	小原 ハウジング	井郷中学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 小原中学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費)
猿投台中学校ほか1校 トイレ改修工事	青木町	6. 5. 9 6. 11. 11	51,603 (51,603)	加藤建設	猿投台中学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)
下山中学校ほか1校 トイレ改修工事	大沼町ほか	6. 6. 14 7. 1. 17	41,732 (41,732)	ホマレ 建設工業	下山中学校 トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
高岡中学校 トイレ改修工事	若林西町	6. 5. 17 7. 1. 31	84,689 (84,689)	眞栄	トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費)
根川小学校ほか1校 トイレ改修工事	下林町ほか	6. 5. 9 6. 11. 15	44,177 (44,177)	小原 ハウジング	上郷中学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R5年度 繰越明許費) (合併施行)
保見中学校 バリアフリー化整備工事	保見町	6. 6. 14 7. 2. 21	96,272 (96,272)	白武	エレベーター棟増築工事 鉄骨造4階 57.12㎡ 段差解消工事 (R5年度 繰越明許費)
石野中学校 土砂災害防止対策工事	カ石町	6. 6. 21 7. 2. 28	53,899	豊緑化技研	土砂災害防止対策 落石防護柵工事、重力式擁壁設置等

幼 稚 園 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
平山こども園ほか1園 保育所化認可改修建築工事	平山町ほか	6. 5. 31 6. 12. 16	102,124	三栄工業	平山こども園、トヨタこども園 保育所化認可改修工事 (乳児室、調理室、トイレ整備、法令改修) トイレ改修工事
平山こども園ほか1園 保育所化認可改修設備工事	平山町ほか	6. 5. 31 6. 12. 16	97,790	桶兼住設	平山こども園、トヨタこども園 保育所化認可改修工事 (乳児室、調理室、トイレ整備、法令改修) トイレ改修工事

学 校 教 育 総 務 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
豊田市教職員会館 長寿命化改修空調・管工事	保見町	6. 11. 8 7. 8. 22	55,264 (138,160)	中根管工	空調設備改修、電気設備改修、天井改修 一式 (R6年度 繰越明許費)

給 食 セ ン タ ー 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
中部給食センター 蒸気ボイラー改修ほか工事	栄生町	6. 4. 19 6. 9. 30	56,573 (56,573)	森島設備管工	蒸気ボイラー改修工事 一式 下水道接続工事 一式 (R5年度 繰越明許費)
旧北部給食センター解体工事	井上町	6. 9. 20 7. 6. 30	50,842 (127,105)	今井組	旧北部給食センター解体工事 一式 (R6年度 繰越明許費)

文 化 財 保 護 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
重要文化財 旧鈴木家住宅保存修理工事 （第6期工事）	足助町	4. 7. 1 7. 3. 14	46,967 (149,020)	魚津社寺 工務店	主屋・仏間座敷・飾物蔵ほか修理 木・屋根・建具工事ほか (R4～7年度 継続費)
重要文化財 旧鈴木家住宅保存修理工事 （第7期工事）	足助町	5. 11. 28 8. 3. 13	72,084 (146,784)	魚津社寺 工務店	新座敷・上蔵・米蔵・大蔵・大工小屋修理 基礎・木・左官工事ほか (R4～7年度 継続費)

文 化 施 設 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
市道神田2号線ほか1路線 舗装工事	小坂本町 ほか	5. 10. 13 6. 5. 31	44,598 (73,550)	ヤハギ道路	舗装面積 A=1,847㎡ (R5年度 繰越明許費)

体 育 施 設 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額（千円）	請負業者名	摘 要
豊田スタジアム 長寿命化改修電気工事 （第二期）	千石町	6. 9. 26 8. 2. 27	192,223 (709,500)	小野・ 日晶建設 共同企業体	非常照明、誘導灯設備改修 一式 電力貯蔵、発電設備改修 一式 駐車場を主配線盤室へ改修 (R5～7年度 継続費)
豊田スタジアム 長寿命化改修空調・管工事 （第二期）	千石町	6. 9. 26 8. 2. 27	134,377 (496,100)	三河商事	換気設備改修 一式 ろ過設備改修 一式 自動制御設備改修 一式 (R5～7年度 継続費)
総合体育館 （スカイホール豊田） 長寿命化改修電気設備工事	八幡町	5. 6. 30 6. 4. 24	171,600 (286,000)	小野電気	メインホール照明LED化、 サブホール非常用照明等更新 (R5年度 繰越明許費)
総合体育館 （スカイホール豊田） 長寿命化改修機械設備工事	八幡町	5. 6. 30 6. 4. 24	183,745 (869,000)	三建・ 三河建設 共同企業体	空調・換気機器及び自動制御装置、 給排水ポンプ・給湯器・雨水ろ過装置等の更新 (R5年度 繰越明許費)
総合体育館 （スカイホール豊田） 長寿命化改修工事	八幡町	5. 7. 21 6. 4. 24	106,150 (106,150)	マルコオ・ ポーロ化工	防水改修工事、内装改修工事 (R5年度 繰越明許費)

美 術 館 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
高橋節郎館 増築ほか空調、管工事	小坂本町	5. 11. 28 6. 12. 11	36, 201 (60, 181)	三河商事	空調・管工事 一式 (R5～6年度 継続費)
高橋節郎館 増築ほか建築工事	小坂本町	5. 12. 22 6. 12. 11	308, 220 (308, 220)	神谷組工業	エントランスホール増築 140㎡ 屋根新設 (鉄骨造) 高橋節郎館改修 約1, 300㎡ (R5～6年度 継続費)

土木施設災害復旧費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額 (千円)	請負業者名	摘 要
準用河川逢妻男川 災害復旧工事	細谷町ほか	6. 9. 11 7. 2. 14	143, 330	海老澤建設	工事延長 L = 72m 大型ブロック積 A = 235㎡ 構造物撤去工 V = 190㎡ 仮設工 一式
準用河川久木川 河川災害復旧工事	実栗町	5. 11. 17 6. 12. 13	36, 038 (59, 190)	安藤建設	工事延長 L = 102m ブロック積工 A = 617㎡ 小口止工 N = 6基 仮水路工 L = 162m (R5年度 繰越明許費)

第 15 表 土地取得実績表（補償費を除く。）

区分	取得の目的	場 所	面積（㎡）	金額（円）
福祉施設	住吉こども園駐車場	住吉町	0.61	77,409
	福祉施設 計		0.61	77,409
道路橋りょう	市道林添九久平1号線（九久平工区）	九久平町	1,692.93	12,684,182
	市道堤駒場線外1路線	駒場町	10.92	283,920
	市道歌石拳母線	鍋田町	220.43	2,021,113
	市道松平足助線（豊松工区）	豊松町	899.72	1,430,555
	市道小原築平川下線	川下町	9.66	49,556
	市道（仮）石畳坂下線	石畳町	26.51	186,364
	市道旧坂上大内線	大内町	405.39	2,797,409
	市道矢並池田線	池田町	103.13	437,271
	市道豊田西部2号線	大池町	10,203.47	138,973,635
	市道本地今川線 （県道宮上知立バイパス関連）	大島町	75.38	3,174,860
	市道藤岡西中山猿投線 （国道419号関連）	西中山町	140.56	9,670,521
	公共補償（県道西中山越戸停車場線）	越戸町	5.81	170,233
	市道足助摺月原線	月原町	214.68	893,069
	市道下山下田上平線	黒坂町	257.49	637,144
	公共補償（県道久木中金線）	井ノ口町	31.04	13,968
	公共補償（国道473号）	神殿町	492.59	1,428,503
	市道旭榊野1号線外1路線	榊野町	20,213.66	13,112,446
	土橋竜神1号線	曙町	279.50	34,602,100
	道路橋りょう 計		35,282.87	222,566,849

区分	取得の目的	場 所	面積（㎡）	金額（円）
交通安全施設	市道藤岡飯野広瀬線	藤岡飯野町	34.40	350,880
	市道六ツ木岩倉線	松平志賀町	485.80	2,762,453
	市道小峯広瀬線	東広瀬町	377.72	4,333,208
	交通安全施設 計		897.92	7,446,541
河川等	矢作緑地	秋葉町	10,924.65	48,948,530
	河川等 計		10,924.65	48,948,530
街路	市道西岡吉原1号線 （都市計画道路西岡吉原線）	前林町	908.83	27,994,923
	市道勘八峡1号線外1路線 （都市計画道路勘八峡線）	御船町	1,635.75	29,778,555
	市道若林高架側道3号線外9路線（名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業）	若林東町ほか	7,128.58	752,149,296
	市道殿貝津拳母線外2路線 （都市計画道路浄水駅北通り線）	大清水町ほか	499.02	130,490,570
	街路 計		10,172.18	940,413,344
特定道路	市道高橋細谷2号線 （都市計画道路高橋細谷線）	長興寺	194.00	20,728,737
	市道豊田刈谷6号線外2路線 （都市計画道路豊田刈谷線）	西岡町ほか	4,585.33	1,034,132,167
	市道堤環状1号線外1路線 （都市計画道路豊田刈谷線）	本田町	2,287.69	214,808,699
	市道上原11号線 （国道153号（豊田北バイパス）関連）	上原町	306.73	7,422,866
	市道名鉄豊田新線側道3号線 （国道153号（豊田北バイパス）関連）	上原町	299.91	7,257,822
	市道上原14号線 （国道153号（豊田北バイパス）関連）	上原町	1,120.08	39,538,824
	特定道路 計		8,793.74	1,323,889,115
公園	中央公園	広川町	9,945.68	367,573,034
	公園 計		9,945.68	367,573,034
教育施設	中金小学校職員駐車場	中金町	533.31	4,474,471
	教育施設 計		533.31	4,474,471

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	35,902,504 千円	(36,697,401 千円)
歳出総額	35,192,433 千円	(36,109,965 千円)
歳入歳出差引額	710,071 千円	(587,436 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	710,071 千円	(587,436 千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 国民健康保険税	7,183,720	7,331,560	(7,254,692)	20.4
2 国庫支出金	191	190	(721)	0.0
3 県支出金	22,805,040	22,196,584	(23,129,642)	61.8
4 財産収入	1,136	1,136	(644)	0.0
5 繰入金	5,800,684	5,731,695	(5,684,530)	16.0
6 繰越金	587,436	587,436	(550,158)	1.6
7 諸収入	77,160	53,903	(77,014)	0.2
歳入合計	36,455,367	35,902,504	(36,697,401)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	753,709	737,756	(343,620)	2.1
2 保険給付費	23,009,609	21,829,670	(22,747,448)	62.0
3 国民健康保険事業費納付金	10,909,093	10,909,092	(10,942,688)	31.0
4 保健事業費	345,426	298,392	(304,450)	0.8
5 基金積立金	1,382,789	1,382,789	(1,748,905)	3.9
6 諸支出金	49,741	34,734	(22,854)	0.1
7 予備費	5,000	0	(0)	—
歳出合計	36,455,367	35,192,433	(36,109,965)	100.0

2 事業の概要

国民健康保険は、被用者保険等に属さない全ての人が加入し、国民皆保険の最後の砦として、地域医療や市民の健康増進に寄与しています。

国民健康保険特別会計の主な財源は、県支出金(61.8%)、国民健康保険税(20.4%)で、国民健康保険税については、前年度比1.1%の増加となりました。主な歳出は保険給付費(62.0%)で、前年度比4.0%の減少となりました。

平成30年度に財政運営が都道府県単位化された影響による国民健康保険税の急激な負担増に対応するため、令和2年度以降、市独自の激変緩和措置を講じてきました。その財源として12億5千万円余を一般会計から繰り入れ、前年度繰越金の一部などと合わせて、総額13億8千万円余を基金に積み立てました。

これにより、保険税率の引上げと並行して被保険者の負担の平準化を図っていますが、県に支払う国民健康保険事業費納付金の伸びが続いており、依然として財政運営は厳しい状況にあります。

被保険者数や保険給付費、収納率の動向に加え、令和11年度までに予定されている保険税水準の県内統一の影響を注視し、引き続き健全な財政運営に努めます。

(1) 加入状況

(単位：世帯、人)

区 分	5年度 末現在	6年度 末現在	(再掲) 未就学児	(再掲) 前期高齢者	(再掲) 70歳以上一般	(再掲) 70歳以上現役並所得者	6年度 年度平均
世帯数	43,127	41,744					42,556
被保険者数	64,973	61,863	958	29,803	15,696	2,094	63,587
退職被保険者等	0	0	0				0
一般被保険者	64,973	61,863	958	29,803	15,696	2,094	63,587

(2) 被保険者異動状況

(単位：件)

6年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢者離脱	その他	計
	1,995	10,683	124	109	14	1,291	14,216
6年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢者加入	その他	計
	2,180	8,997	240	398	4,988	523	17,326

(3) 保険税の課税状況(現年)

(単位：千円)

保険税算定額及び割合				減免	保険税 軽減額	限度 超過額	月割 減額	調定額
所得割 ①	均等割 ②	平等割 ③	合計 ④=①+②+③	⑤	⑥	⑦	⑧	④-⑤-⑥ -⑦-⑧
6,306,125	3,070,606	1,566,489	10,943,220	20,952	1,028,747	647,754	1,882,495	7,363,272
57.63%	28.06%	14.31%	100%					

※税率及び課税限度額

	所得割率	均等割額	平等割額	課税限度額
医療分	6.15%	26,100円	22,000円	650,000円
後期支援分	2.17%	11,000円	6,500円	240,000円
介護分	1.84%	10,500円	5,800円	170,000円

・各区分の所得割、均等割、平等割の合計が国民健康保険税額になる。

(4) 保険給付費支払状況 (単位：千円)

区 分	支払額
療 養 給 付 費	18,758,646
療 養 費	148,401
高 額 療 養 費	2,790,190
高額介護合算療養費	454
出 産 育 児 一 時 金	57,632
葬 祭 費	17,350
審 査 支 払 手 数 料	56,984
移 送 費	0
傷 病 手 当 金	13
計	21,829,670

(5) 収納率(現年分)

5 年度 ①	6 年度 ②	増減 ② - ①
96.27%	95.91%	△0.36%

(滞納繰越分)

5 年度 ①	6 年度 ②	増減 ② - ①
25.13%	28.44%	3.31%

(6) 経理関係(被保険者1人当たり)

(単位：円)

歳 入	5 年度 ①	6 年度 ②	増減 ② - ①
国 民 健 康 保 険 税	108,300	115,300	7,000
国 庫 支 出 金	11	3	△8
県 支 出 金	345,286	349,074	3,788
財 産 収 入	10	18	8
繰 入 金	84,860	90,139	5,279
繰 越 金	8,213	9,238	1,025
諸 収 入	1,149	848	△301
合 計	547,829	564,620	16,791

歳 出	5 年度 ①	6 年度 ②	増減 ② - ①
総 務 費	5,130	11,602	6,472
保 険 給 付 費	339,580	343,304	3,724
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	163,355	171,562	8,207
保 健 事 業 費	4,545	4,693	148
基 金 積 立 金	26,108	21,746	△4,362
諸 支 出 金	341	546	205
予 備 費	0	0	0
合 計	539,059	553,453	14,394

※各年度の1人当たりの額は、決算額を年度平均被保険者数で除したもの
 令和5年度 66,987人 令和6年度 63,587人

都市計画事業土地区画整理特別会計

(土橋土地区画整理事業)

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	678,540 千円	(731,363 千円)
歳出総額	389,165 千円	(462,327 千円)
歳入歳出差引額	289,375 千円	(269,036 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	226,273 千円	(267,172 千円)
(継続費繰越し	226,273 千円)	
実質収支額	63,102 千円	(1,864 千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	1	48,075	(229,244)	7.1
2 負担金	134,000	107,000	(126,280)	15.8
3 使用料及び手数料	50	49	(73)	0.0
4 繰入金	227,232	227,232	(116,489)	33.5
5 繰越金	269,036	269,036	(259,168)	39.6
6 諸収入	13,632	27,148	(109)	4.0
歳入合計	643,951	678,540	(731,363)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 土橋土地区画整理費	643,951	389,165	(462,327)	100.0
歳出合計	643,951	389,165	(462,327)	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事及び宅地造成工事を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路築造工事、宅地造成工事等

195, 226 千円

(2) 仮住居補償、上水道整備費負担金等を執行し、事業の推進を図りました。

・ ガス本支管埋設工事、上水道整備費負担金、仮住居補償等

129, 473 千円

(3) 事業の推進を図るため、土橋土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

64, 466 千円

都市計画事業土地区画整理特別会計

（花園土地区画整理事業）

1 歳入歳出決算額		（前年度）
歳 入 総 額	1,786,618 千円	（ 2,765,413 千円）
歳 出 総 額	1,429,047 千円	（ 2,136,637 千円）
歳入歳出差引額	357,571 千円	（ 628,776 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	326,932 千円	（ 624,132 千円）
（継続費繰越し	326,932 千円）	
実 質 収 支 額	30,639 千円	（ 4,644 千円）

（歳 入）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 事 業 収 入	70,000	99,177	（ 208,239）	5.6
2 負 担 金	366,200	366,200	（ 957,100）	20.5
3 使用料及び手数料	80	73	（ 82）	0.0
4 繰 入 金	692,049	692,049	（ 1,024,991）	38.7
5 繰 越 金	628,775	628,776	（ 574,447）	35.2
6 諸 収 入	269	343	（ 554）	0.0
歳 入 合 計	1,757,373	1,786,618	（ 2,765,413）	100.0

（歳 出）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 花園土地区画整理費	1,757,373	1,429,047	（ 2,136,637）	100.0
歳 出 合 計	1,757,373	1,429,047	（ 2,136,637）	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路築造工事

565,133 千円

(2) 建物等移転補償、移転者用仮住居・仮倉庫賃貸借等を実施し、事業の推進を図りました。

・ 物件移転補償、仮住居・仮倉庫賃貸借等

792,595 千円

(3) 事業の推進を図るため、花園土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

71,319 千円

分譲住宅建設事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	19,984 千円	(15,068 千円)
歳出総額	5,582 千円	(12,872 千円)
歳入歳出差引額	14,402 千円	(2,196 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(868 千円)
実質収支額	14,402 千円	(1,328 千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	17,453	11,732	(0)	58.7
2 使用料及び手数料	30	30	(30)	0.2
3 繰入金	6,023	6,023	(13,976)	30.1
4 繰越金	2,195	2,196	(1,061)	11.0
5 諸収入	2	3	(1)	0.0
歳入合計	25,703	19,984	(15,068)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 宅地造成費	6,125	5,582	(12,872)	100.0
2 予備費	100	0	(0)	—
3 諸支出金	19,478	0	(0)	—
歳出合計	25,703	5,582	(12,872)	100.0

2 事業の概要

移住人口の増加を図るため、小原町に所在する市の未利用財産を活用して、宅地分譲を行っています。

また、過去に分譲を行った団地の残地維持管理業務を行っています。

なお、令和6年度における主な執行経費は次のとおりです。

(1) 小原町分譲地3区画の分譲を開始し、広告等により周知を図り、2区画を販売しました。
922千円

(2) 残地維持管理業務を行い、かつ、適正な職員人件費の執行に努めました。
4,660千円

卸 売 市 場 特 別 会 計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳 入 総 額	238,561 千円	(241,762 千円)
歳 出 総 額	205,259 千円	(209,649 千円)
歳入歳出差引額	33,302 千円	(32,113 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実 質 収 支 額	33,302 千円	(32,113 千円)

(歳 入)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 使用料及び手数料	89,071	90,966	(89,537)	38.1
2 繰 入 金	50,875	50,875	(66,210)	21.3
3 繰 越 金	32,113	32,113	(18,948)	13.5
4 諸 収 入	66,534	64,607	(66,933)	27.1
0 財 産 収 入	0	0	(134)	—
歳 入 合 計	238,593	238,561	(241,762)	100.0

(歳 出)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 卸 売 市 場 費	238,093	205,259	(209,649)	100.0
2 予 備 費	500	0	(0)	—
歳 出 合 計	238,593	205,259	(209,649)	100.0

2 事業の概要

豊田市及び周辺地域の生鮮食料品の供給基地として、荷揃えの充実等により生鮮食料品の安定供給に努めました。

取扱数量は、青果、水産物ともに減少しました。原因は、天候不順などによる野菜の収穫量減少や不漁などによる漁獲量減少等の影響が考えられます。また、取扱金額は、青果で増加し、水産物で減少しました。原因は、青果では天候不順などによる野菜・果実の価格高騰等、水産物では価格高騰による消費者の買控えなどの影響が考えられます。

市場機能の維持及び安全・安心に対応するため、施設の修繕等に努めました。

(1) 取扱実績

年度 区分	5 年 度		6 年 度		前年度対比(%)	
	数量(t)	金 額(千円)	数量(t)	金 額(千円)	数 量	金 額
青 果	25,174	7,644,417	23,548	8,389,370	93.5	109.7
水 産 物	2,793	2,548,614	2,752	2,527,232	98.5	99.2
計	27,967	10,193,031	26,300	10,916,602	94.0	107.1

(2) コンテナ利用実績

(単位：個、%)

年 度 区 分	5 年度	6 年度	前年度対比
利 用 個 数	152,801	127,212	83.3

(3) 主な執行経費

○ 市場光熱水費（水道・電気・ガス）	57,541 千円
○ 警備・清掃・電気等管理業務委託	36,630 千円
○ 市場業務委託（市場協会）	13,299 千円
○ コンテナ還付金	10,696 千円

3 他会計繰入金（不課税・対価外収入）の用途特定について

一般会計繰入金 50,875 千円については、一般職給料等（特定収入以外）に充当しました。

水道水源保全事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	95,916 千円	(76,486 千円)
歳出総額	93,366 千円	(75,018 千円)
歳入歳出差引額	2,550 千円	(1,468 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	2,550 千円	(1,468 千円)

(歳 入)			(単位：千円、%)	
款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 負 担 金	43,469	43,733	(43,735)	45.6
2 財 産 収 入	922	922	(395)	1.0
3 寄 附 金	1	0	(0)	—
4 繰 入 金	49,782	49,782	(28,030)	51.9
5 繰 越 金	1,467	1,468	(4,323)	1.5
6 諸 収 入	9	11	(3)	0.0
歳 入 合 計	95,650	95,916	(76,486)	100.0

(歳 出)		(単位：千円、%)		
款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 水道水源保全費	95,650	93,366	(75,018)	100.0
歳 出 合 計	95,650	93,366	(75,018)	100.0

2 事業の概要

平成6年度から「水道使用量1立方メートル(トン)当たり1円」を、水資源の保全、水源かん養事業及び水質保全の環境整備のため「豊田市水道水源保全基金」として積み立てています。この基金は、将来にわたり安全でおいしい水を提供するためには、水源の保全が必要であることから、水源かん養事業や水質保全の環境整備などを進めるため、学識経験者や市民代表で構成された豊田市水道事業審議会の答申を受けて、平成6年4月に全国に先駆け設立されたものです。

事業としては、平成18年度までは間伐を中心とした森林の水源かん養機能の維持向上に取り組んできました。平成19年度からは、矢作ダム上流域の森林を恒久的に保全し、必要な水量確保を目的とする「水源の森事業」と水道原水取水口上流域の水道原水の水質保全を目的とした「水質保全対策事業」に事業転換し、現在に至っています。また、平成27年度からは、新たに「水道水源林間伐事業」、「水道水源林確保事業」及び「水道水源林モニタリング事業」をスタートしました。継続事業を含む全5事業を展開し、水道水源の積極的かつ恒久的な保全に取り組んでいます。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	32,945 千円	(31,936 千円)
歳出総額	20,876 千円	(21,421 千円)
歳入歳出差引額	12,069 千円	(10,515 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	12,069 千円	(10,515 千円)

(歳入) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	9,571	6,526	(10,908)	19.8
2 繰入金	5,898	5,898	(898)	17.9
3 繰越金	10,514	10,515	(20,118)	31.9
4 諸収入	5	6	(12)	0
5 市債	10,000	10,000	(0)	30.4
歳入合計	35,988	32,945	(31,936)	100.0

(歳出) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 貸付事業費	23,514	8,403	(4,036)	40.3
2 公債費	7,326	7,325	(10,211)	35.1
3 諸支出金	5,148	5,148	(7,174)	24.7
歳出合計	35,988	20,876	(21,421)	100.0

2 事業の概要

母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、20歳未満の児童を養育している配偶者のいない者及びこれに準ずる者並びに配偶者のない女子であって、かつて配偶者のない女子として民法第877条の規定により児童を扶養していたことのある者に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせて、その扶養している児童の福祉を増進するため、資金を貸し付けるものです。

本年度は、児童を学校に入学させるための就学支度資金を9人、授業料等のための修学資金を5人（新規2人、継続3人）、求職期間中における生活維持のための生活資金を2人、就職に必要な知識技能を習得するための修業資金を1人に貸し付けました。

また、母子及び父子並びに寡婦福祉法第37条第1項に基づく国庫貸付金を借入れ、同条第2項による償還及び同条第5項による一般会計への繰出しを行いました。

母子父子寡婦福祉資金貸付状況

区分	資 金 名	令和 6 年度	
		件数	金 額（円）
母子	就学支度資金	8	3,230,000
	修学資金	5	3,088,000
	生活資金	2	356,000
	修業資金	1	350,000
寡婦	就学支度資金	1	580,000
合 計		17	7,604,000

介護保険事業特別会計

1 歳入歳出決算額 (前年度)

歳入総額	27,869,056千円	(26,822,728千円)
歳出総額	27,500,409千円	(26,424,659千円)
歳入歳出差引額	368,647千円	(398,069千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	368,647千円	(398,069千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 保険料	7,152,184	7,149,510	(7,195,719)	25.7
2 手数料	960	1,235	(1,815)	0.0
3 国庫支出金	5,128,133	5,074,455	(4,964,463)	18.2
4 支払基金交付金	7,245,806	7,050,360	(6,631,847)	25.3
5 県支出金	3,793,514	3,772,365	(3,588,736)	13.5
6 財産収入	8,074	8,075	(3,090)	0.0
7 寄附金	1	0	(0)	—
8 繰入金	4,549,601	4,398,795	(3,910,441)	15.8
9 繰越金	398,069	398,069	(516,562)	1.4
10 諸収入	11,225	16,192	(10,055)	0.1
歳入合計	28,287,567	27,869,056	(26,822,728)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	686,536	638,571	(590,106)	2.3
2 保険給付費	25,923,826	25,227,559	(23,975,255)	91.7
3 地域支援事業費	1,383,004	1,356,512	(1,304,255)	4.9
4 基金積立金	1	0	(229,346)	—
5 諸支出金	284,200	277,767	(325,697)	1.0
6 予備費	10,000	0	(0)	—
歳出合計	28,287,567	27,500,409	(26,424,659)	100.0

2 事業の概要

介護保険事業は、介護を社会全体で支えるための制度として平成 12 年度から開始されました。65 歳以上の第 1 号被保険者と 40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者のうち要介護（要支援）認定を受けた人を対象に介護保険給付を行いました。また、平成 29 年度から地域支援事業が見直され、要支援者に対する予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が地域支援事業の総合事業に移行するなど再編されました。

財源は令和 6～令和 8 年度の 3 年間の第 9 期介護保険事業計画に基づいて、居宅サービスについては第 1 号被保険者保険料 28%、第 2 号被保険者保険料 27%、国 20%（施設サービス等は 15%）、県 12.5%（施設サービス等は 17.5%）、市 12.5%で賄っています。このうち、第 1 号被保険者の保険料は所得により 13 段階に分かれており、その基準額は月額 5,300 円となっています。

（１）認定者数（令和 7 年 3 月末現在）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第 1 号被保険者	2,644	3,000	3,339	2,648	1,771	1,997	1,202	16,601
75 歳以上	2,333	2,624	3,124	2,414	1,614	1,811	1,051	14,971
65 歳以上 75 歳未満	311	376	215	234	157	186	151	1,630
第 2 号被保険者	44	75	29	62	49	51	53	363
合 計	2,688	3,075	3,368	2,710	1,820	2,048	1,255	16,964

（２）主な執行経費

（単位：円、％）

区 分			前年度支出額	本年度支出額	保険給付 構成比
1	総 務 費		590,106,264	638,570,830	－
2	介護サービ ス等諸費	居宅介護サービス等給付費	9,452,785,622	9,973,643,467	39.5
		地域密着型介護サービス等給付費	4,406,179,575	4,599,495,619	18.2
		施設介護サービス等給付費	6,886,385,704	7,229,527,071	28.7
		居宅介護福祉用具購入費	29,562,950	30,377,055	0.1
		居宅介護住宅改修費	74,163,703	69,818,245	0.3
		居宅介護サービス計画等給付費	1,236,295,110	1,295,998,795	5.1
	介護予防サ ービス等諸 費	介護予防サービス等給付費	521,209,199	600,961,330	2.4
		地域密着型介護予防サービス等給付費	20,364,726	24,506,132	0.1
		介護予防福祉用具購入費	14,329,954	16,447,378	0.1
		介護予防住宅改修費	56,734,372	60,603,928	0.2
		介護予防サービス計画等給付費	146,081,223	162,893,059	0.6
	審査支払諸費	介護報酬審査支払等手数料	14,148,552	14,750,702	0.1
	高額介護サ ービス等費	高額介護サービス費	573,047,909	615,182,396	2.5
		高額介護予防サービス費	883,742	684,389	0.0
	高額医療合算介 護サービス等費	高額医療合算介護サービス費	89,043,619	98,290,415	0.4
		高額医療合算介護予防サービス費	659,081	517,117	0.0
	特定入所者介護サ ービス等費	特定入所者介護サービス等費	323,748,922	302,099,660	1.2
		特定入所者介護予防サービス等費	480,560	638,821	0.0
		特別給付費	特別給付費	129,150,879	131,123,662
	合 計		23,975,255,402	25,227,559,241	100.0
3	地 域 支 援 事 業 費		1,304,254,524	1,356,512,301	－
4	基 金 積 立 金		229,346,000	0	－
5	諸 支 出 金		325,696,418	277,766,898	－
	総 計		26,424,658,608	27,500,409,270	－

財 産 区 特 別 会 計

（盛岡財産区）

1 歳入歳出決算額			(前年度)
歳 入 総 額	4,175 千円	(	5,040 千円)
歳 出 総 額	3,921 千円	(	4,765 千円)
歳入歳出差引額	254 千円	(	275 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(	0 千円)
実 質 収 支 額	254 千円	(	275 千円)

(歳 入)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 財 産 収 入	3,870	3,869	(3,843)	92.7
2 繰 越 金	274	275	(386)	6.6
3 諸 収 入	30	31	(31)	0.7
0 繰 入 金	0	0	(780)	-
歳 入 合 計	4,174	4,175	(5,040)	100.0

(歳 出)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 総 務 費	2,936	2,683	(2,831)	68.4
2 基 金 積 立 金	1,238	1,238	(1,934)	31.6
歳 出 合 計	4,174	3,921	(4,765)	100.0

2 事業の概要

例年どおり財産区有林保育作業管理委託で区有林の草刈りを行いました。また、管理委員による林道、作業道の維持管理、区有林内見回りを実施しました。

区有林保育業務委託

2,257 千円

財 産 区 特 別 会 計

（賀茂財産区）

1 歳入歳出決算額			(前年度)
歳 入 総 額	11,394 千円	(	28,370 千円)
歳 出 総 額	11,150 千円	(	21,719 千円)
歳入歳出差引額	244 千円	(	6,651 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(	0 千円)
実 質 収 支 額	244 千円	(	6,651 千円)

(歳 入)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 財 産 収 入	194	193	(9,175)	1.7
2 繰 入 金	4,549	4,549	(12,149)	39.9
3 繰 越 金	6,650	6,651	(252)	58.4
4 諸 収 入	2	1	(6,794)	0.0
歳 入 合 計	11,395	11,394	(28,370)	100.0

(歳 出)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 総 務 費	3,377	3,132	(12,672)	28.1
2 基 金 積 立 金	8,018	8,018	(9,047)	71.9
歳 出 合 計	11,395	11,150	(21,719)	100.0

2 事業の概要

例年どおり財産区有林保育作業管理委託で区有林や作業道の維持管理を行いました。
寧比曾岳頂上周辺整備事業として、区有林間伐材をテーブルやベンチに加工しました。

区有林保育業務委託

2,134 千円

後期高齢者医療特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	8,171,320 千円	(6,788,808 千円)
歳出総額	7,734,225 千円	(6,715,241 千円)
歳入歳出差引額	437,095 千円	(73,567 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	437,095 千円	(73,567 千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 後期高齢者医療保険料	7,160,304	7,104,252	(5,833,934)	86.9
2 繰入金	984,558	984,558	(880,282)	12.0
3 繰越金	73,566	73,567	(66,282)	0.9
4 諸収入	15,226	8,943	(8,310)	0.1
歳入合計	8,233,654	8,171,320	(6,788,808)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	138,837	134,763	(130,959)	1.7
2 広域連合納付金	8,080,879	7,593,021	(6,576,055)	98.2
3 諸支出金	13,938	6,441	(8,227)	0.1
歳出合計	8,233,654	7,734,225	(6,715,241)	100.0

2 事業の概要

平成 20 年度から後期高齢者医療制度が開始され、75 歳（一定の障がいのある方は 65 歳）以上の方を対象として、資格確認書等の引渡し、保険料の賦課徴収、給付申請受付等を行いました。

本事業の保険者は、愛知県後期高齢者医療広域連合であり、広域連合が資格管理・保険料の決定・医療の給付業務を行い、市が受付業務、保険料の徴収業務を行いました。

(1) 被保険者数の推移

区分	令和 6 年 3 月	令和 7 年 3 月
75 歳以上	54,861 人	57,459 人
65 歳以上の障がい認定者	1,915 人	1,795 人
計	56,776 人	59,254 人

(4.4%増)

(2) 主な制度の概要

○ 保険料率等（2年ごとに改定）

	令和 4、5 年度	令和 6、7 年度
均 等 割 額	49,398 円	53,438 円
所 得 割 率	9.57 %	11.13 %

- ・ 保険料（年額）＝均等割額 ＋ 所得割額（賦課のもととなる所得金額×所得割率）
- ・ 令和 6 年度の所得割率は、賦課のもととなる所得金額が 58 万円以下の場合、10.40%になります。

○ 保険料の納付方法と徴収金額

- ・ 特別徴収（年金からの天引き）
- ・ 普通徴収（窓口払・口座振替）

保険料の納付方法は、原則、特別徴収ですが、年金額の年額が 18 万円未満の場合や、介護保険料との合計額が年金額の 2 分の 1 を超えてしまう場合等は普通徴収になります。

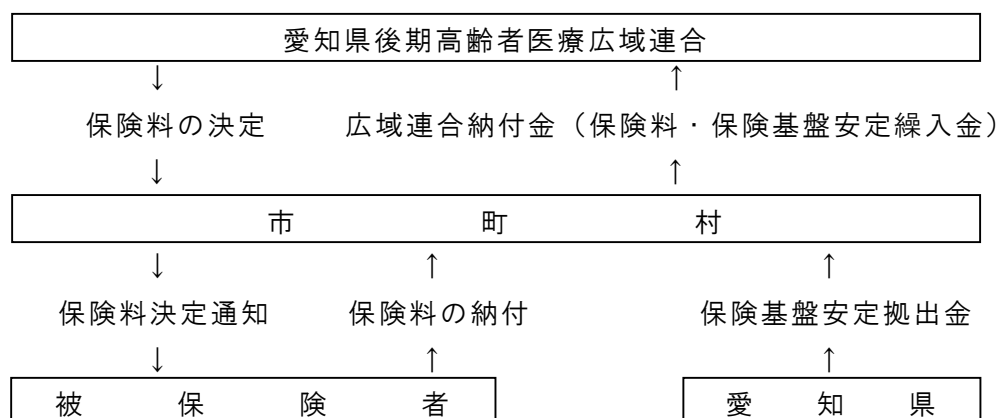
また、特別徴収対象者でも、口座振替に変更することで納付方法を普通徴収にすることができます。

（納付方法別徴収金額等）

納 付 方 法	徴 収 金 額	収 納 率
特 別 徴 収	3,718,424,000 円	100.00%
普 通 徴 収（現年度分）	3,376,066,189 円	99.49%
普 通 徴 収（過年度分）	9,762,387 円	43.89%
計	7,104,252,576 円	99.58%

（R5：99.59%）

(3) 広域連合との関係



産業用地造成事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	7,175 千円	(27,112 千円)
歳出総額	7,004 千円	(26,947 千円)
歳入歳出差引額	171 千円	(165 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	171 千円	(165 千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 繰入金	7,244	7,000	(14,800)	97.6
2 繰越金	164	165	(12,309)	2.3
3 諸収入	8	10	(3)	0.1
歳入合計	7,416	7,175	(27,112)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 産業用地造成費	7,416	7,004	(26,947)	100.0
歳出合計	7,416	7,004	(26,947)	100.0

2 事業の概要

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業は、産業誘導拠点と位置付けている豊田東インターチェンジ北側の地区を産業用地として開発する事業です。企業投資の受皿となる産業用地を整備することで、企業の新規立地や事業拡大の促進及び市内企業の市外流出防止を図ります。

なお、令和6年度においては、地元や関係機関との調整に取り組み、職員人件費の適正な執行に努めました。

IV 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増 加 高	減 少 高	
土 地	(1, 317, 159, 458)	(703, 150, 562)	(361, 160, 919)	(1, 659, 149, 101)
	1, 255, 089, 203	627, 378, 520	361, 160, 919	1, 521, 306, 804
補 償	(108, 345, 693)	(353, 354, 997)	(68, 526, 510)	(393, 174, 180)
	84, 325, 986	259, 961, 262	68, 526, 510	275, 760, 738
貸付金	(4, 740, 611, 136)	(5, 500, 000, 000)	(4, 500, 000, 000)	(5, 740, 611, 136)
	4, 740, 611, 136	5, 500, 000, 000	4, 500, 000, 000	5, 740, 611, 136
預金等	(8, 833, 883, 713)	(4, 929, 687, 429)	(6, 556, 505, 559)	(7, 207, 065, 583)
	8, 919, 973, 675	4, 929, 687, 429	6, 387, 339, 782	7, 462, 321, 322
基金の額 (合計)	15, 000, 000, 000	(11, 486, 192, 988)	(11, 486, 192, 988)	15, 000, 000, 000
		11, 317, 027, 211	11, 317, 027, 211	

() 上段……支出負担行為(差引簿)ベース

下段……現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	27, 423, 305	27, 423, 305

1 本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

ア 取 得

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	支払額	未払額	備 考
市道勘八峡1号線外1路線道路新設事業	1,635.75	29,778,555	29,778,555	0	
市道高橋細谷線(長興寺第1工区)外2路線道路改良事業	3.98	200,592	200,592	0	
市道西岡吉原1号線道路新設事業	9,285.84	299,462,518	217,832,803	81,629,715	
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	363.38	2,214,046	1,719,714	494,332	
市道本地柿本線道路改良事業(その2)	585.22	69,290,048	48,503,000	20,787,048	
市道松平足助線(豊松工区)道路改良事業	1,475.60	3,571,951	3,172,141	399,810	
市道歌石拳母線道路改良工事	130.23	980,888	980,888	0	
市道若石山住宅5号線道路改良事業	48.73	6,983,009	4,888,000	2,095,009	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	62.52	1,825,584	1,825,584	0	
市道百々1号線外3路線道路新設事業	97.19	2,841,433	1,987,000	854,433	
市道矢並池田線道路改良事業	3,019.04	15,141,195	13,172,366	1,968,829	
市道名鉄豊田新線側道3号線歩道設置事業	38.18	1,199,824	1,199,824	0	
市道志賀郷中線交差点改良事業	47.28	1,150,536	998,260	152,276	
市道豊田西部2号線道路新設事業(2工区)	3,276.65	81,874,625	81,874,625	0	
市道上原14号線道路新設事業(1工区)	1,253.31	43,375,848	43,375,848	0	
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	140.56	9,670,521	9,670,521	0	
市道本地今川線道路改良事業	75.38	3,174,860	3,174,860	0	
市道平戸橋13号線道路改良事業(その2)	6.92	206,908	206,908	0	
矢作緑地用地取得事業	5,424.89	31,005,187	31,005,187	0	
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	62.76	1,594,104	1,115,000	479,104	
市道下山下田上平線道路改良事業	446.29	1,120,963	931,399	189,564	
市道旭榊野1号線外1路線道路改良事業	20,213.66	13,112,446	13,112,446	0	
市道浄水駅南通り2号線道路新設事業	2,716.79	83,374,921	58,362,000	25,012,921	
計	50,410.15	703,150,562	569,087,521	134,063,041	

イ 処 分

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道勘八峡1号線外1路線道路新設事業	1,635.75	29,778,555	29,778,555	0	0
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	485.80	2,762,453	2,762,453	0	2,190,739
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	899.72	1,430,555	1,430,555	0	0
市道歌石拳母線道路改良工事	220.43	2,021,113	2,021,113	0	1,040,225
市道林添九久平1号線（九久平工区）道路改良事業	1,692.93	12,684,182	12,684,182	0	12,684,182
市道堤駒場線外1路線 道路改良事業	10.92	283,920	283,920	0	283,920
市道小原築平川下線 道路改良工事（その2）	9.66	49,556	49,556	0	49,556
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	34.40	350,880	350,880	0	350,880
市道小峯広瀬線歩道設置事業	377.72	4,333,208	4,333,208	0	2,507,624
市道旧坂上大内線道路改良事業	405.39	2,797,409	2,797,409	0	2,797,409
市道矢並池田線道路改良事業	103.13	437,271	437,271	0	0
市道上原11号線道路新設事業	306.73	7,422,866	7,422,866	0	7,422,866
市道名鉄豊田新線側道3号線道路改良事業	299.91	7,257,822	7,257,822	0	7,257,822
市道豊田西部2号線道路新設事業（2工区）	10,203.47	138,973,635	138,973,635	0	138,973,635
市道上原14号線道路新設事業（1工区）	1,120.08	39,538,824	39,538,824	0	0
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	140.56	9,670,521	9,670,521	0	0
市道本地今川線道路改良事業	75.38	3,174,860	3,174,860	0	0
矢作緑地用地取得事業	10,924.65	48,948,530	48,948,530	0	36,279,770
市道下山下田上平線道路改良事業	257.49	637,144	637,144	0	140,745
市道足助摺月原線道路改良事業	214.68	893,069	893,069	0	893,069
市道旭柵野1号線外1路線道路改良事業	20,213.66	13,112,446	13,112,446	0	0
市道土橋竜神1号線 道路新設事業	279.50	34,602,100	34,602,100	0	34,602,100
計	49,911.96	361,160,919	361,160,919	0	247,474,542

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

(2) 補 償
ア 取 得

(単位：円)

区 分	契約額	支払額	未払額	備 考
市道西岡吉原 1 号線道路新設事業	21, 104, 767	7, 727, 671	13, 377, 096	
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	4, 683, 844	4, 062, 046	621, 798	
市道本地柿本線道路改良事業（その 2）	228, 160, 804	159, 709, 000	68, 451, 804	
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	12, 148, 899	8, 501, 000	3, 647, 899	
市道若石山住宅 5 号線道路改良事業	52, 351, 109	36, 643, 000	15, 708, 109	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	2, 168, 460	2, 168, 460	0	
市道百々 1 号線外 3 路線道路新設事業	875, 462	612, 000	263, 462	
市道矢並池田線道路改良事業	429, 019	300, 000	129, 019	
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	4, 309, 713	4, 309, 713	0	
矢作緑地用地取得事業	18, 836, 951	18, 836, 951	0	
市道下山越田和ドメキ線道路改良事業	4, 419, 635	3, 088, 000	1, 331, 635	
市道下山下田上平線道路改良事業	28, 000	28, 000	0	
市道浄水駅南通り 2 号線 道路新設事業	3, 838, 334	2, 686, 000	1, 152, 334	
計	353, 354, 997	248, 671, 841	104, 683, 156	

イ 処 分

(単位：円)

区 分	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	2, 622, 046	2, 622, 046	0	0
市道林添九久平 1 号線（九久平工区）道路改良事業	15, 842, 863	15, 842, 863	0	15, 842, 863
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	2, 696, 058	2, 696, 058	0	2, 696, 058
市道小峯広瀬線歩道設置事業	2, 788, 702	2, 788, 702	0	620, 242
市道旧坂上大内線道路改良事業	2, 456, 868	2, 456, 868	0	2, 456, 868
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	5, 170, 951	5, 170, 951	0	861, 238
矢作緑地用地取得事業	18, 836, 951	18, 836, 951	0	0
市道下山下田上平線道路改良事業	28, 000	28, 000	0	0
市道土橋竜神 1 号線道路新設事業	18, 084, 071	18, 084, 071	0	18, 084, 071
計	68, 526, 510	68, 526, 510	0	40, 561, 340

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道高橋細谷線（長興寺第1工区）外2路線道路改良事業	1,120,510	1,120,510	0	
市道歌石拳母線道路改良工事	145,992	145,992	0	
市道林添九久平1号線（九久平工区）道路改良事業	1,738,138	1,738,138	0	
市道小原築平川下線 道路改良工事（その2）	49,556	49,556	0	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	824,624	824,624	0	
市道旧坂上大内線道路改良事業	337,008	337,008	0	
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	3,779,256	0	3,779,256	
市道豊田西部2号線道路新設事業（2工区）	41,699,635	41,699,635	0	
市道桜町線道路改良事業	1,994,436	1,994,436	0	
市道土橋竜神1号線道路新設事業	10,381,100	10,381,100	0	
計	62,070,255	58,290,999	3,779,256	

(2) 補 償

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道林添九久平1号線（九久平工区）道路改良事業	4,072,002	4,072,002	0	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	189,242	189,242	0	
市道旧坂上大内線道路改良事業	738,868	738,868	0	
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	12,730,286	0	12,730,286	
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	861,238	861,238	0	
市道土橋竜神1号線道路新設事業	5,428,071	5,428,071	0	
計	24,019,707	11,289,421	12,730,286	

3 本年度豊田市土地開発公社に対する貸付け及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸 付

5, 500, 000, 000円

(2) 償 還

4, 500, 000, 000円

4 令和7年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分		面 積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
土 地	豊田刈谷線・大洞筋違橋線	172.69	12,295,528	12,295,528	0	-
	小坂若林線・山之手第37号線	257.16	27,258,960	27,258,960	0	-
	豊田北バイパス	187.73	12,503,484	12,503,484	0	-
	衣浦豊田線	2,483.45	62,079,248	62,079,248	0	-
	室町細川線	371.99	16,330,361	16,330,361	0	-
	豊田西部線	47.93	1,433,107	1,433,107	0	-
	市道高橋細谷線（長興寺第1工区）外2路線道路改良事業	66.43	3,935,102	3,935,102	0	-
	市道西岡吉原1号線道路新設事業	10,636.70	340,798,834	259,169,119	81,629,715	-
	市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	293.28	1,642,332	1,148,000	494,332	-
	市道本地柿本線道路改良事業（その2）	585.22	69,290,048	48,503,000	20,787,048	-
	市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	575.88	2,141,396	1,741,586	399,810	-
	市道若石山住宅5号線道路改良事業	48.73	6,983,009	4,888,000	2,095,009	-
	市道百々1号線外3路線道路新設事業	97.19	2,841,433	1,987,000	854,433	-
	市道矢並池田線道路改良事業	2,915.91	14,703,924	12,735,095	1,968,829	-
	市道名鉄豊田新線側道3号線 歩道設置事業	38.18	1,199,824	1,199,824	0	-
	市道志賀郷中線交差点改良事業	47.28	1,150,536	998,260	152,276	-
	市道福谷一色線外1路線道路改良事業	182.16	12,587,256	8,808,000	3,779,256	-
	市道上原11号線道路新設事業	773.95	24,147,240	24,147,240	0	-
	市道豊田西部2号線道路新設事業（2工区）	3,276.65	81,874,625	81,874,625	0	-
	市道上原14号線道路新設事業（1工区）	133.23	3,837,024	3,837,024	0	-
	市道桜町線道路改良事業	7.08	1,994,436	1,994,436	0	-
	市道平戸橋13号線道路改良事業（その2）	6.92	206,908	206,908	0	-
	矢作緑地用地取得事業	2,609.61	18,336,427	18,336,427	0	-
	市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	62.76	1,594,104	1,115,000	479,104	-
	市道下山下田上平線道路改良事業	236.51	624,564	435,000	189,564	-
	足助バイパス残土処理地	45,978.42	55,709,644	55,709,644	0	-
	旧いこいの村	829,709.98	121,209,328	121,209,328	0	-
	市道浄水駅南通り2号線道路新設事業	3,139.07	93,087,361	68,074,440	25,012,921	-
	代替地	9,953.89	667,353,058	667,353,058	0	-
	計	914,895.98	1,659,149,101	1,521,306,804	137,842,297	

区分		面 積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
補償	市道西岡吉原1号線道路新設事業	-	21,104,767	7,727,671	13,377,096	-
	市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	-	2,061,798	1,440,000	621,798	-
	市道本地柿本線道路改良事業（その2）	-	228,160,804	159,709,000	68,451,804	-
	市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	-	12,148,899	8,501,000	3,647,899	-
	市道若石山住宅5号線道路改良事業	-	52,351,109	36,643,000	15,708,109	-
	市道百々1号線外3路線道路新設事業	-	875,462	612,000	263,462	-
	市道矢並池田線道路改良事業	-	429,019	300,000	129,019	-
	市道福谷一色線外1路線道路改良事業	-	38,189,286	25,459,000	12,730,286	-
	市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	-	4,419,635	3,088,000	1,331,635	-
	足助バイパス残土処理地	-	29,595,067	29,595,067	0	-
	市道浄水駅南通り2号線道路新設事業	-	3,838,334	2,686,000	1,152,334	-
	計	-	393,174,180	275,760,738	117,413,442	-
貸付金		-	5,740,611,136	5,740,611,136	0	-
預金等		-	-	-	-	7,462,321,322
合計		914,895.98	7,792,934,417	7,537,678,678	255,255,739	7,462,321,322

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

（単位：㎡）

宅 地	田	畑	山 林	その他	計
4,653.63	30,220.94	1,301.54	863,857.28	14,862.59	914,895.98

豊田市都心整備基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(989, 265, 258) 989, 265, 258	(0) 0	(0) 0	(989, 265, 258) 989, 265, 258
補 償	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
貸付金	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
預金等	(3, 325, 862, 737) 3, 325, 862, 737	(0) 0	(0) 0	(3, 325, 862, 737) 3, 325, 862, 737
基金の額 (合計)	4, 315, 127, 995	(0) 0	(0) 0	4, 315, 127, 995

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位:円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	7, 476, 617	7, 476, 617

1 本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

ア 取 得

該当なし

イ 処 分

該当なし

(2) 補 償

ア 取 得

該当なし

イ 処 分

該当なし

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

該当なし

(2) 補 償

該当なし

3 本年度豊田市土地開発公社に対する貸付及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸 付

該当なし

(2) 償 還

該当なし

4 令和7年3月31日の現在高は、次のとおりです。

		(単位：円、㎡)				
区分		面積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土地	都心活性化用地	774.07	980,132,140	980,132,140	0	-
	市道薬師1号線道路改良事業	42.01	9,133,118	9,133,118	0	-
	計	816.08	989,265,258	989,265,258	0	-
補償		-	0	0	0	-
貸付金		-	0	0	0	-
預金等		-	-	-	-	3,325,862,737
合 計		816.08	989,265,258	989,265,258	0	3,325,862,737

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)					
宅地	田	畑	山林	その他	計
816.08	0.00	0.00	0.00	0.00	816.08

豊田市産業振興基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(163, 157, 399) 163, 157, 399	(0) 0	(0) 0	(163, 157, 399) 163, 157, 399
補 償	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
貸付金	(126, 678, 143) 126, 678, 143	(0) 0	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(84, 455, 143) 84, 455, 143
預金等	(1, 310, 164, 458) 1, 310, 164, 458	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(0) 0	(1, 352, 387, 458) 1, 352, 387, 458
基金の額 (合計)	1, 600, 000, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	1, 600, 000, 000

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	8, 918, 414	8, 918, 414

1 本年度の公益財団法人豊田加茂環境整備公社の償還の状況は、次のとおりです。

(単位：円)

貸付目的	償還額	償還日	貸付日	備考
産業廃棄物処分場建設事業費	42, 223, 000	R7. 3. 25	H4. 3. 31	
計	42, 223, 000			

2 令和7年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土 地	19,708.00	163,157,399	163,157,399	0	-
補 償	-	0	0	0	-
貸付金	-	84,455,143	84,455,143	0	-
預金等	-	-	-	-	1,352,387,458
合 計	19,708.00	247,612,542	247,612,542	0	1,352,387,458

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)

宅地	田	畑	山林	その他	計
0.00	0.00	0.00	19,708.00	0.00	19,708.00

V 資 料



令和6年度 豊田市当初予算編成方針

1 本市を取り巻く環境

我が国では、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外景気の下振れリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響を予測することは困難な状況にあります。

あわせて、少子高齢化のさらなる進展、コロナ禍を契機とした価値観・ライフスタイルの多様化、激甚化・頻発化する自然災害など本市を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化しています。

こうした中で、積極的に変化に適応しながら持続可能なまちづくりを進めるため、柔軟に切れ目なく市民の暮らしを支えるとともに、果敢にミライへの挑戦を加速していく必要があります。

2 予算編成の基本方針

令和6年度は、第8次総合計画後期実践計画の最終年度です。社会環境の変化による課題への対応は確実に実施するとともに、総合計画に掲げるめざす姿の実現に向けて、全ての世代が明るい展望を持てるまちづくりを進めることを目指し、以下の4点を基本として予算編成します。

- (1) 第8次総合計画の総仕上げとして、後期実践計画事業を推進します。
- (2) 市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進します。
- (3) 将来を見据えた人・まちへの投資を推進します。
- (4) 歳入の積極的な確保、歳出の適正化を進め、「財務体質の強化」を図ります。

3 具体的な取組

(重点的に取り組む施策)

基本方針に基づき、以下の項目に重点的に予算を配分します。

- (1) 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業
 - ・超高齢社会への適応
 - ・「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資
 - ・まちの課題解決力の強化
- (2) 次世代を担うこども・若者、子育て世帯を支援する施策
- (3) 将来を見据え戦略的に推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）施策

- (4) カーボンニュートラルを推進するGX（グリーントランスフォーメーション）施策
- (5) 激甚化・頻発化する自然災害へ備えるための施策
- (6) 持続可能な都市経営に向けた公共施設等の効率的な管理・保全等を図る施策

（歳出の適正化、歳入の確保）

- (1) 厳しい財政状況を踏まえて、最少の経費で最大の効果を挙げるために、実施効果を見極めた事業立案や見直し、横断的な調整による取組の最適化を徹底して行います。
- (2) 新規事業、拡大事業については、特定財源の確保や既存事業の縮小・廃止による一般財源の確保を徹底します。
- (3) 行政と民間の持つ経営資源を効果的、効率的に活用するため、公民連携を推進し、柔軟な発想で市と民間の役割分担や、民間活力導入による事業手法の見直しを行います。
- (4) 国県補助については、制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。また、市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。

（投資的経費の確保）

- (1) ミライへの投資である普通建設事業費は、300億円以上を確保します。
- (2) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、将来への負担を留意しながら必要に応じて有効活用します。

（特別会計、企業会計、協会公社等への対応）

- (1) 特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから、本方針に準じた予算編成を行います。
- (2) 協会公社等に対する補助金や委託料等についても本方針に準じた予算計上を行います。

地方債現在高の状況

(1) 地方債事業別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	5年度末 現在高 (A)	6年度 発行額 (B)	6年度元利償還金			差引現在高 (A)+(B)-(C)
			元金 (C)	利 子	計	
公 共 事 業 等 債	16,192,842	1,295,600	2,203,506	46,935	2,250,441	15,284,936
防 災 ・ 減 災 ・ 国 土 強 靱 化 緊 急 対 策 事 業 債	2,320,713		176,049	6,238	182,287	2,144,664
一 般 単 独 事 業 債	6,422,713	181,500	960,822	14,635	975,457	5,643,391
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	495,698		116,841	1,115	117,956	378,857
学 校 教 育 施 設 等 整 備 事 業 債	9,265,589		1,743,681	25,912	1,769,593	7,521,908
一 般 廃 棄 物 処 理 事 業 債	1,058,973	359,100	97,263	5,636	102,899	1,320,810
減 税 補 填 債	650,650		327,554	386	327,940	323,096
臨 時 財 政 対 策 債	5,143,946		673,726	7,686	681,412	4,470,220
災 害 復 旧 事 業 債	226,887		32,412	44	32,456	194,475
社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業 債	415,940		74,766	402	75,168	341,174
過 疎 対 策 事 業 債	962,270	79,900	294,395	833	295,228	747,775
一 般 補 助 施 設 整 備 等 事 業 債	320,903		75,036	483	75,519	245,867
施 設 整 備 事 業 債 (一般財源化分)	48,399		28,999	7	29,006	19,400
全 国 防 災 事 業 債	34,024		34,024	51	34,075	0
(旧) 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	363,753		25,700	5,002	30,702	338,053
そ の 他	170,324		27,132		27,132	143,192
合 計	44,093,624	1,916,100	6,891,906	115,365	7,007,271	39,117,818

(2) 地方債借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区分 借入先		5年度末 現在高 (A)	6年度 発行額 (B)	6年度 償還元金 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C)
政 府 資 金		29,284,232	1,750,300	3,678,514	27,356,018
内 訳	財政融資資金	28,520,004	1,750,300	3,273,755	26,996,549
	うち 旧資金 運用部資金	51,247		21,309	29,938
	旧 郵 貯 資 金	15,432		15,432	0
	旧 簡 保 資 金	748,796		389,327	359,469
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構		42,047		22,589	19,458
市 内 金 融 機 関		13,312,100		2,916,719	10,395,381
共 済 組 合		1,284,921	165,800	246,952	1,203,769
そ の 他		170,324		27,132	143,192
合 計		44,093,624	1,916,100	6,891,906	39,117,818

※地方公共団体金融機構は旧公営企業金融公庫

基金残高の状況

(単位：千円)

基 金 名	会計 区分	令和5年度末	令和6年度増減		令和6年度末
		残 高	積 立	取 崩	残 高
資 金 積 立 基 金					
財 政 調 整 基 金		36,800,000	8,100,000	3,428,413	41,471,587
減 債 基 金		2,162,037	4,126		2,166,163
足 助 観 光 施 設 整 備 基 金		284,598	89		284,687
介 護 予 防 事 業 推 進 基 金		376,724	125,718	78,747	423,695
幹 線 道 路 建 設 基 金		960,000			960,000
教 育 施 設 整 備 基 金		9,549,193	1,210		9,550,403
公 共 施 設 安 全 安 心 基 金		11,900,000		800,000	11,100,000
樹 木 資 源 保 全 基 金		-	1,000,000		1,000,000
青 少 年 活 動 施 設 整 備 基 金		320,000			320,000
青 少 年 も の づ く り 基 金		31,311	60	2,718	28,653
総 合 運 動 公 園 建 設 基 金		75,000		50,000	25,000
高 橋 節 郎 館 活 動 基 金		297,734	568	24,164	274,138
脱 炭 素 社 会 推 進 基 金		683,673	5,001,436		5,685,109
地 域 づ く り 振 興 基 金		389,962	10,000,000	200,000	10,189,962
都 市 高 速 鉄 道 整 備 基 金		3,300,000			3,300,000
都 心 環 境 計 画 推 進 基 金		1,000,000	3,600,000		4,600,000
博 学 未 来 創 造 基 金		148,045	283	65,327	83,001
ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 基 金		60,291	115		60,406
保 健 医 療 福 祉 基 金		7,900,000			7,900,000
緑 の 推 進 基 金		393,886	751		394,637
も の づ く り 未 来 創 造 基 金		428,347	818	13,690	415,475
森 づ く り 基 金		934,000			934,000
国民健康保険事業財政調整基金	特	2,343,873	1,382,789	1,748,261	1,978,401
水 道 水 源 保 全 基 金	特	483,519	922	49,782	434,659
介 護 給 付 費 準 備 基 金	特	4,231,541		321,104	3,910,437
盛 岡 財 産 区 基 金	特	21,806	1,238		23,044
賀 茂 財 産 区 基 金	特	92,644	8,018	4,549	96,113
小 計		85,168,184	29,228,141	6,786,755	107,609,570
うち一般会計分		77,994,801	27,835,174	4,663,059	101,166,916

(単位：千円)

基 金 名	会計 区分	令和５年度末	令和６年度増減		令和６年度末
		残 高	積 立	取 崩	残 高
財 産 維 持 基 金					
ク リ エ イ テ ィ ブ 基 金		20,500			20,500
交 通 安 全 基 金		126,687			126,687
社 会 福 祉 基 金		541,686	16,311		557,997
奨 学 基 金		150,937	5,100		156,037
ス ポ ー ツ 振 興 基 金		4,781			4,781
青 少 年 健 全 育 成 基 金		58,326			58,326
民 芸 ・ 猿 投 古 窯 基 金		40,000			40,000
矢 並 小 学 校 教 育 振 興 基 金		18,430			18,430
小 計		961,347	21,411	0	982,758
資 金 運 用 基 金					
産 業 振 興 基 金		1,600,000			1,600,000
都 心 整 備 基 金		4,315,128			4,315,128
土 地 開 発 基 金		15,000,000			15,000,000
小 計		20,915,128	0	0	20,915,128
合 計		107,044,659	29,249,552	6,786,755	129,507,456

※会計区分の空欄は一般会計、「特」は特別会計です。

